

## 9.4 浸水防護施設

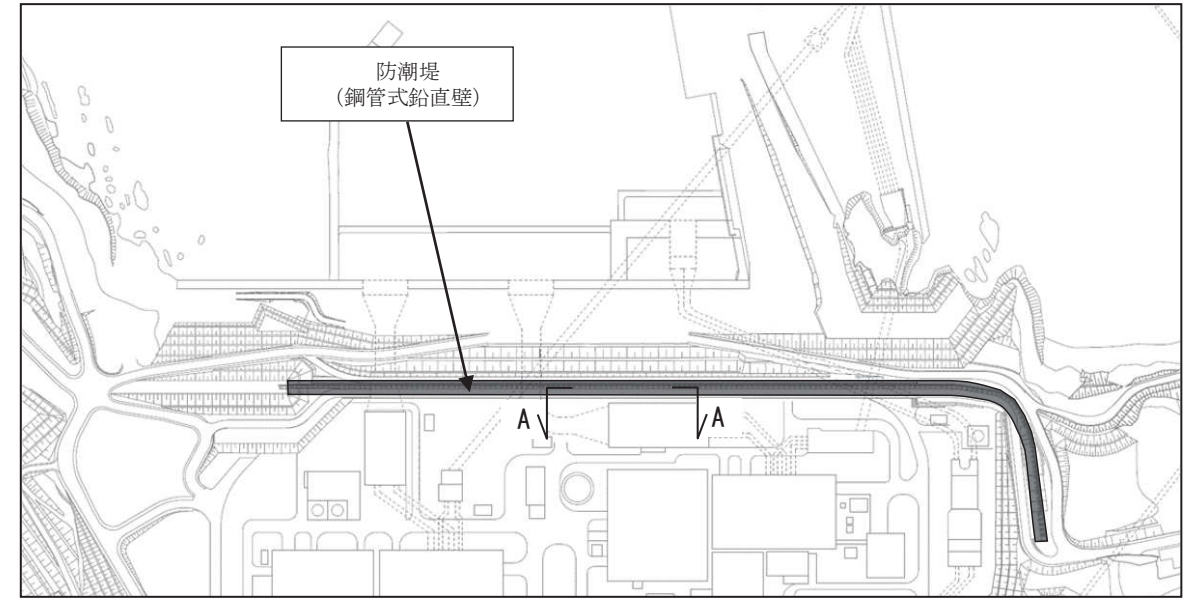
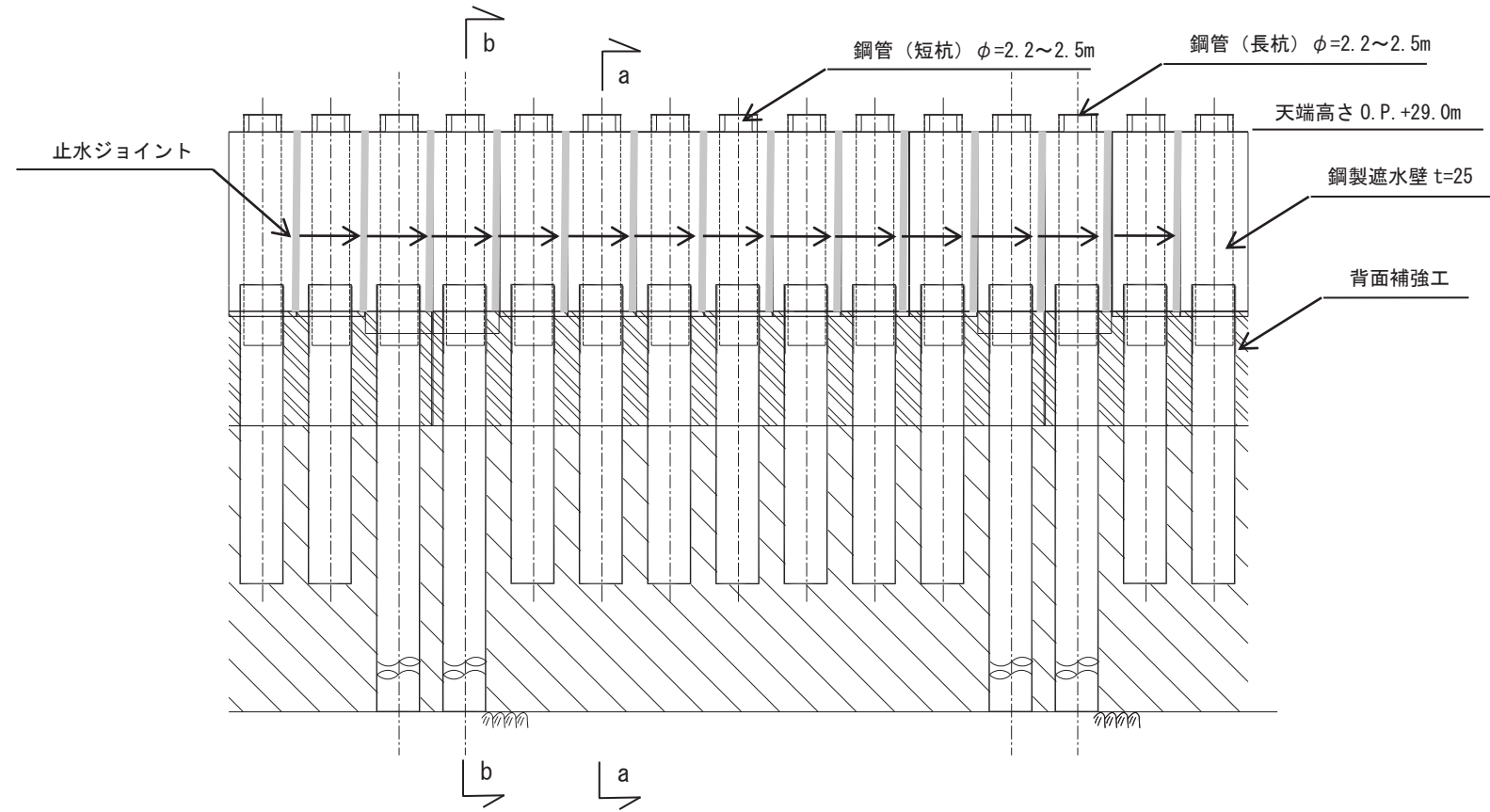
#### 9.4.1 外郭浸水防護設備



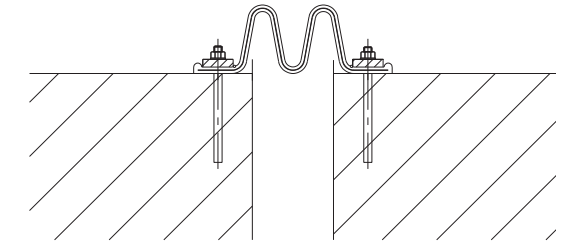
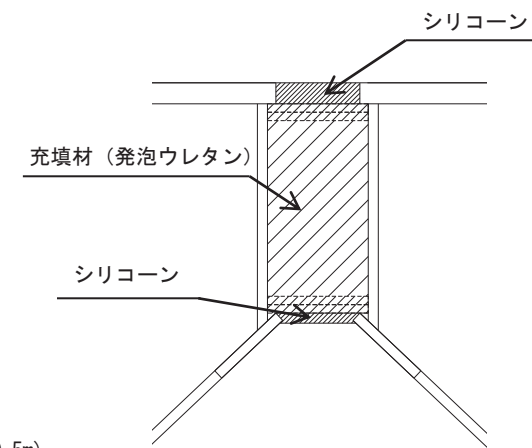
鋼管式鉛直壁構造図

KEY-PLAN

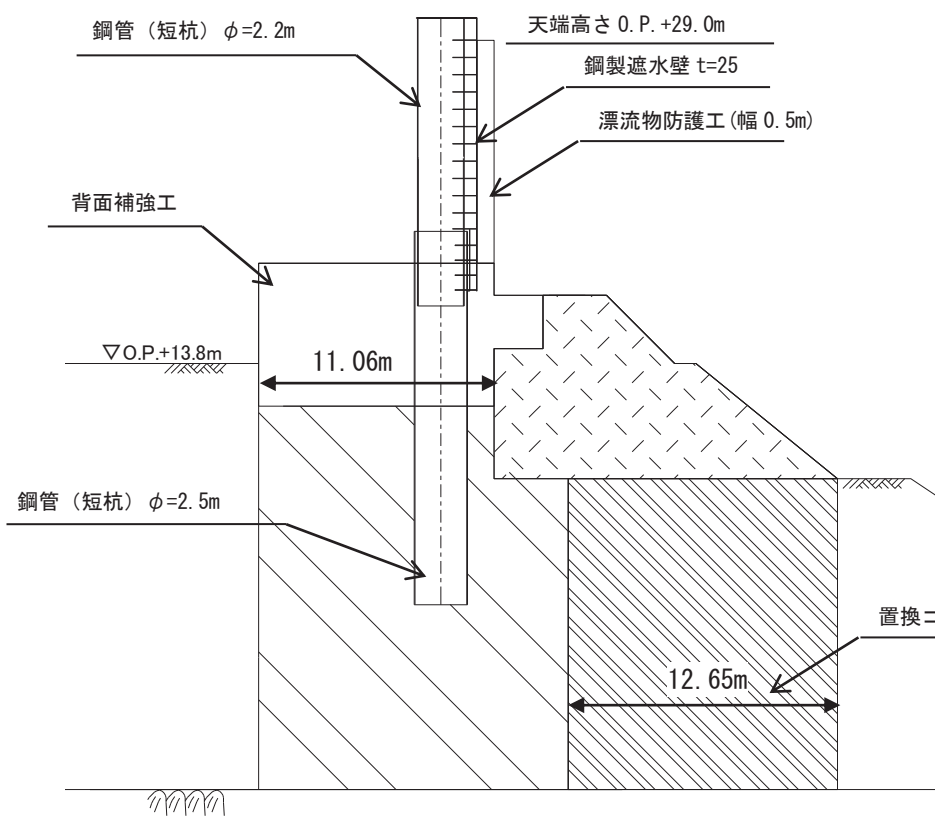
正面図(A-A断面)



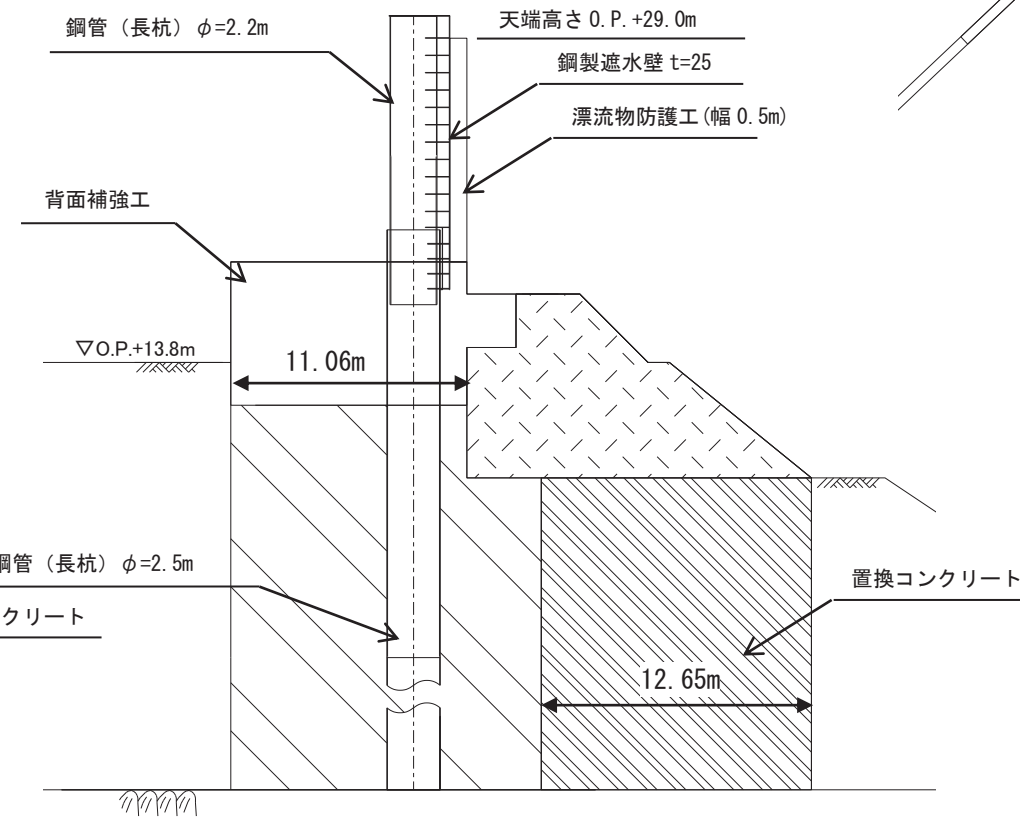
止水ジョイント詳細図



側面図(短杭部) (a-a断面)



側面図(長杭部) (b-b断面)

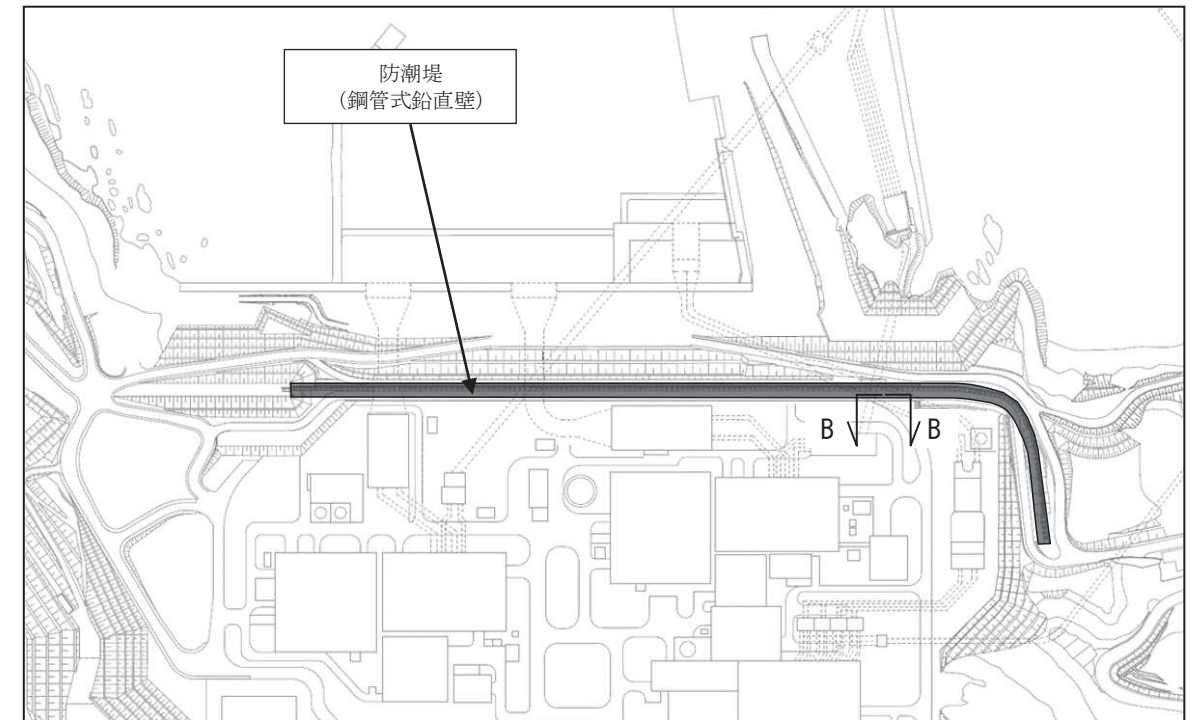
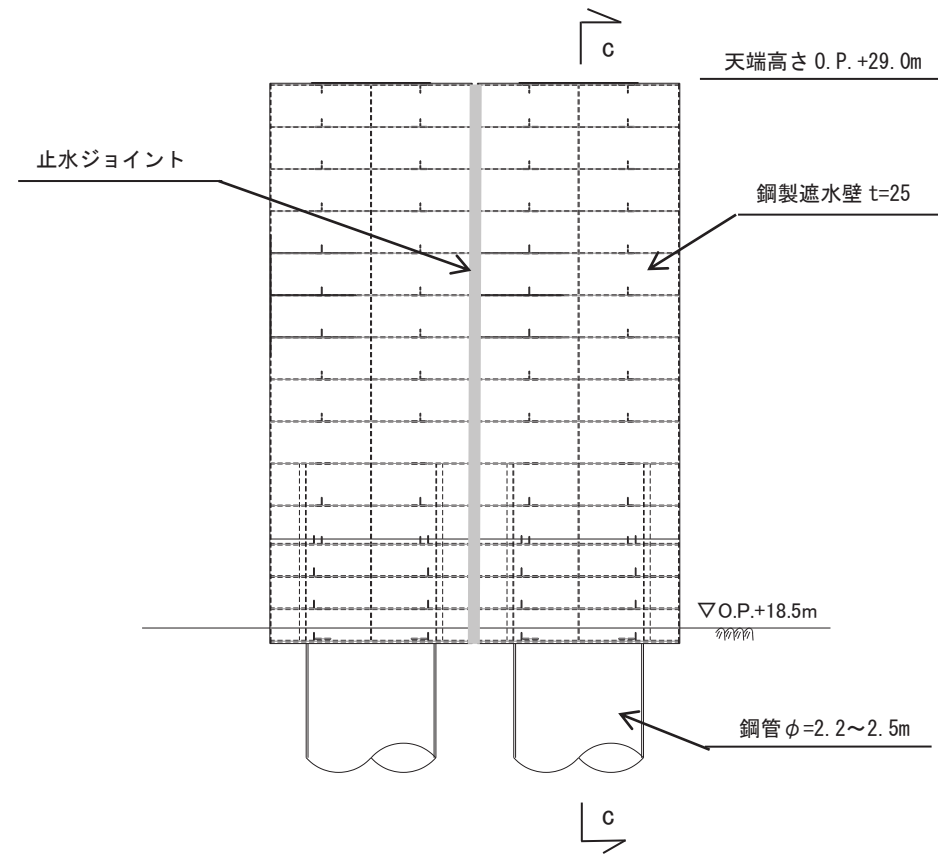


- \*1: 特記なき寸法はmmを示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

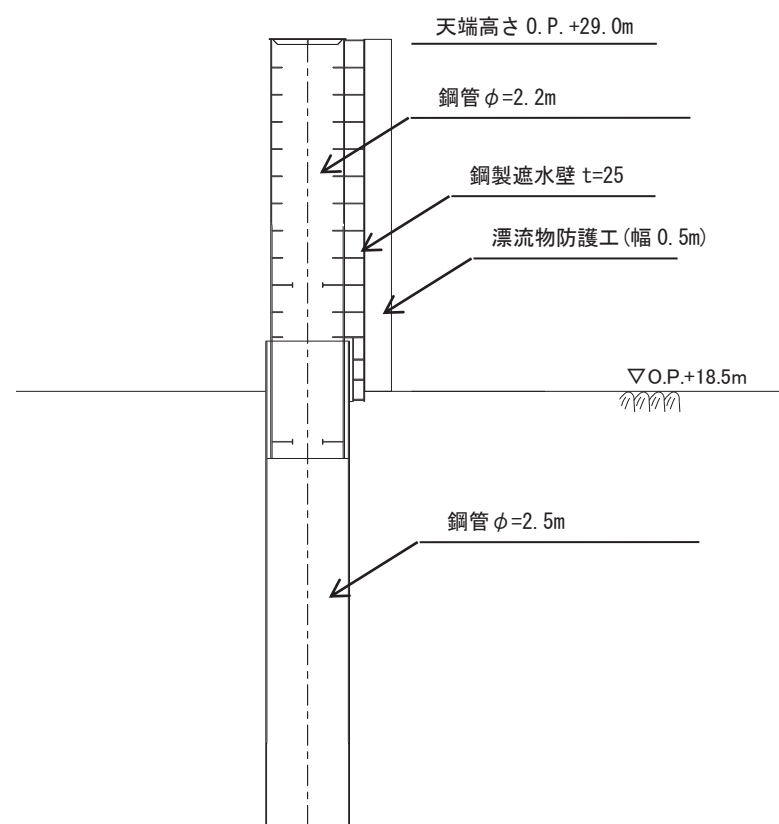
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-1 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	防潮堤(鋼管式鉛直壁)構造図(1/3)
東北電力株式会社	

鋼管式鉛直壁構造図

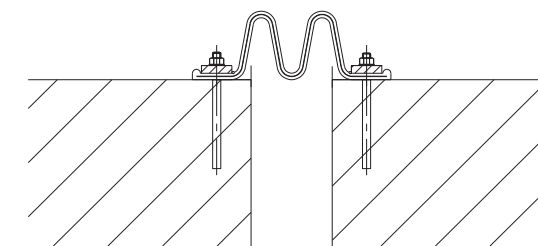
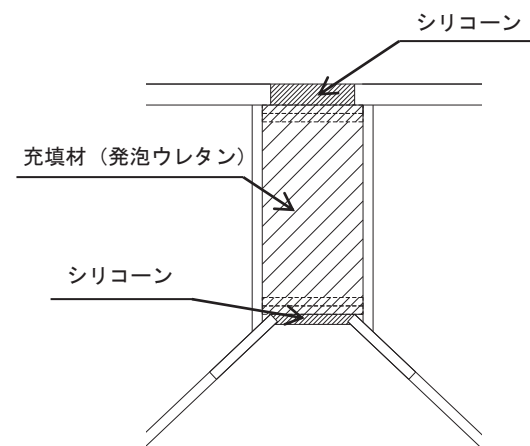
正面図 (B-B 断面)



断面図 (c-c 断面)



止水ジョイント詳細図



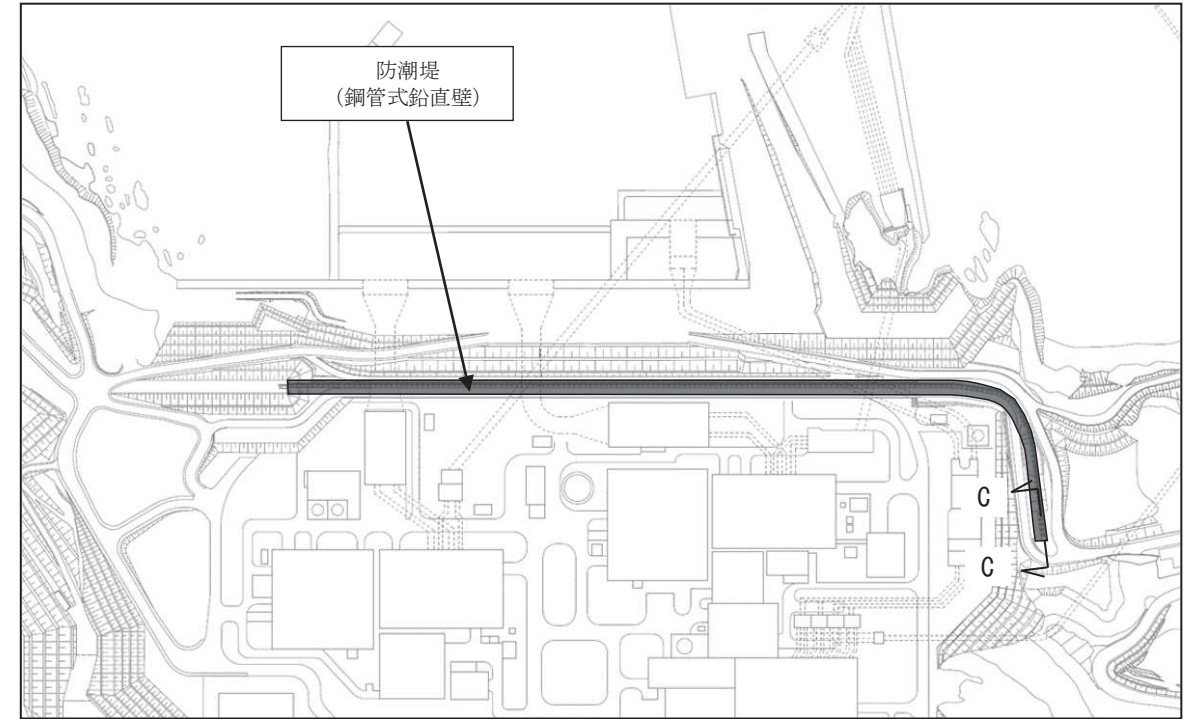
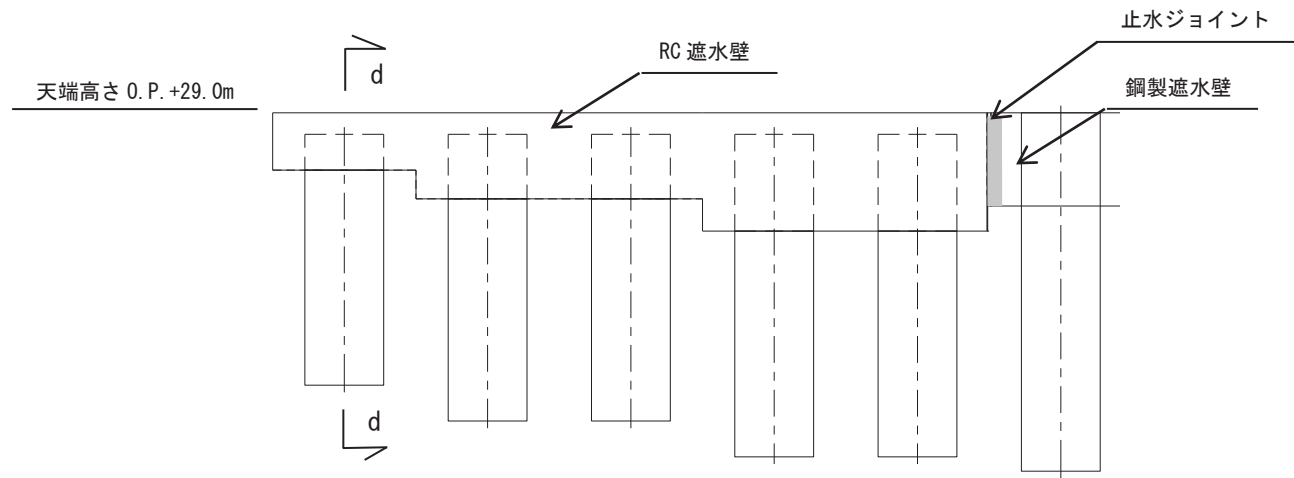
- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-2 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮堤 (鋼管式鉛直壁) 構造図 (2/3)
東北電力株式会社	

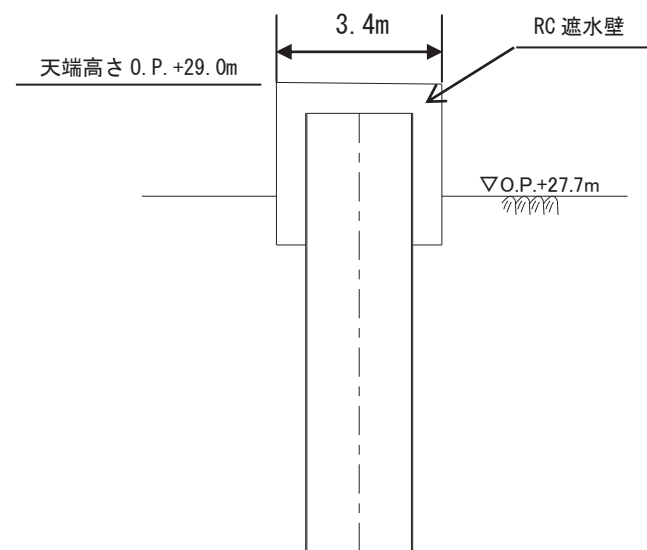
鋼管式鉛直壁構造図

KEY-PLAN

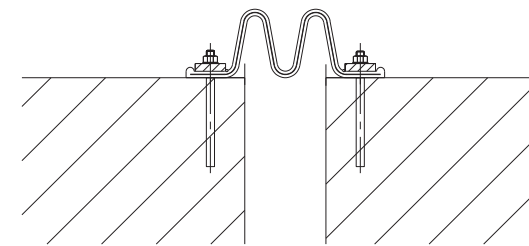
正面図 (C-C 断面)



断面図 (d-d 断面)



止水ジョイント詳細図



\*: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-3 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮堤 (鋼管式鉛直壁) 構造図 (3/3)
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-1～第 9-4-1-1-3 図 防潮堤（鋼管式鉛直壁）構造図 別紙

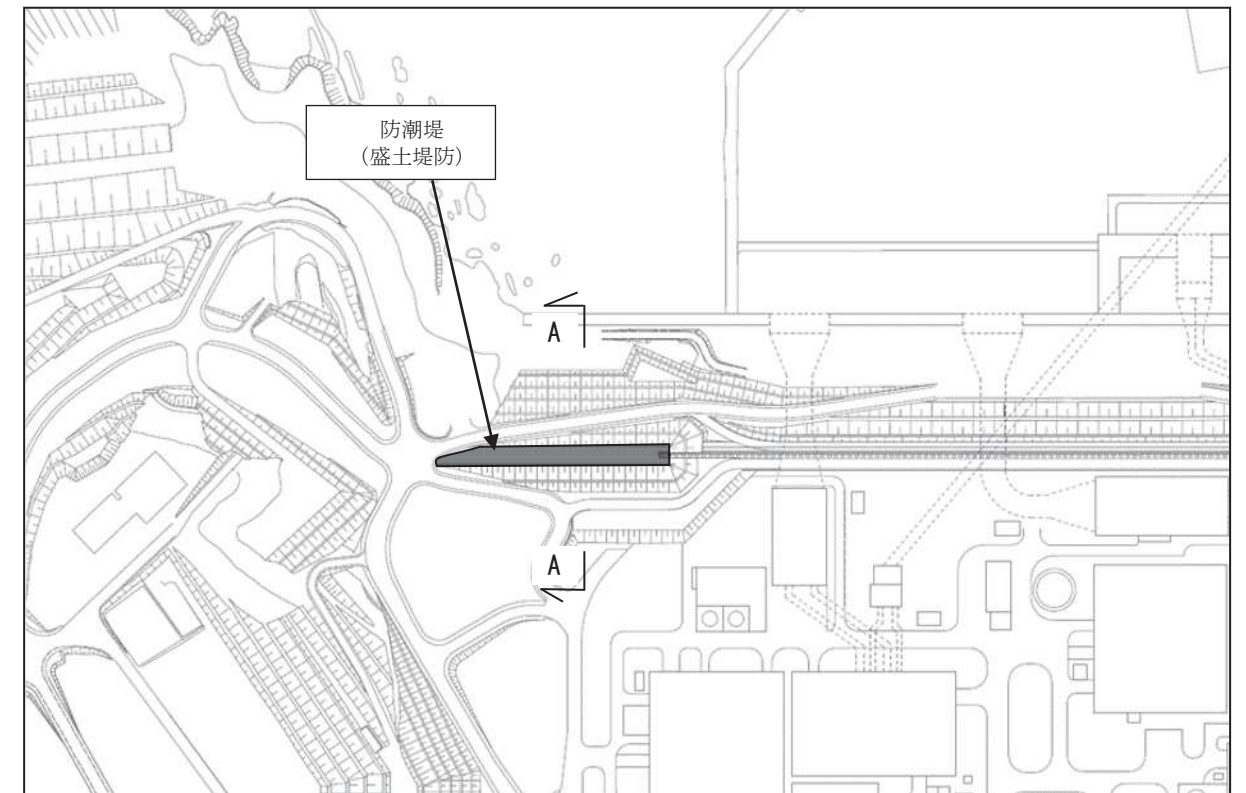
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
天端高さ	0. P. +29. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
鋼製遮水壁	スキンプレート厚さ 25. 0mm	±1mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会
鋼 管	厚 さ 25mm 35mm 40mm	+規定しない 0mm	『JIS A 5525』, 日本規格協会
	直 径 2. 2m 2. 5m	φ 2. 2m : ±11mm φ 2. 5m : ±12. 5mm	同上
背面補強工	幅 11. 06m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
置 換 コンクリート	幅 12. 65m	+規定しない 0mm	同上
RC 遮水壁	幅 3. 4m	+規定しない -30mm	同上
漂流物防護工	幅 0. 5m	±2mm	道路橋示方書 H24 年版
	厚 さ 9～22mm	±0. 9～±1. 1mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会

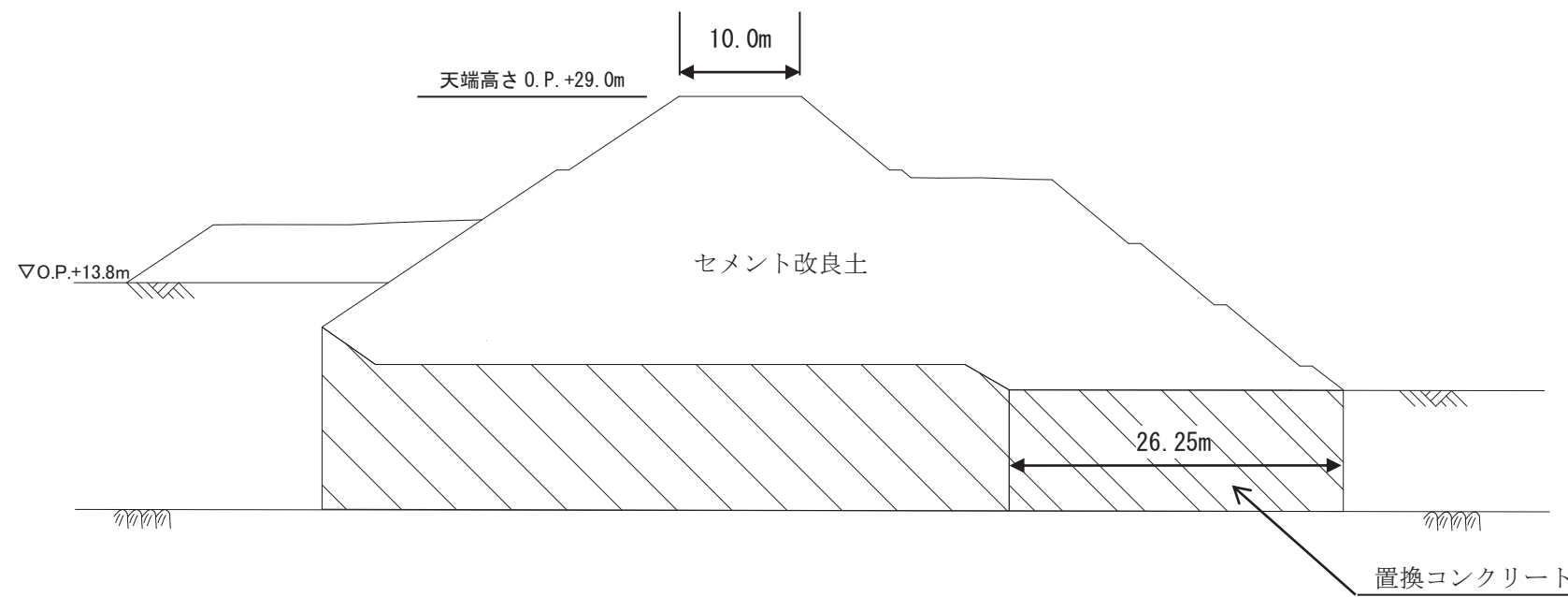
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

盛土堤防構造図

KEY-PLAN



側面図(A-A断面)



\*: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-4 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	防潮堤 (盛土堤防) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-4 図 防潮堤（盛土堤防）構造図 別紙

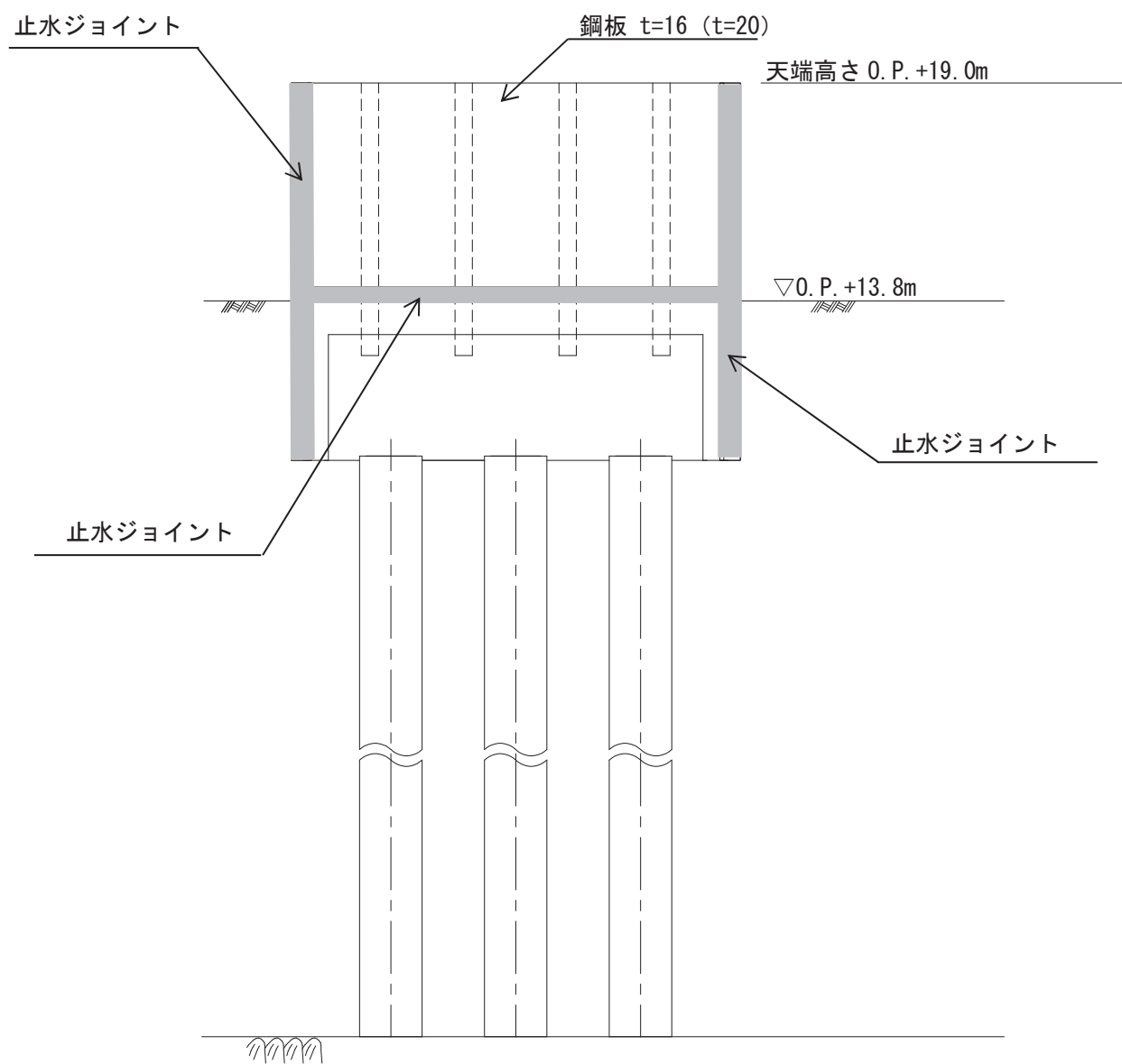
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
天端高さ	0. P. +29. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
天 端 幅	10. 0m	+規定しない -100mm	同上
置 換 コンクリート	幅 26. 25m	+規定しない 0mm	同上

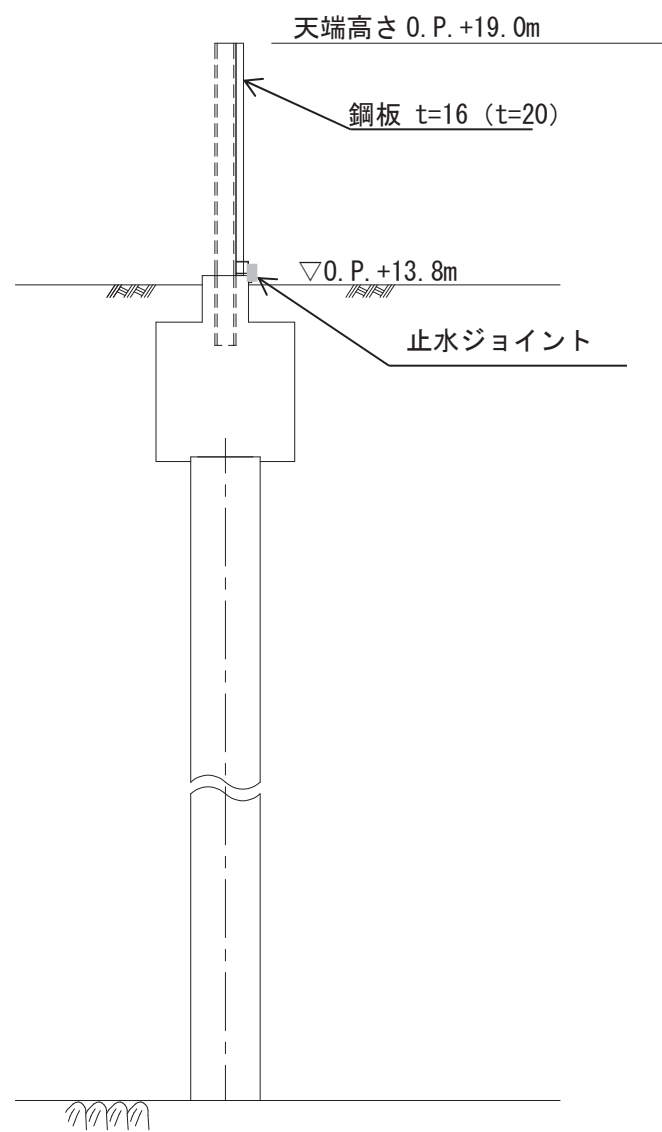
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



鋼製遮水壁 (鋼板)

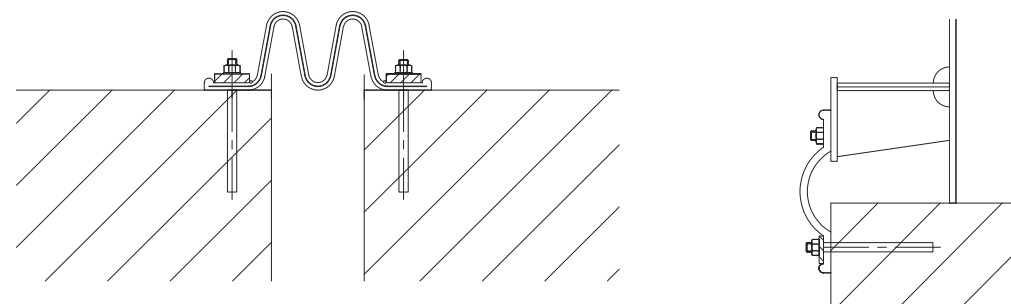
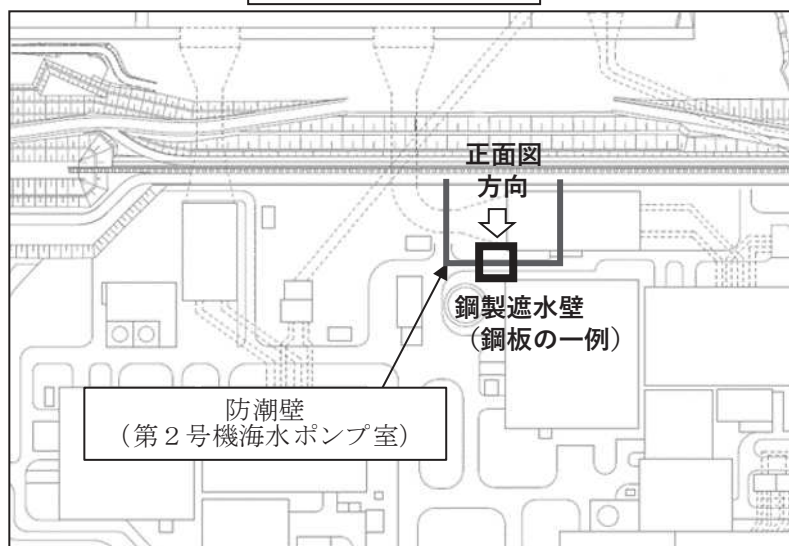


正面図



断面図

KEY-PLAN

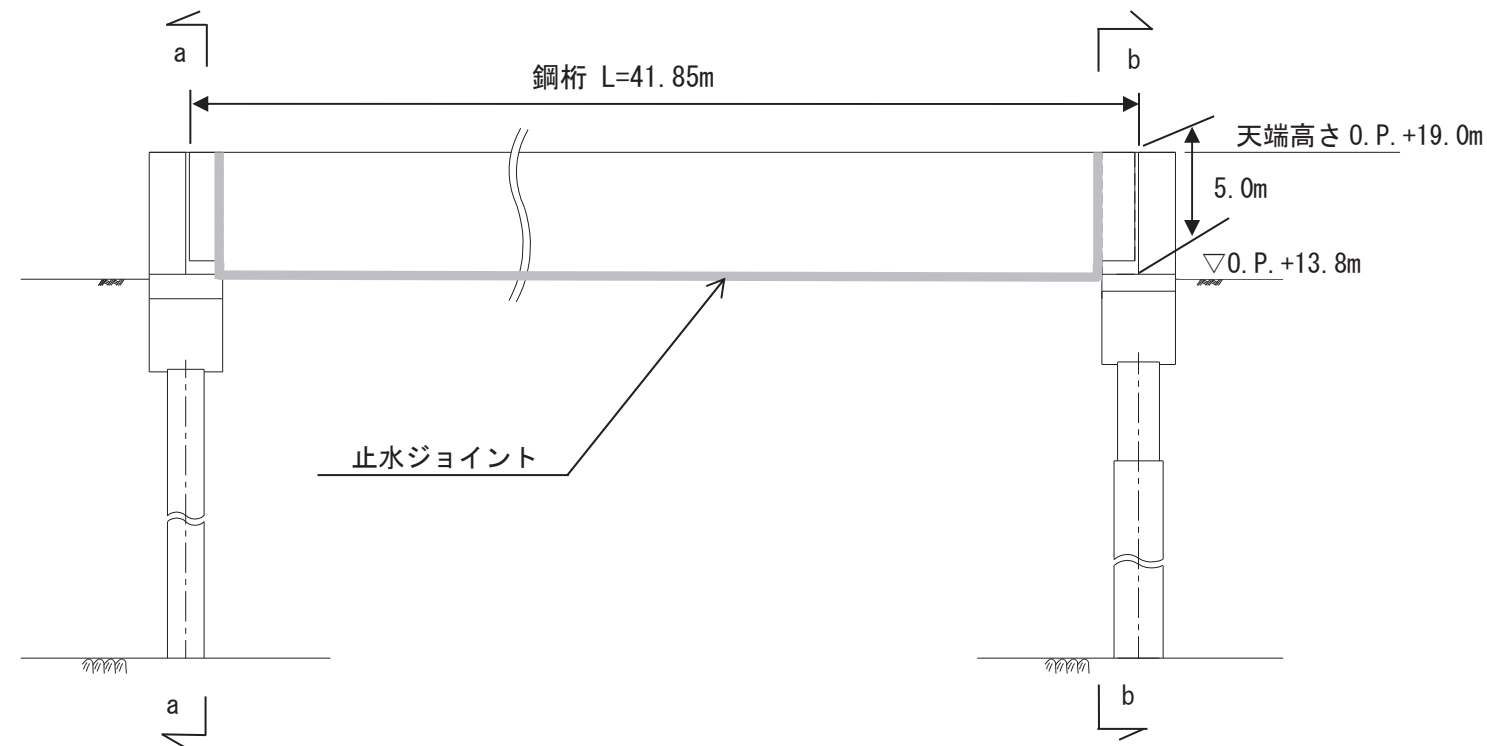


止水ジョイント詳細図

- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

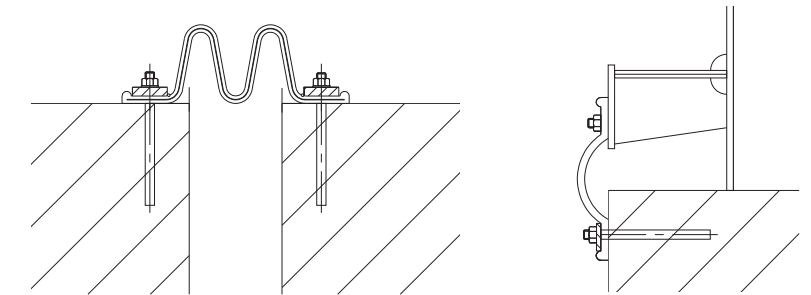
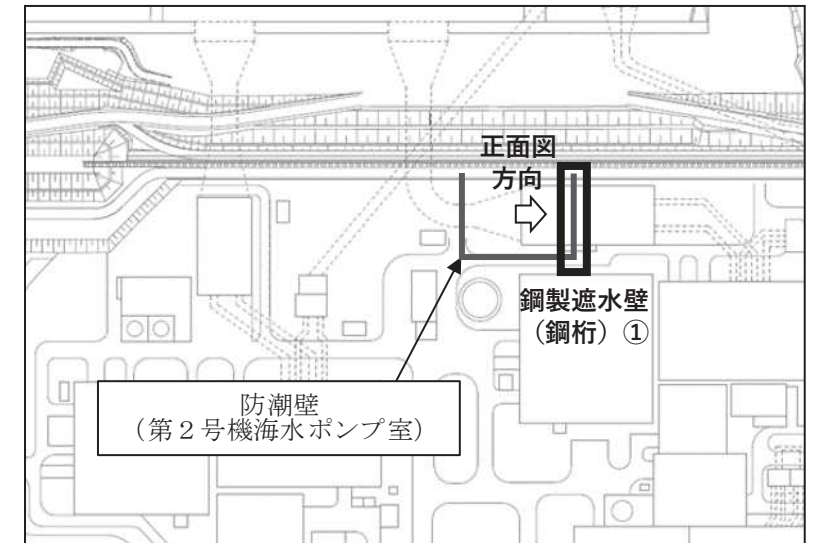
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-5 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機海水ポンプ室) 構造図 (1/4)
東北電力株式会社	

鋼製遮水壁（鋼桁）①

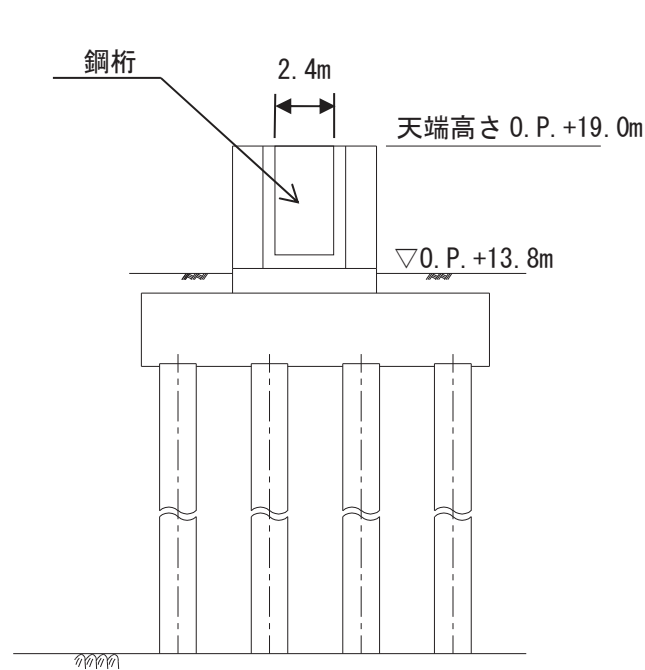


正面図

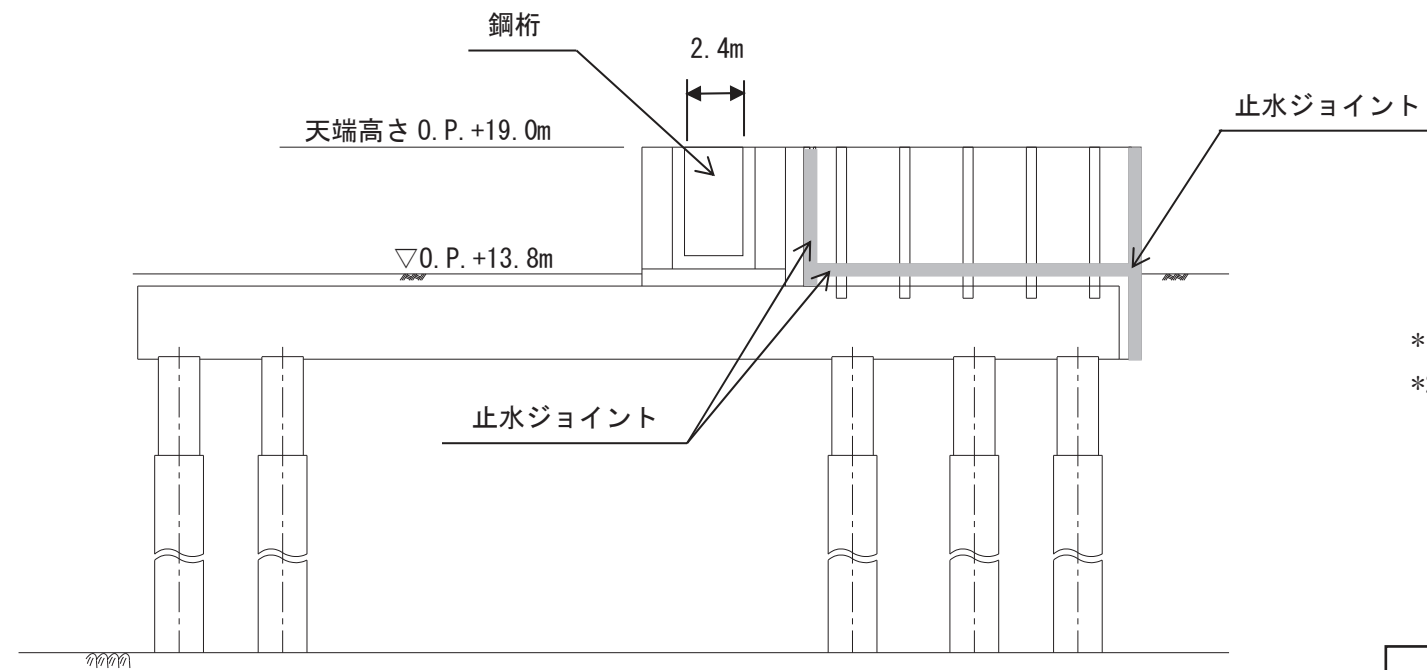
KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図



断面図  
(a-a 断面)



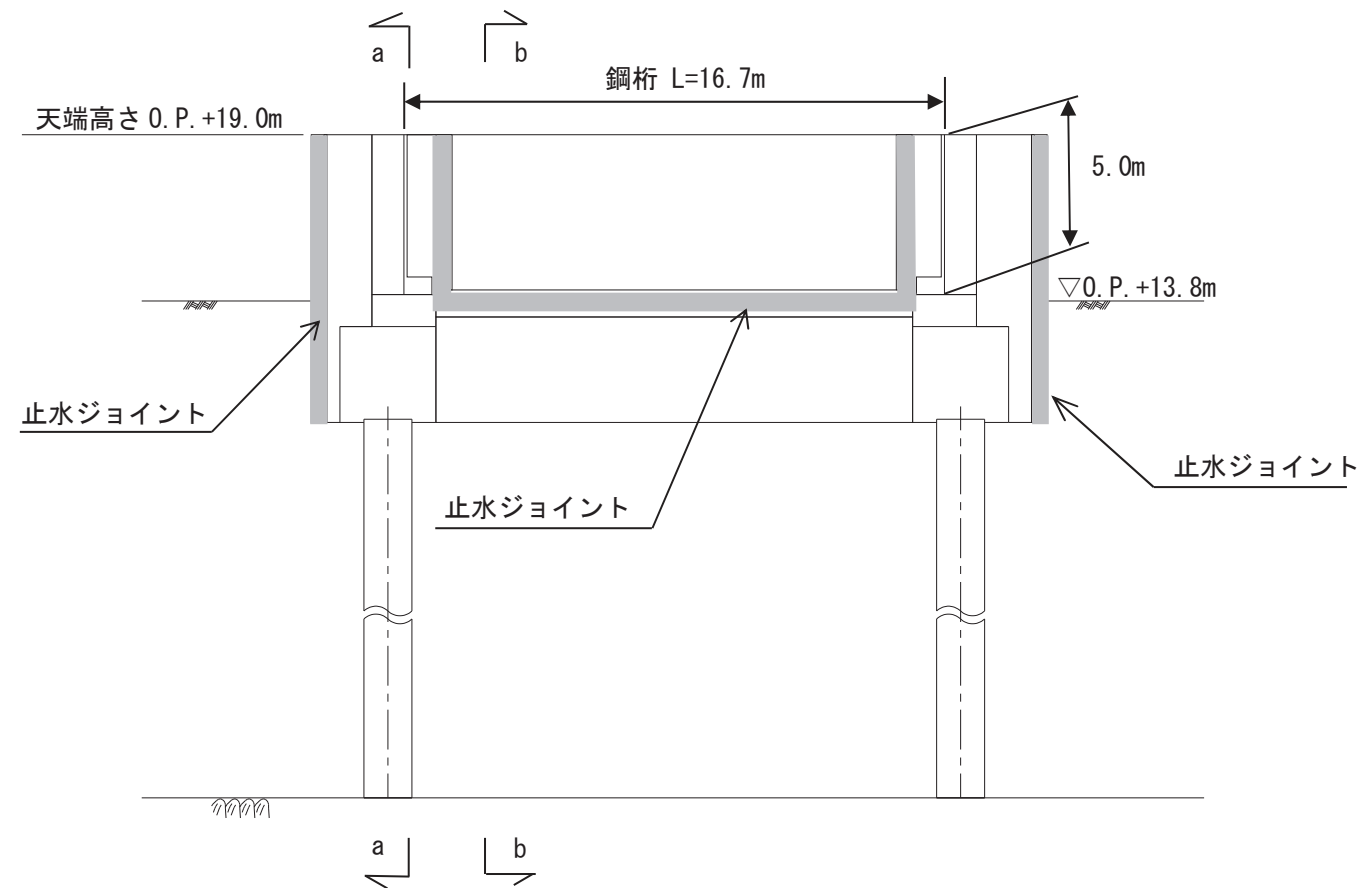
断面図  
(b-b 断面)

- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

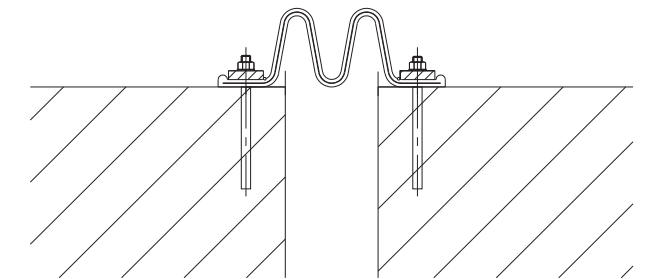
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-6 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 2 号機海水ポンプ室） 構造図（2 / 4）
東北電力株式会社	



鋼製遮水壁（鋼桁）②

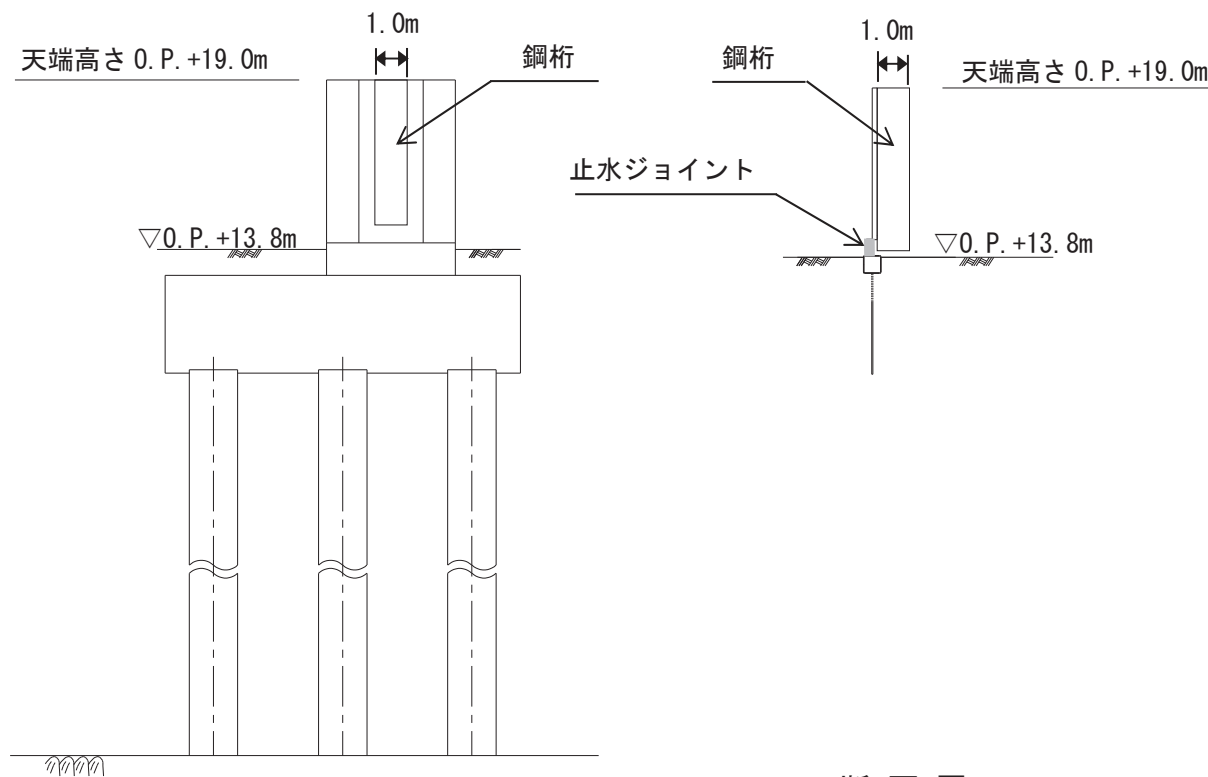
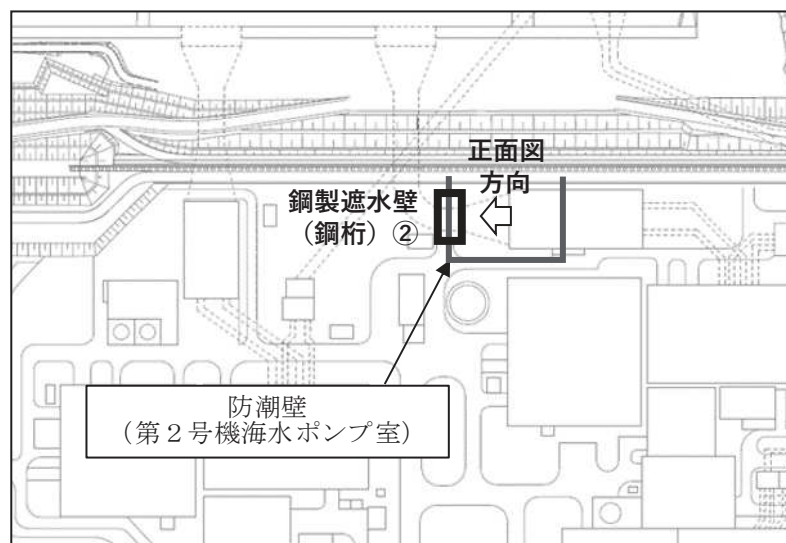


正面図



止水ジョイント詳細図

KEY-PLAN



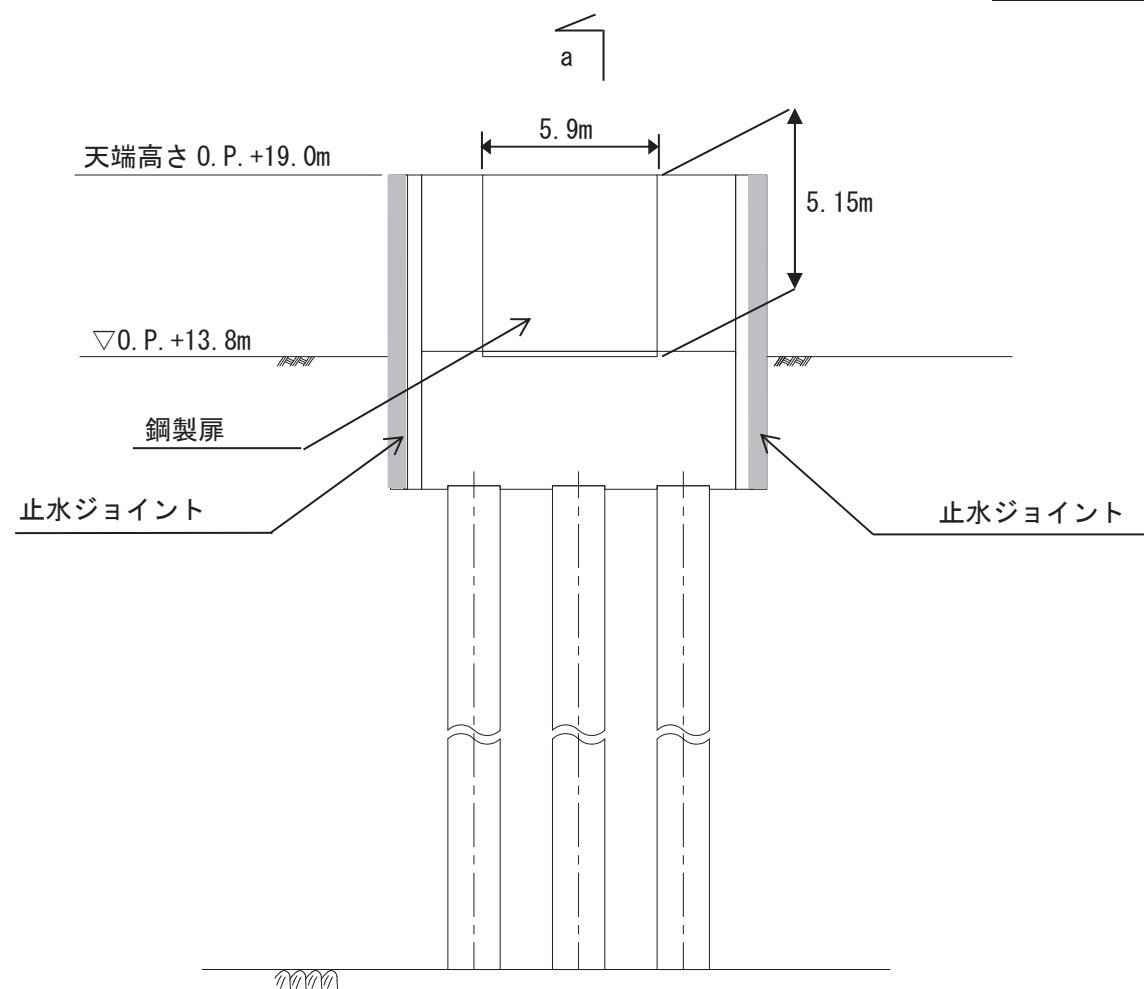
断面図  
(a-a 断面)

断面図  
(b-b 断面)

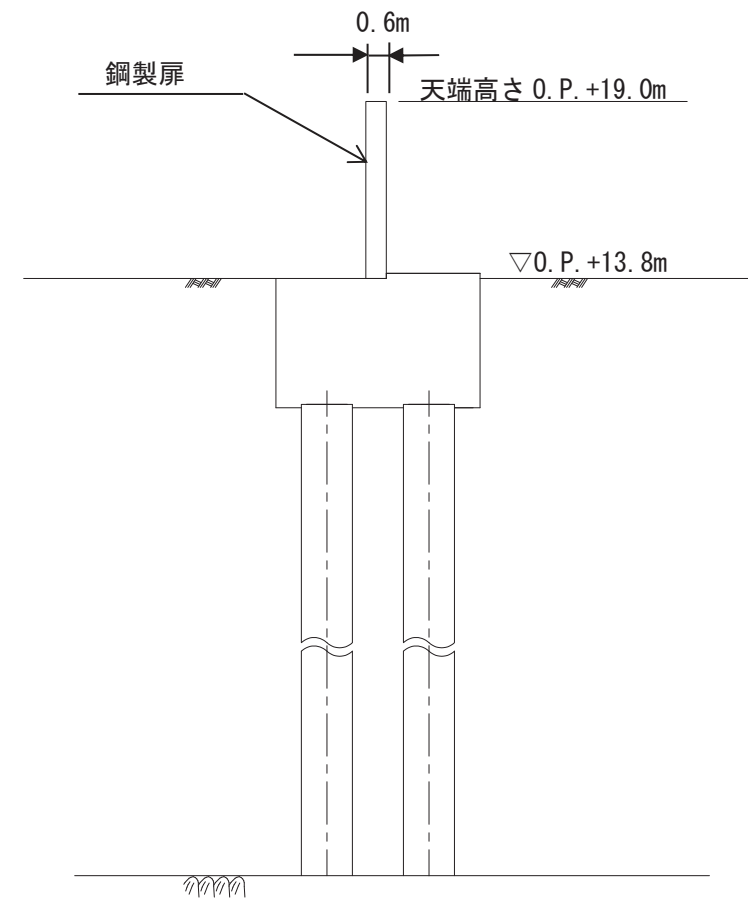
- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-7 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 2 号機海水ポンプ室） 構造図（3/4）
東北電力株式会社	

鋼製扉

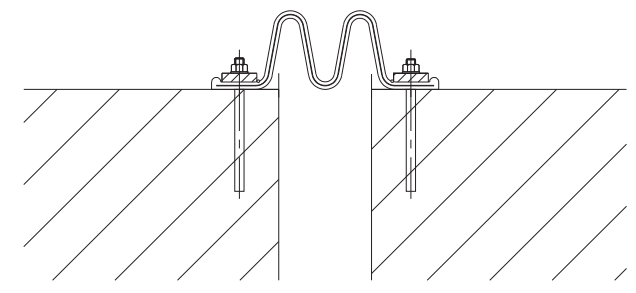
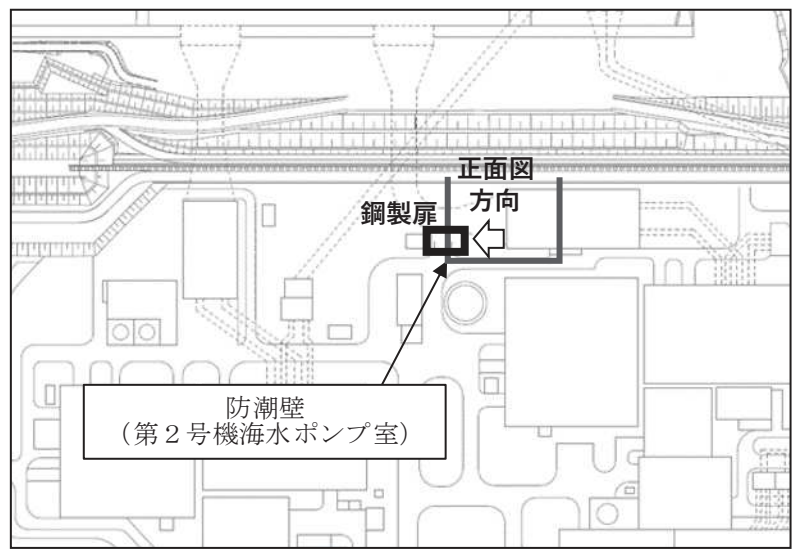


正面図



断面図  
(a-a 断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図

\*1: 特記なき寸法は公称値を示す。  
 \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
 地方太平洋沖地震による地殻変動に  
 伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤  
 沈下が発生していることを考慮した  
 設計とし、地盤沈下量を考慮した高  
 さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-8 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機海水ポンプ室) 構造図 (4 / 4)
東北電力株式会社	

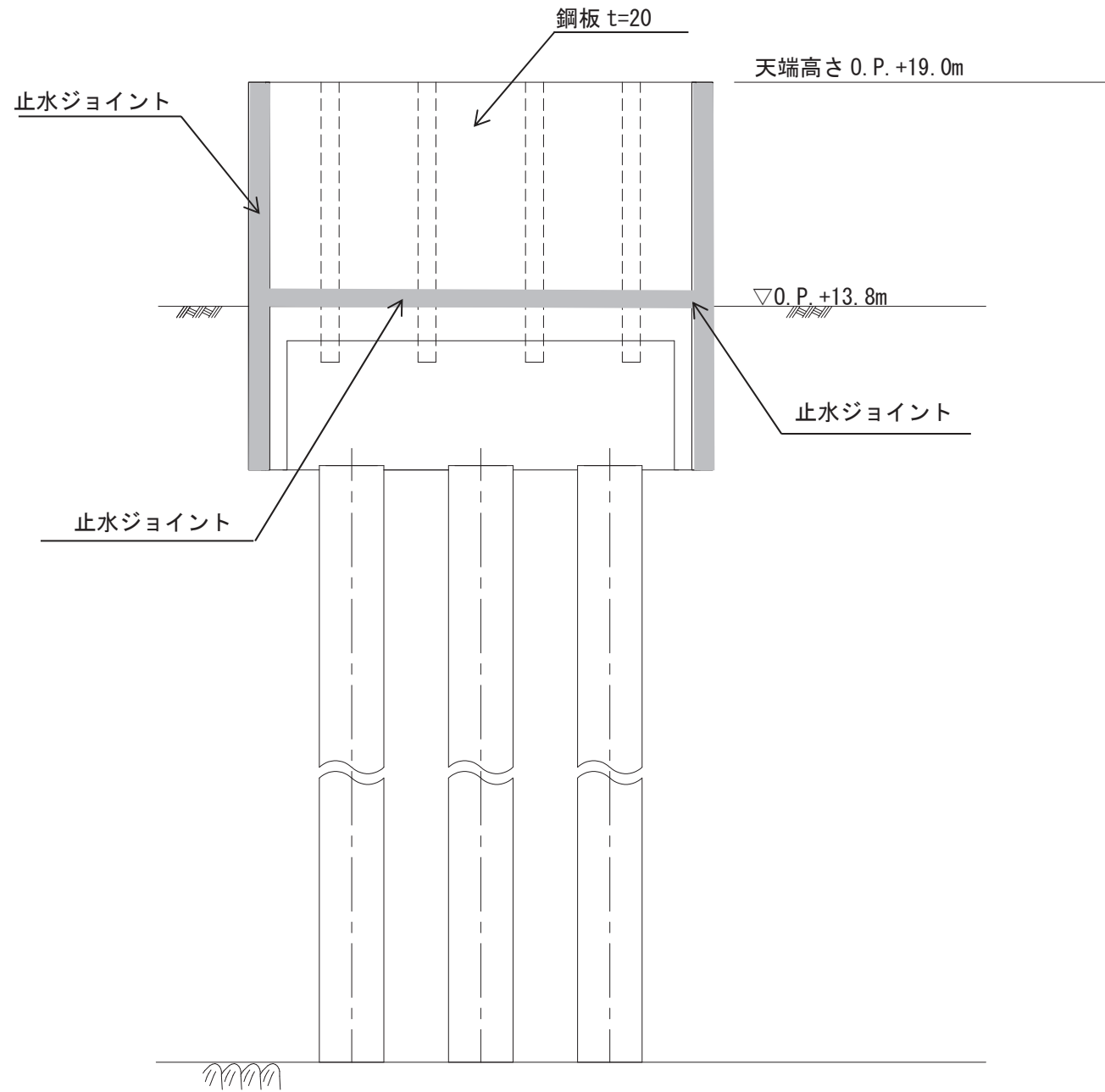
第 9-4-1-1-5～第 9-4-1-1-8 図 防潮壁（第 2 号機海水ポンプ室）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

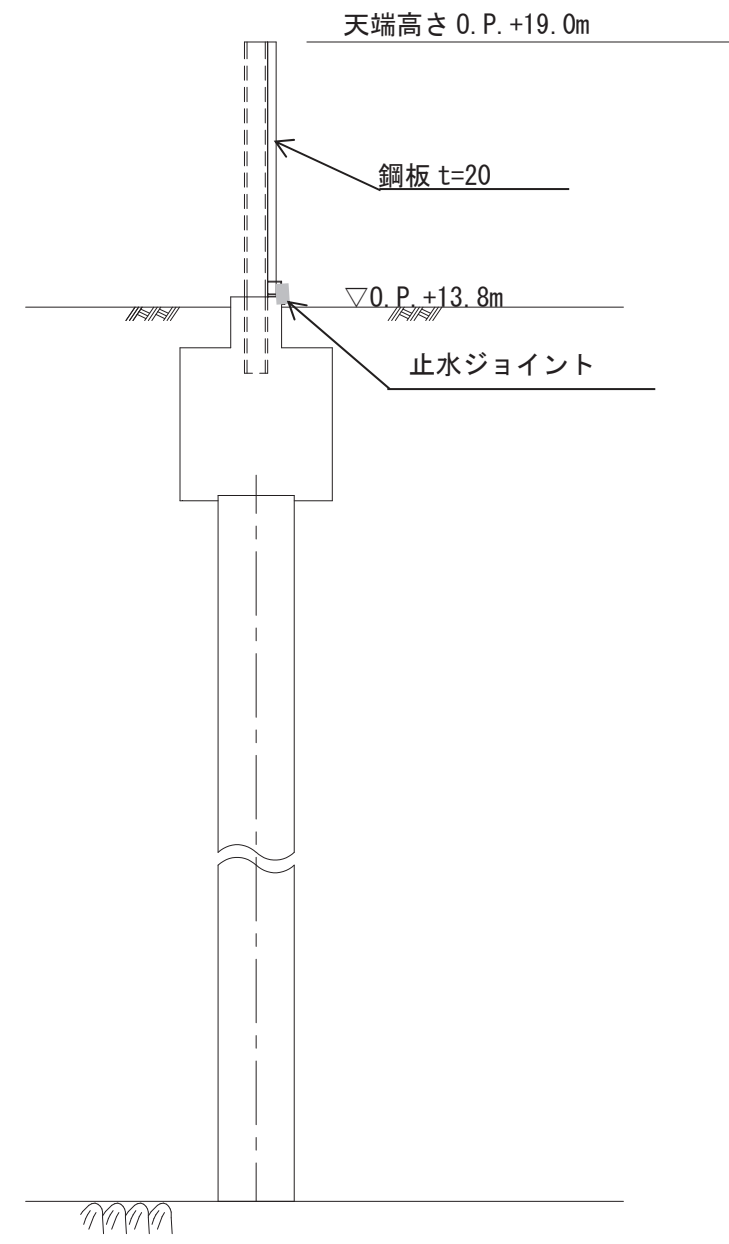
主要寸法			許容範囲	根 拠
天端高さ	鋼製部	O. P. +19. 0m	+規定しない 0 mm	土木工事共通仕様書による管理基準 同上
	RC 部		+30 mm 0 mm	
鋼製遮水壁 (鋼板)	厚さ	16. 0mm 20. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	『JIS G 3193』，日本規格協会
鋼製遮水壁 (鋼桁) ①	幅	2. 4m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	たて	5. 0m	±6mm	
	横	41. 85m	±20mm	
鋼製遮水壁 (鋼桁) ②	幅	1. 0m	±3mm	同上
	たて	5. 0m	±6mm	
	横	16. 7m	±10mm	
鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	同上
	たて	5. 15m	±6mm	
	横	5. 9m	±6mm	

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

鋼製遮水壁（鋼板）①

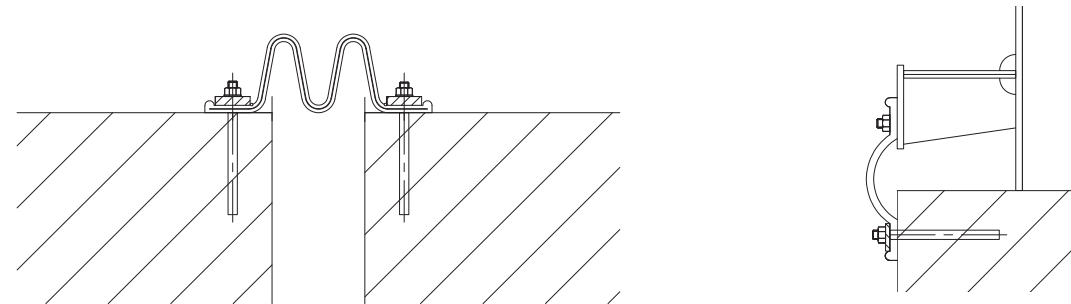
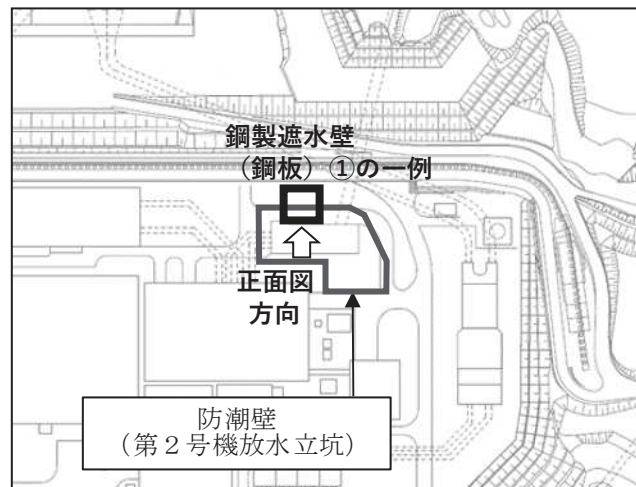


正面図



断面図

KEY-PLAN

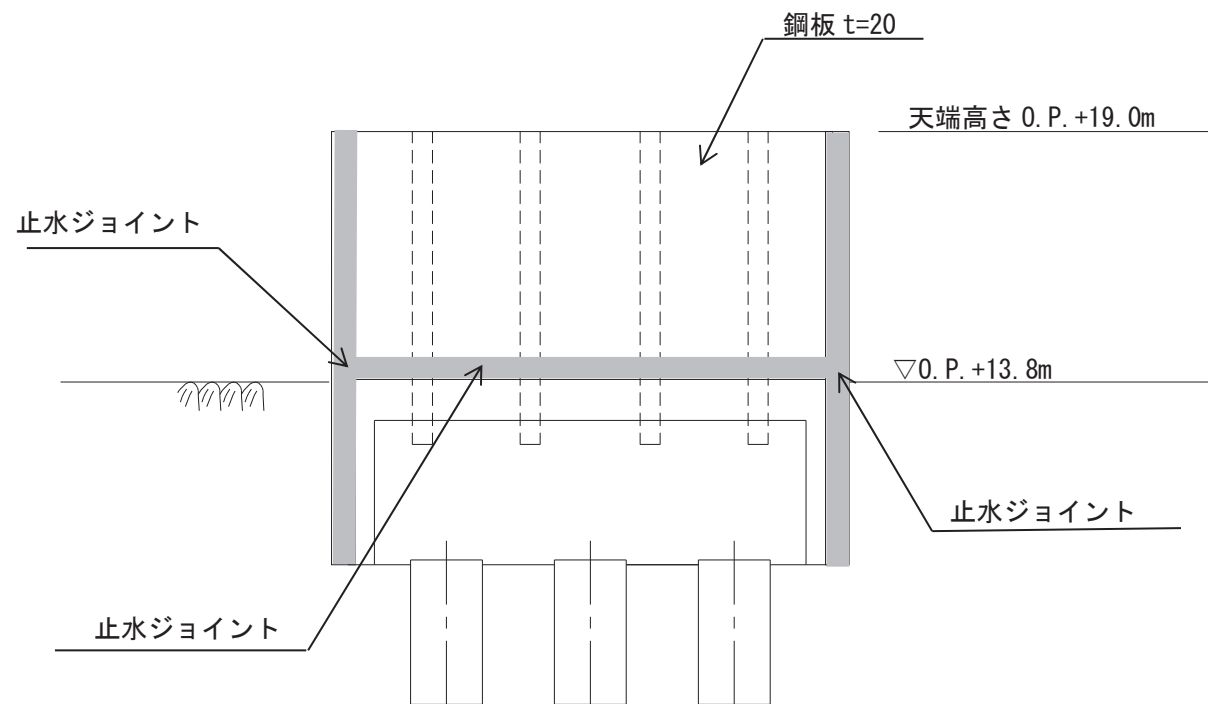


止水ジョイント詳細図

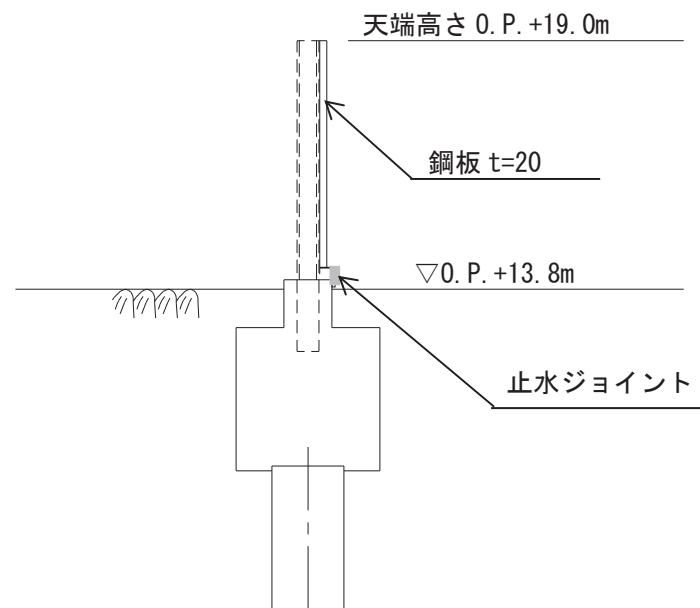
- \*1: 特記なき寸法はmmを示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-9 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	防潮壁（第2号機放水立坑） 構造図（1/5）
東北電力株式会社	

鋼製遮水壁（鋼板）②

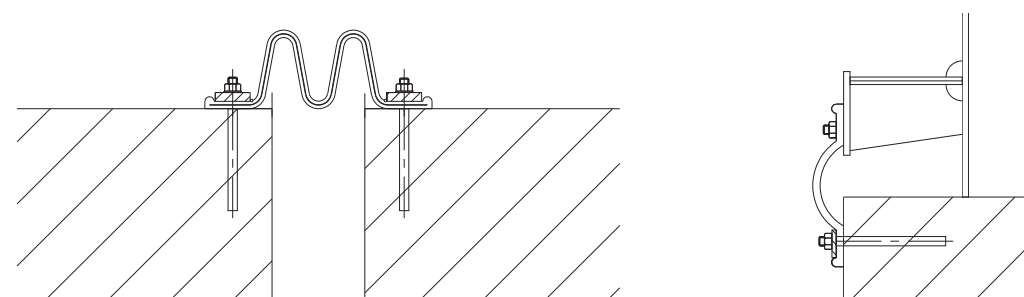
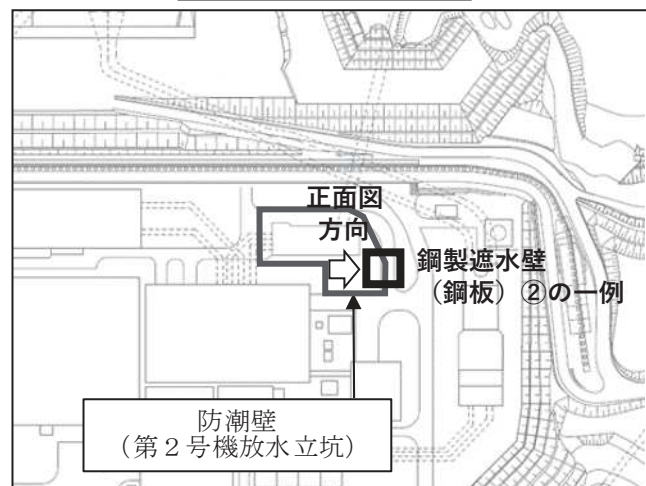


正面図



断面図

KEY-PLAN

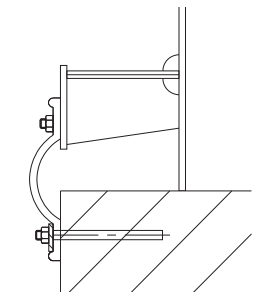
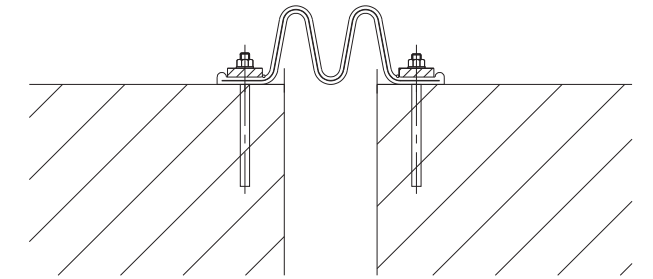
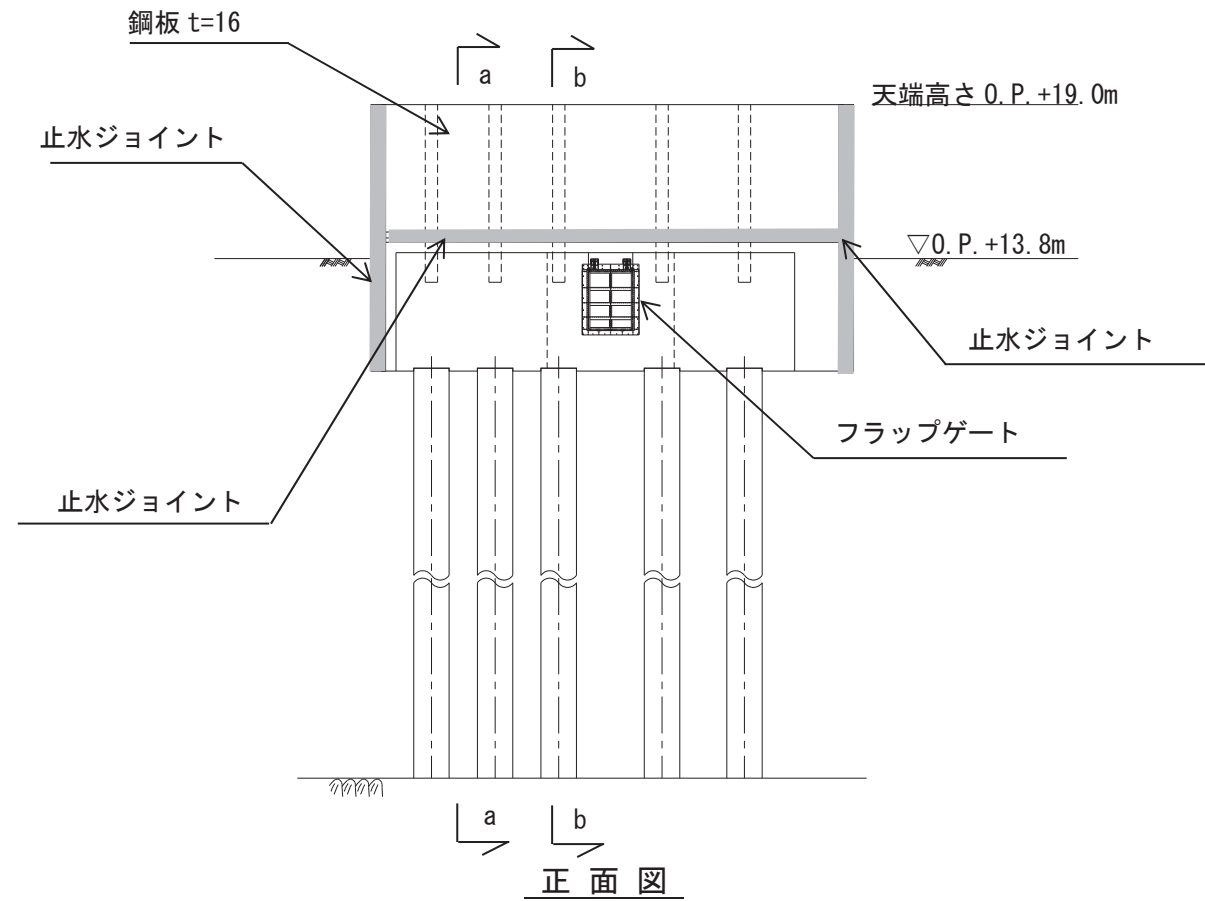


止水ジョイント詳細図

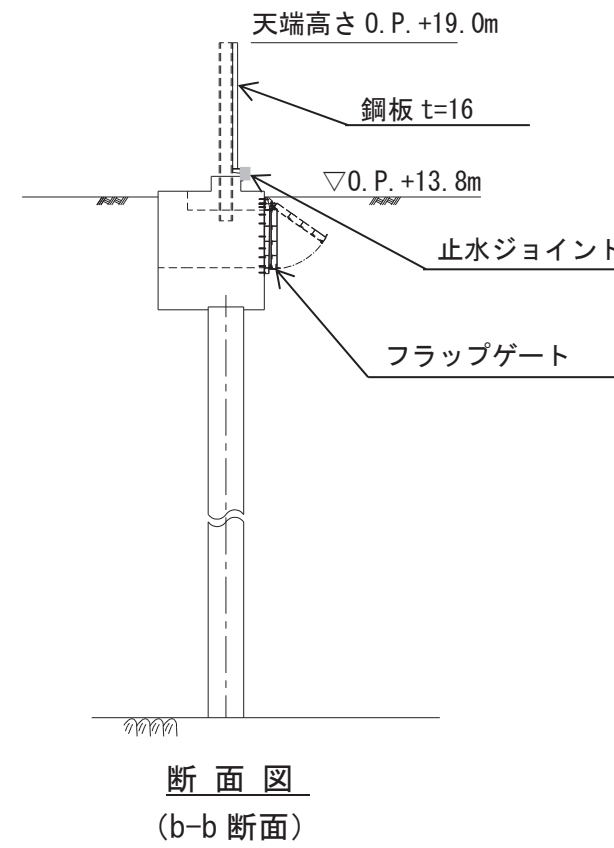
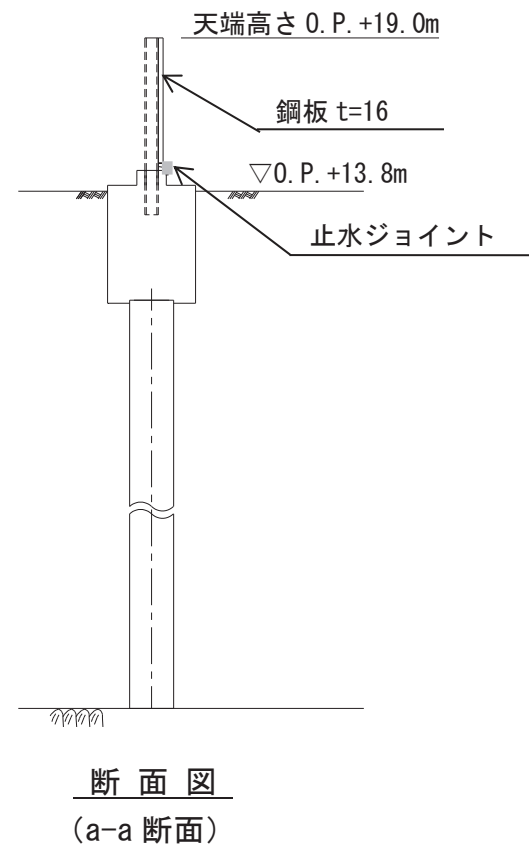
- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-10 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 2 号機放水立坑） 構造図（2 / 5）
東北電力株式会社	

鋼製遮水壁（鋼板）③

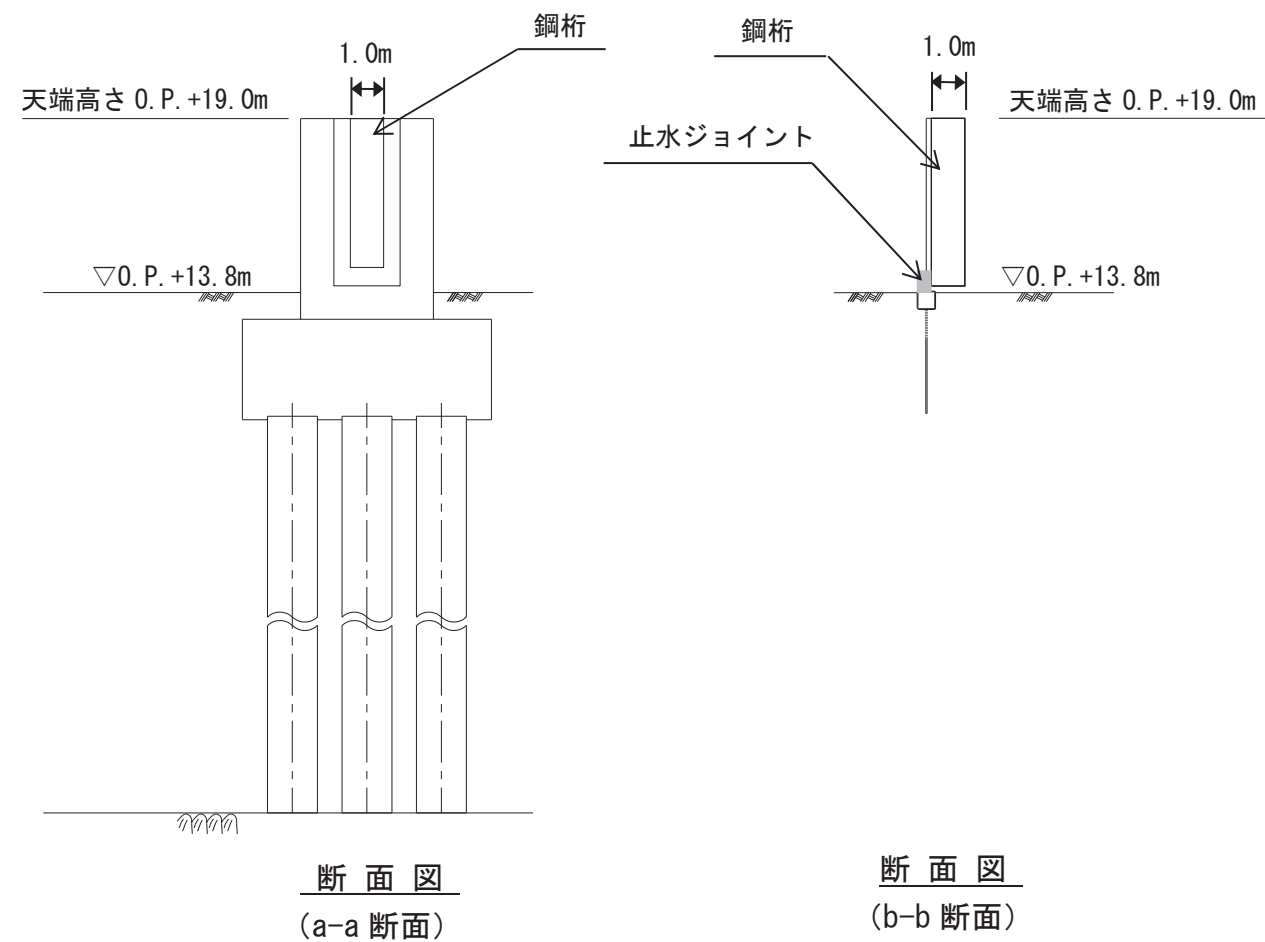
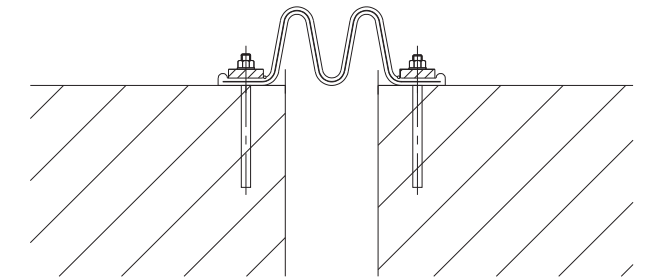
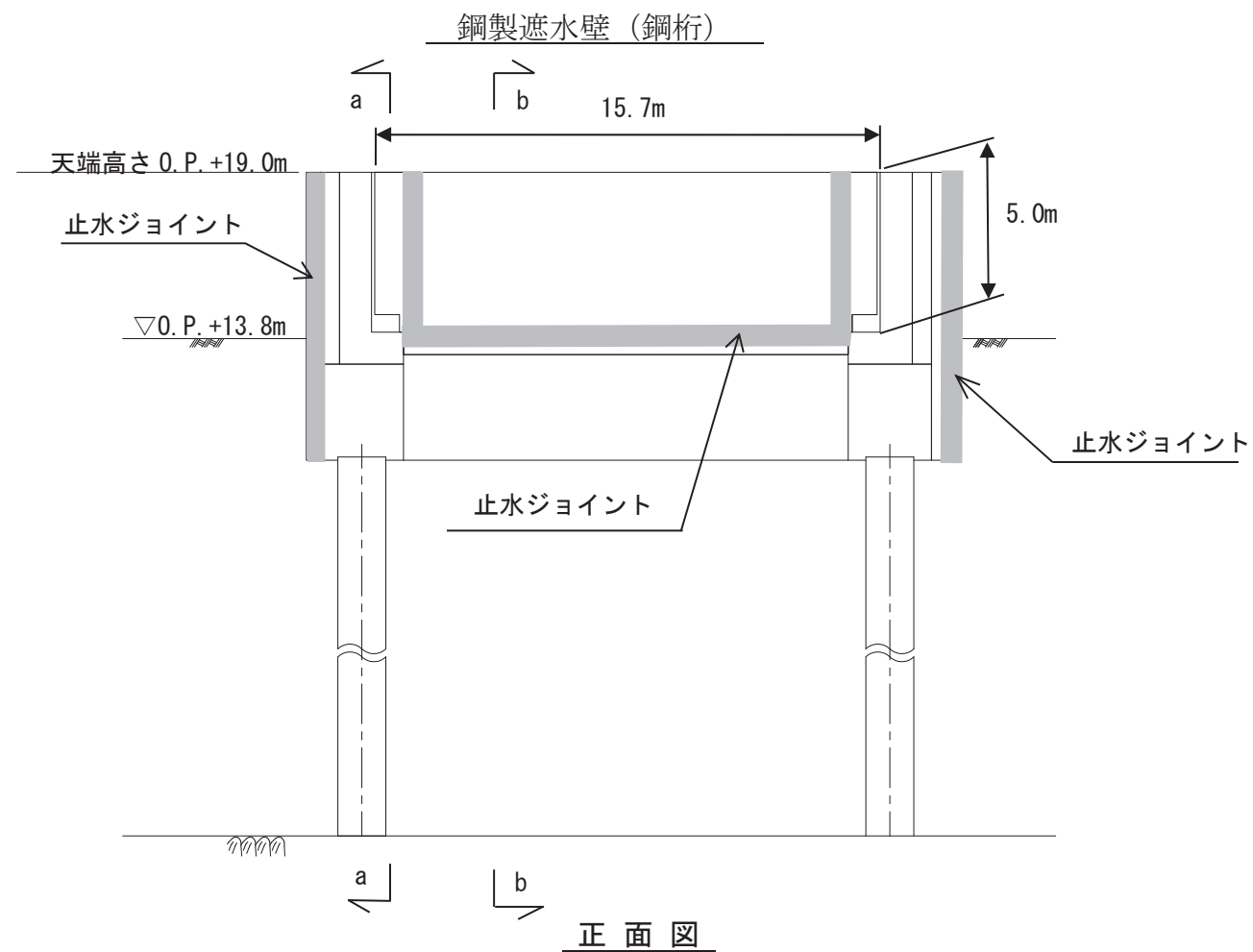


止水ジョイント詳細図



- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-11 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 2 号機放水立坑） 構造図（3/5）
東北電力株式会社	



KEY-PLAN

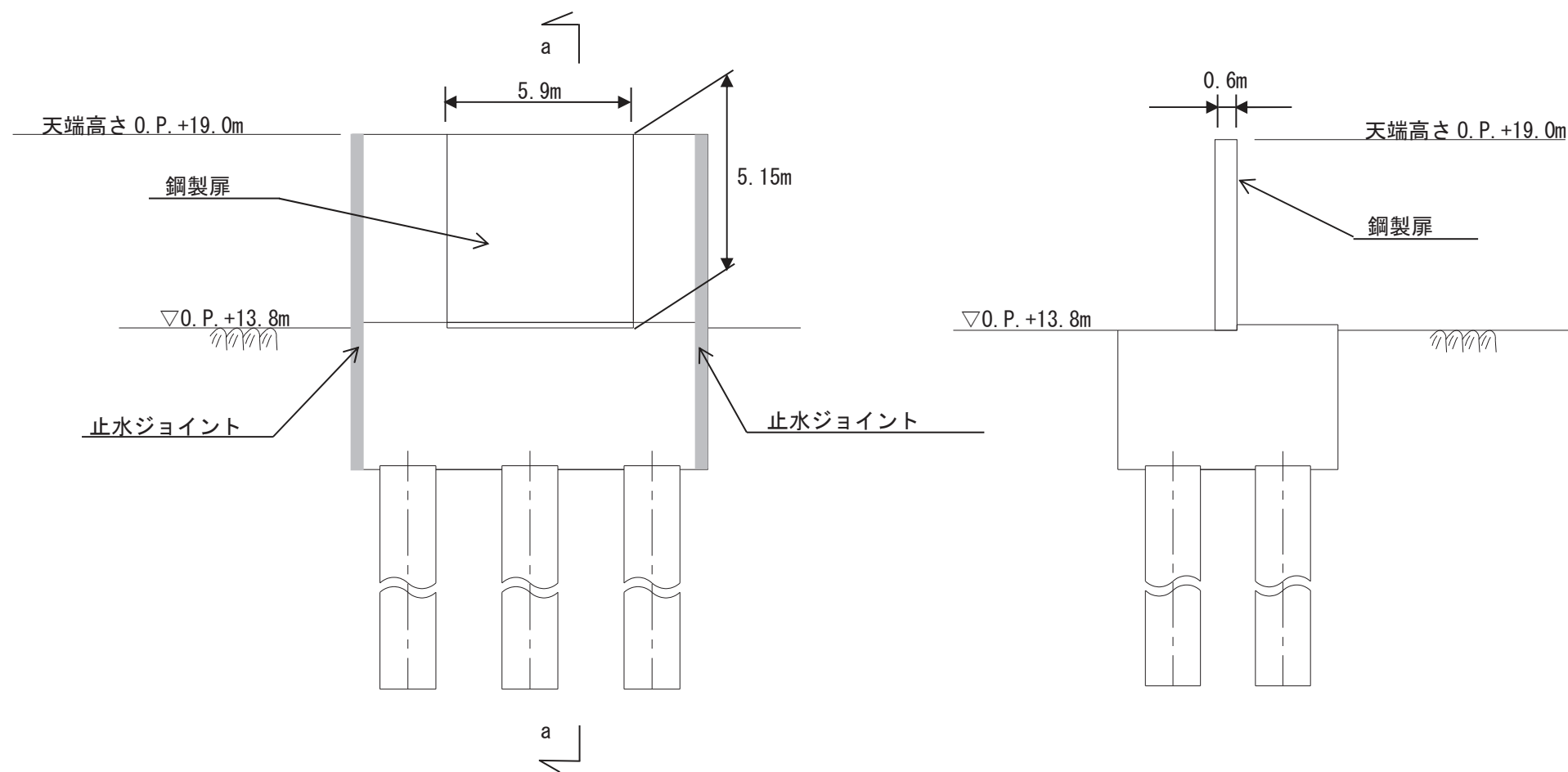


\*1: 特記なき寸法は公称値を示す。  
 \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-12 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機放水立坑) 構造図 (4 / 5)
東北電力株式会社	



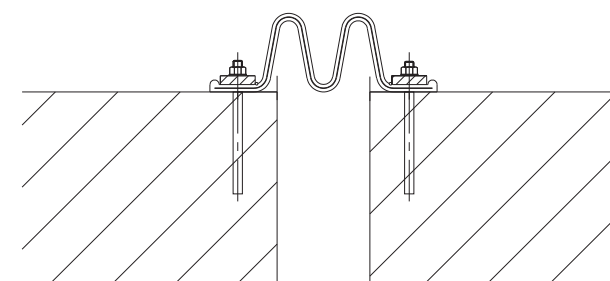
鋼製扉



正面図

断面図  
(a-a断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図

- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-13 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 2 号機放水立坑) 構造図 (5/5)
東北電力株式会社	



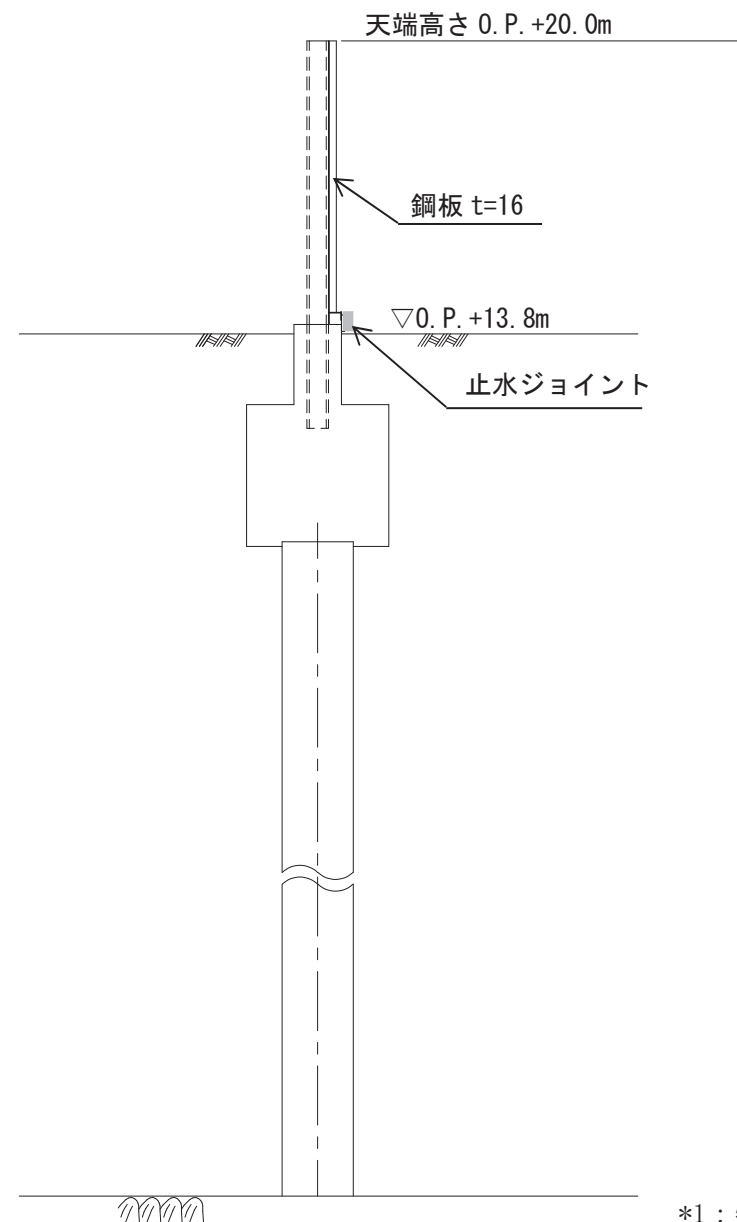
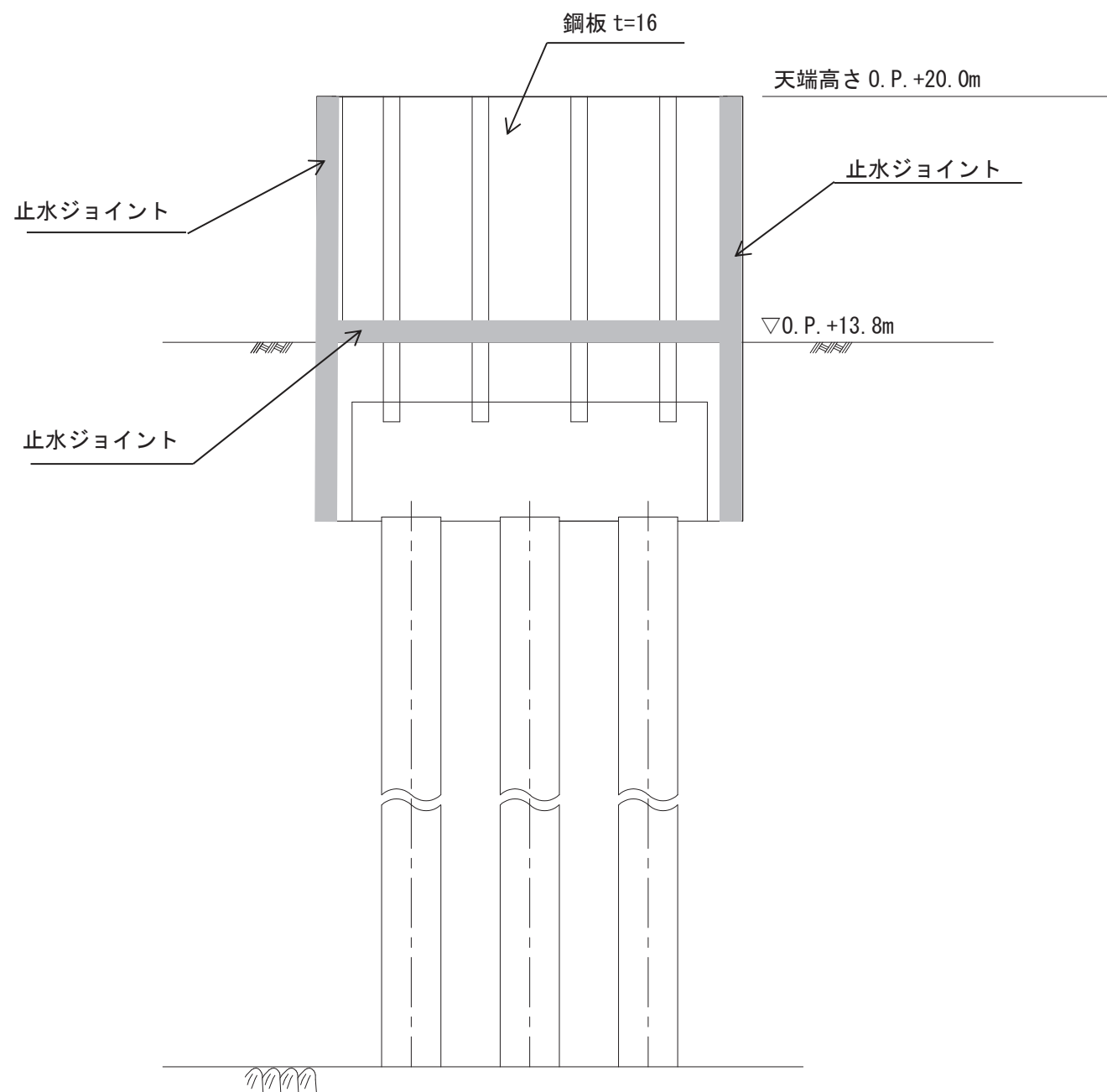
第 9-4-1-1-9～第 9-4-1-1-13 図 防潮壁（第 2 号機放水立坑）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

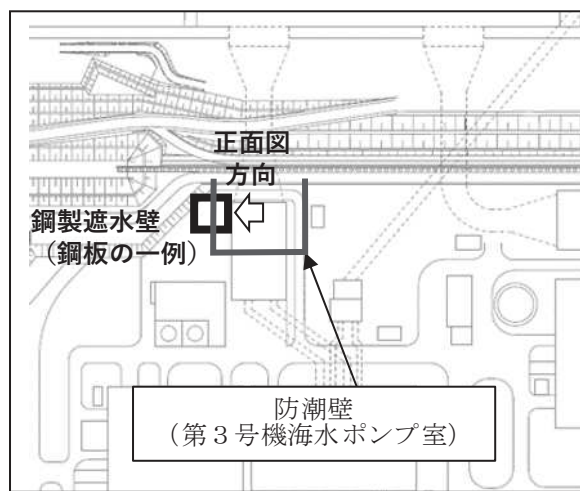
主要寸法			許容範囲	根 拠
天端高さ	鋼製部	O. P. +19. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準
	RC 部		+30mm 0mm	
鋼製遮水壁 (鋼板) ①	厚さ	20. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会
鋼製遮水壁 (鋼板) ②	厚さ	20. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼板) ③	厚さ	16. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	同上
鋼製遮水壁 (鋼桁)	幅	1. 0m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』, 水門鉄管協会
	たて	5. 0m	±6mm	
	横	15. 7m	±10mm	
鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	同上
	たて	5. 15m	±6mm	
	横	5. 9m	±6mm	

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

鋼製遮水壁（鋼板）

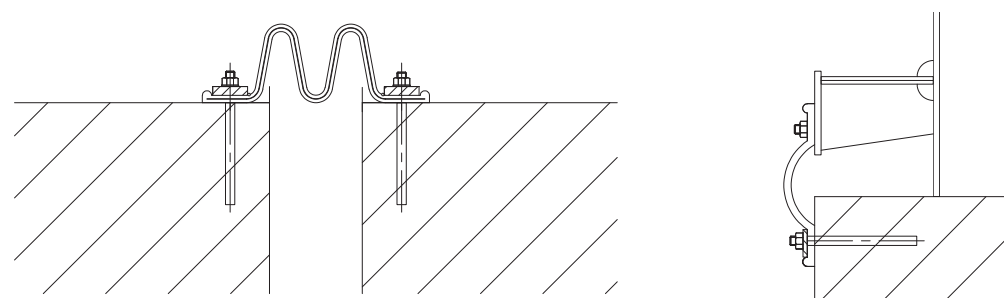


KEY-PLAN



正面図

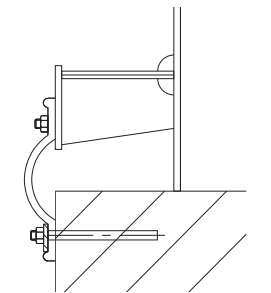
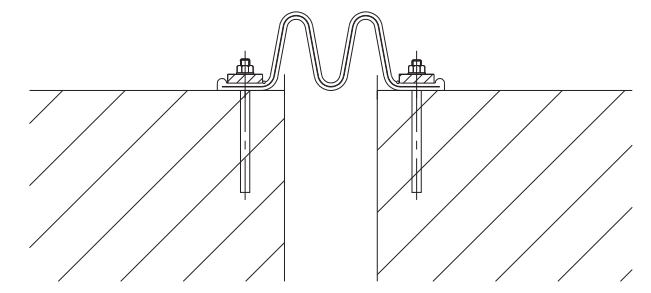
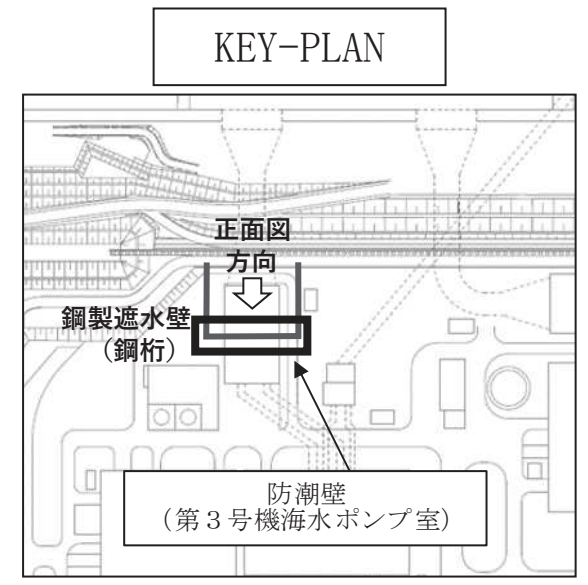
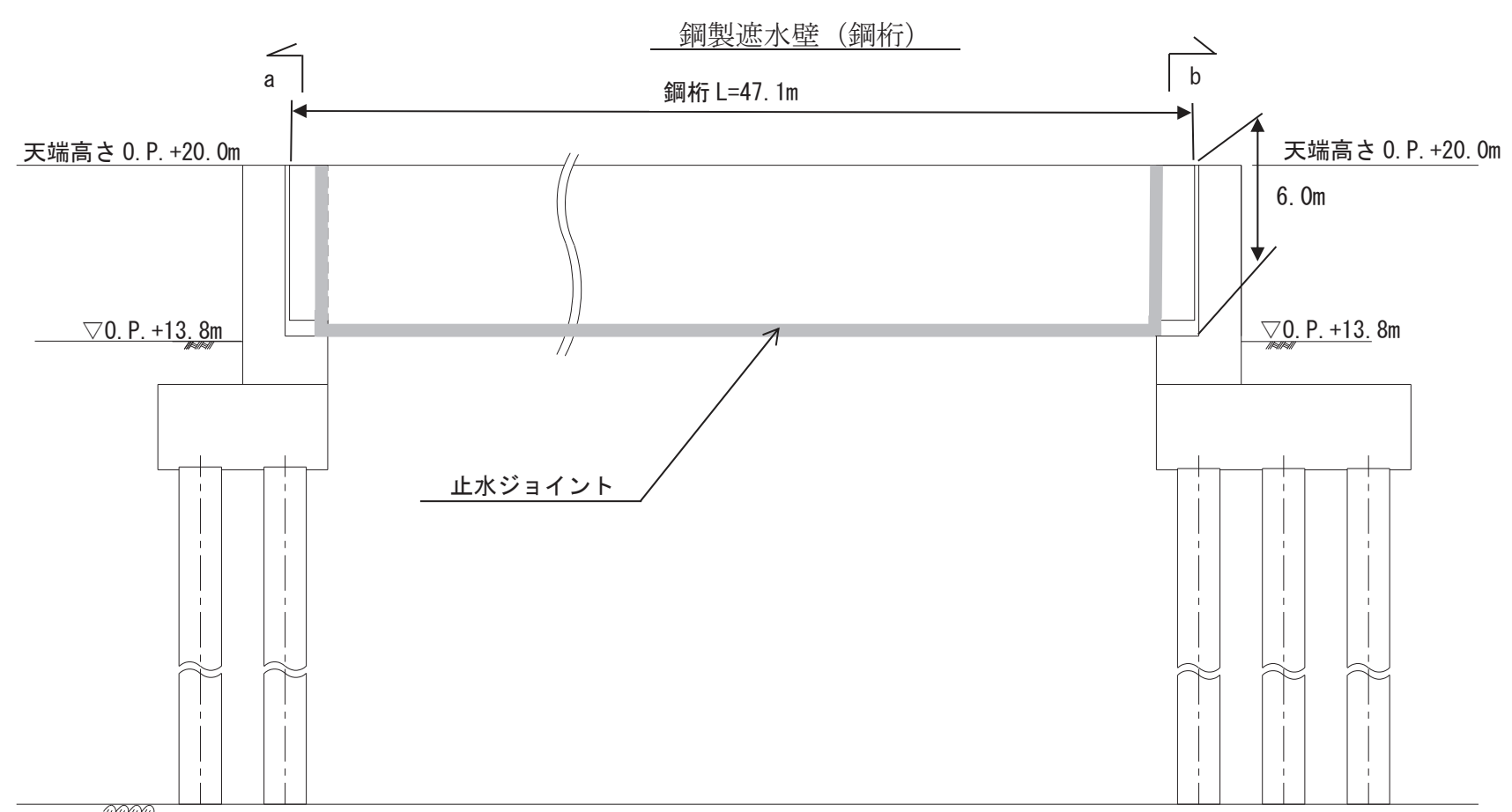
断面図



止水ジョイント詳細図

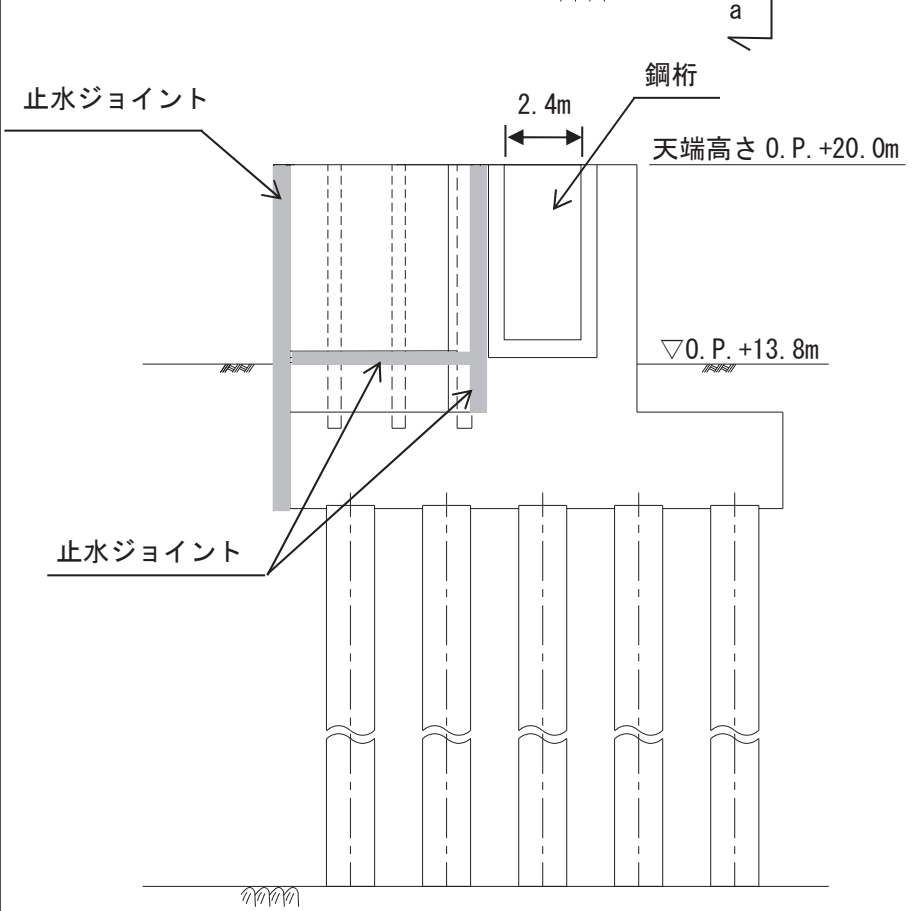
- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北  
地方太平洋沖地震による地殻変動に  
伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤  
沈下が発生していることを考慮した  
設計とし、地盤沈下量を考慮した高  
さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-14 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 3 号機海水ポンプ室） 構造図（1 / 3）
東北電力株式会社	

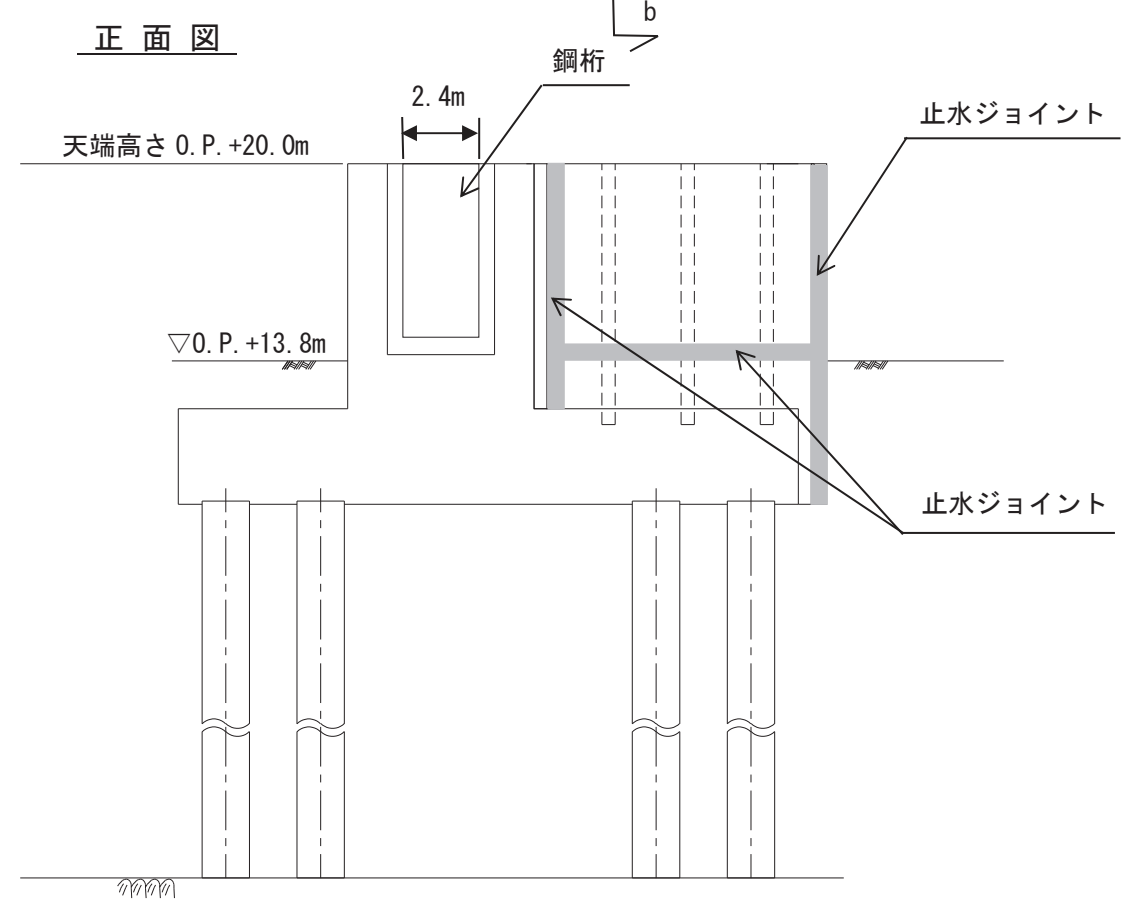


止水ジョイント詳細図

\*1: 特記なき寸法は公称値を示す。  
\*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。



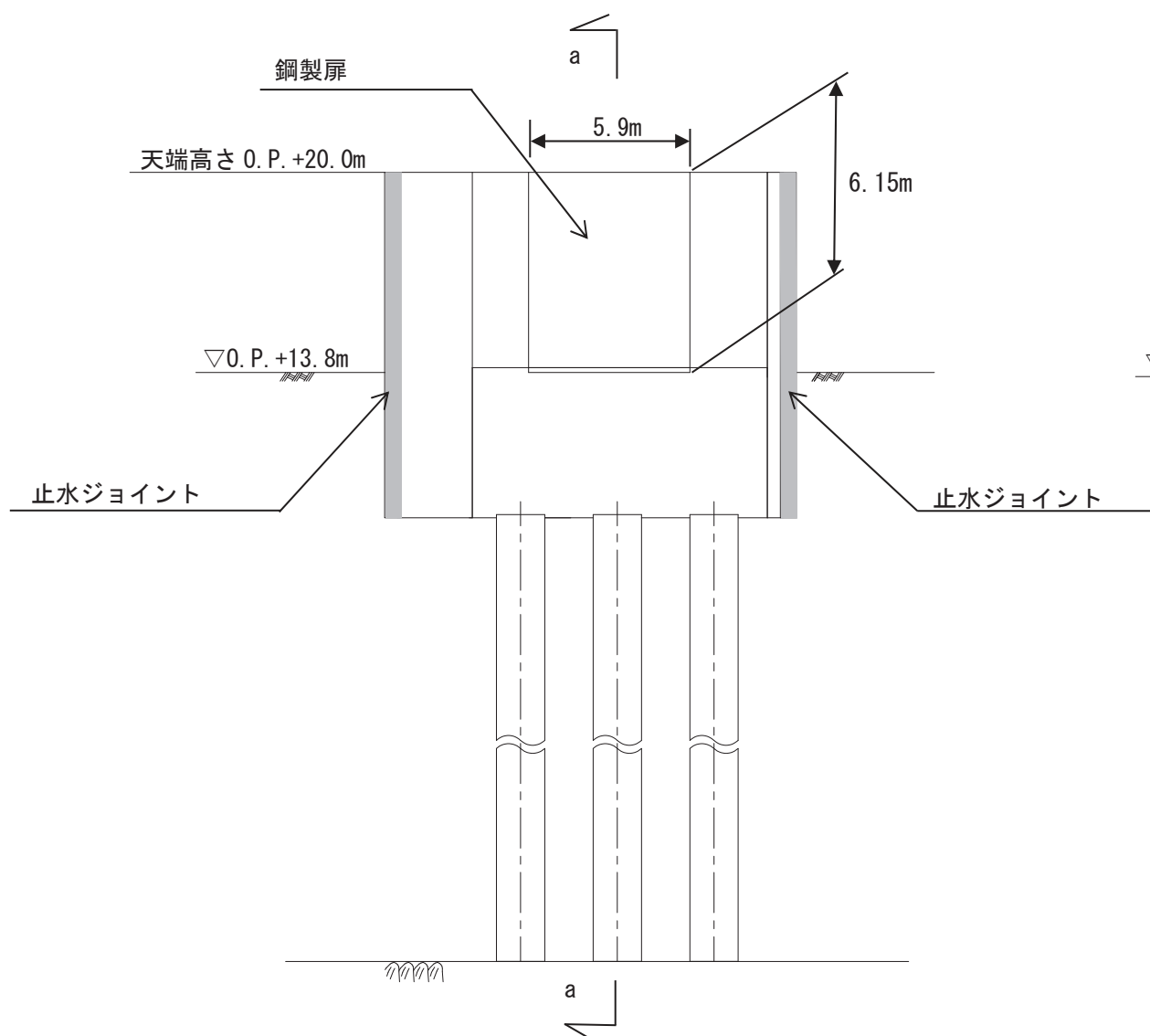
断面図  
(a-a 断面)



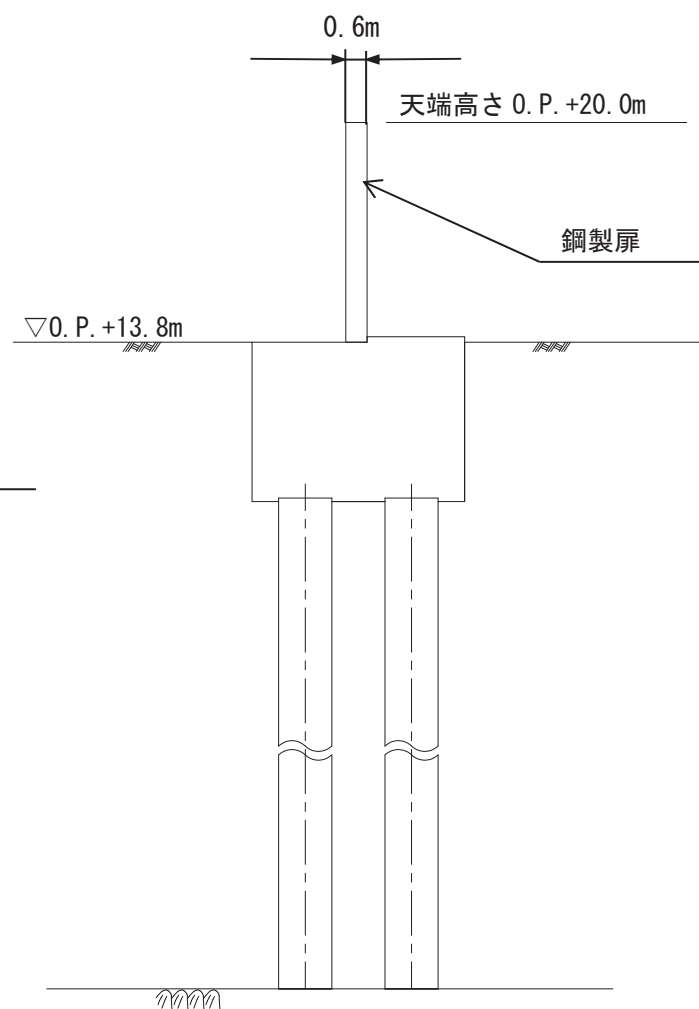
断面図  
(b-b 断面)

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-15 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機海水ポンプ室) 構造図 (2/3)
東北電力株式会社	

鋼製扉

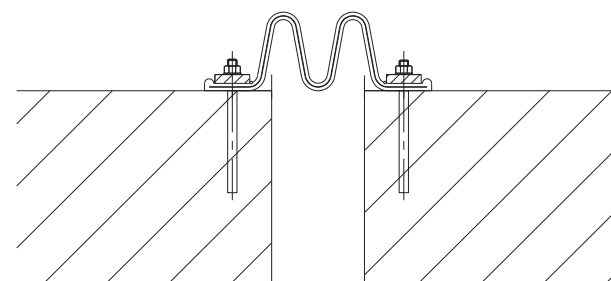
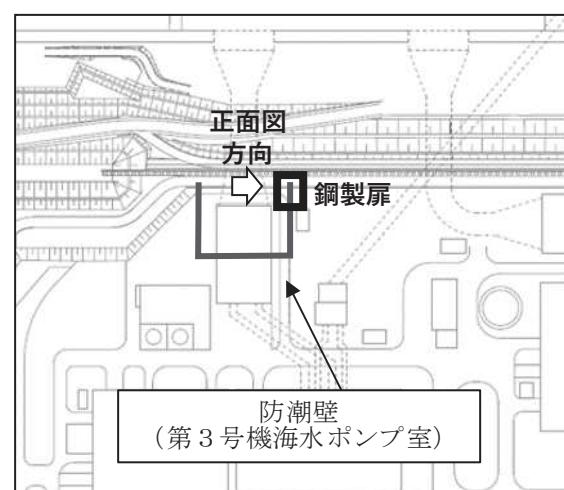


正面図



断面図  
(a-a 断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図

- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-16 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機海水ポンプ室) 構造図 (3 / 3)
東北電力株式会社	

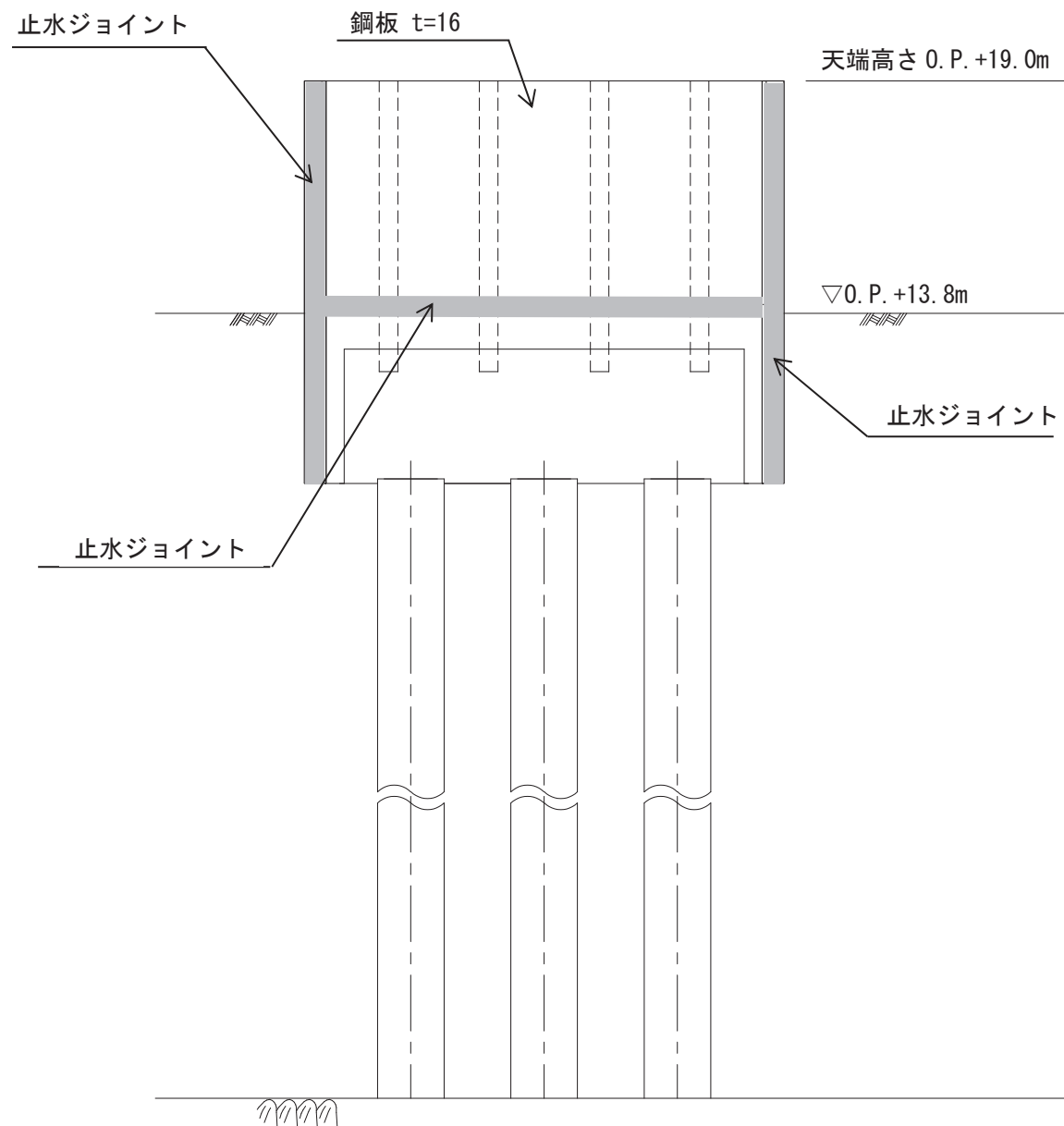
第 9-4-1-1-14～第 9-4-1-1-16 図 防潮壁（第 3 号機海水ポンプ室）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

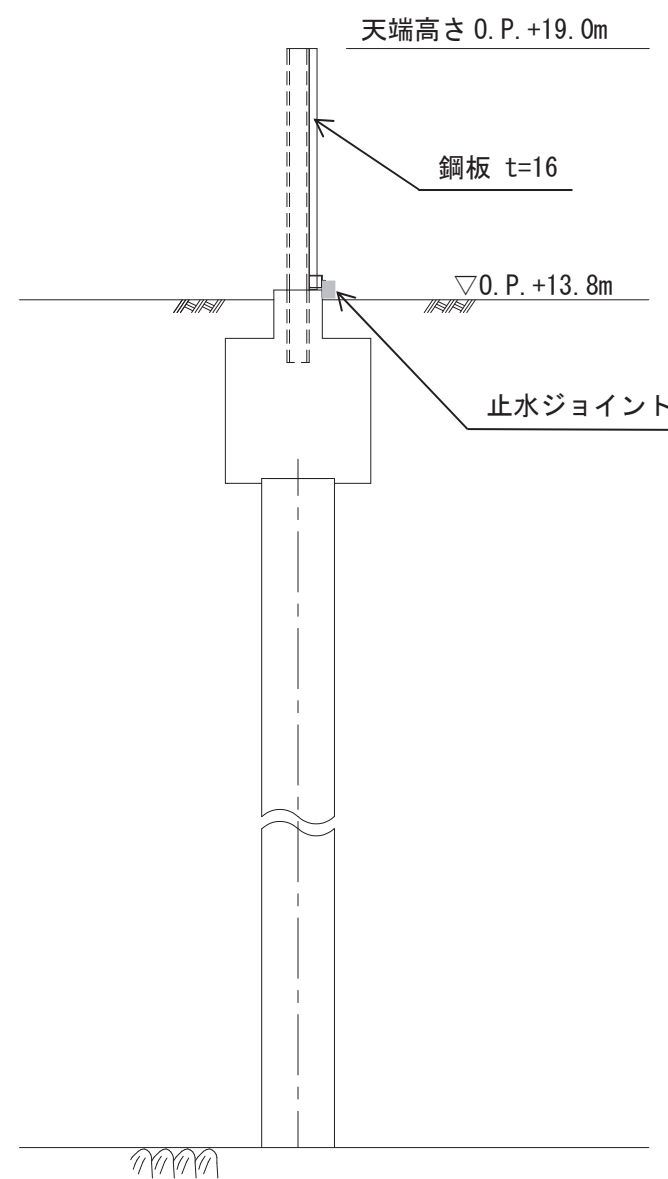
主要寸法			許容範囲	根 拠
天端高さ	鋼製部	O. P. +20. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準 同上
	RC 部		+30mm 0mm	
鋼製遮水壁 (鋼板)	厚さ	16. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	『JIS G 3193』，日本規格協会
鋼製遮水壁 (鋼桁)	幅	2. 4m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	たて	6. 0m	±6mm	
	横	47. 1m	±20mm	
鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	同上
	たて	6. 15m	±6mm	
	横	5. 9m	±6mm	

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

鋼製遮水壁（鋼板）

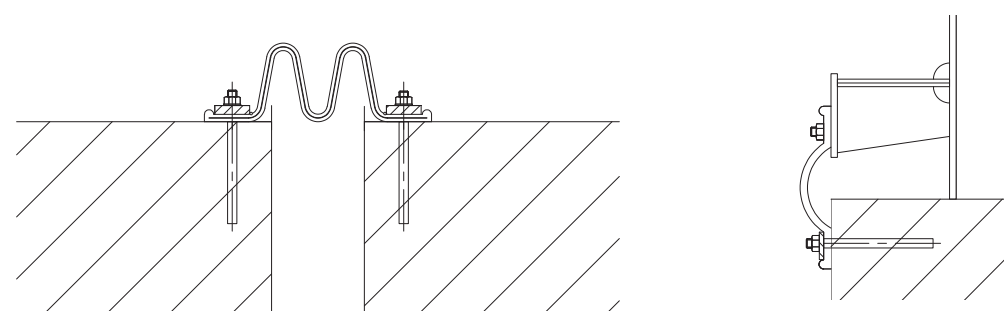
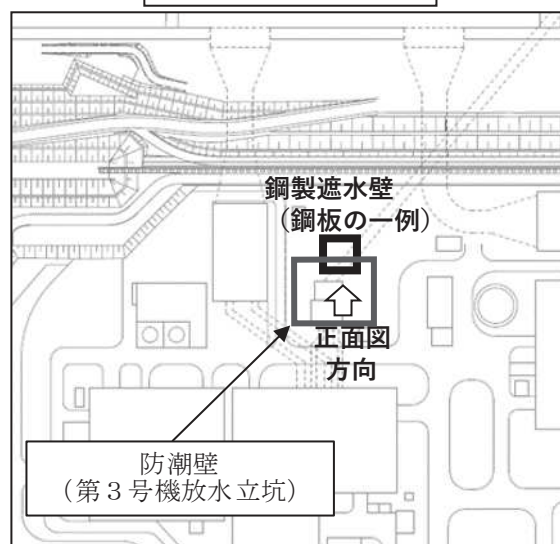


正面図



断面図

KEY-PLAN

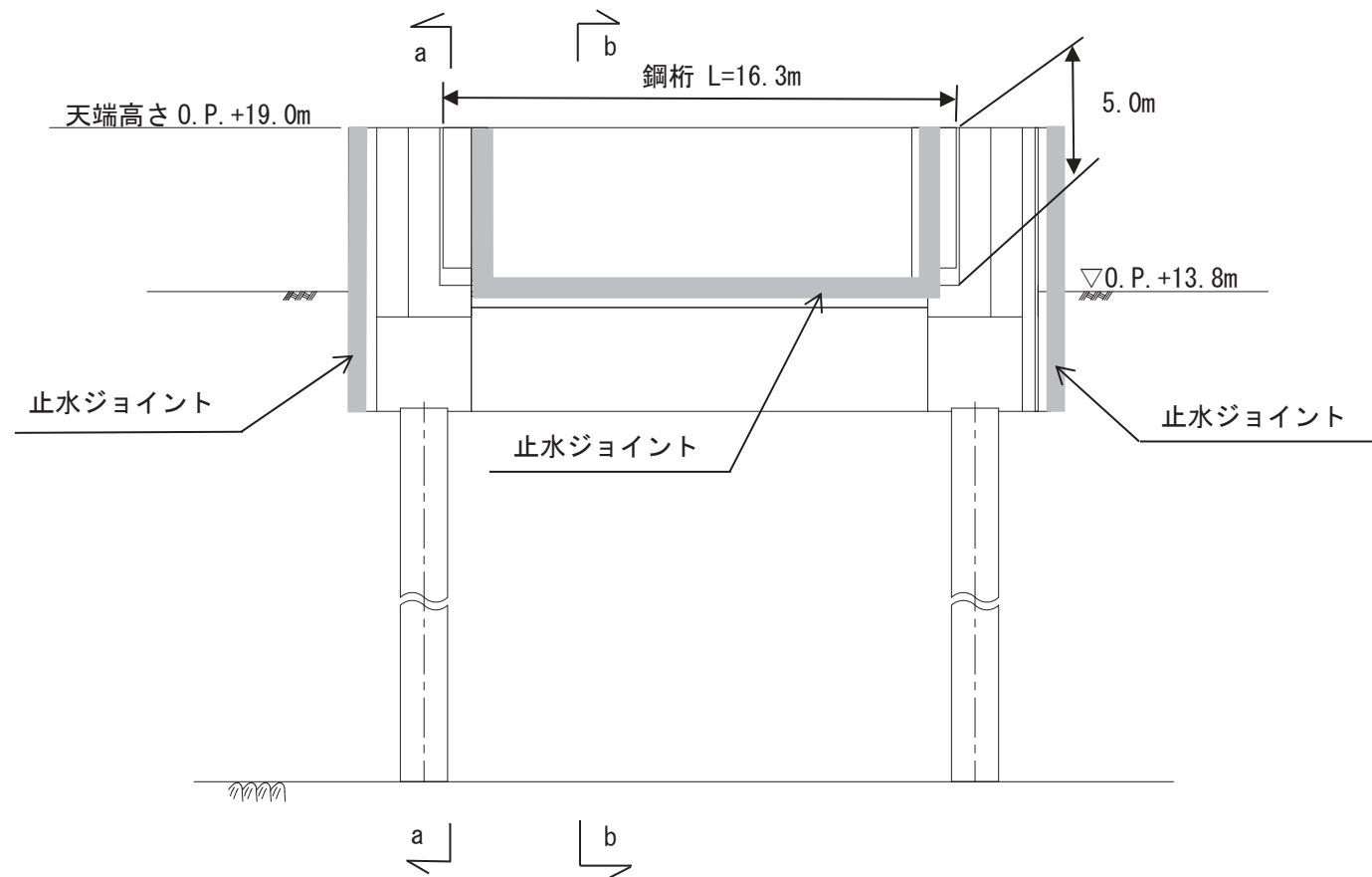


止水ジョイント詳細図

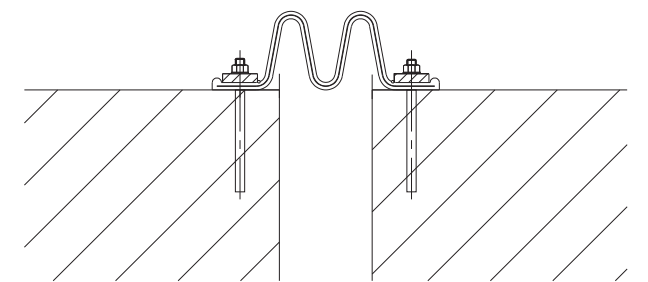
- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*3: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-17 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 3 号機放水立坑） 構造図（1 / 4）
東北電力株式会社	

鋼製遮水壁（鋼桁）①

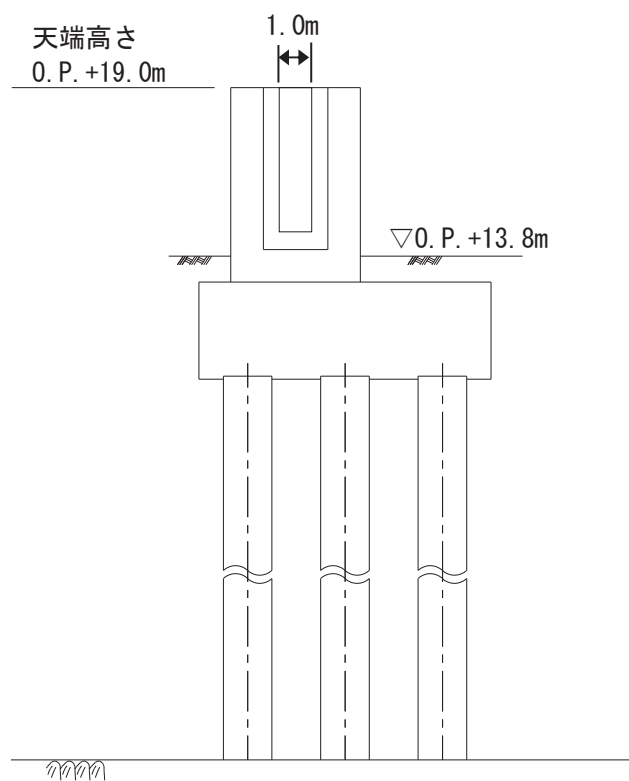
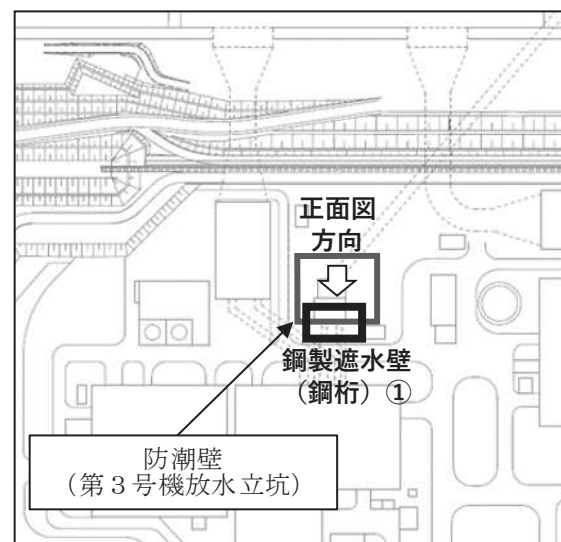


正面図

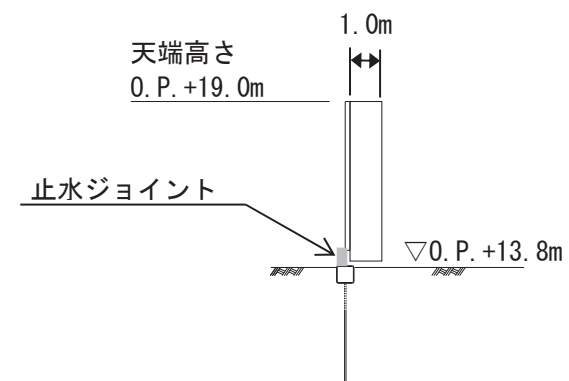


止水ジョイント詳細図

KEY-PLAN



断面図  
(a-a 断面)

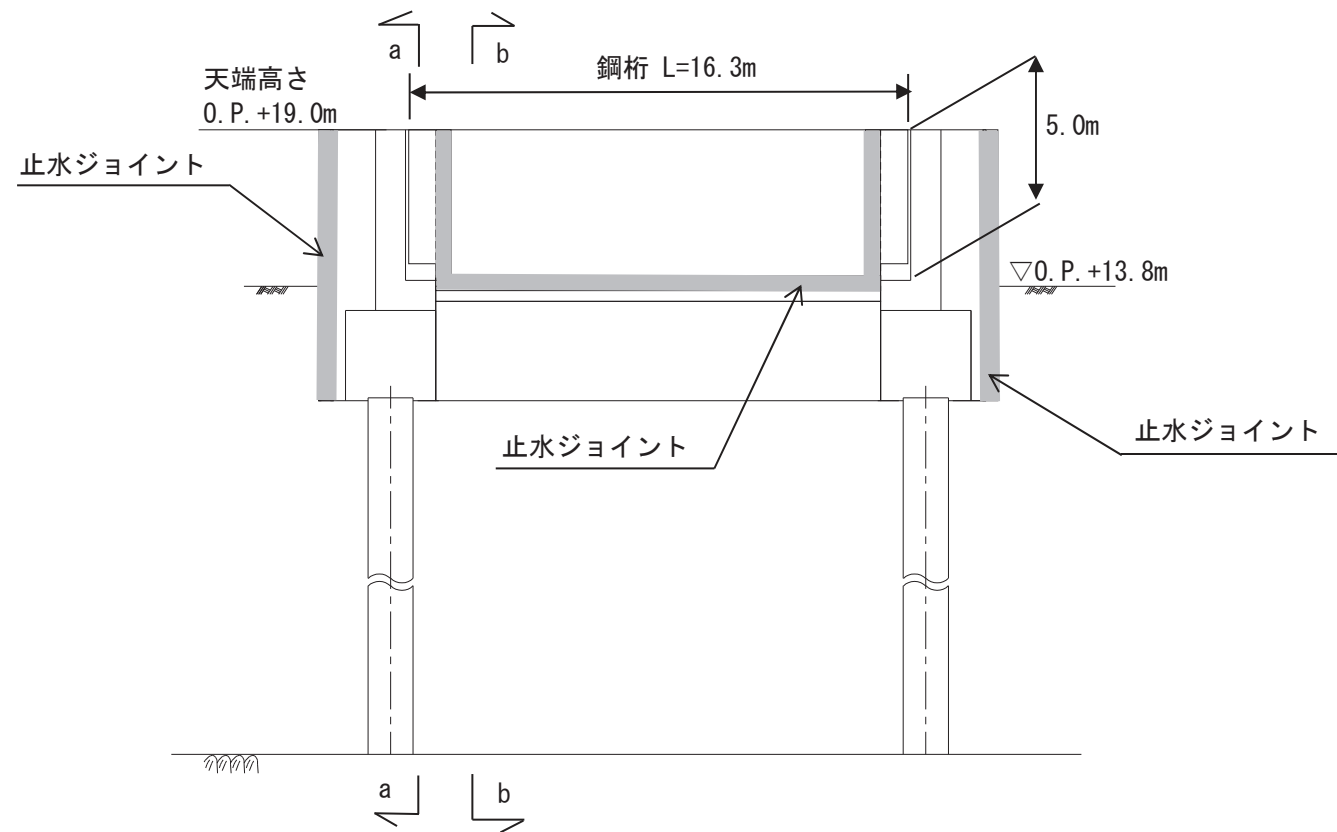


断面図  
(b-b 断面)

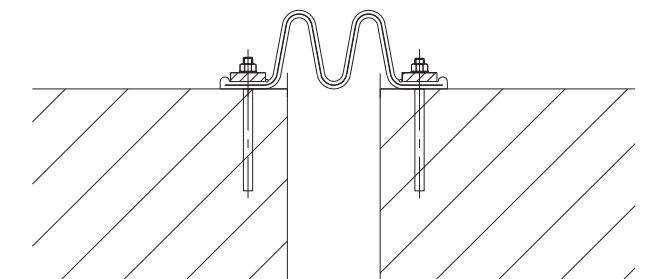
- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-18 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁（第 3 号機放水立坑） 構造図（2/4）
東北電力株式会社	

鋼製遮水壁 (鋼桁) ②

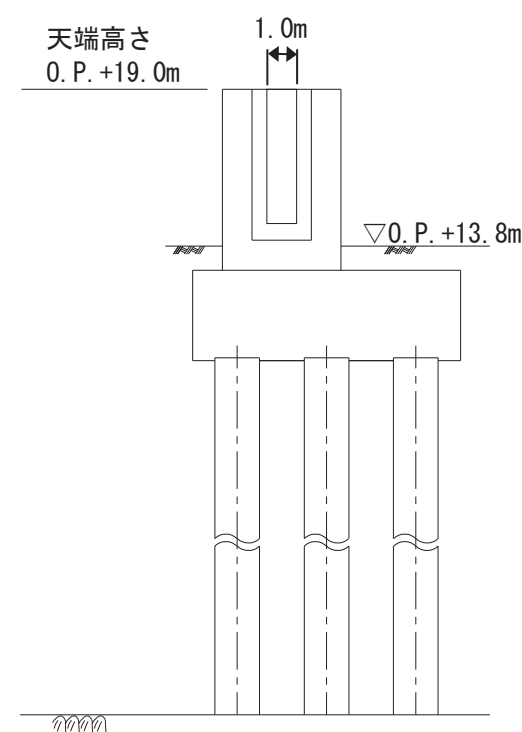
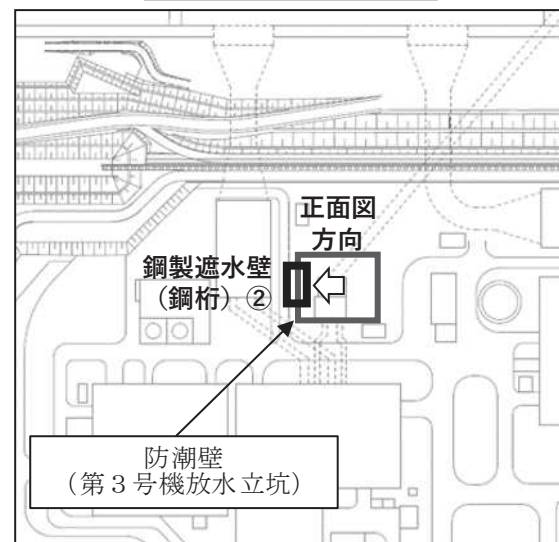


正面図

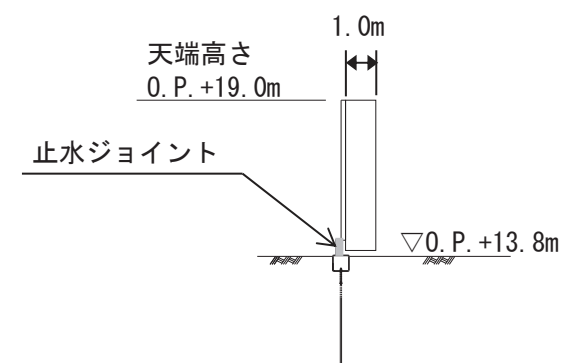


止水ジョイント詳細図

KEY-PLAN



断面図  
(a-a 断面)



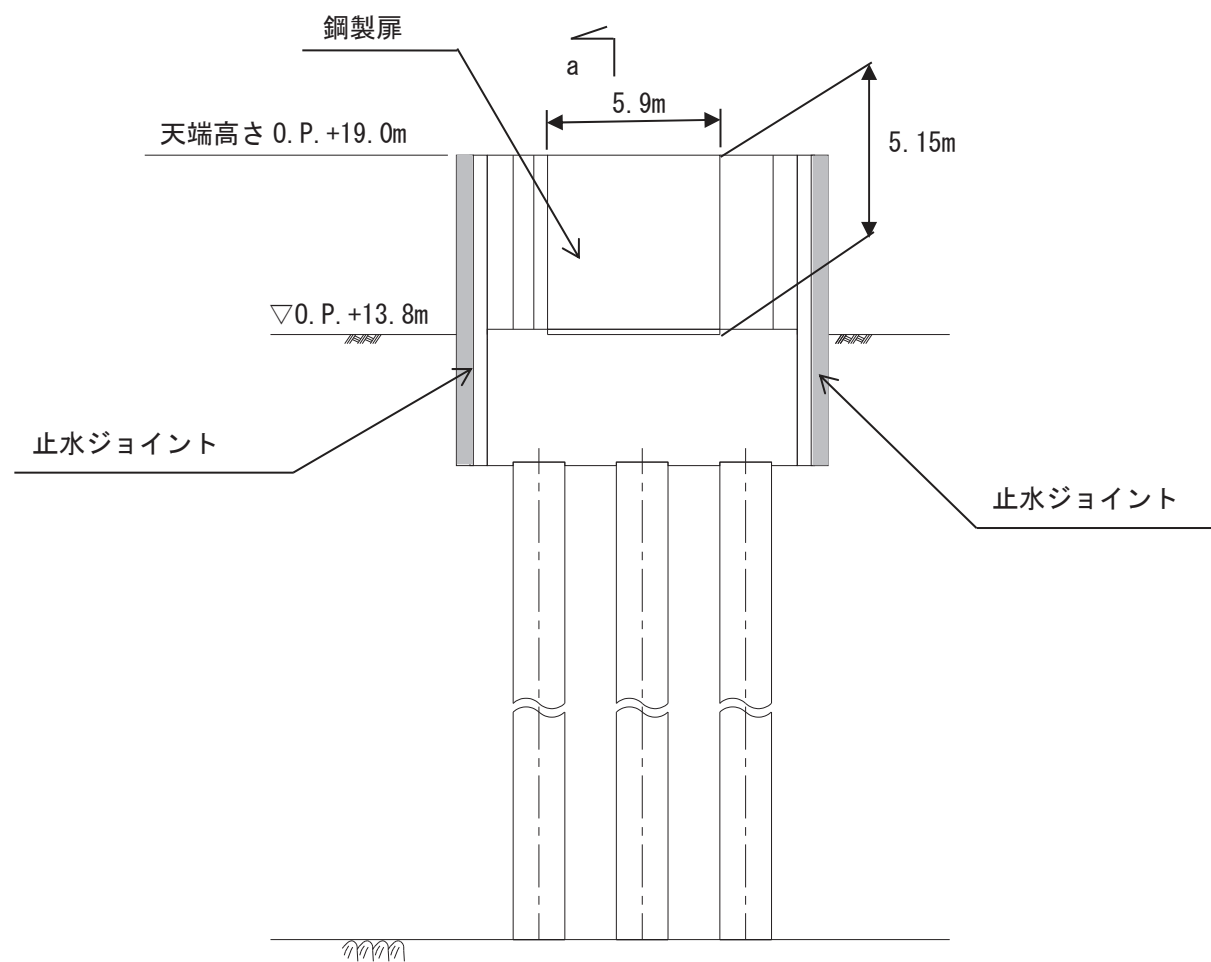
断面図  
(b-b 断面)

- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

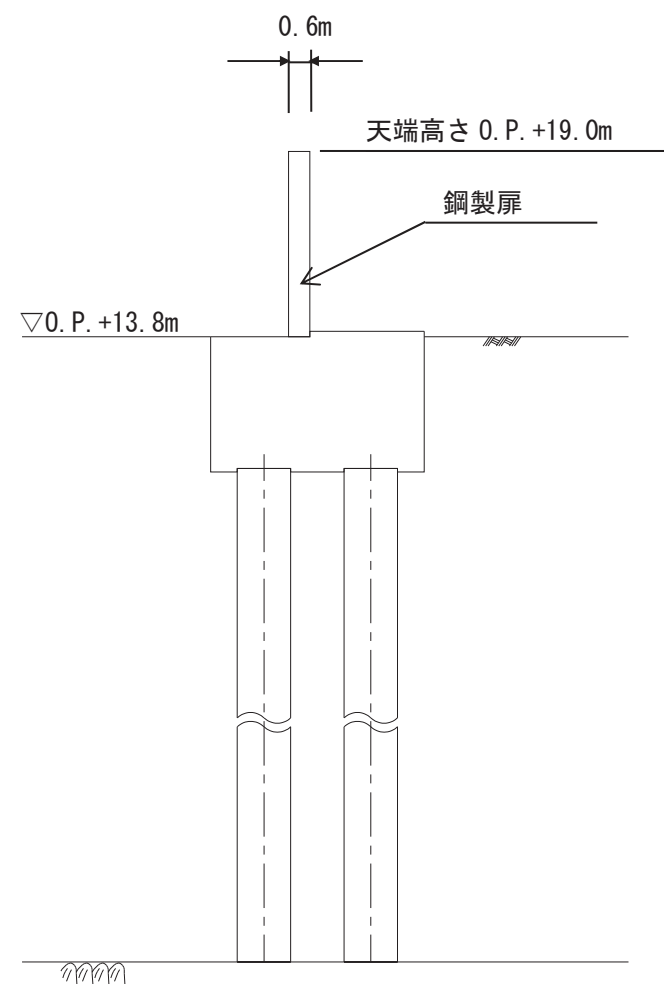
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-19 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機放水立坑) 構造図 (3/4)
東北電力株式会社	



鋼製扉

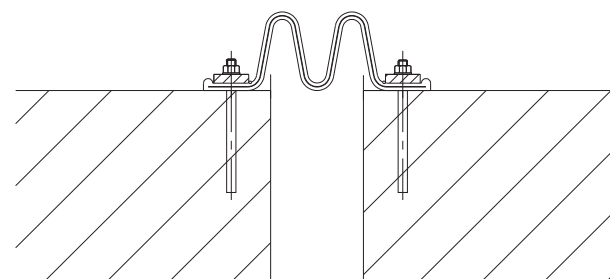
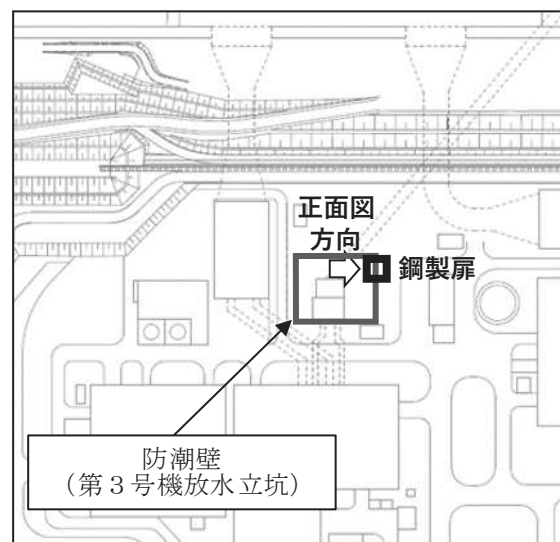


正面図



断面図  
(a-a 断面)

KEY-PLAN



止水ジョイント詳細図

- \*1: 特記なき寸法は公称値を示す。
- \*2: 平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約 1 m の地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

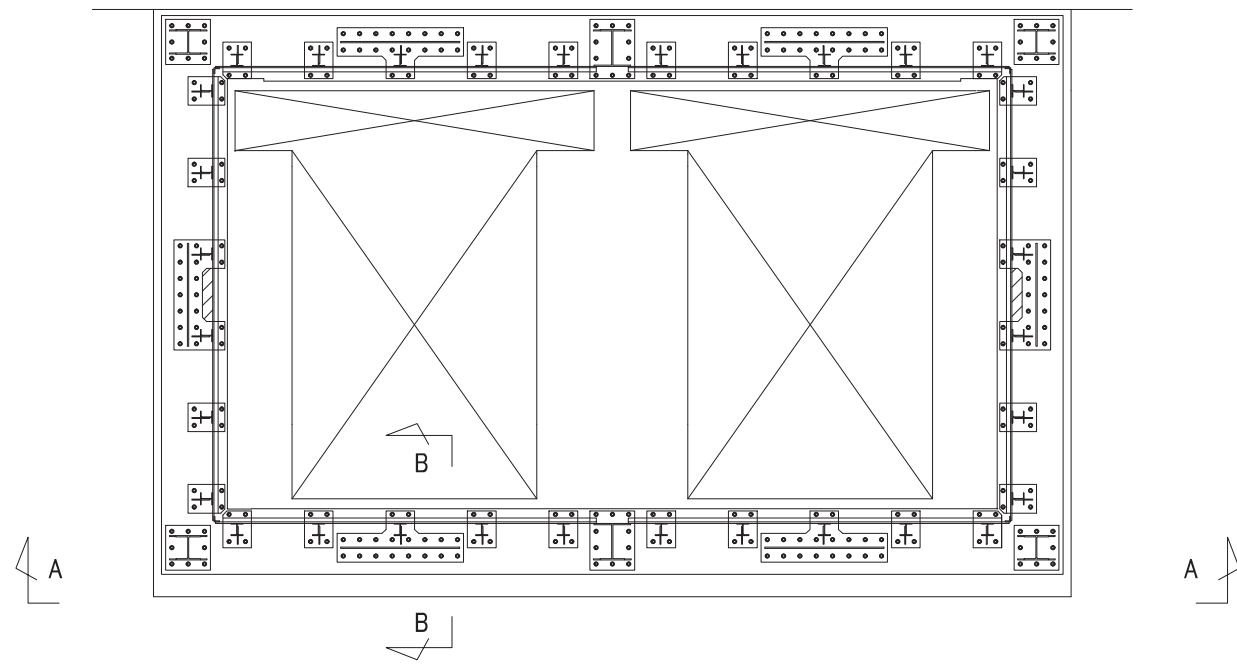
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-20 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	防潮壁 (第 3 号機放水立坑) 構造図 (4 / 4)
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-17～第9-4-1-1-20 図 防潮壁（第3号機放水立坑）構造図 別紙

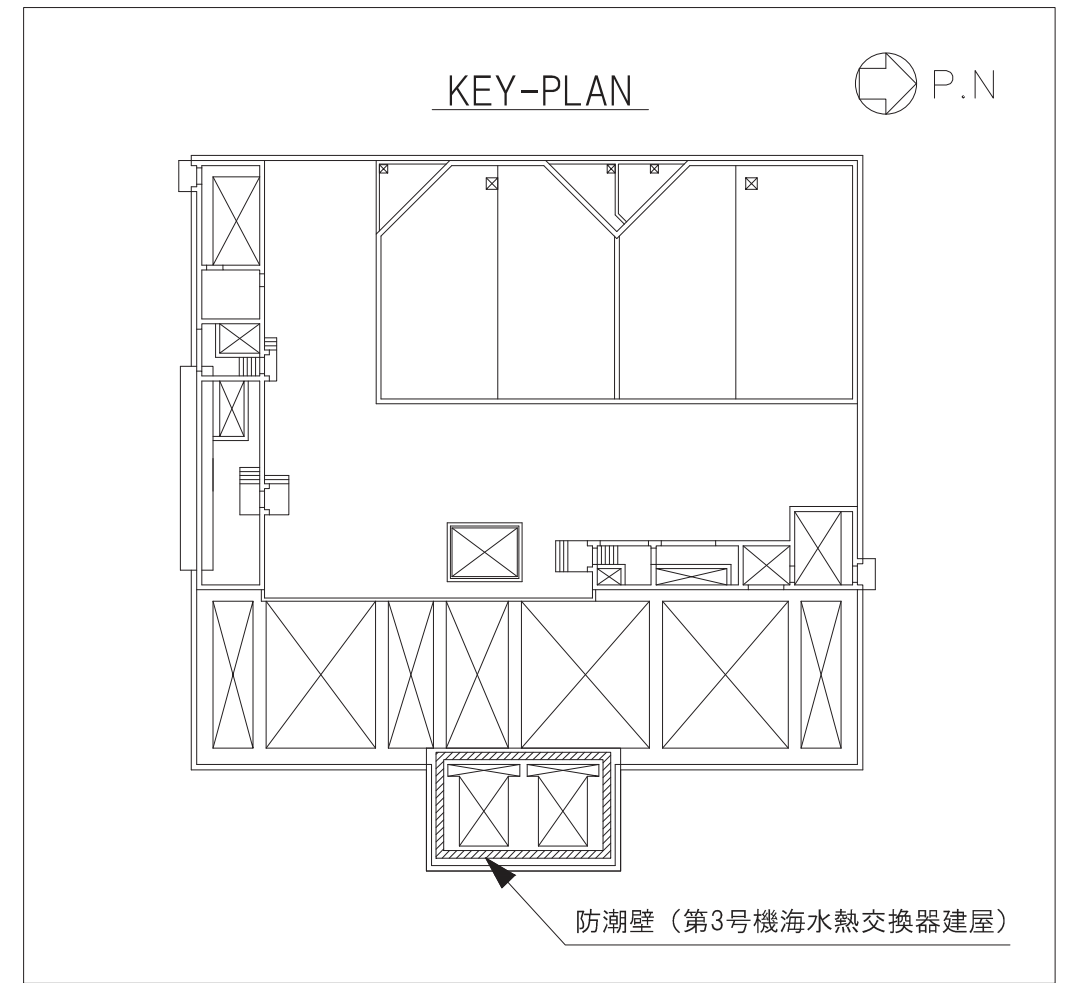
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法			許容範囲	根 拠
天端高さ	鋼製部	O. P. +19. 0m	+規定しない 0mm	土木工事共通仕様書による管理基準 同上
	RC部		+30mm 0mm	
鋼製遮水壁 (鋼板)	厚さ	16. 0mm	+1. 9mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会
鋼製遮水壁 (鋼桁) ①	幅	1. 0m	±3mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』, 水門鉄管協会
	たて	5. 0m	±6mm	
	横	16. 3m	±10mm	
鋼製遮水壁 (鋼桁) ②	幅	1. 0m	±3mm	同上
	たて	5. 0m	±6mm	
	横	16. 3m	±10mm	
鋼製扉	幅	0. 6m	±3mm	同上
	たて	5. 15m	±6mm	
	横	5. 9m	±6mm	

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



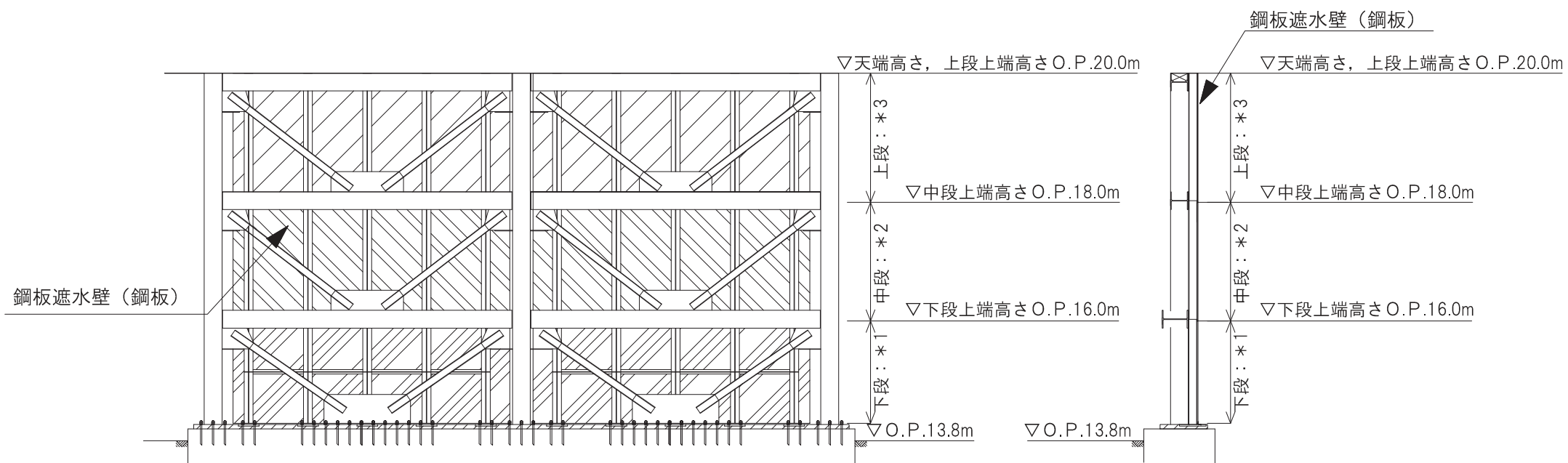
平面図



KEY-PLAN



防潮壁 (第3号機海水熱交換器建屋)



A-A 正面図

B-B 断面図

▽天端高さ, 上段上端高さ O.P.20.0m  
 上段: \*3  
 ▼中段上端高さ O.P.18.0m  
 中段: \*2  
 ▼下段上端高さ O.P.16.0m  
 下段: \*1  
 ▼O.P.13.8m

鋼板遮水壁 (鋼板)  
 ▼天端高さ, 上段上端高さ O.P.20.0m  
 上段: \*3  
 ▼中段上端高さ O.P.18.0m  
 中段: \*2  
 ▼下段上端高さ O.P.16.0m  
 下段: \*1  
 ▼O.P.13.8m

注記\*1: 下段 鋼製遮水壁 (鋼板) 厚さは16.0mm。  
 \*2: 中段 鋼製遮水壁 (鋼板) 厚さは12.0mm。  
 \*3: 上段 鋼製遮水壁 (鋼板) 厚さは9.0mm。

注1: 特記なき寸法は公称値を示す。  
 注2: 平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による地殻変動に伴い、牡鹿半島全体で約1mの地盤沈下が発生していることを考慮した設計とし、地盤沈下量を考慮した高さを示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-21図
女川原子力発電所	第2号機
名	防潮壁 (第3号機海水熱交換器建屋)
称	構造図
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-21 図 防潮壁(第3号機海水熱交換器建屋)構造図 別紙

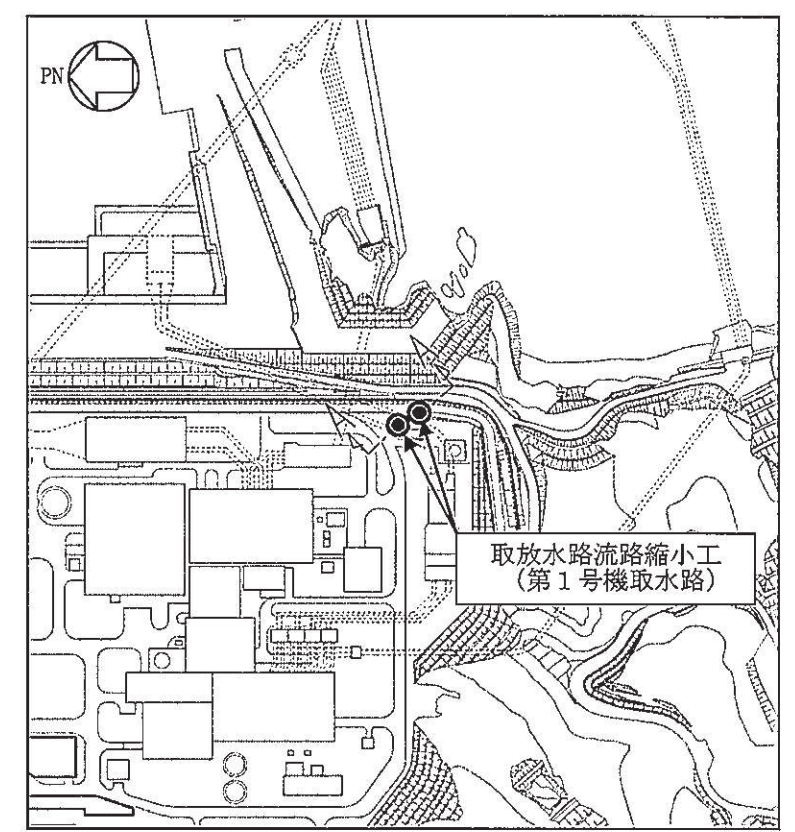
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法			許容範囲	根 拠
天端高さ	—	0. P. 20. 0m	+規定しない 0. 0mm	製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
鋼製遮水壁 (鋼板)	厚さ	9. 0mm	+1. 0mm 0. 0mm	『JIS G 3193』, 日本規格協会
		12. 0mm	+2. 0mm 0. 0mm	
		16. 0mm	+2. 2mm 0. 0mm	

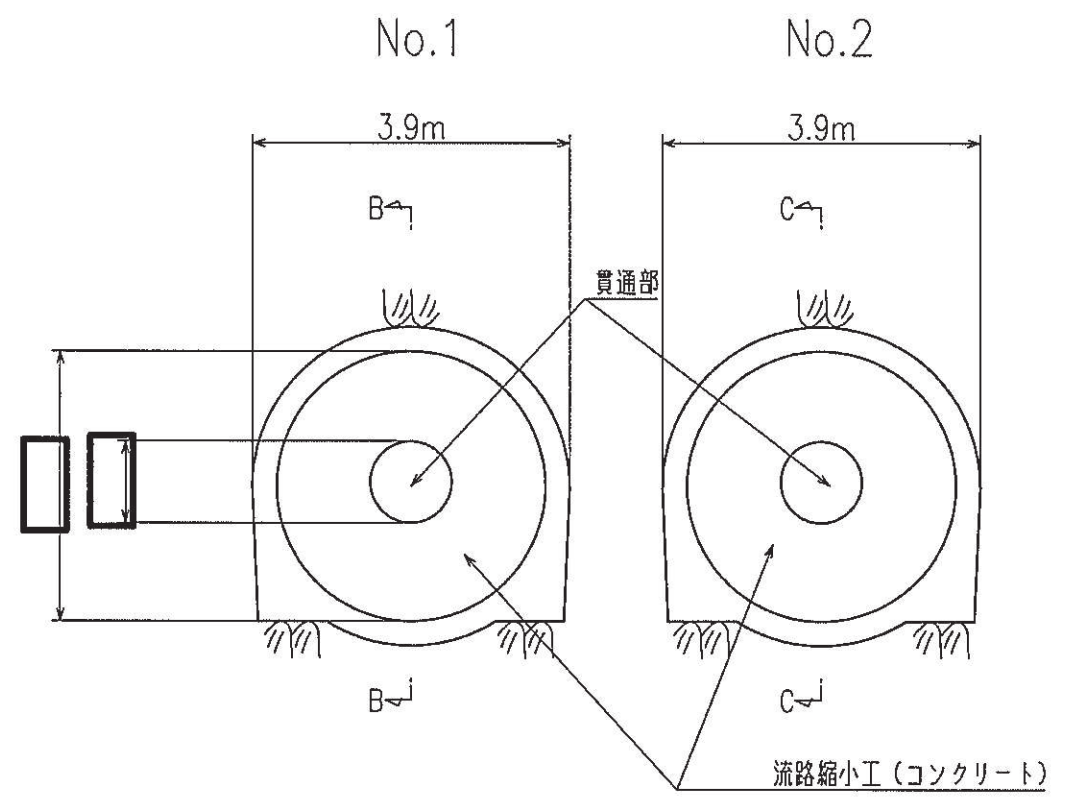
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

取放水路流路縮小工（第1号機取水路）

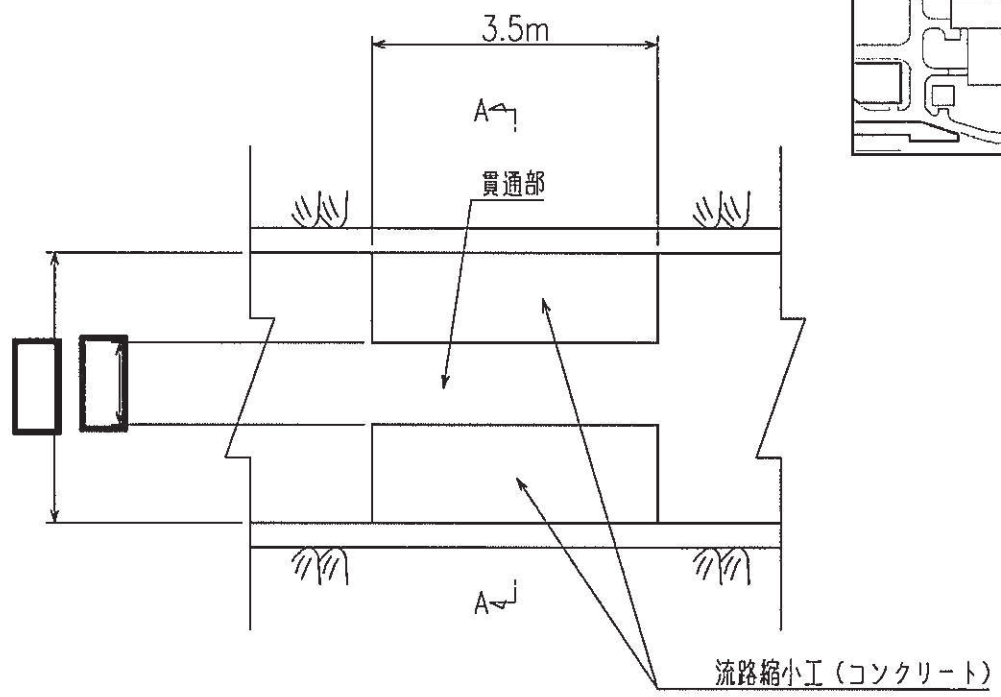
KEY-PLAN



横断面図  
(A-A断面図)



縦断面図  
(B-B断面図)  
(C-C断面図)



枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

\*: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-22 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	取放水路流路縮小工 (第 1 号機取水路) (No.1),(No.2) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-22 図 取放水路流路縮小工（第 1 号機取水路）(No. 1), (No. 2)構造図 別紙

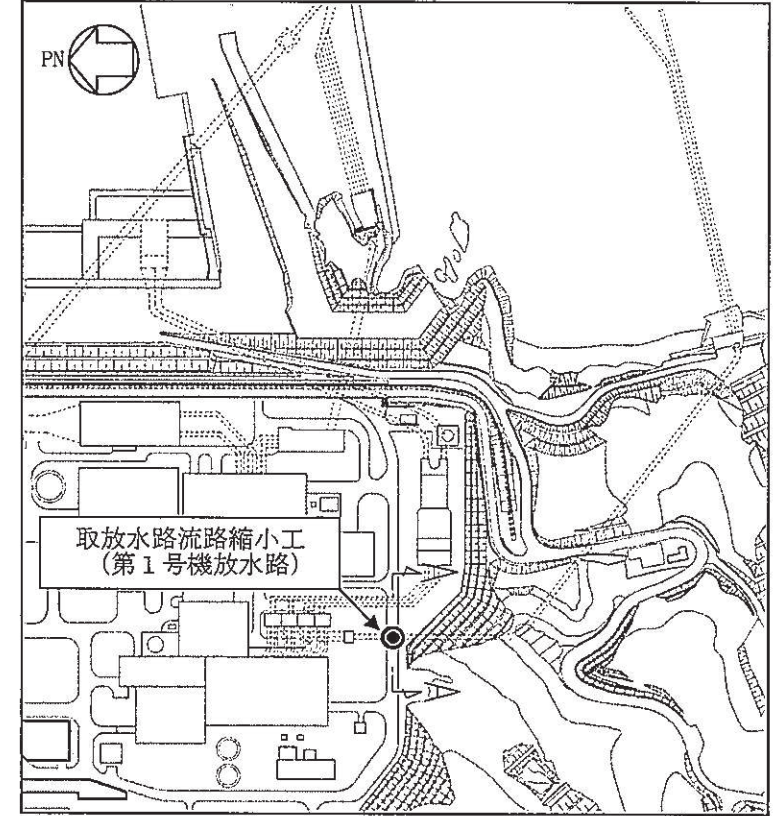
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
外 径		—	既設構造物内に設置するため、既設コンクリートと密着していることを確認するものとし、許容範囲は設定しない。
幅	3.5m	±200mm	土木工事共通仕様書による管理基準
貫通部径		±50mm	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

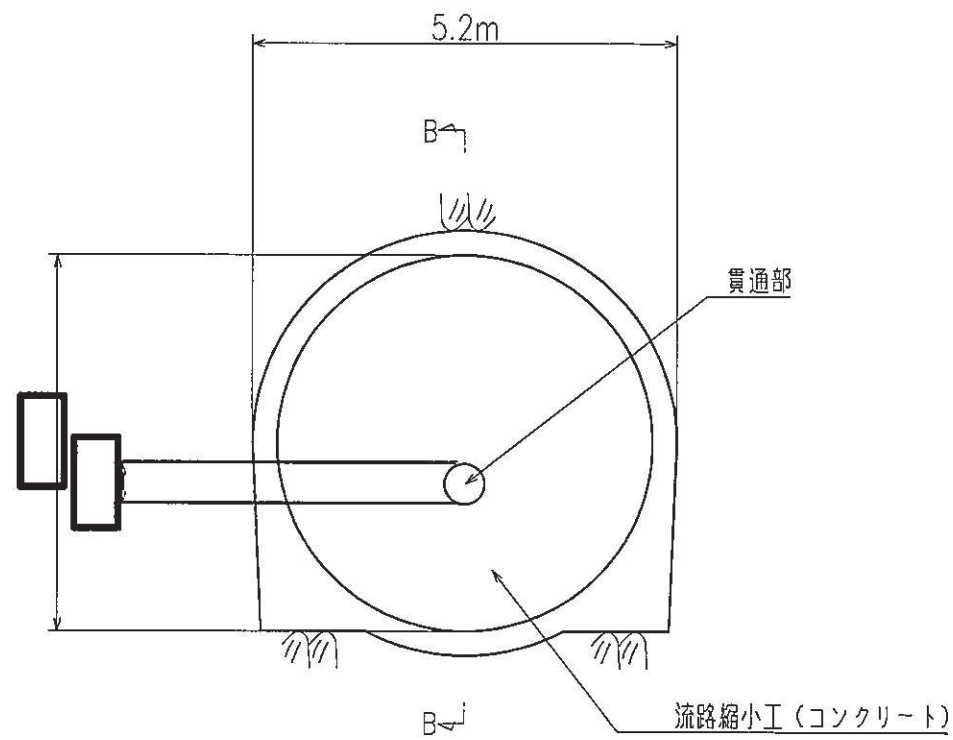


KEY-PLAN

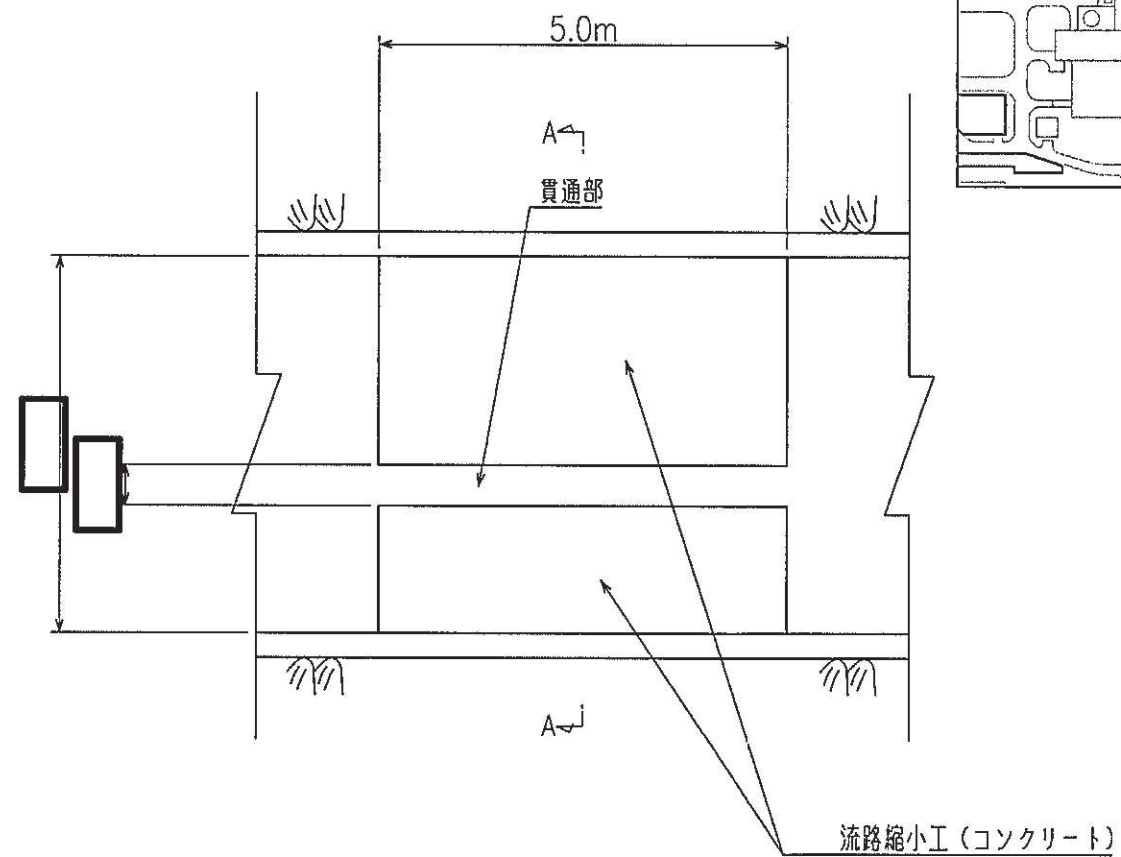


取放水路流路縮小工 (第1号機放水路)

横断面図  
(A-A断面図)



縦断面図  
(B-B断面図)



枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

\*: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-23 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	取放水路流路縮小工 (第 1 号機放水路) 構造図
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-23 図 取放水路流路縮小工（第1号機放水路）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
外 径			既設構造物内に設置するため、既設コンクリートと密着していることを確認するものとし、許容範囲は設定しない。
幅	5.0m	±200mm	土木工事共通仕様書による管理基準
貫通部径		±50mm	同上

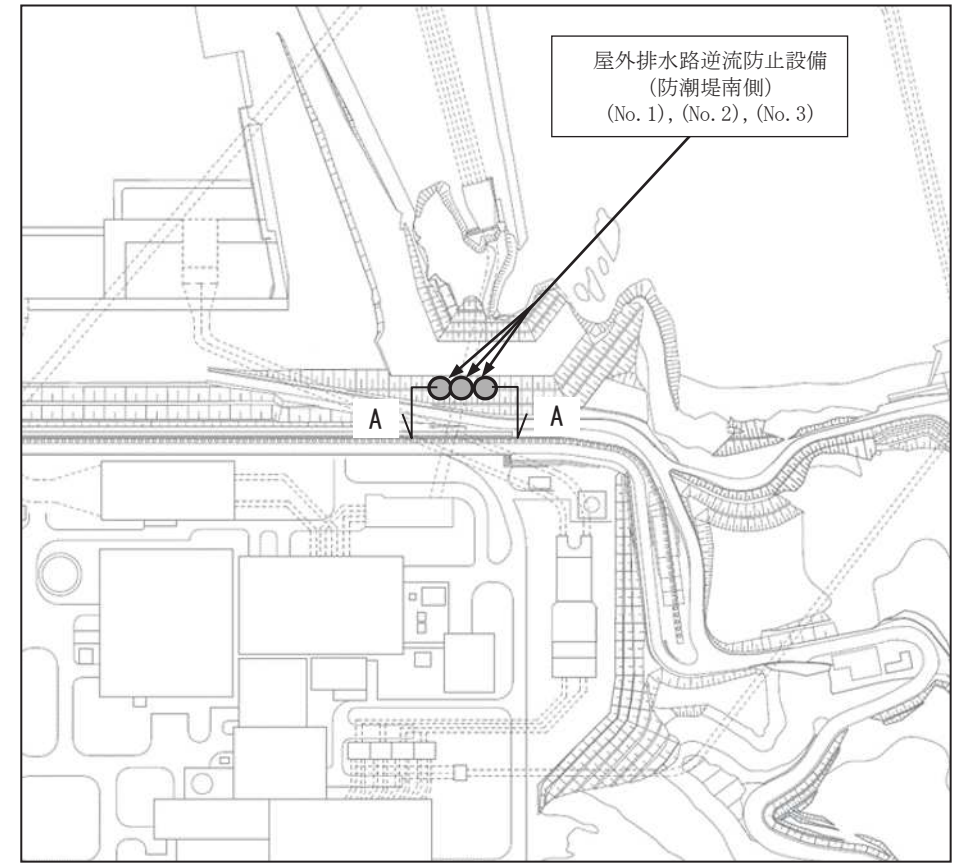
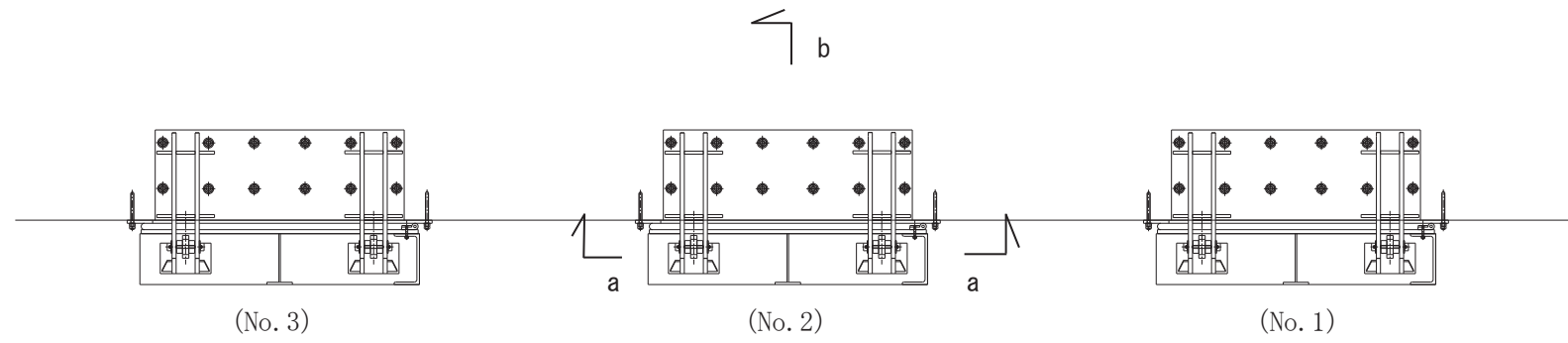
注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。



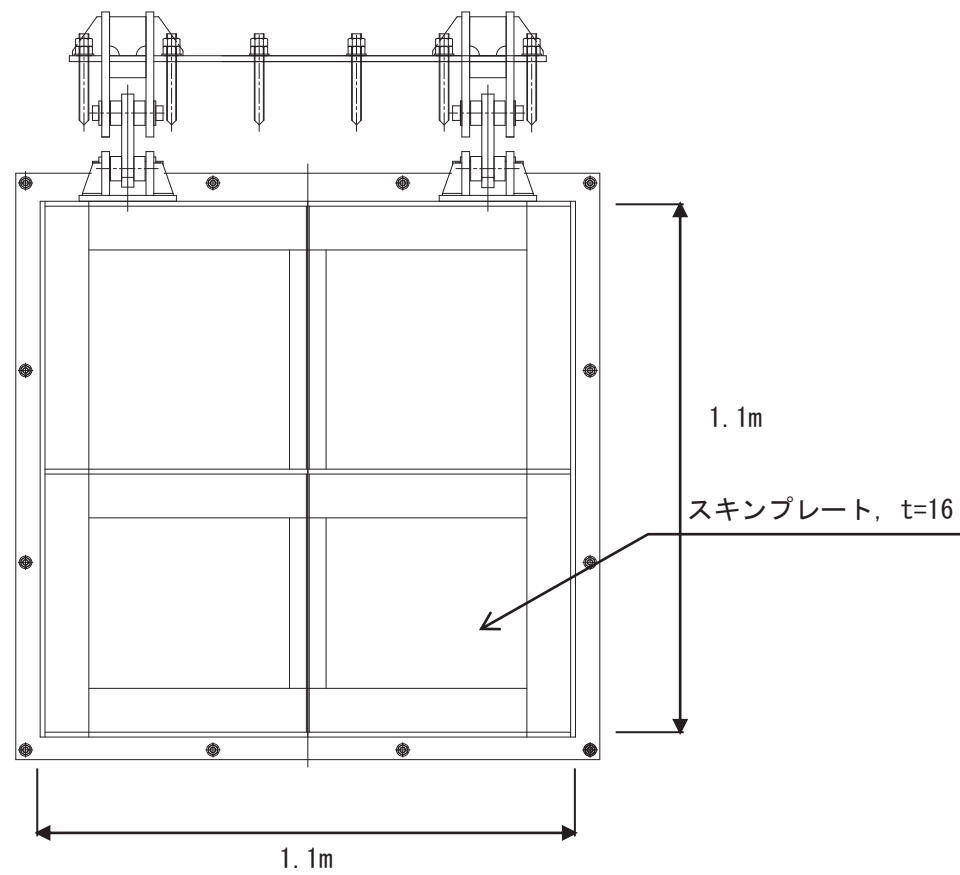
屋外排水路逆流防止設備（防潮堤南側）構造図

KEY-PLAN

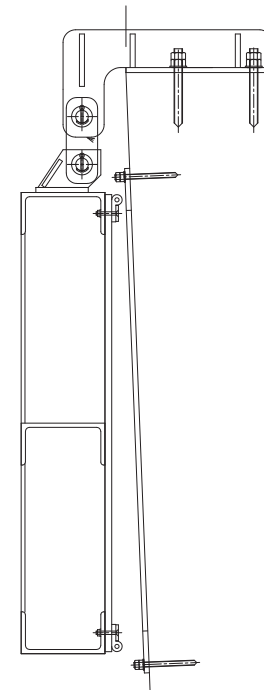
平面図（A-A 断面）



正面図（a-a 断面）



側面図（b-b 断面）



\*1: 特記なき寸法は mm を示す。  
\*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-24 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	屋外排水路逆流防止設備 (防潮堤南側) (No.1),(No.2),(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-24 図 屋外排水路逆流防止設備（防潮堤南側）(No. 1), (No. 2), (No. 3)構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

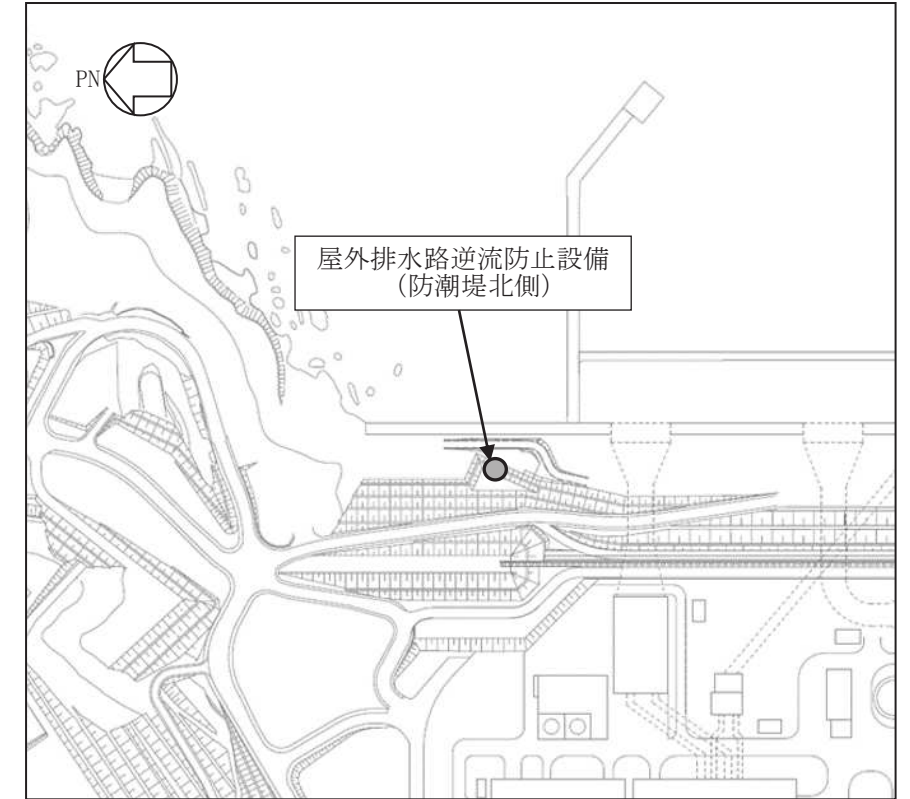
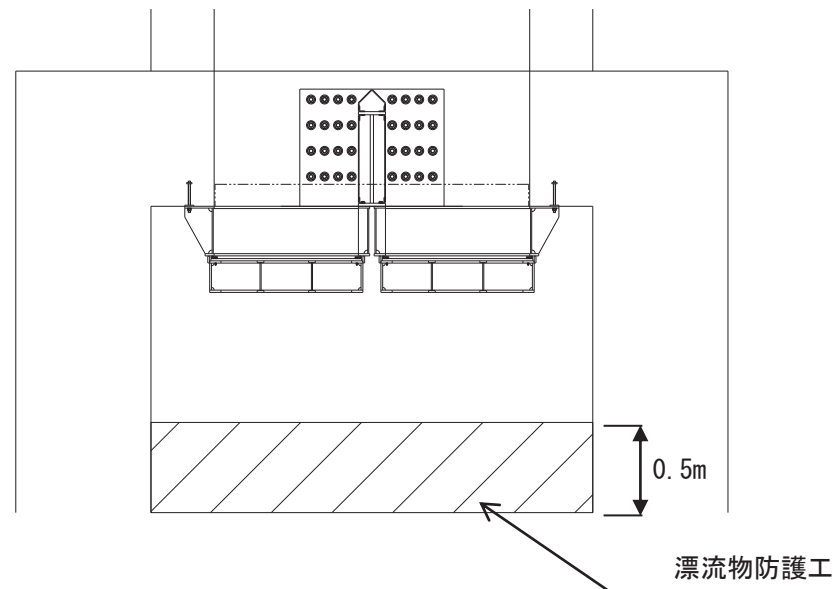
主要寸法		許容範囲	根 拠
た	て	1.1m	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
横		1.1m	
スキンプレート	厚 さ	16.0mm	『JIS G 4304』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

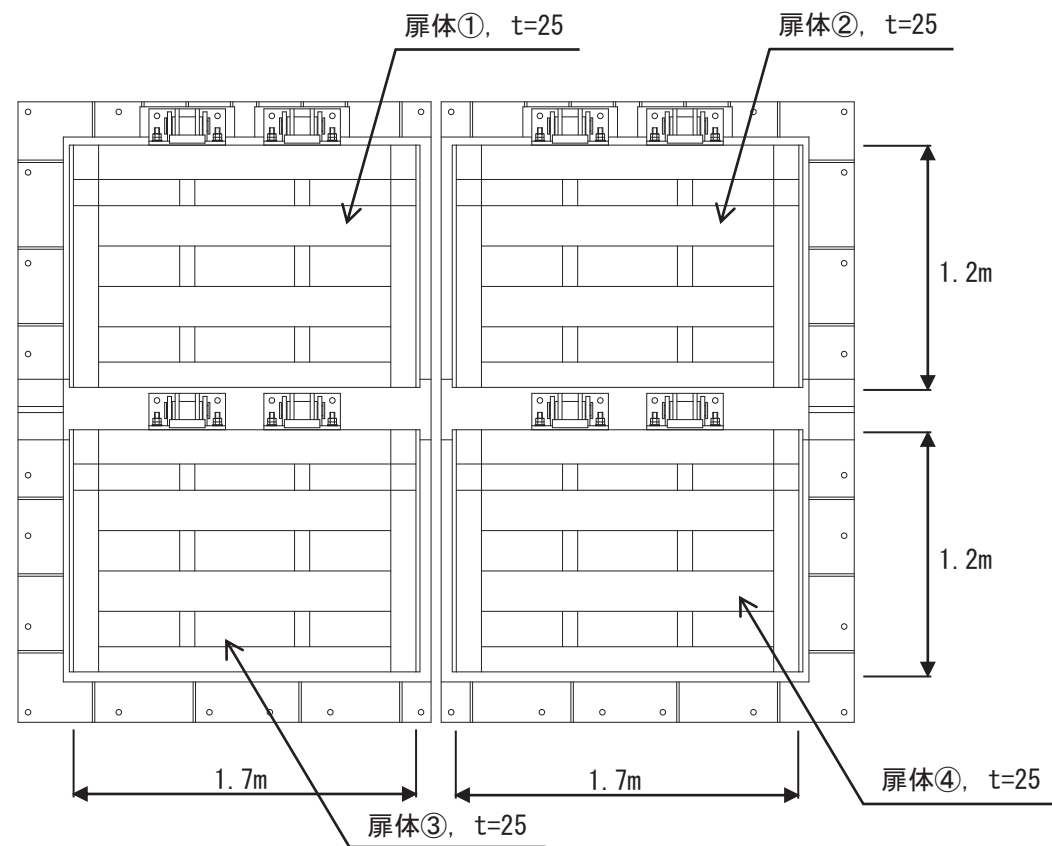
屋外排水路逆流防止設備（防潮堤北側）構造図

KEY-PLAN

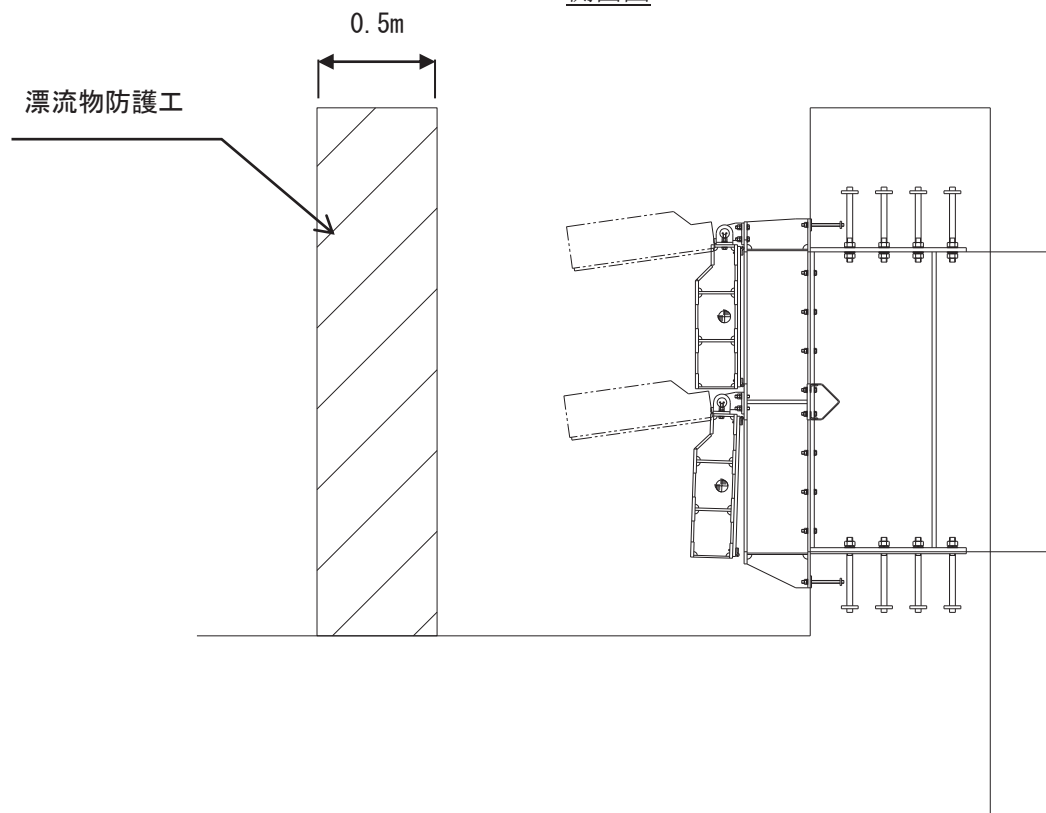
平面図



正面図



側面図



- \*1: 特記なき寸法は mm を示す。
- \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-25 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	屋外排水路逆流防止設備 (防潮堤北側) 構造図
東北電力株式会社	

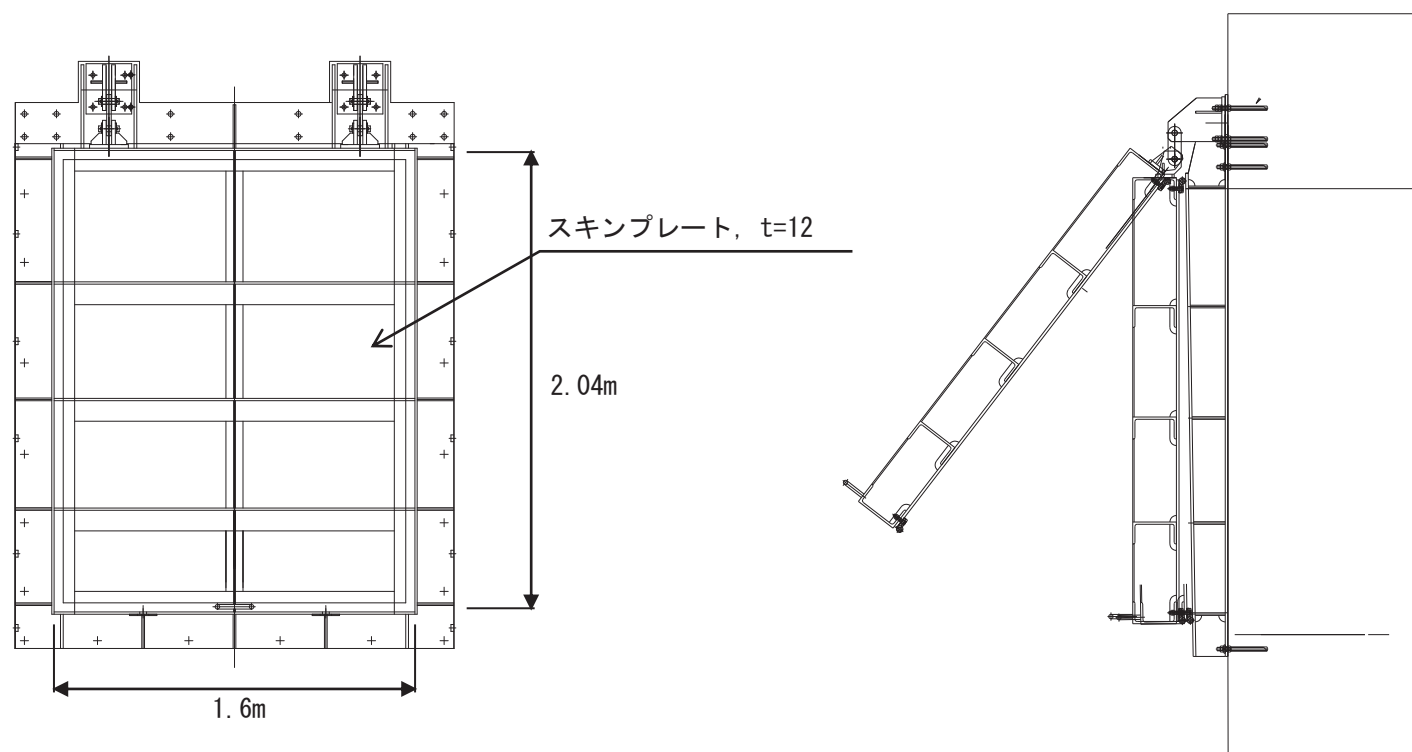
第9-4-1-1-25 図 屋外排水路逆流防止設備（防潮堤北側）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法			許容範囲	根 拠
扉体①	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
扉体②	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
扉体③	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
扉体④	た て	1.2m	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』，水門鉄管協会
	横	1.7m	±4mm	
	スキンプレート厚さ	25mm	±1.3mm	『JIS G 4304』，日本規格協会
漂流物防護工	幅	0.5m	±2mm	道路橋示方書 H24 年版

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

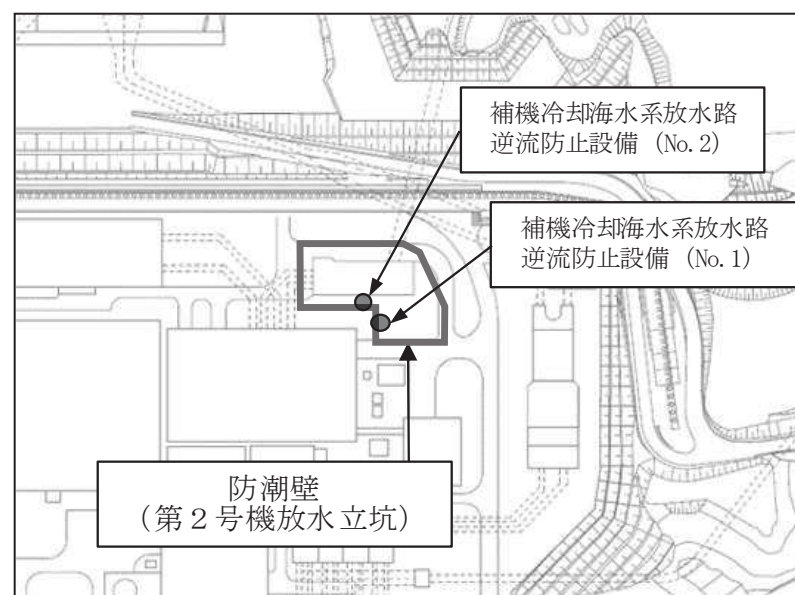
補機冷却海水系放水路逆流防止設備 構造図



正面図

側面図

KEY-PLAN



\*1: 特記なき寸法は mm を示す。  
\*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-26 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	補機冷却海水系放水路逆流防止設備 (No.1),(No.2)構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-26 図 補機冷却海水系放水路逆流防止設備 (No. 1), (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
た	て	2.04m	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』, 水門鉄管協会
横		1.6m	
スキンプレート 厚	さ	12.0mm	『JIS G 4304』, 日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-27 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	水密扉(第 3 号機海水熱交換器建屋 海水ポンプ設置エリア)(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-1-1-27 図 水密扉(第3号機海水熱交換器建屋海水ポンプ設置エリア)(No.1)構造図 別紙

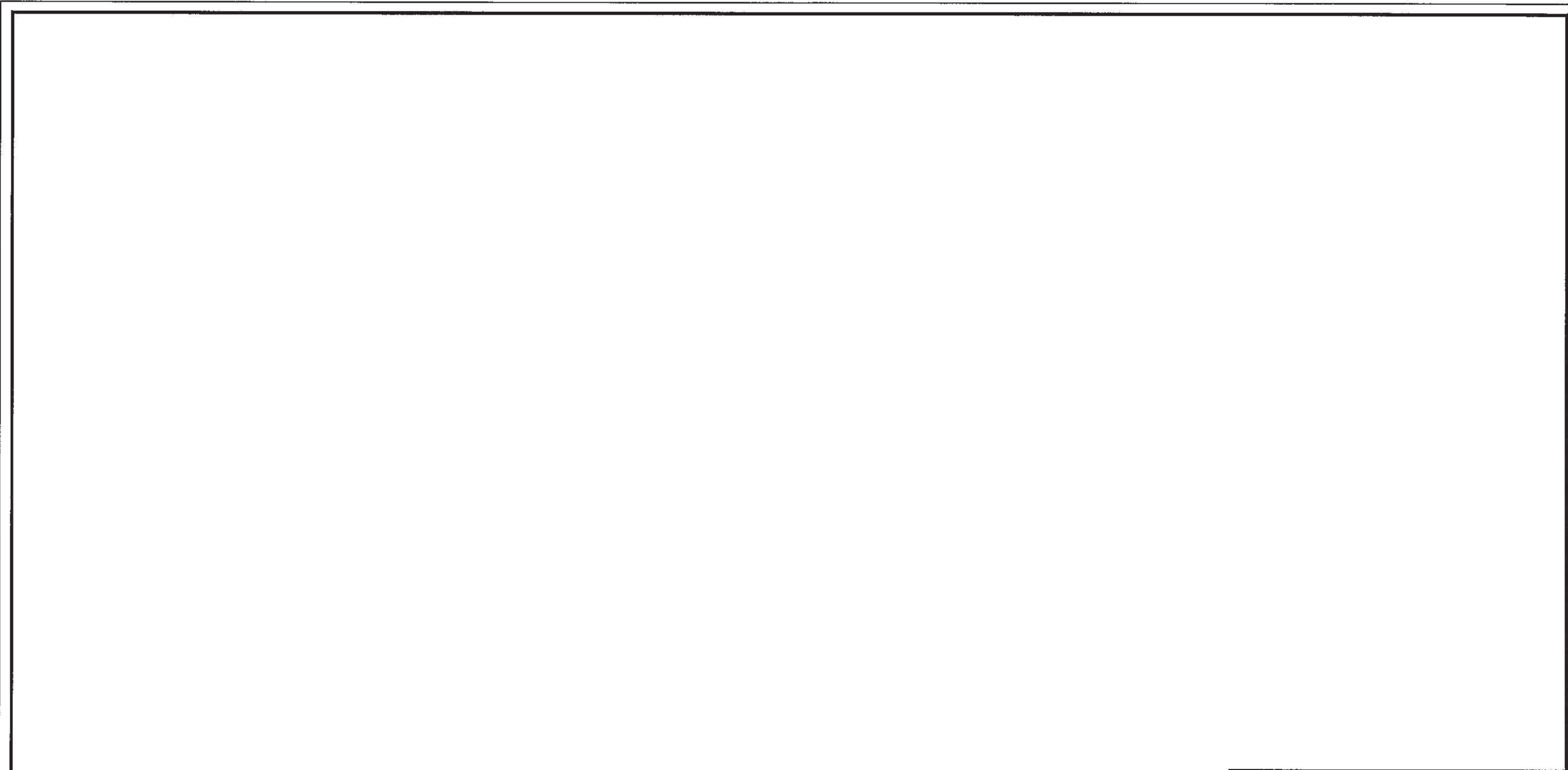
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2055		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	900		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。





枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-28 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	水密扉(第 3 号機海水熱交換器建屋 海水ポンプ設置エリア)(No.2) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

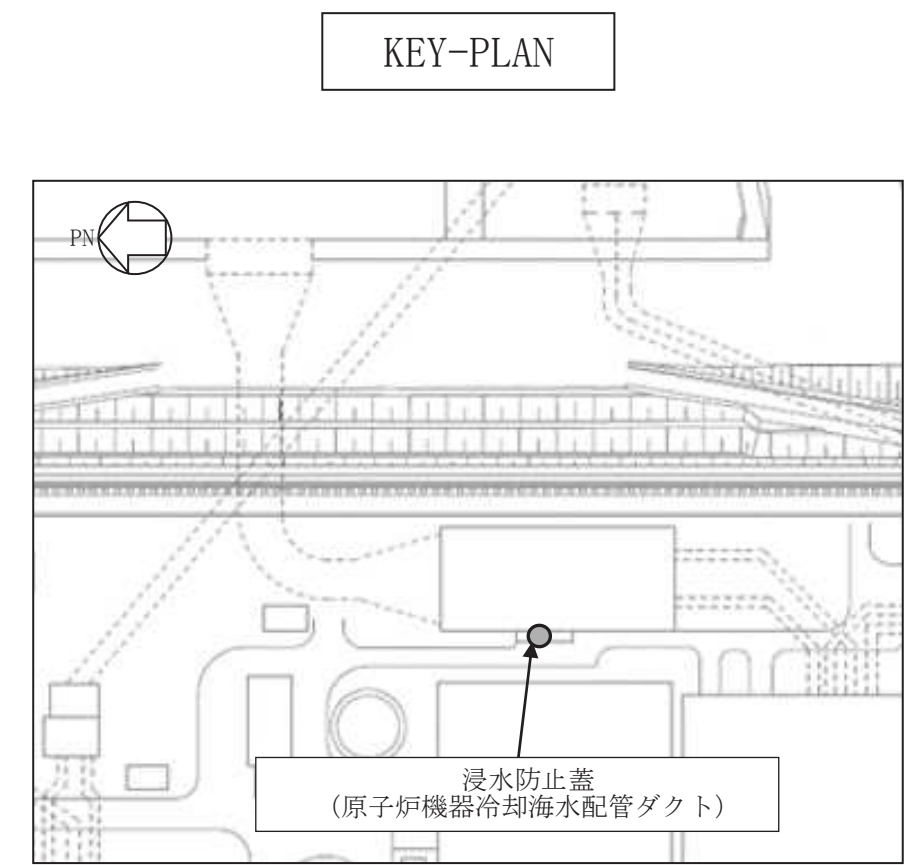
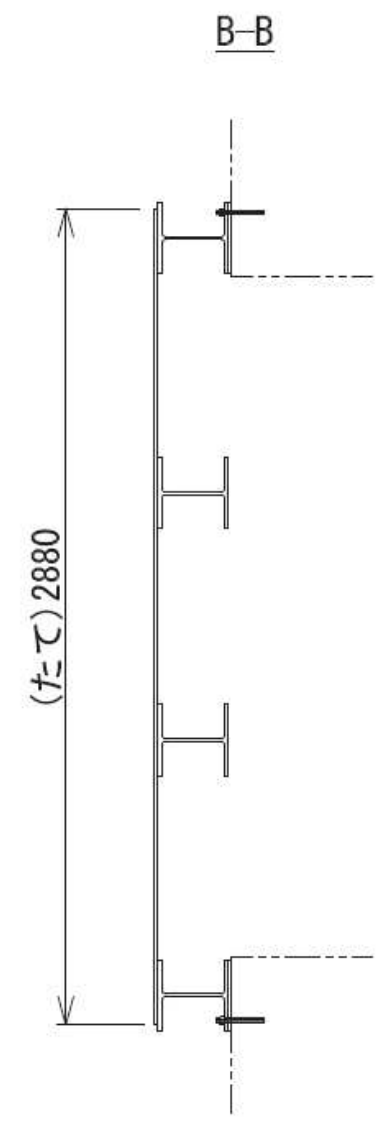
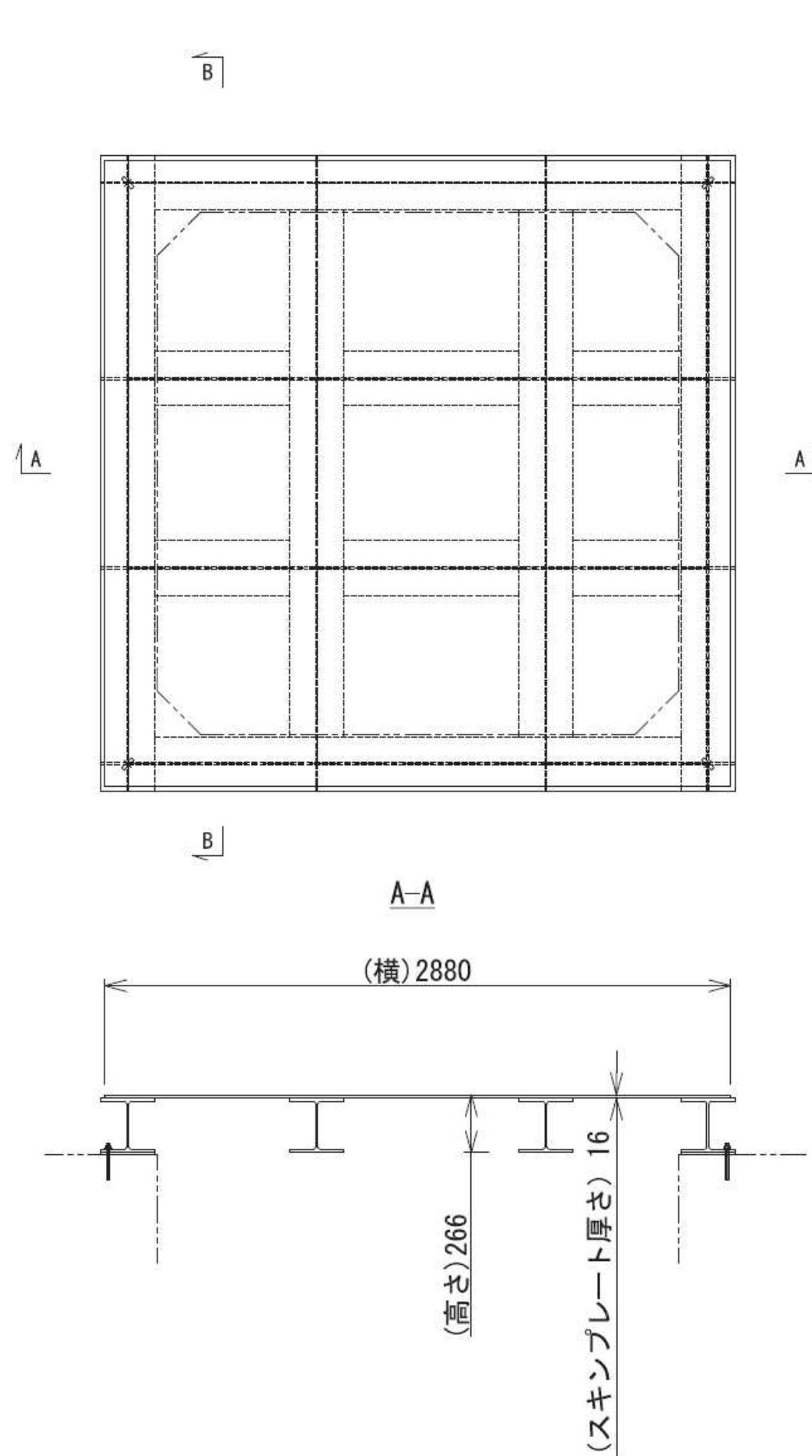
第9-4-1-1-28 図 水密扉(第3号機海水熱交換器建屋海水ポンプ設置エリア)(No.2)構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2055		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	900		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



\*1: 特記なき寸法は mm を示す。  
 \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

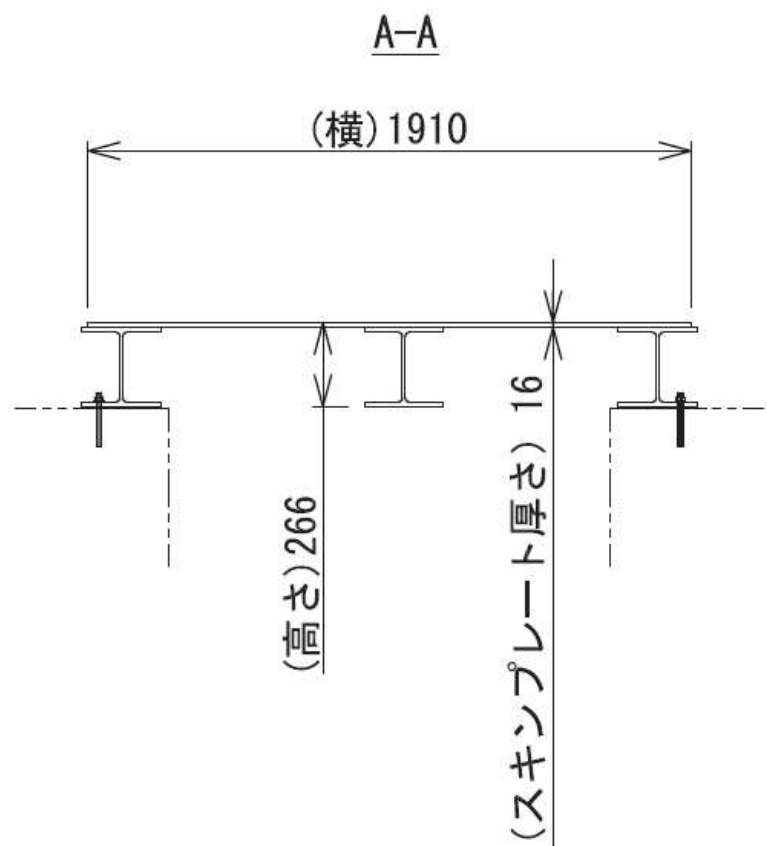
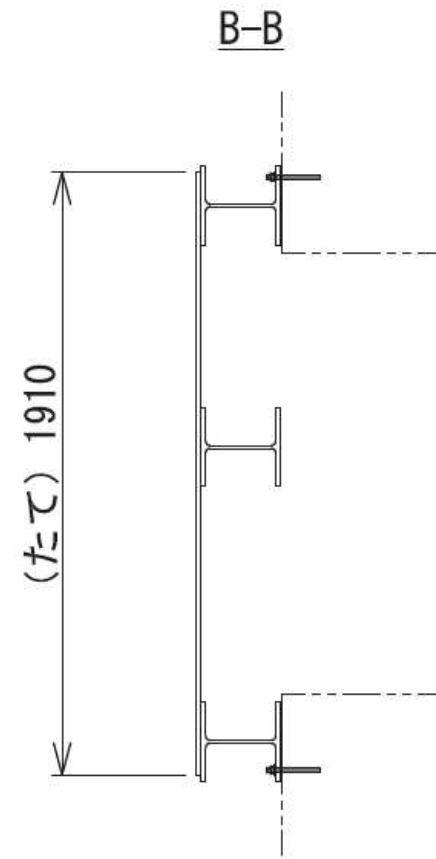
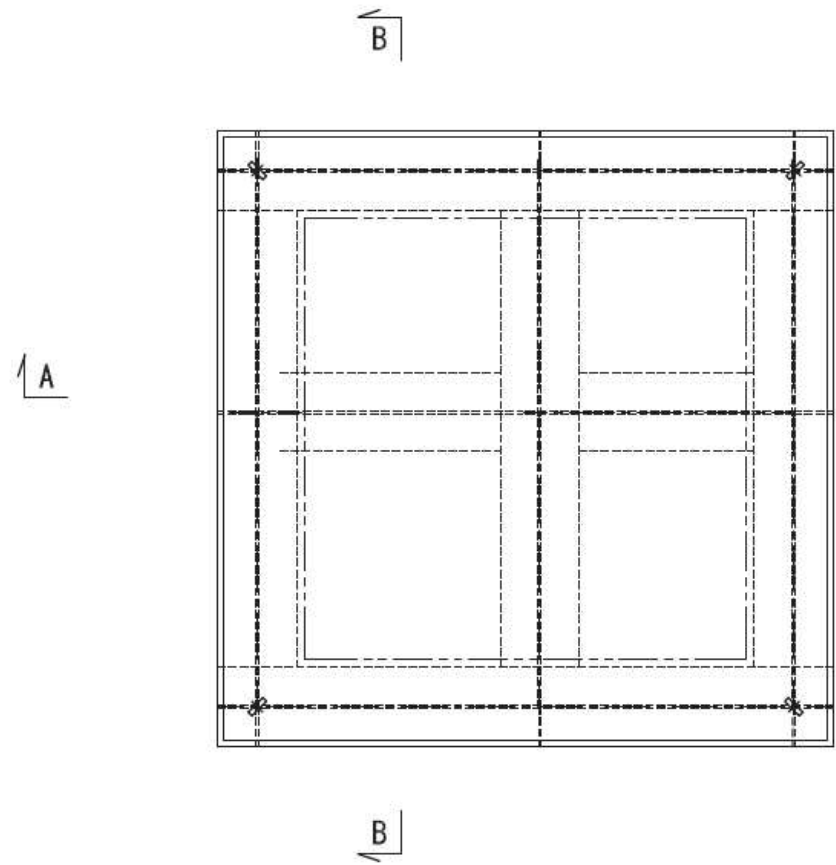
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-29 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	浸水防止蓋 (原子炉機器冷却海水配管ダクト) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-29 図 浸水防止蓋（原子炉機器冷却海水配管ダクト）構造図 別紙

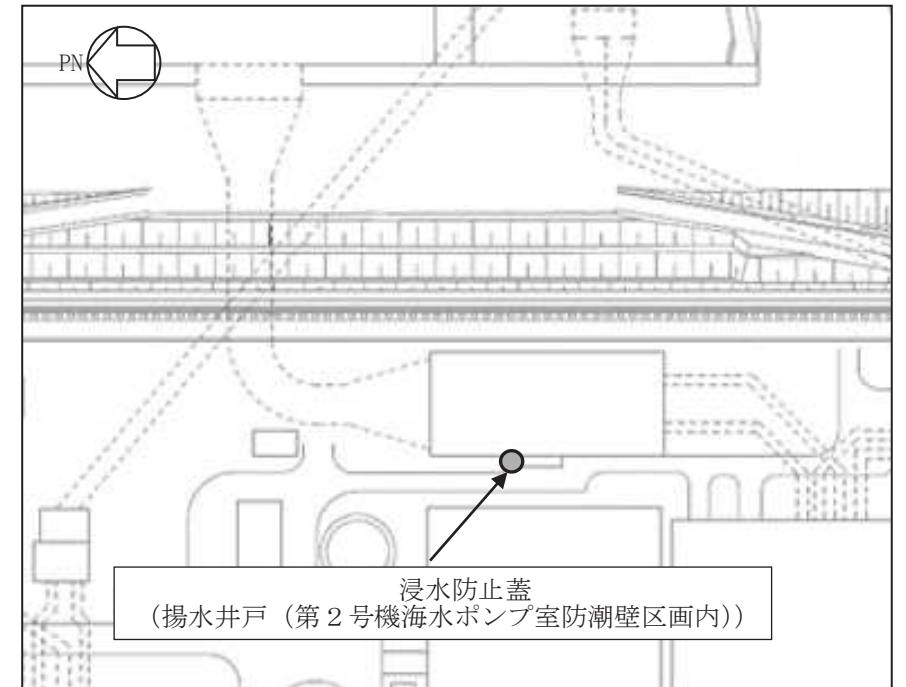
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠	
た	て	2880mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会	
横		2880mm		
高	さ	266 mm		
スキンプレート	厚	16.0mm	±0.95mm	『JIS G 3193』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



KEY-PLAN



\*1: 特記なき寸法は mm を示す。  
 \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

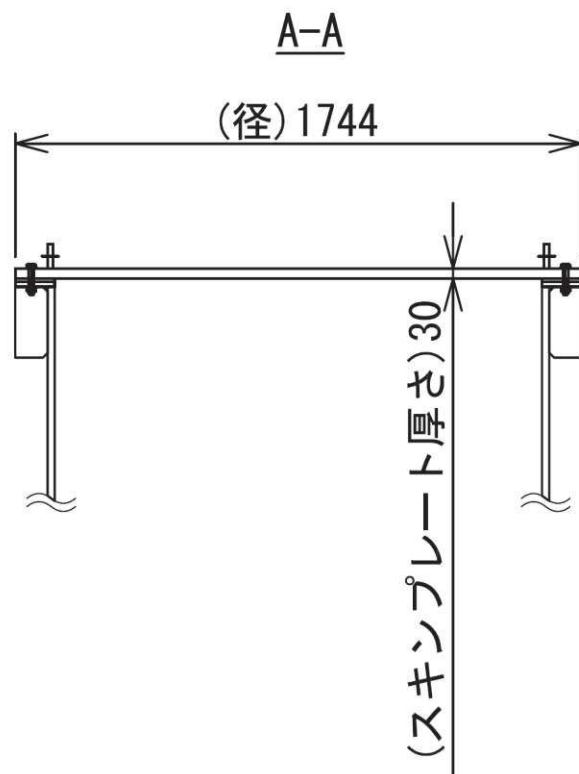
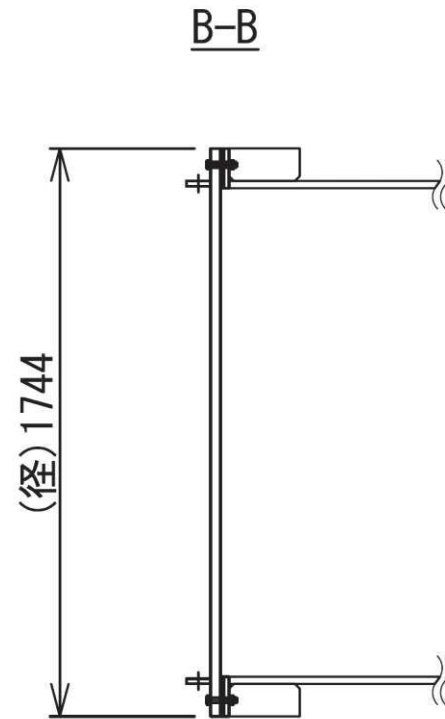
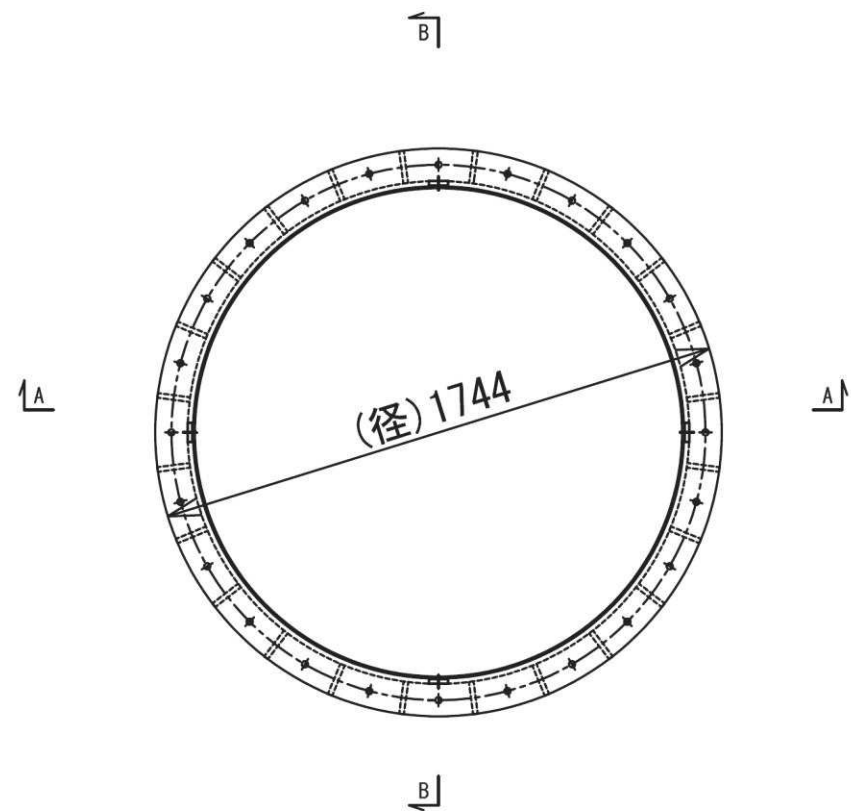
工事計画認可申請	第 9-4-1-1-30 図
名	女川原子力発電所 第 2 号機 浸水防止蓋 (揚水井戸 (第 2 号機 海水ポンプ室防潮壁区画内)) 構造図
称	東 北 電 力 株 式 会 社

第 9-4-1-1-30 図 浸水防止蓋（揚水井戸（第 2 号機海水ポンプ室防潮壁区画内））構造図 別紙

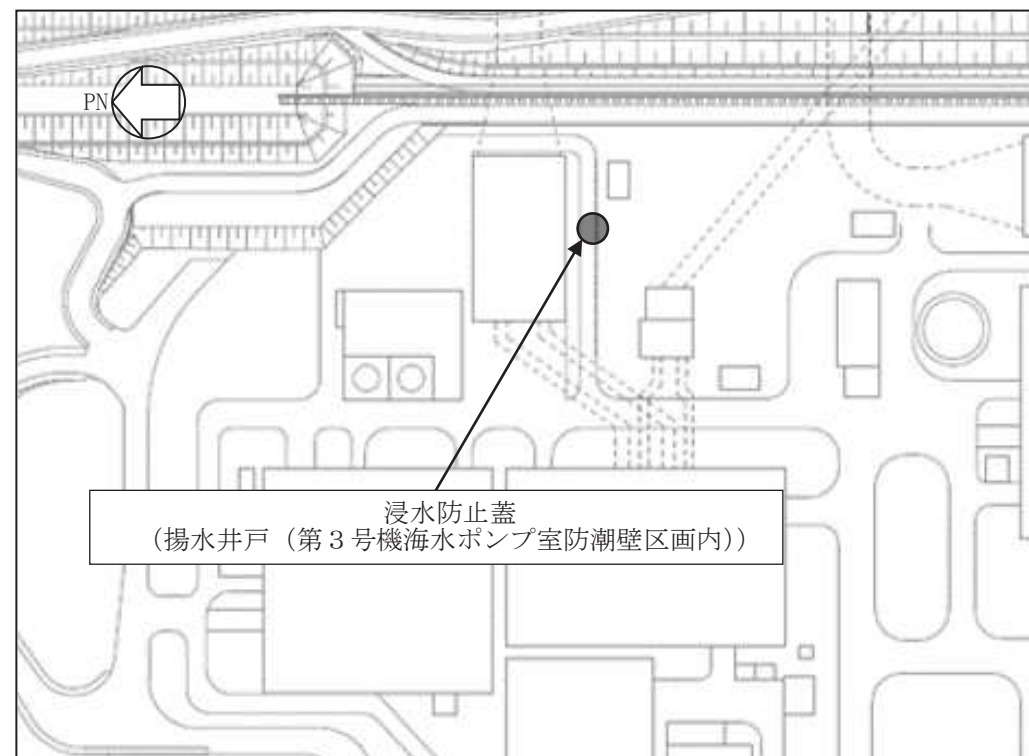
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠	
た	て	1910mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会	
横		1910mm		
高	さ	266 mm		
スキムプレート	厚	16.0mm	±4mm	『JIS G 3193』，日本規格協会
	さ		±3mm	
			±0.95mm	

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



KEY-PLAN



\*1: 特記なき寸法は mm を示す。  
\*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-31 図
名	女川原子力発電所 第2号機 浸水防止蓋 (揚水井戸 (第3号機 海水ポンプ室防潮壁区画内)) 構造図
称	東北電力株式会社

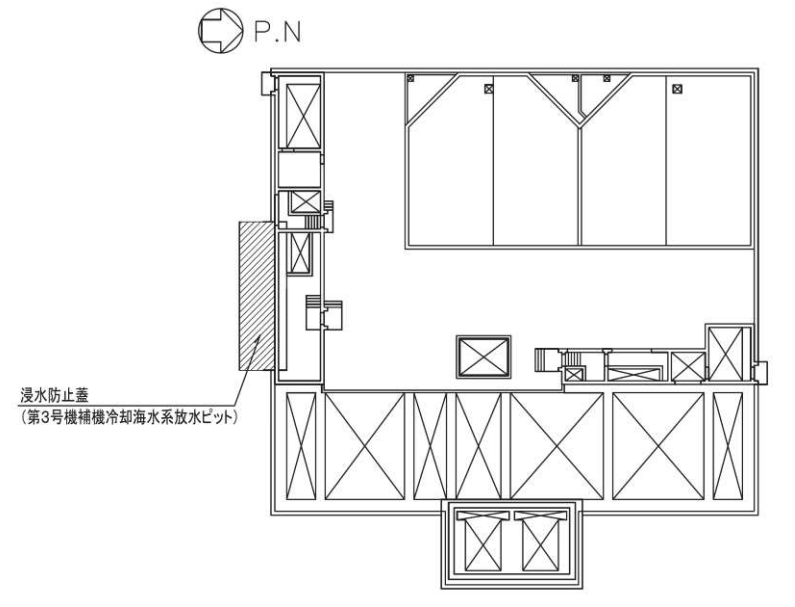
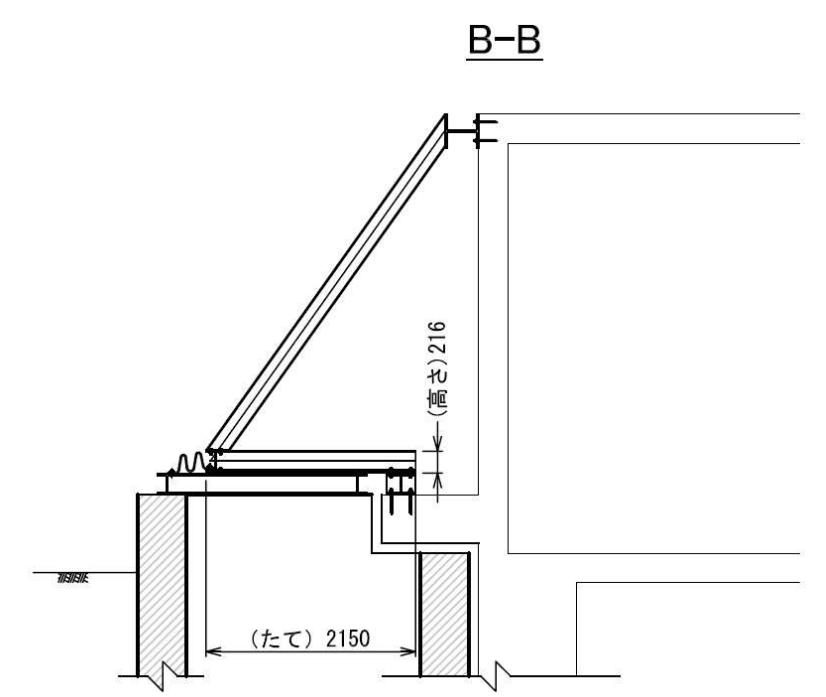
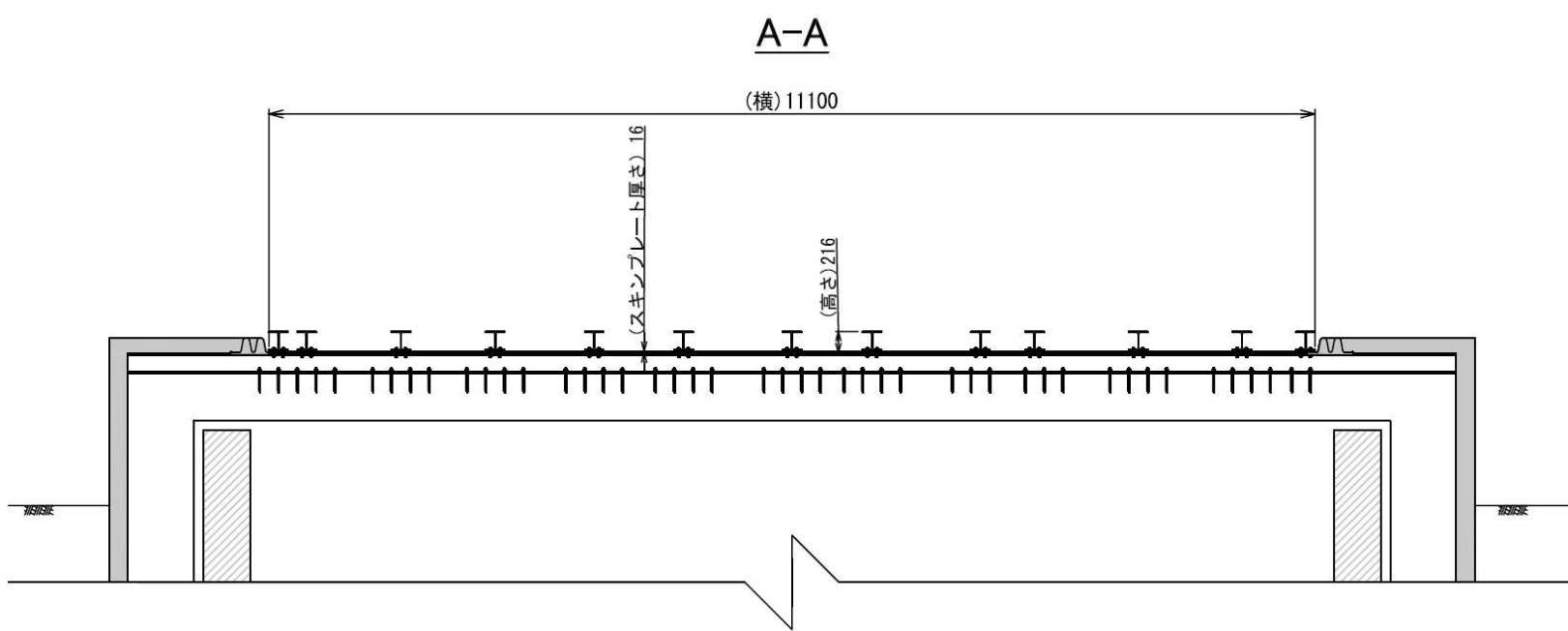
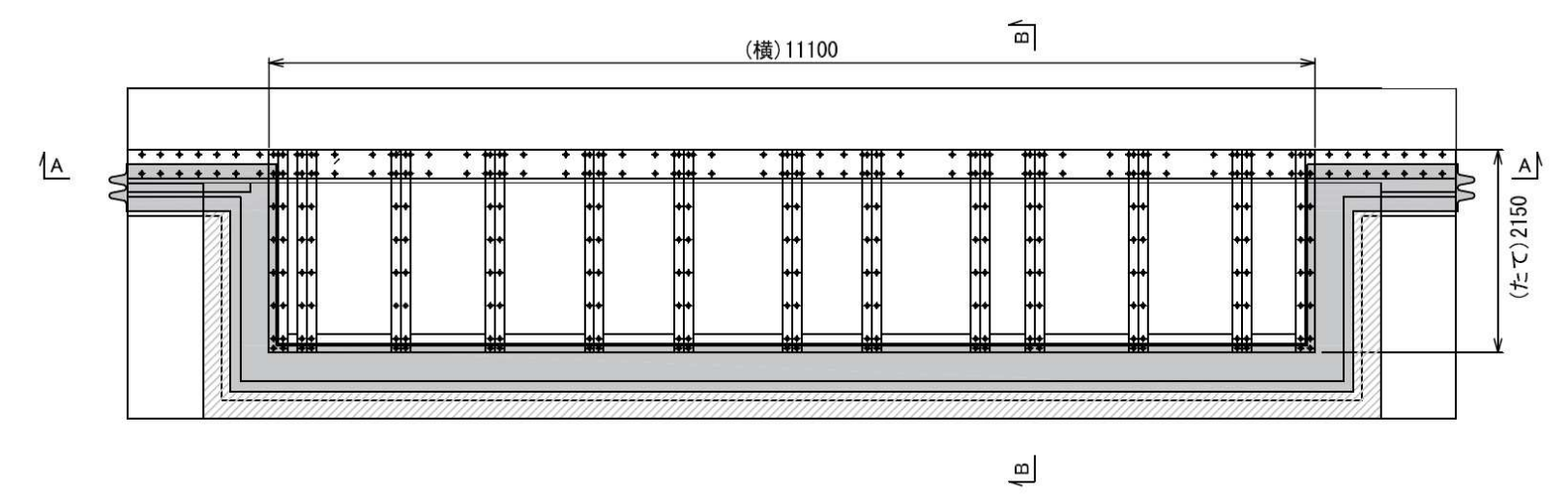
第 9-4-1-1-31 図 浸水防止蓋（揚水井戸（第 3 号機海水ポンプ室防潮壁区画内））構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
径	1744mm	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会
スキンプレート 厚 さ	30.0mm	±1mm	『JIS G 3193』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。





配置図

\*1: 特記なき寸法は mm を示す。  
 \*2: 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-32 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	浸水防止蓋 (第 3 号機補機冷却海水系放水ピット) 構造図
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-32 図 浸水防止蓋（第3号機補機冷却海水系放水ピット）構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠	
た	て	2150mm	±4mm	『水門鉄管技術基準 水門扉検査要領』， 水門鉄管協会
横		11100mm	±8mm	
高	さ	216 mm	±3mm	
スキンプレート	厚	16.0mm	+0.95mm	『JIS G 3193』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第9-4-1-1-33図

女川原子力発電所 第2号機

名 浸水防止蓋（第3号機海水熱交換器建  
称 屋海水ポンプ設置エリア角落し部）  
構造図

東北電力株式会社

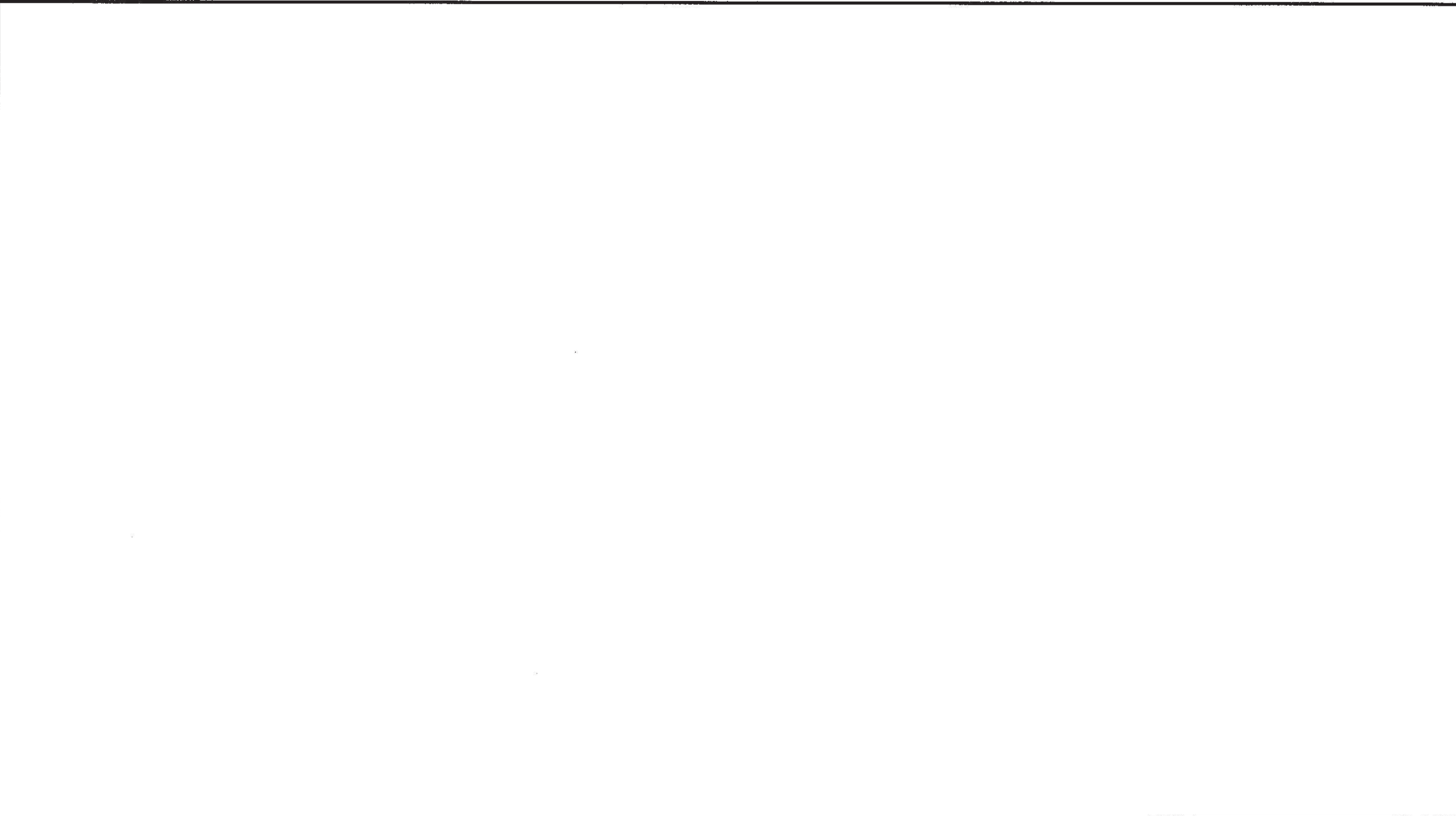
第 9-4-1-1-33 図 浸水防止蓋(第 3 号機海水熱交換器建屋海水ポンプ設置エリア角落し部)構造図  
別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	510		製造能力，製造実績を考慮した メーカー基準
横	3135		同上
高さ	96.0		同上
スキンプレート 厚さ	16.0	±1.6mm	『JIS G 4304』，日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-34図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	浸水防止蓋（第3号機海水熱交換器建屋 海水ポンプ設置エリア点検用開口部） (No.1), (No.2) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-34 図 浸水防止蓋(第 3 号機海水熱交換器建屋海水ポンプ設置エリア点検用開口部) (No. 1), (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1000		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
横	1000		同上
高さ	164		同上
スキンプレート 厚さ	12.0	±1.6mm	『JIS G 4304』, 日本規格協会

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-35図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第2号機原子炉補機冷却海水ポンプ (A)(C)室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2),(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-35 図 第 2 号機原子炉補機冷却海水ポンプ (A) (C) 室逆止弁付ファンネル  
(No. 1), (No. 2), (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-36図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第2号機原子炉補機冷却海水ポンプ (B)(D)室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2),(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-36 図 第 2 号機原子炉補機冷却海水ポンプ (B) (D) 室逆止弁付ファンネル  
(No. 1), (No. 2), (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-37図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第2号機高圧炉心スプレイ補機冷却 海水ポンプ室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-37 図 第 2 号機高圧炉心スプレイ補機冷却海水ポンプ室逆止弁付ファンネル  
(No. 1), (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-38図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第2号機タービン補機冷却 海水ポンプ室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2),(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-38 図 第 2 号機タービン補機冷却海水ポンプ室逆止弁付ファンネル  
(No. 1), (No. 2), (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-39図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第3号機原子炉補機冷却海水ポンプ (A)(C)室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2) 構造図
東北電力株式会社	



第 9-4-1-1-39 図 第 3 号機原子炉補機冷却海水ポンプ(A)(C)室逆止弁付ファンネル(No. 1), (No. 2)  
構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-40図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第3号機原子炉補機冷却海水ポンプ (B)(D)室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-40 図 第 3 号機原子炉補機冷却海水ポンプ(B)(D)室逆止弁付ファンネル(No. 1), (No. 2)  
構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-41図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第3号機高圧炉心スプレイ補機冷却 海水ポンプ室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-41 図 第 3 号機高圧炉心スプレイ補機冷却海水ポンプ室逆止弁付ファンネル  
(No. 1), (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-42図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	第3号機タービン補機冷却 海水ポンプ室逆止弁付ファンネル (No.1),(No.2),(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-42 図 第 3 号機タービン補機冷却海水ポンプ室逆止弁付ファンネル  
(No. 1), (No. 2), (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)	許容範囲	根 拠
高さ		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

特記の内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-43 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉建屋浸水防止水密扉(No.2) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



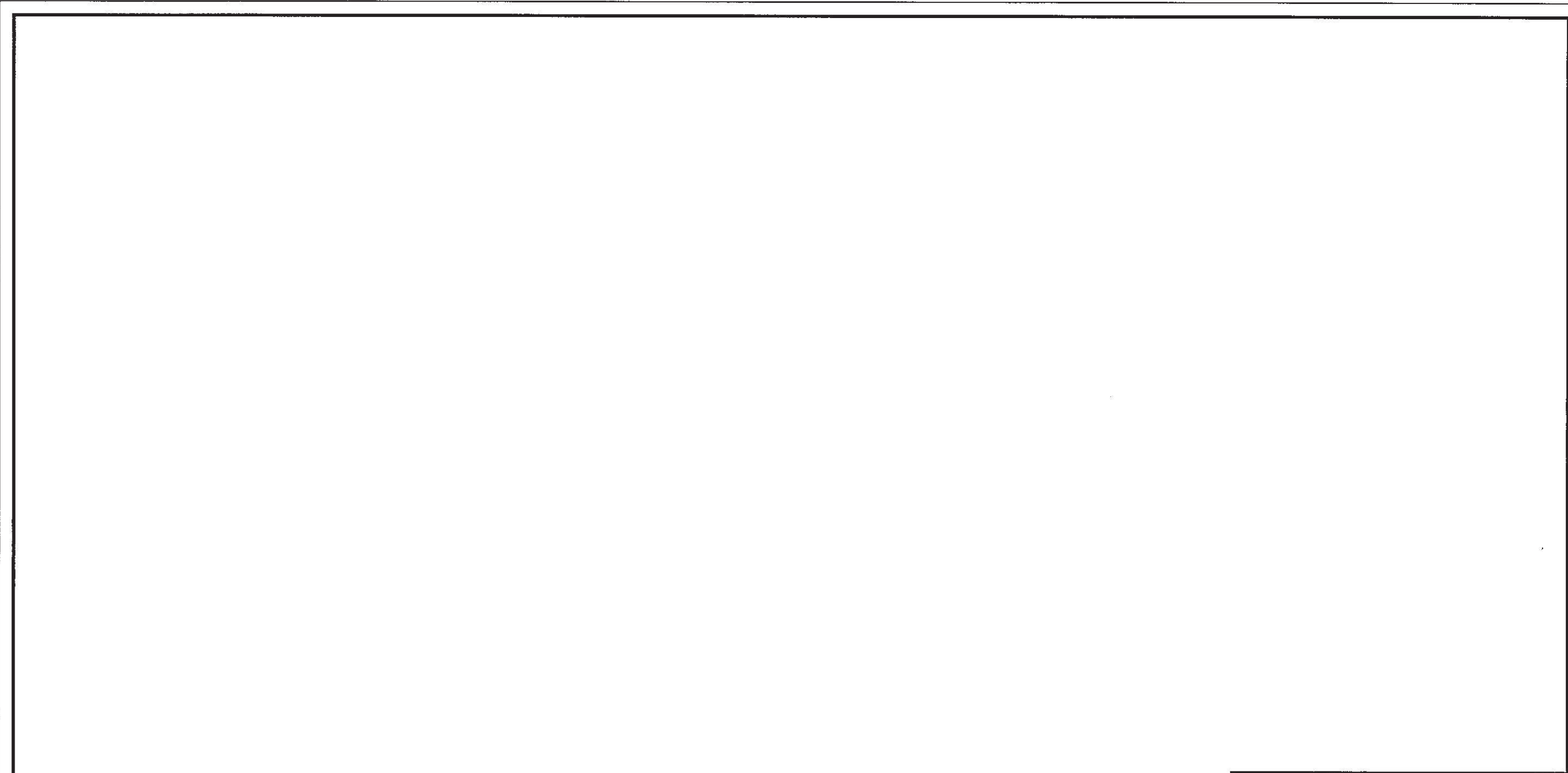
第9-4-1-1-43 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1335		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-44 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉建屋浸水防止水密扉(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

0428

第9-4-1-1-44 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1335		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-45 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	制御建屋浸水防止水密扉(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

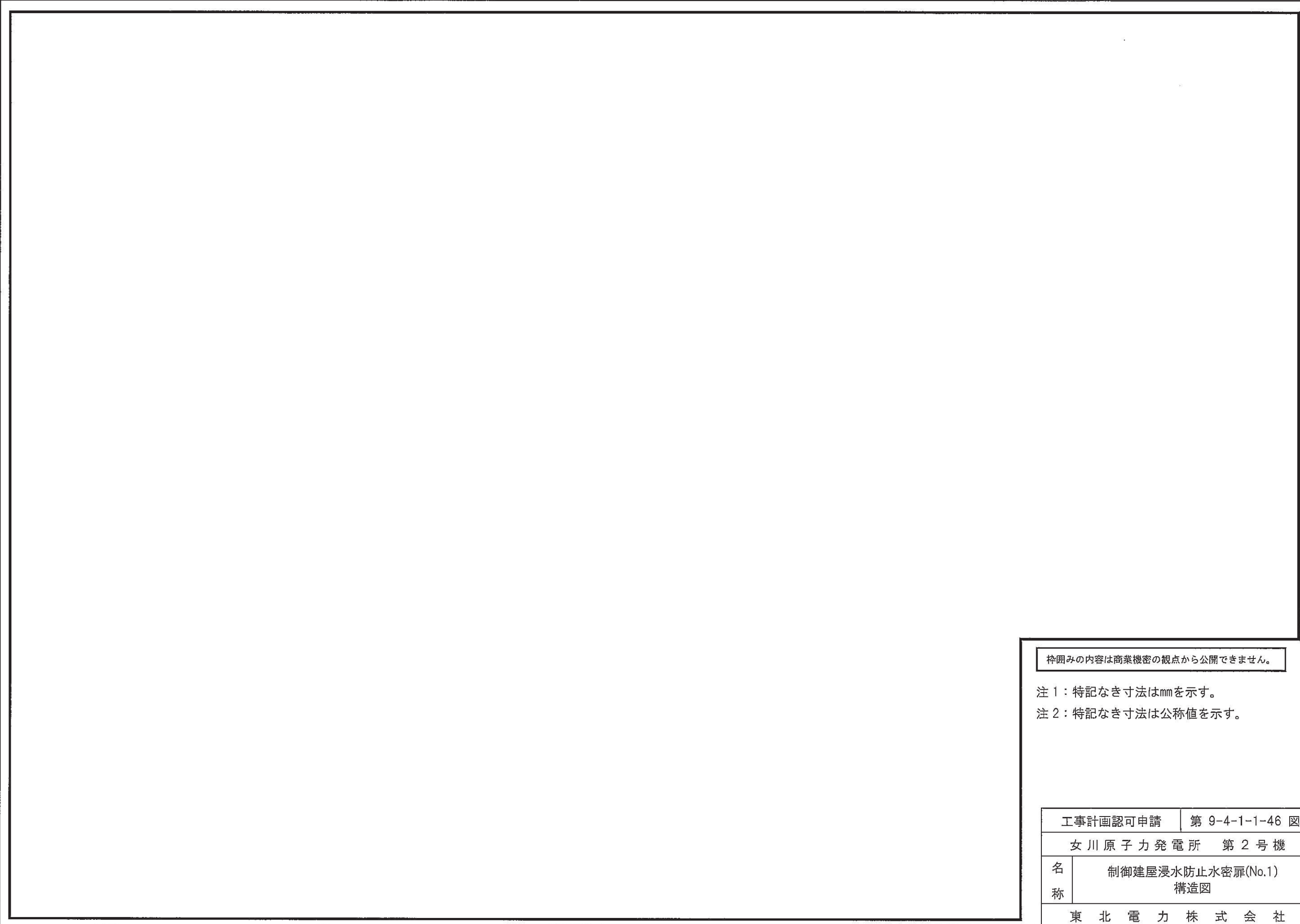
第 9-4-1-1-45 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1816		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-46 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋浸水防止水密扉(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

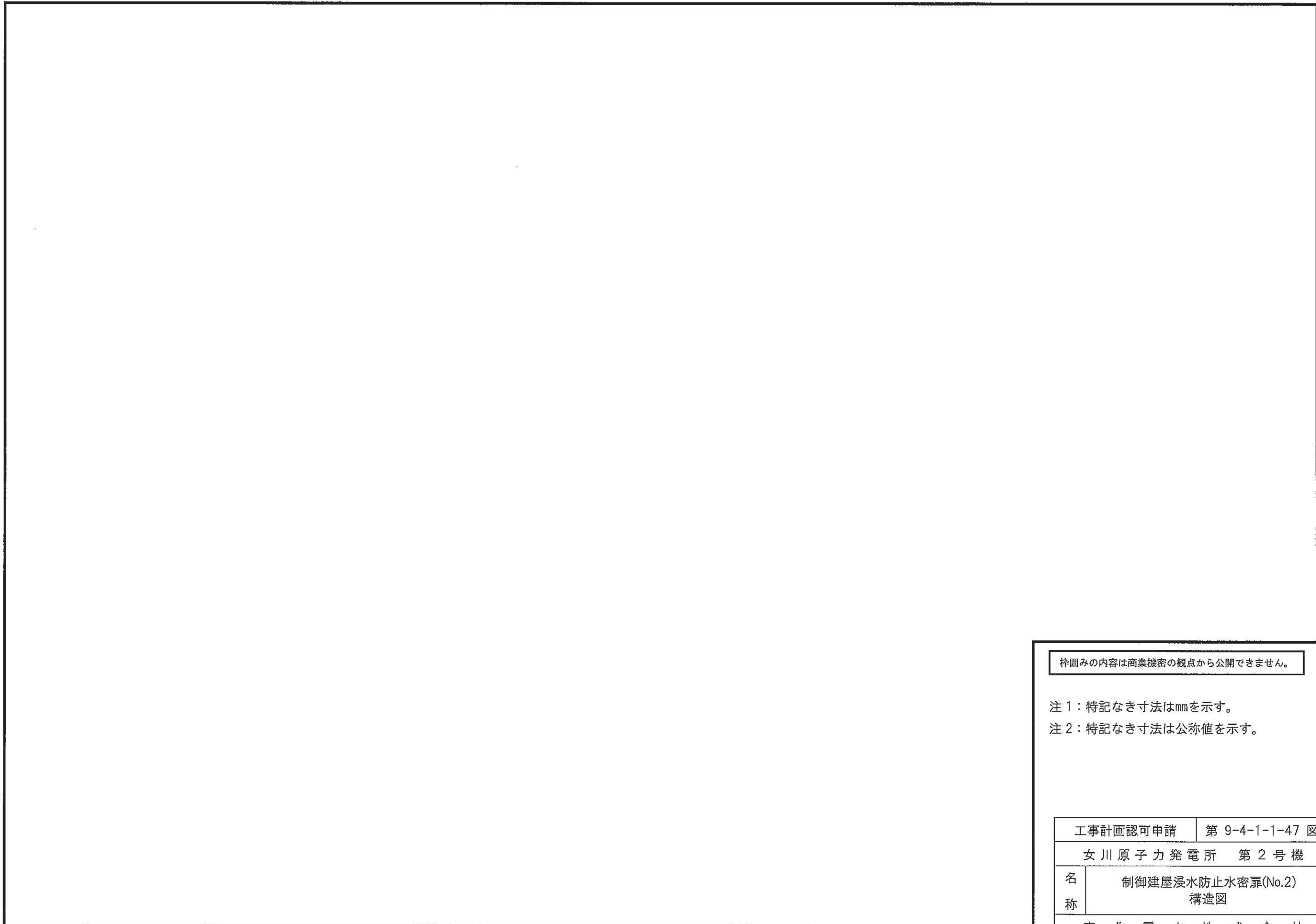
第 9-4-1-1-46 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2080		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1175		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-47 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋浸水防止水密扉(No.2) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



第 9-4-1-1-47 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1955		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1000		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-48 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	計測制御電源室(B) 浸水防止水密扉(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-48 図 計測制御電源室 (B) 浸水防止水密扉 (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2111		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1522		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-49 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	制御建屋空調機械(A)室 浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

0428

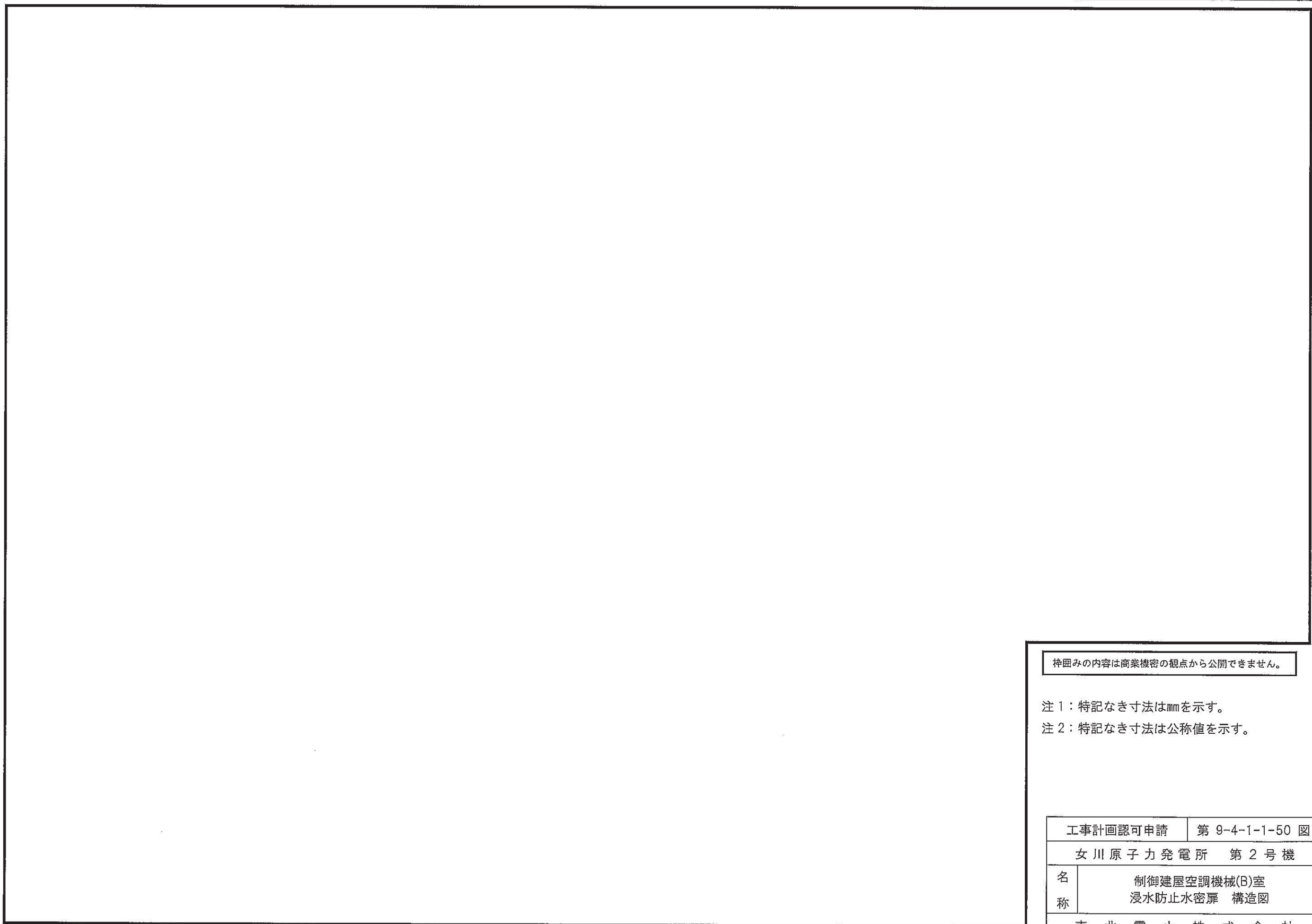
第 9-4-1-1-49 図 制御建屋空調機械 (A) 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1990		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	950		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



特図みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-50 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	制御建屋空調機械(B)室 浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-1-1-50 図 制御建屋空調機械 (B) 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2106		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1047		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密および防護上の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第9-4-1-1-51図

女川原子力発電所 第2号機

名 第2号機MCR浸水防止水密扉  
称 構造図

東北電力株式会社



第9-4-1-1-51 図 第2号機 MCR 浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉 体	たて	2600		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2030		同上
小 扉	たて	2200		同上
	横	1044		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密および防護上の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-52 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	制御建屋浸水防止水密扉(No.4) 構造図
東北電力株式会社	

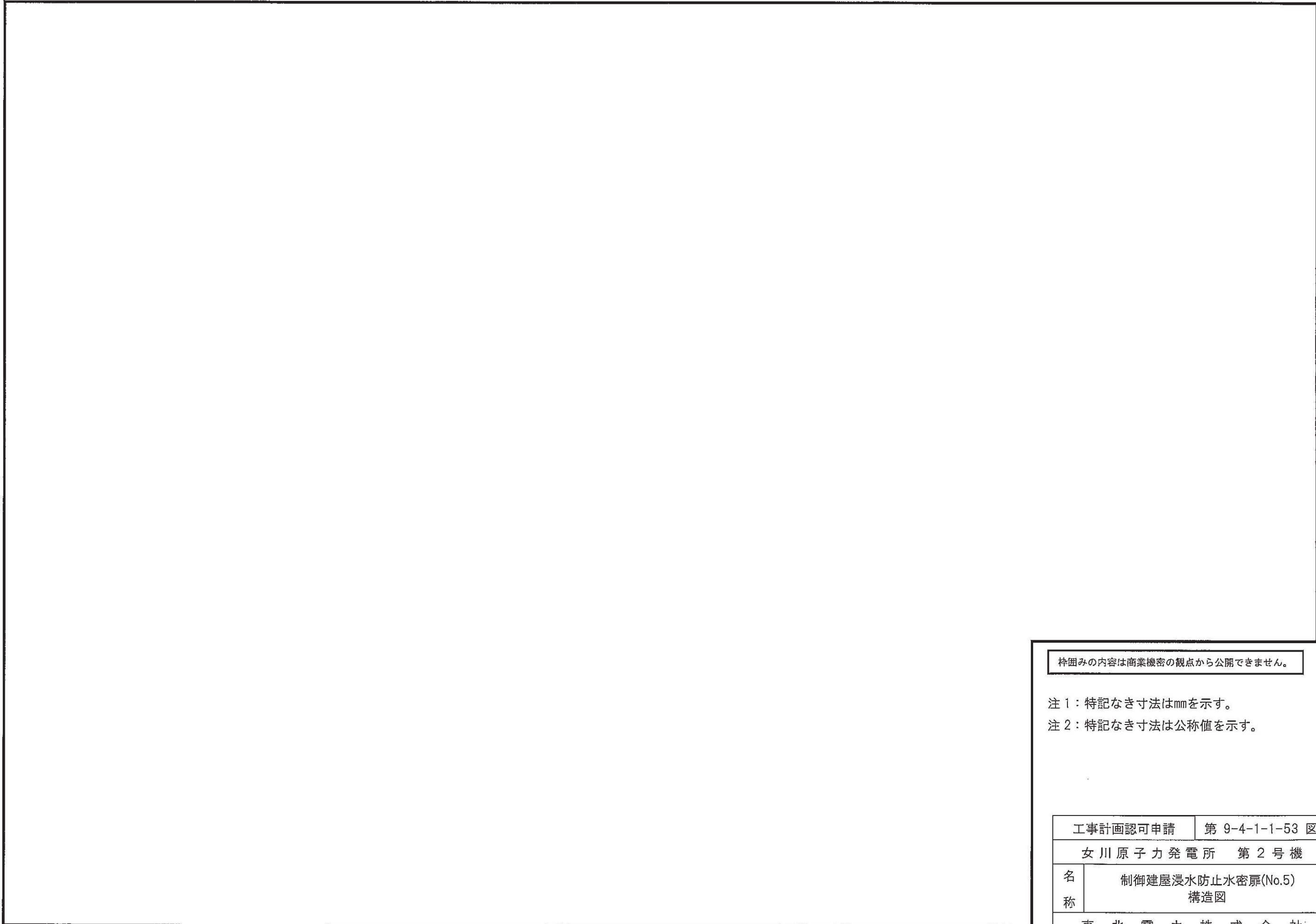
第 9-4-1-1-52 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 4) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1840		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	945		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-1-53 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	制御建屋浸水防止水密扉(No.5) 構造図
東北電力株式会社	

第9-4-1-1-53 図 制御建屋浸水防止水密扉 (No. 5) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2052		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	2002		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第9-4-1-1-54図

女川原子力発電所 第2号機

名称	地下軽油タンク燃料移送ポンプ室 アクセス用浸水防止蓋(No.1) 構造図
----	---

東北電力株式会社

第 9-4-1-1-54 図 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1070		同上
厚さ	16	±0.65mm	JIS G 3193

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

詳細の内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第9-4-1-1-55図

女川原子力発電所 第2号機

名称	地下軽油タンク燃料移送ポンプ室 アクセス用浸水防止蓋(No.2) 構造図
----	---

東北電力株式会社



第 9-4-1-1-55 図 地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1070		同上
厚さ	16	±0.65mm	JIS G 3193

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-1-1-56図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	地下軽油タンク機器搬出入用 浸水防止蓋 構造図
東北電力株式会社	

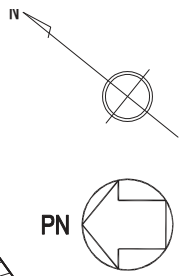
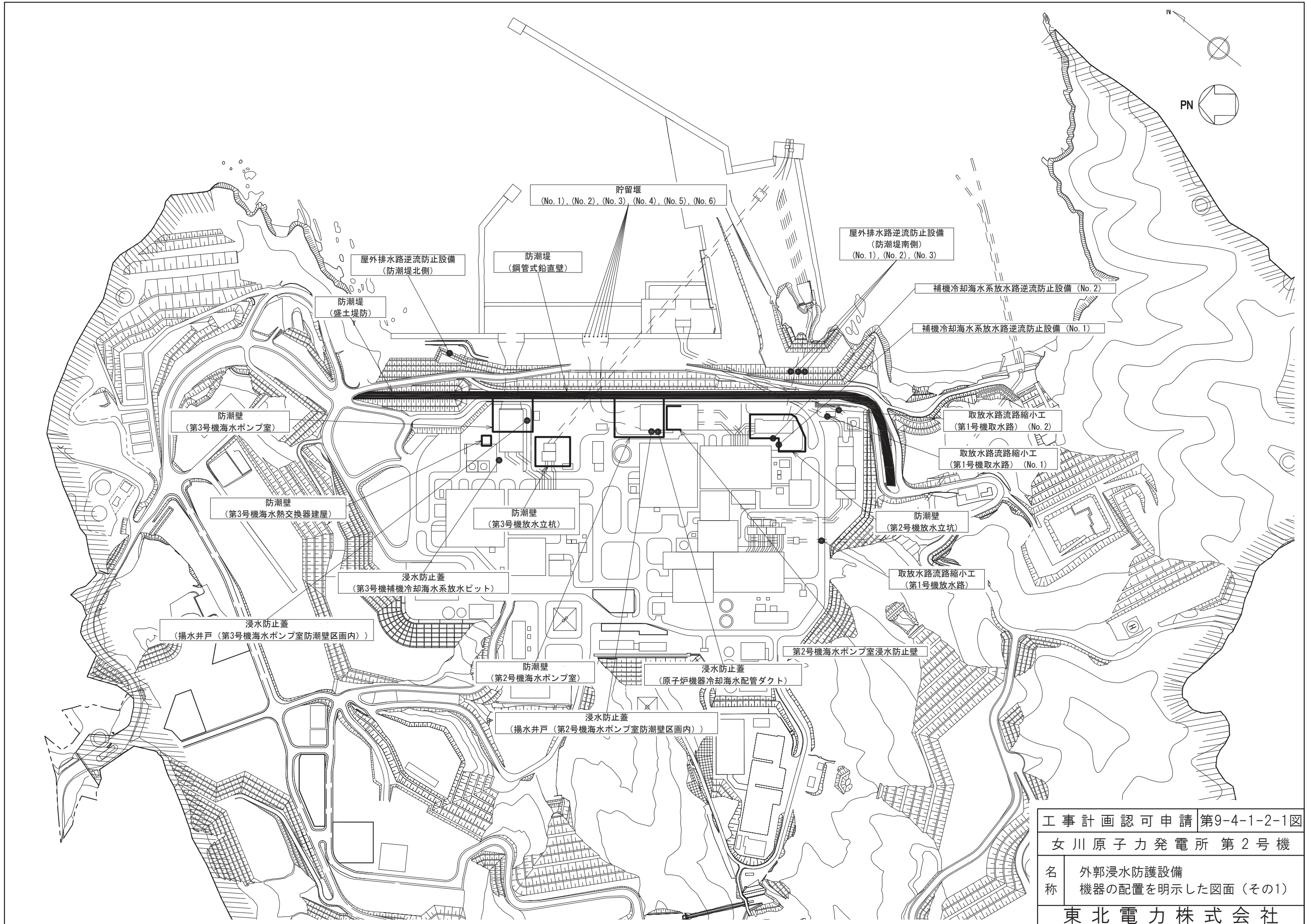
第 9-4-1-1-56 図 地下軽油タンク機器搬出入用浸水防止蓋構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1336		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1030		同上
厚さ	16		同上

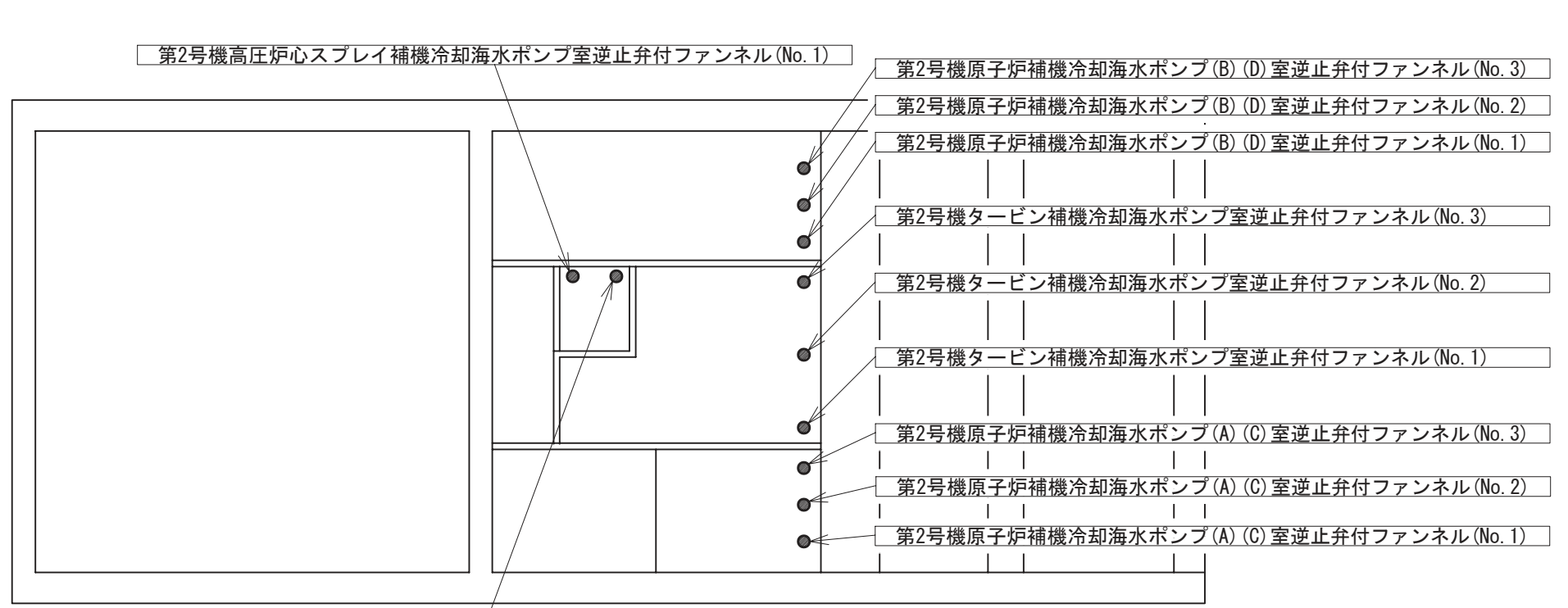
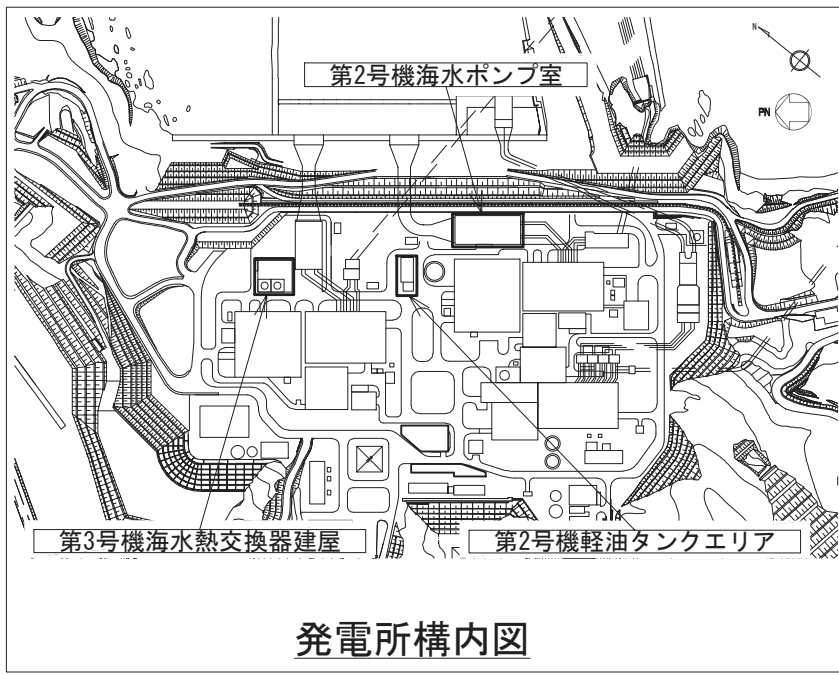
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



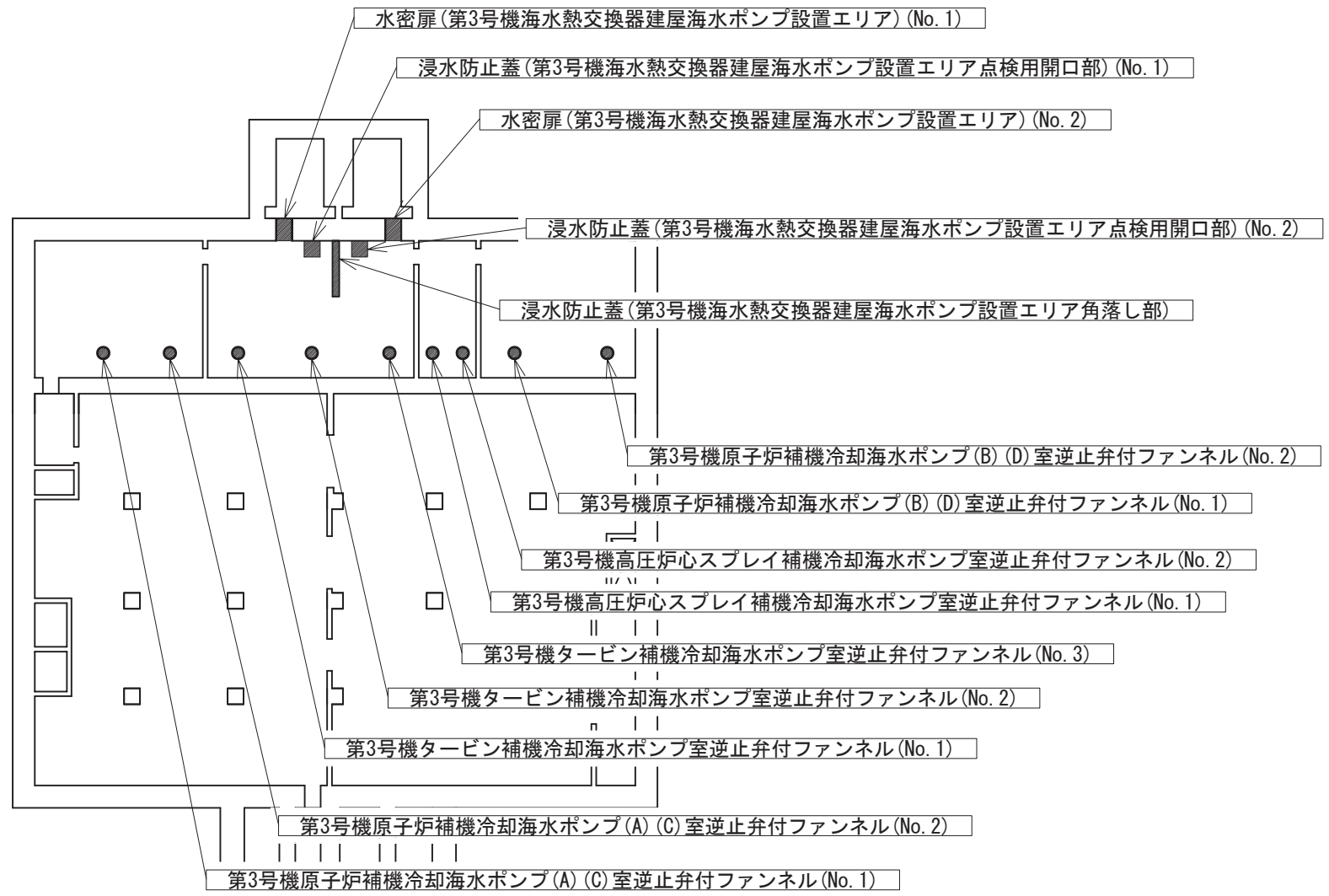
工事計画認可申請	第9-4-1-2-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	



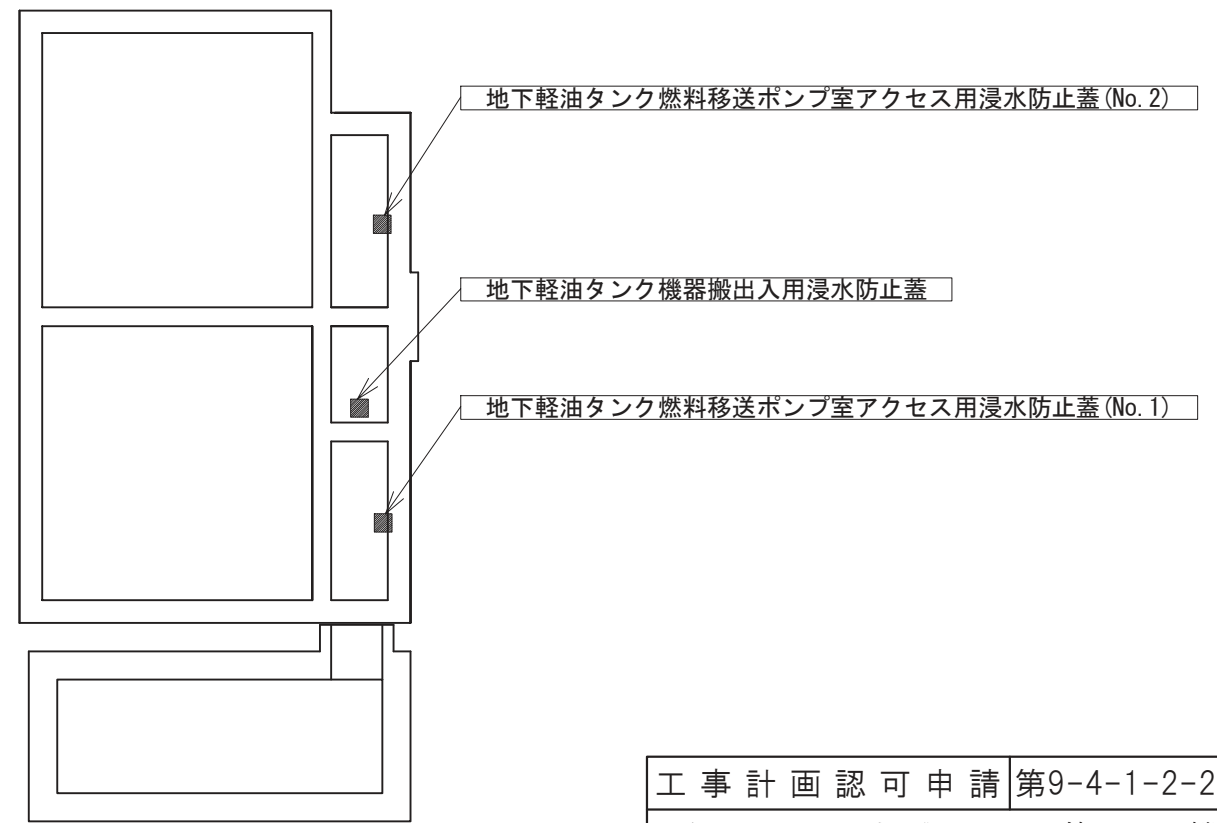


第2号機高圧炉心スプレィ補機冷却海水ポンプ室逆止弁付ファンネル(No. 2)

第2号機海水ポンプ室



第3号機海水熱交換器建屋

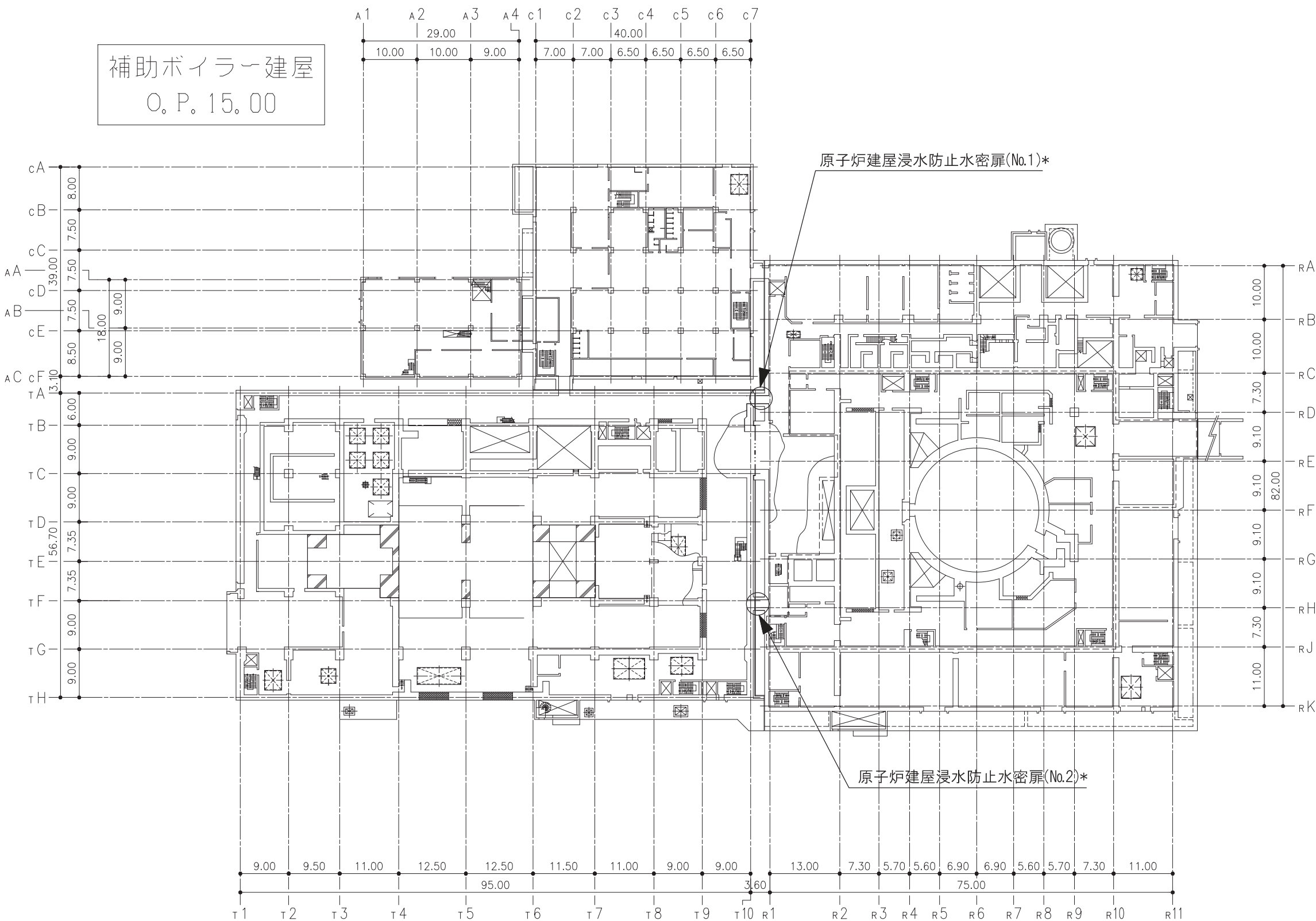


第2号機軽油タンクエリア

工事計画認可申請	第9-4-1-2-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	

制御建屋 O. P. 15.00

補助ボイラー建屋  
O. P. 15.00



注記\*：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

タービン建屋 O. P. 15.00

原子炉建屋 O. P. 15.00

工事計画認可申請	第 9-4-1-2-3 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その3)
東 北 電 力 株 式 会 社	

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

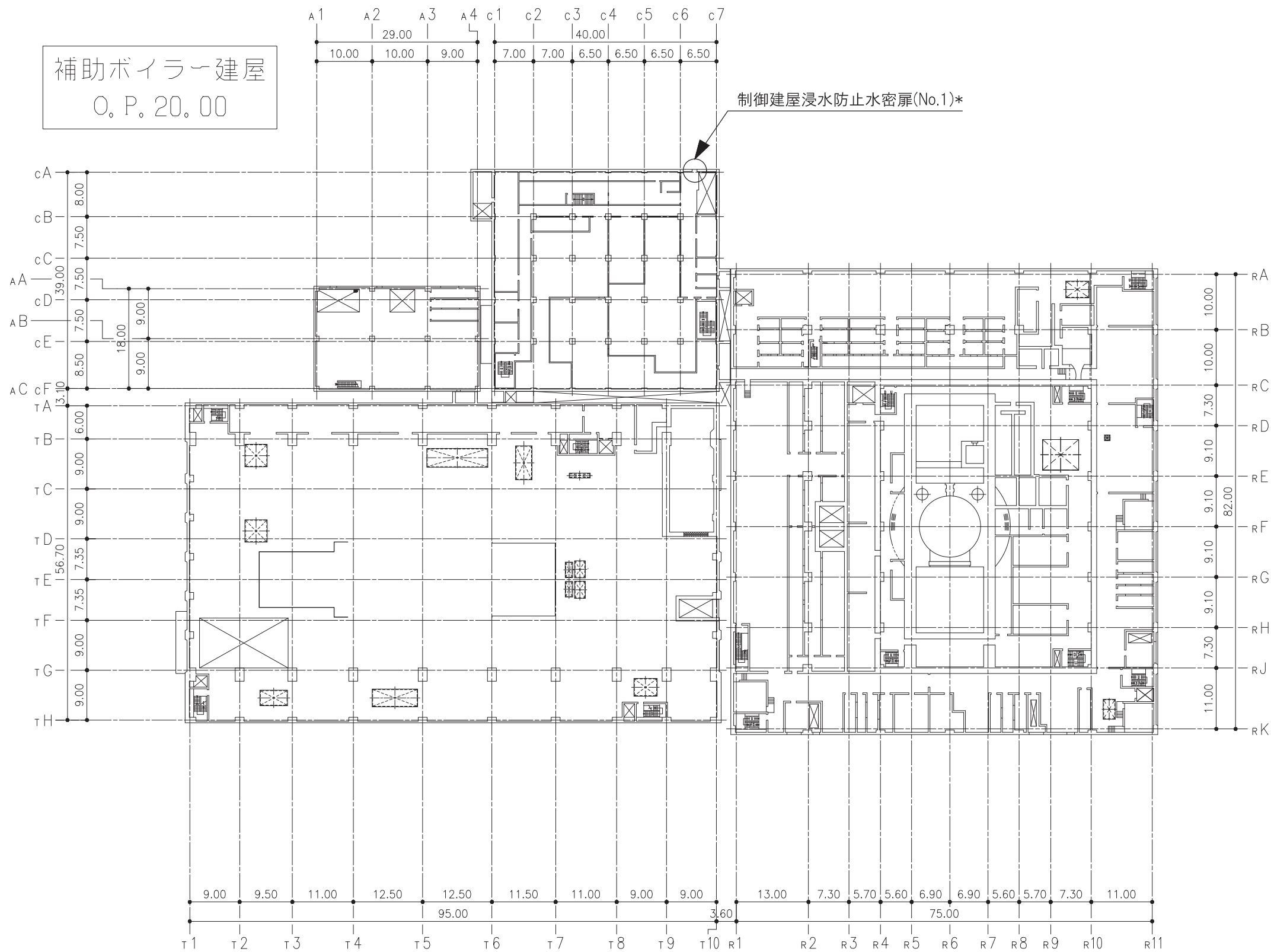
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-2-4 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面（その4）
東北電力株式会社	

制御建屋 O. P. 19. 50

補助ボイラー建屋  
O. P. 20. 00

制御建屋浸水防止水密扉(No.1)\*



タービン建屋 O. P. 24. 80

原子炉建屋 O. P. 22. 50

注記\*：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-2-5 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名	外郭浸水防護設備
称	機器の配置を明示した図面 (その5)
東北電力株式会社	



制御建屋 O. P. 15.00

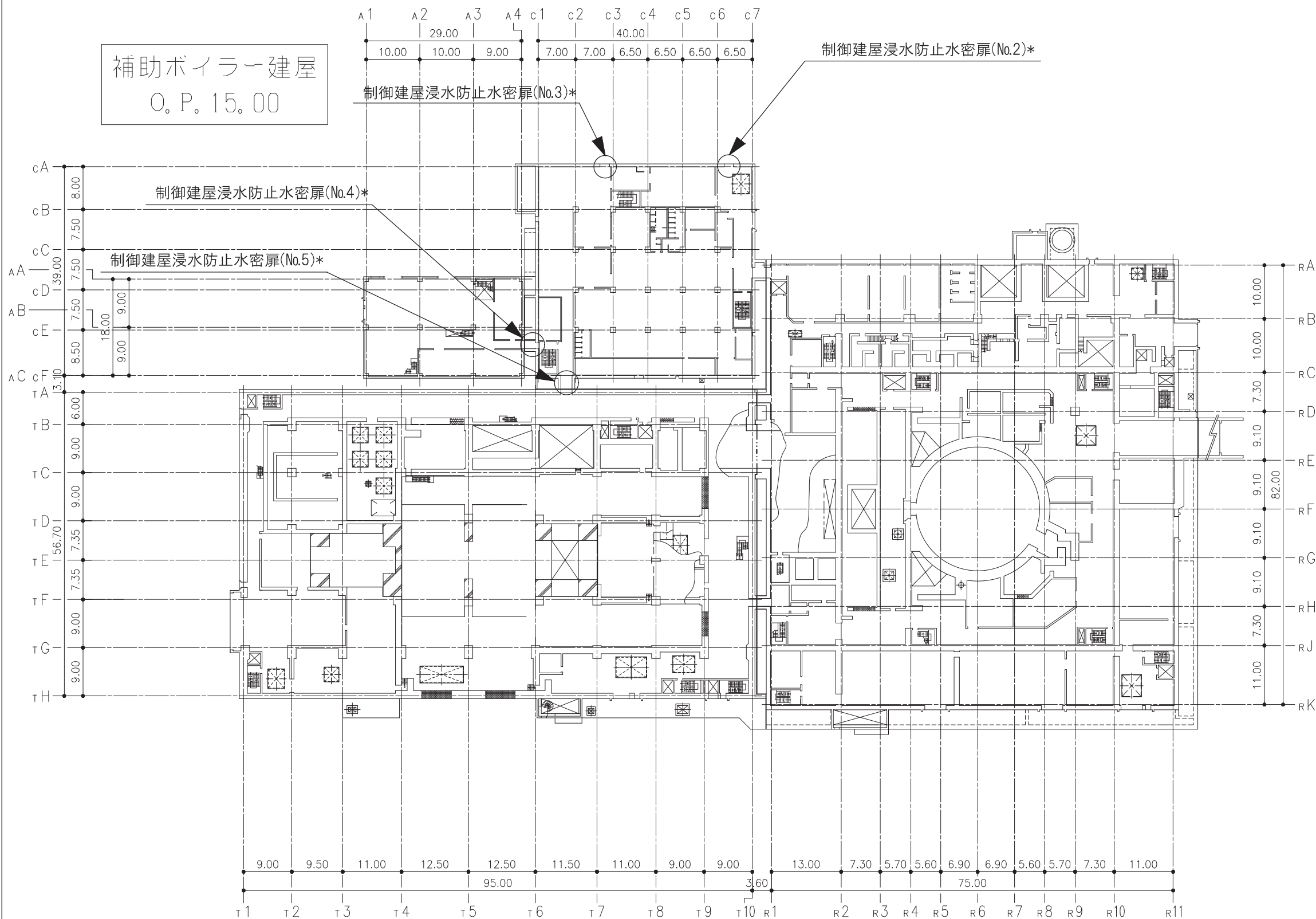
補助ボイラー建屋  
O. P. 15.00

制御建屋浸水防止水密扉(No.2)\*

制御建屋浸水防止水密扉(No.3)\*

制御建屋浸水防止水密扉(No.4)\*

制御建屋浸水防止水密扉(No.5)\*



注記\*：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。

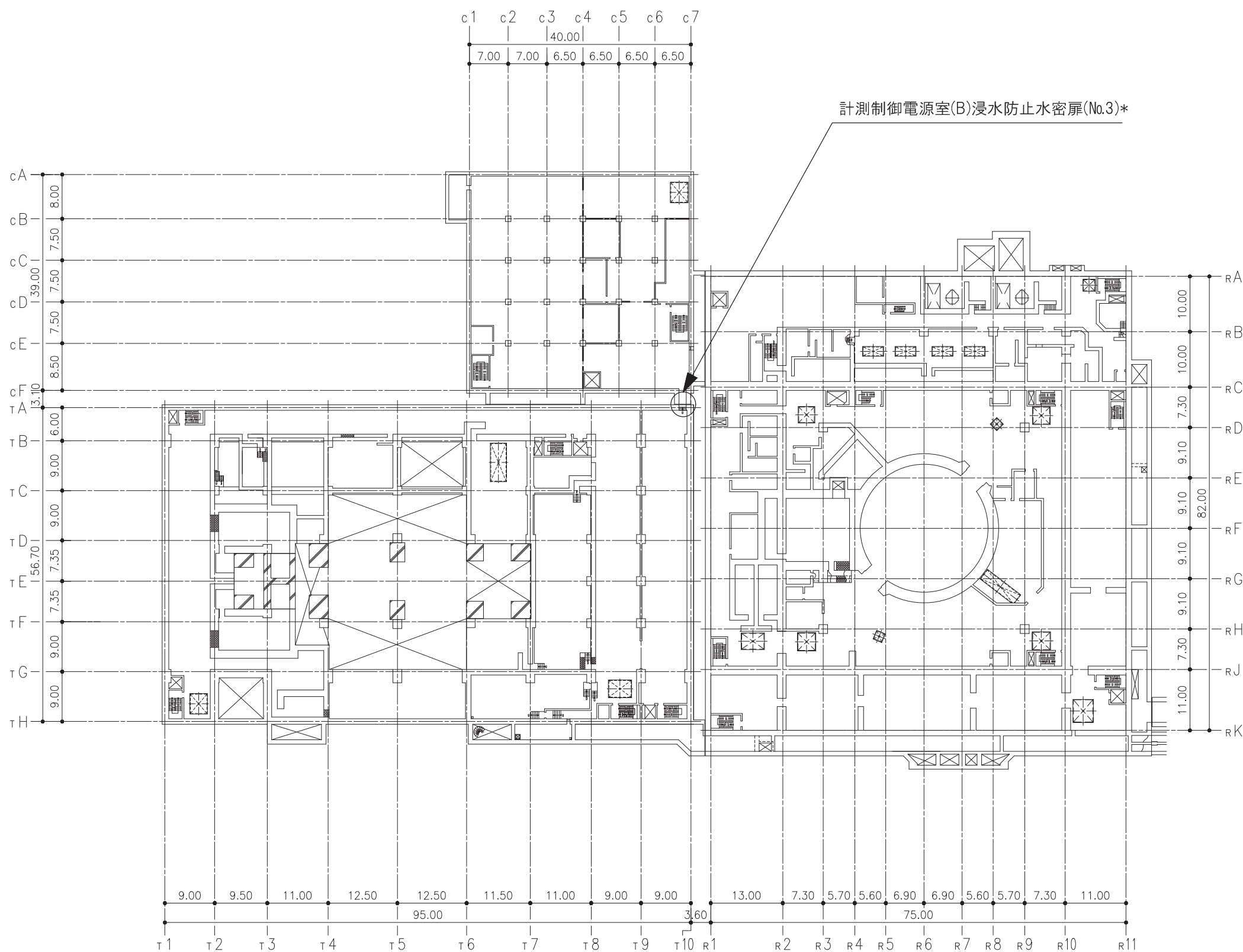
注：寸法はmを示す。

タービン建屋 O. P. 15.00

原子炉建屋 O. P. 15.00

工事計画認可申請	第 9-4-1-2-6 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その6)
東 北 電 力 株 式 会 社	

制御建屋 O. P. 8.00



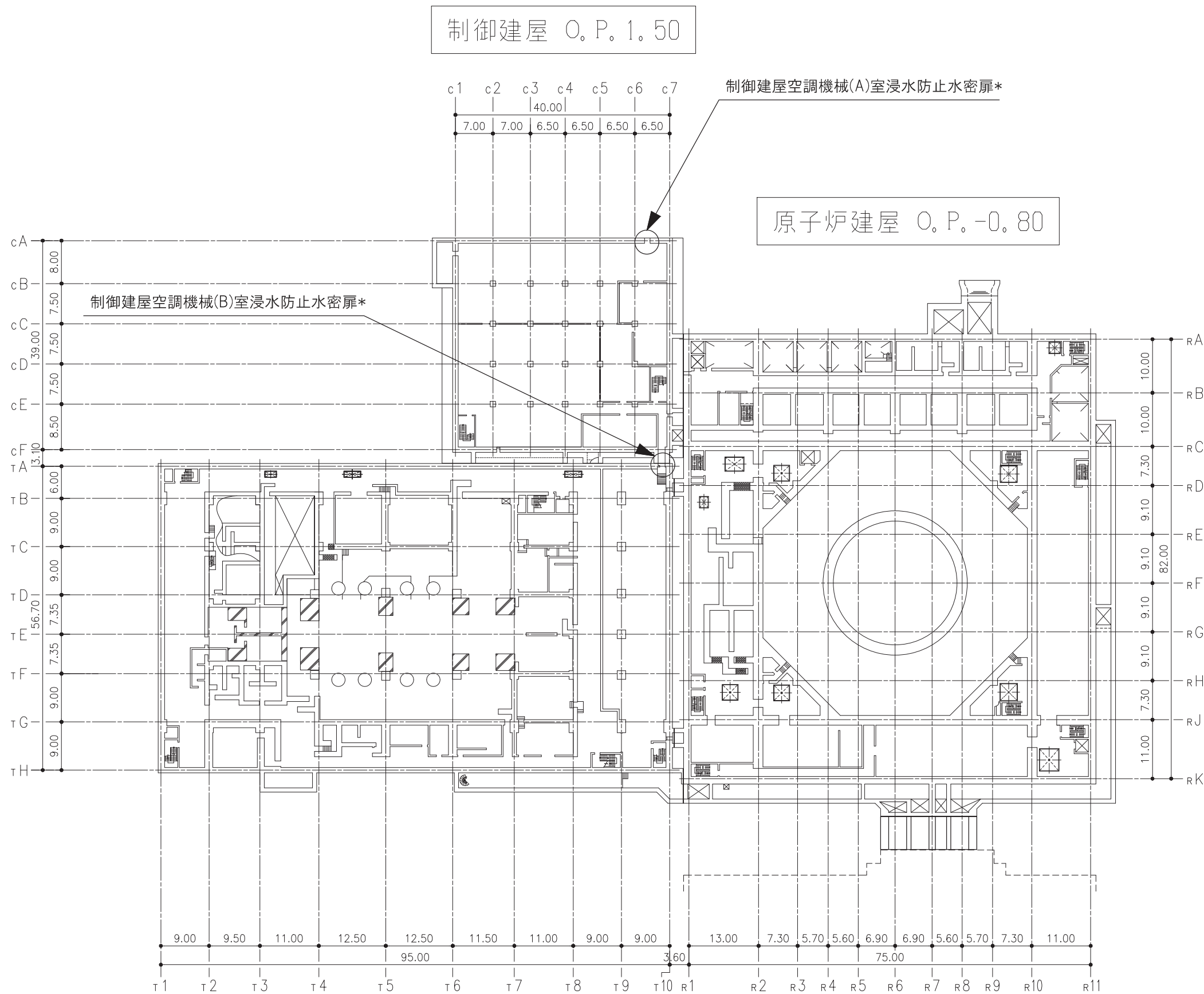
タービン建屋 O. P. 7.60

原子炉建屋 O. P. 6.00

注記\*：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-1-2-7 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その7)
東 北 電 力 株 式 会 社	



注記\*：浸水防護施設のうち内郭浸水防護設備と兼用する。

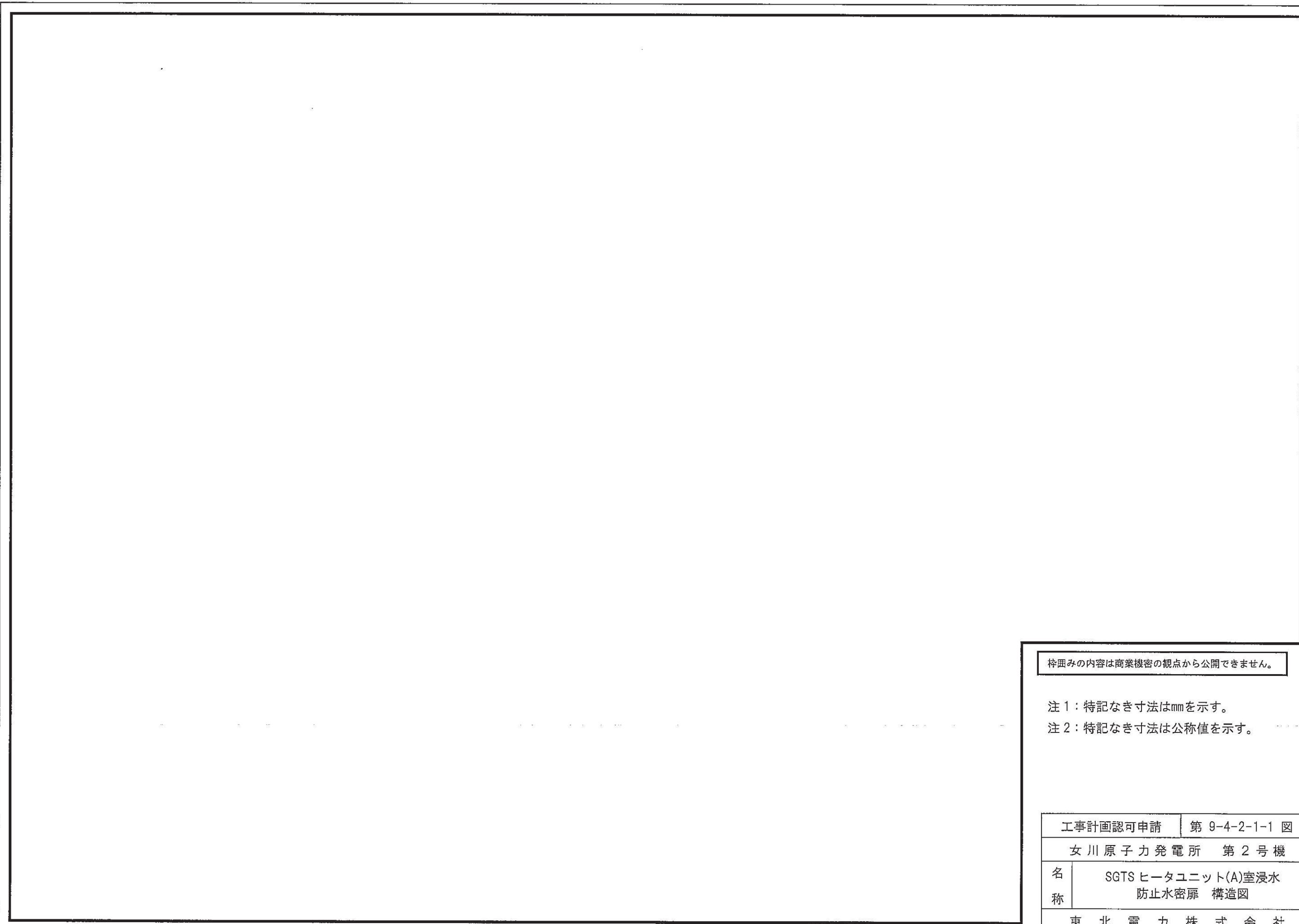
注：寸法はmを示す。

タービン建屋 O.P. 0.80

海水ポンプ室

工事計画認可申請	第 9-4-1-2-8 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	外郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その8)
東 北 電 力 株 式 会 社	

## 9.4.2 内郭浸水防護設備



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-1 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	SGTS ヒータユニット(A)室浸水 防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-1 図 SGTS ヒータユニット(A)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2170		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1250		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-2 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	RHR Hx(A)室-RHR Hx(B)室浸水防止 水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-2 図 RHR Hx(A)室-RHR Hx(B)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2090		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	950		同上
パネル	たて	2172		同上
	横	1020		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-3 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	原子炉建屋浸水防止水密扉(No.3) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-3 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1370		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	925		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-4 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	LPCS ポンプ室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	
0428	

第9-4-2-1-4 図 LPCS ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2060		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1060		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-5 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	HPCS ポンプ室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

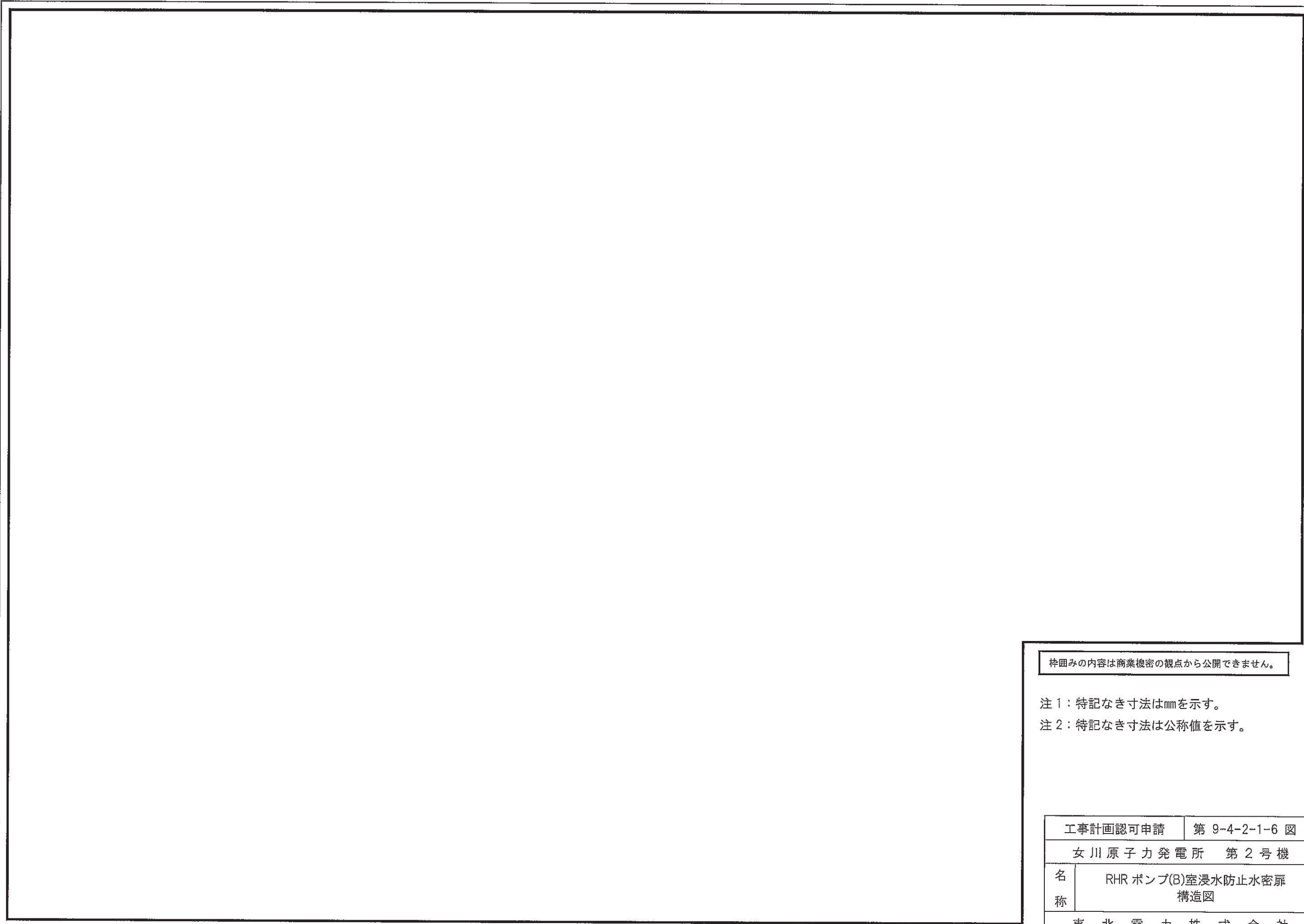
第9-4-2-1-5 図 HPCS ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1186		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-6 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	RHR ポンプ(B)室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-6 図 RHR ポンプ(B)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1186		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第 9-4-2-1-7 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 称 RHR ポンプ(A)室浸水防止水密扉  
構造図

東 北 電 力 株 式 会 社

0428

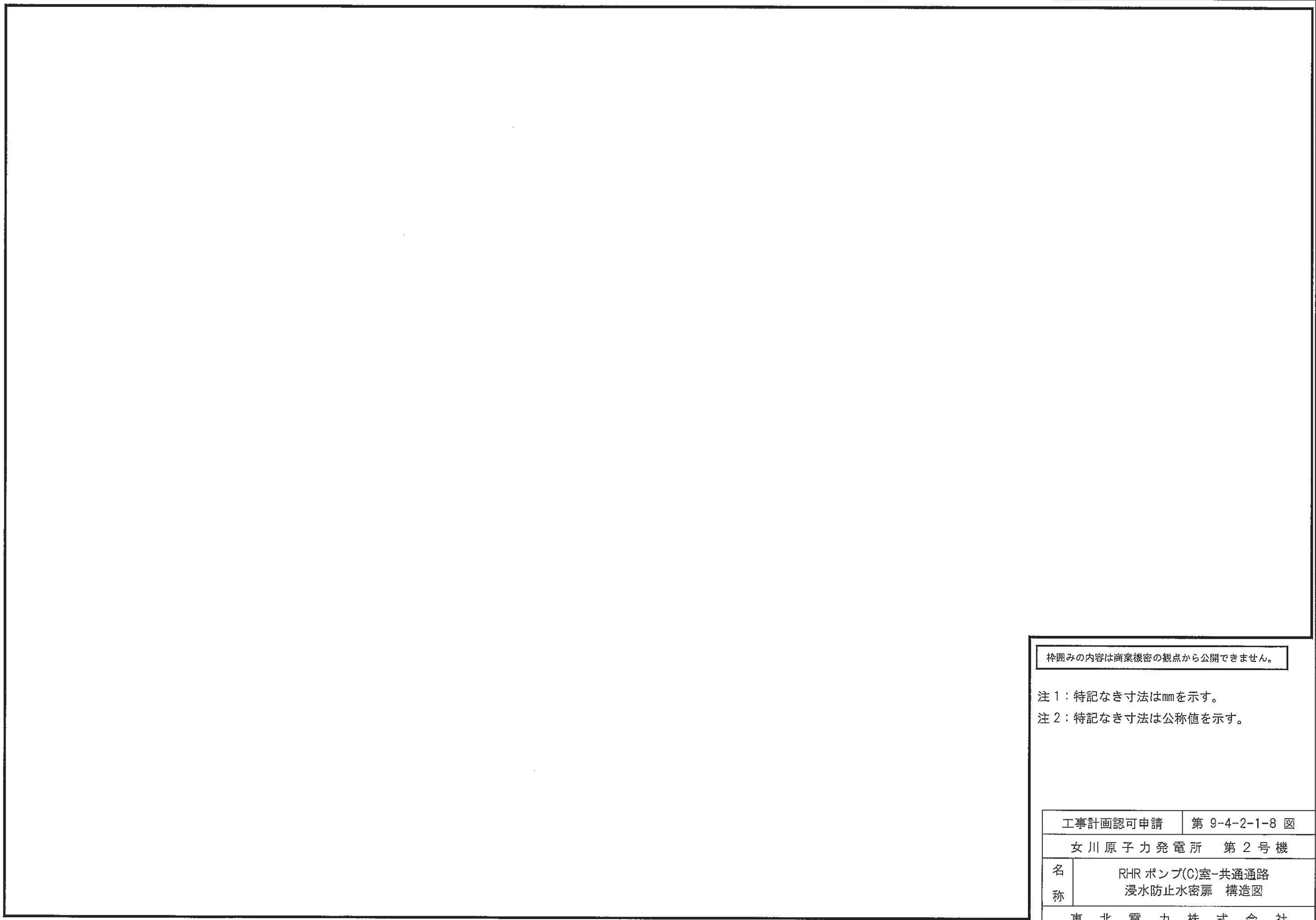
第9-4-2-1-7 図 RHR ポンプ(A)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2060		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1060		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-8 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	RHR ポンプ(C)室-共通通路 浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

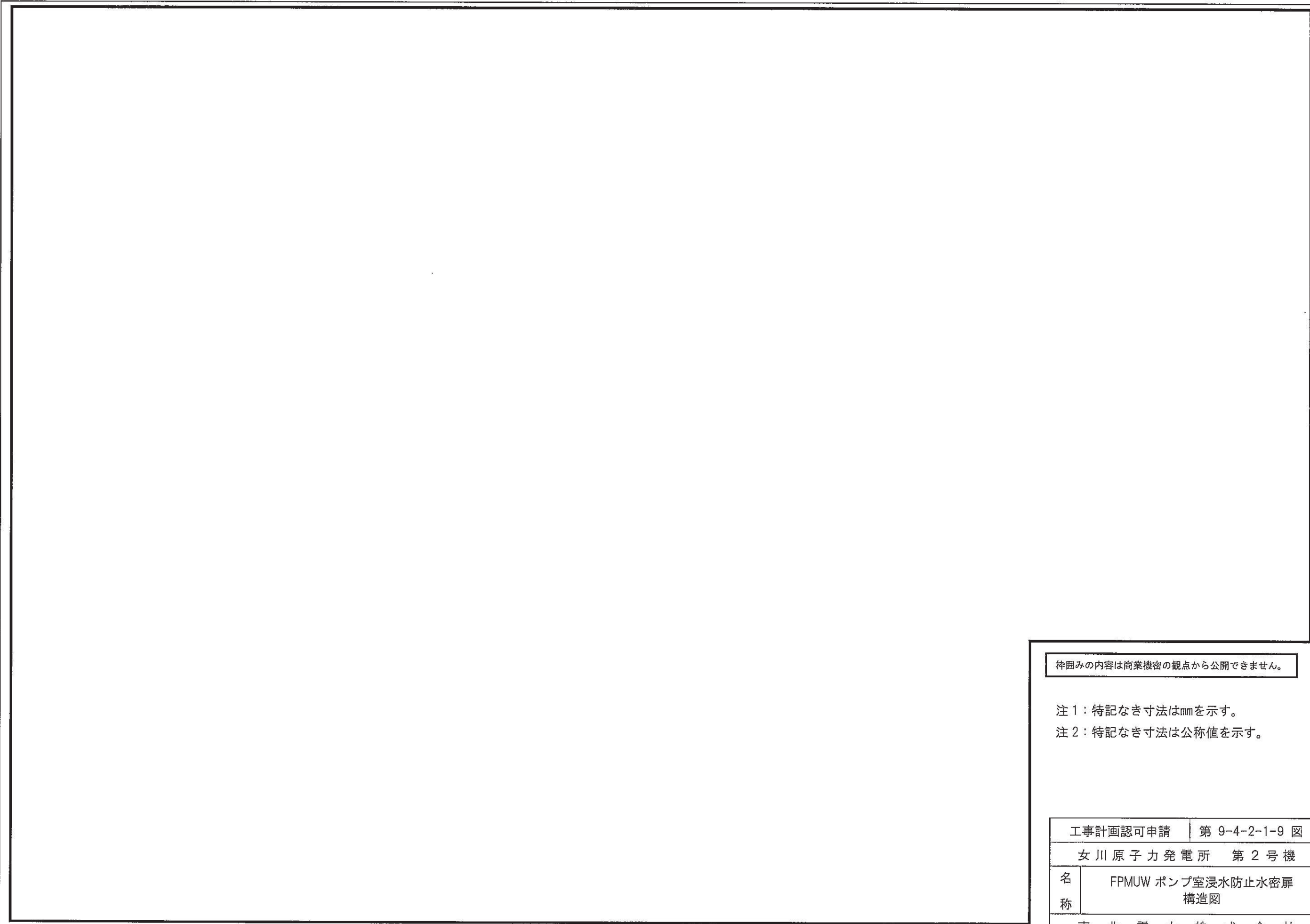
第9-4-2-1-8 図 RHR ポンプ(C)室-共通通路浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2076		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1186		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-9 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	FPMUW ポンプ室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-9 図 FPMUW ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2040		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1050		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-10 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	RCIC タービンポンプ室- 共通通路浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-10 図 RCIC タービンポンプ室-共通通路浸水防止水密扉構造図 別紙

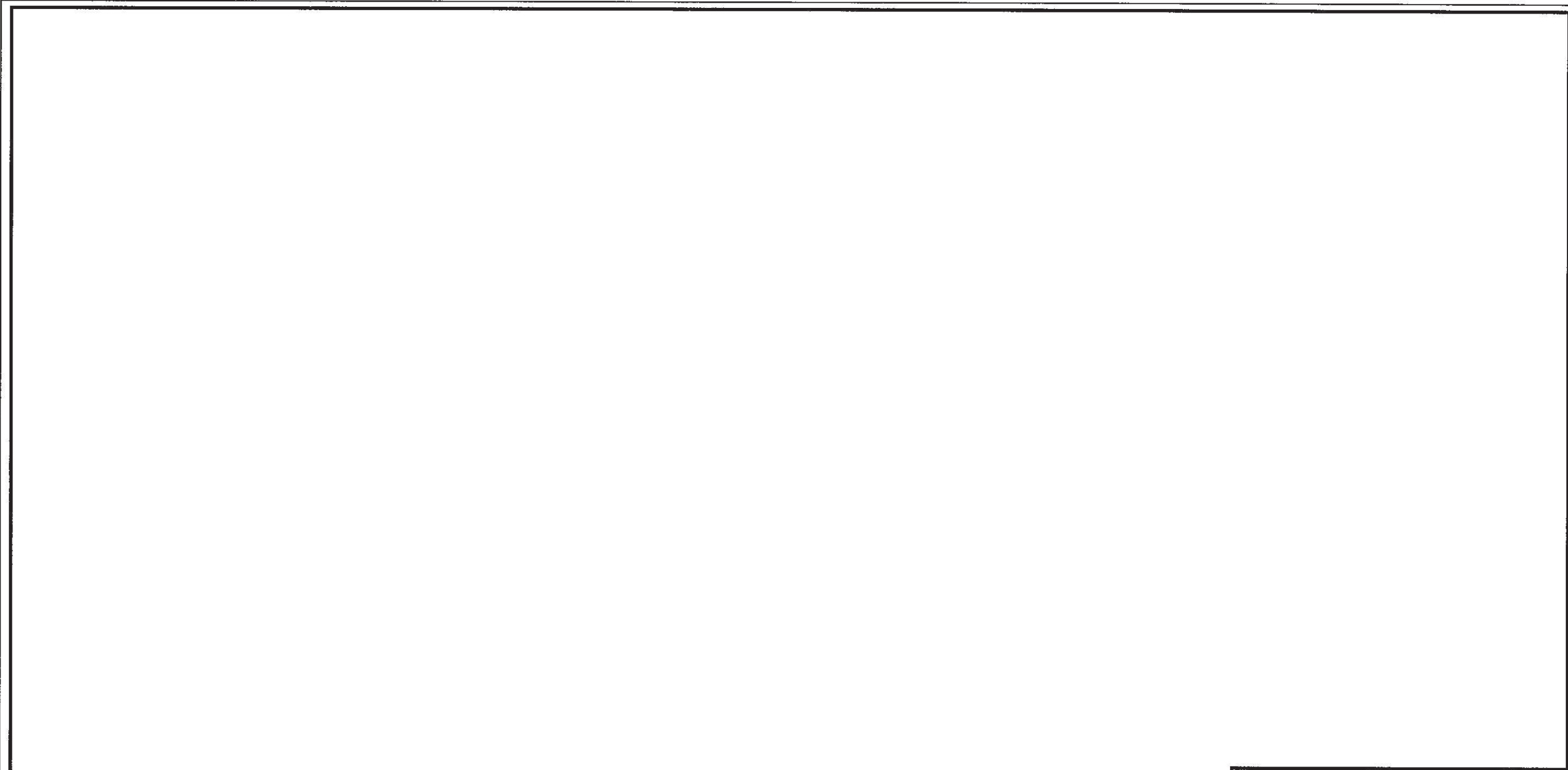
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2060		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1060		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。





枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-11 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	HECW 冷凍機(B)(D)室 - HECW 冷凍機 (A)(C)室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-11 図 HECW 冷凍機(B)(D)室 - HECW 冷凍機(A)(C)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2020		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1810		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-12 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	制御建屋共通エリア浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

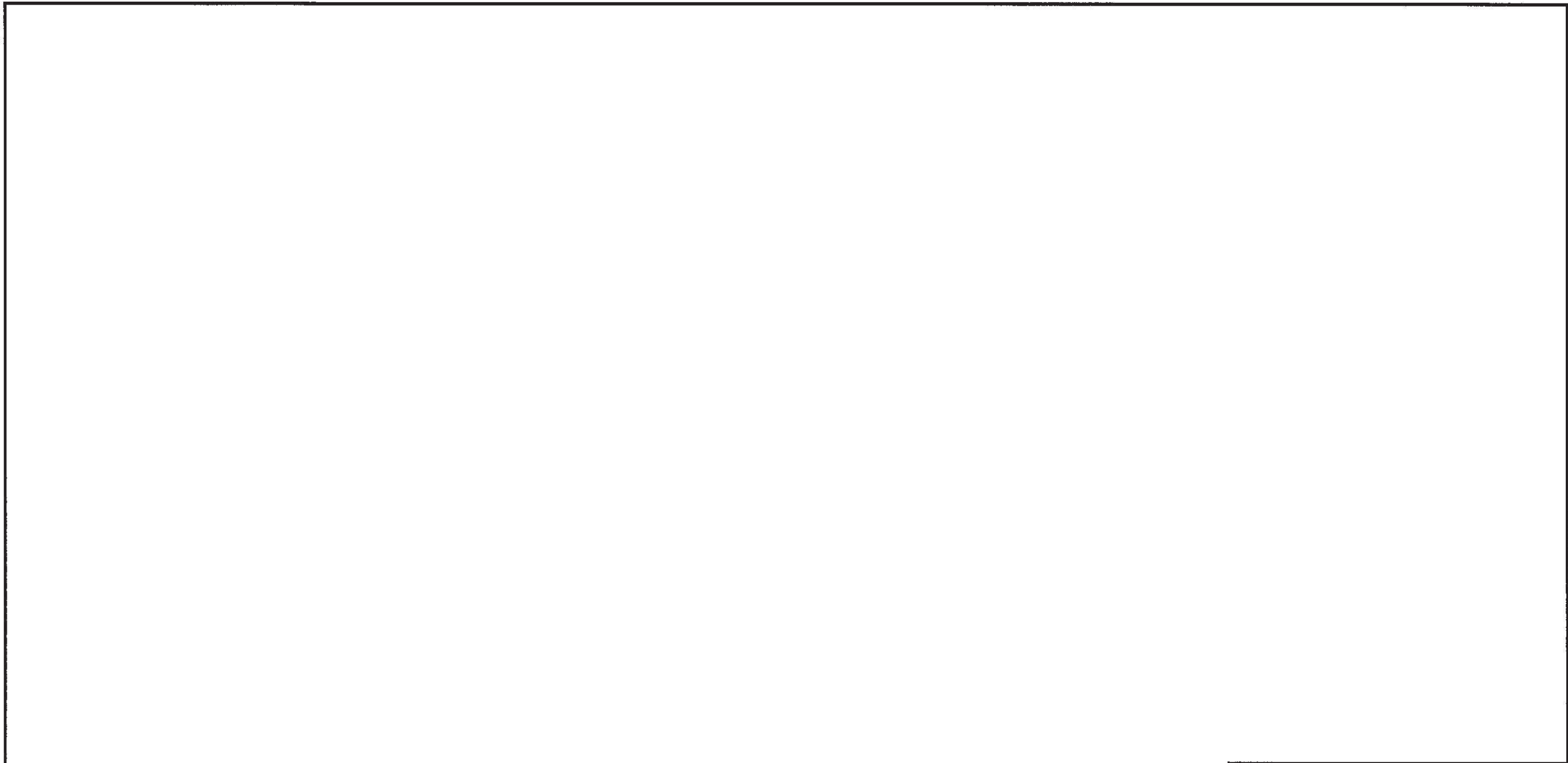
第9-4-2-1-12 図 制御建屋共通エリア浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2060		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1480		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-13 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	D/G(B)室 - D/G(HPCS)室浸水防止 水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-13 図 D/G(B)室 - D/G(HPCS)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2090		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1100		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-14 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	区分ⅢHPCS 電気品室 - 区分Ⅱ非常用 電気品室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

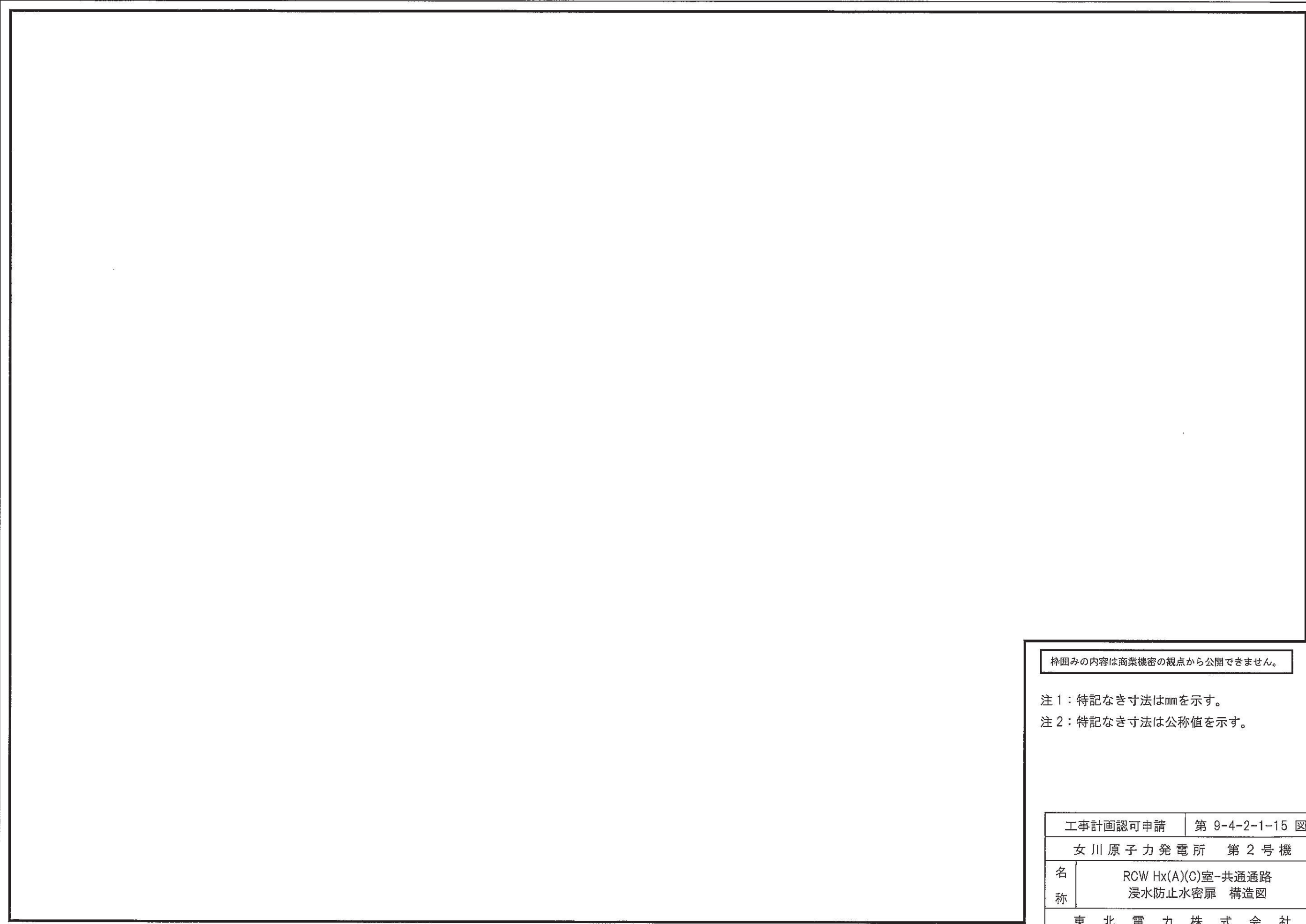
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	3050		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2434		同上
小扉	たて	2120		同上
	横	1115		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。





枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-15 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	RCW Hx(A)(C)室-共通通路 浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-15 図 RCW Hx(A)(C)室-共通通路浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根拠
扉体	たて	3530		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	3060		同上
小扉	たて	2060		同上
	横	1060		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-16 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	HPCW Hx 室浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

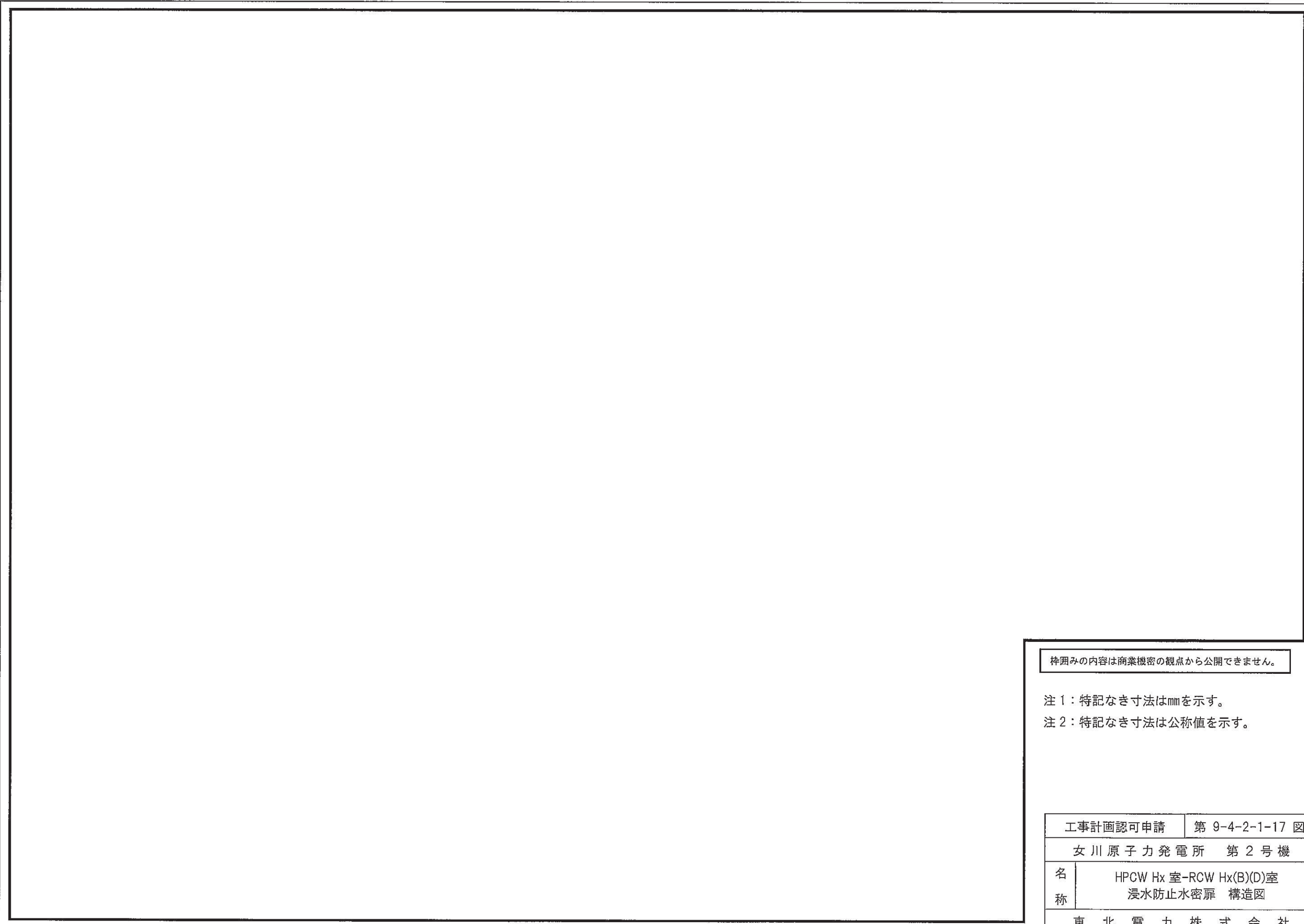
第9-4-2-1-16 図 HPCW Hx 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	3530		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	3060		同上
小扉	たて	2060		同上
	横	1060		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-17 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	HPCW Hx 室-RCW Hx(B)(D)室 浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-17 図 HPCW Hx 室-RCW Hx (B) (D)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	3530		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	3060		同上
小扉	たて	2060		同上
	横	1060		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-18 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	補助ボイラー建屋連絡階段 管理区域外伝播防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-18 図 補助ボイラー建屋連絡階段管理区域外伝播防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2085		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1097		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。





枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-19 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	計測制御電源室(B) 浸水防止水密扉(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-19 図 計測制御電源室(B) 浸水防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2800		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2380		同上
小扉	たて	2100		同上
	横	1310		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-20 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	計測制御電源室(B)浸水防止水密扉 (No.2) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-20 図 計測制御電源室 (B) 浸水防止水密扉 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2020		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1100		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 | 第 9-4-2-1-21 図

女川原子力発電所 第 2 号機

名 称	RSS 盤室浸水防止水密扉 構造図
--------	----------------------

東 北 電 力 株 式 会 社

0428

第 9-4-2-1-21 図 RSS 盤室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2650		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2280		同上
小扉	たて	2100		同上
	横	1310		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-22 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	計測制御電源室(A)-常用および共通 M/C・P/C室浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

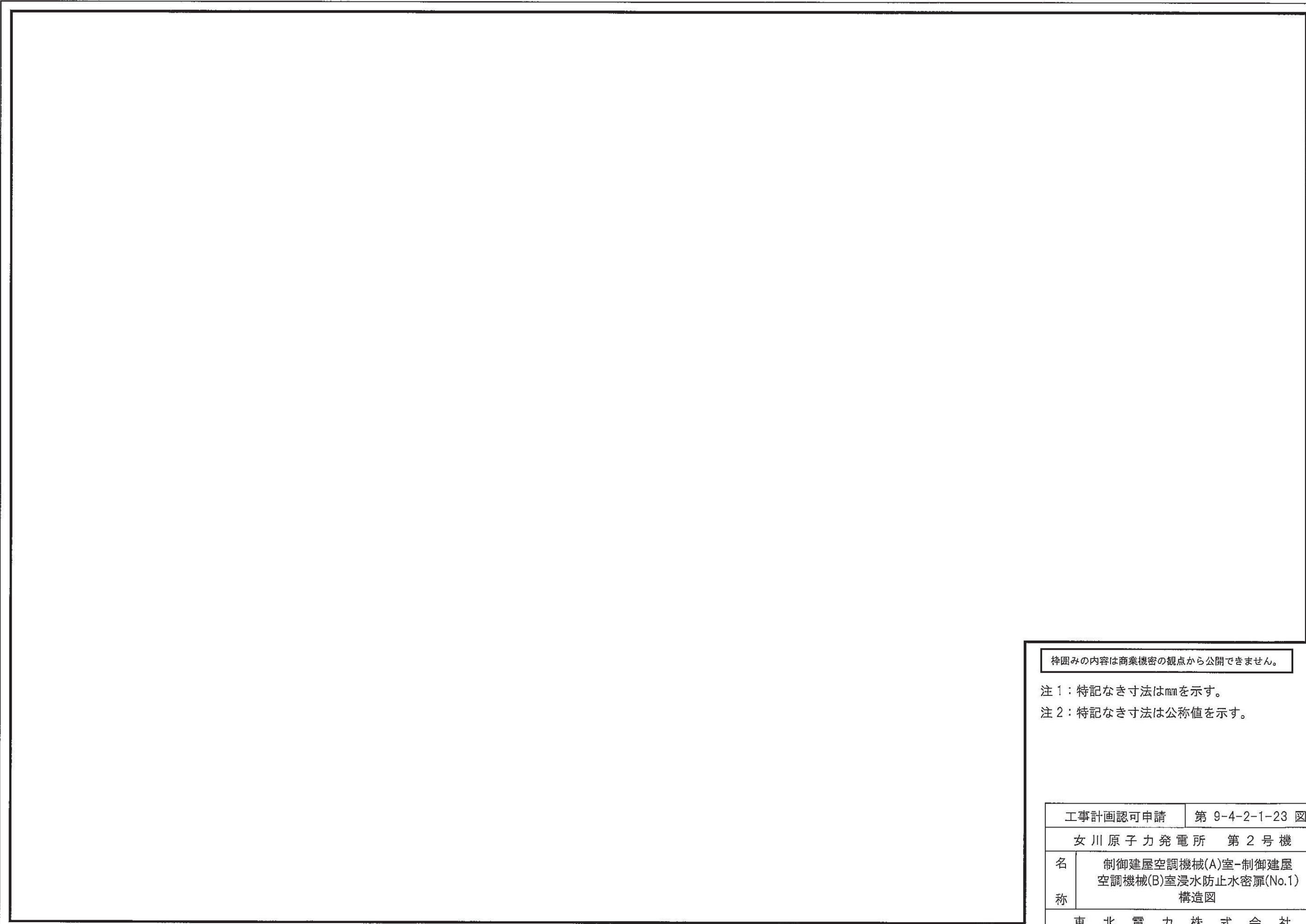
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2750		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2480		同上
小扉	たて	2100		同上
	横	1310		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。





枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-23 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	制御建屋空調機械(A)室-制御建屋 空調機械(B)室浸水防止水密扉(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

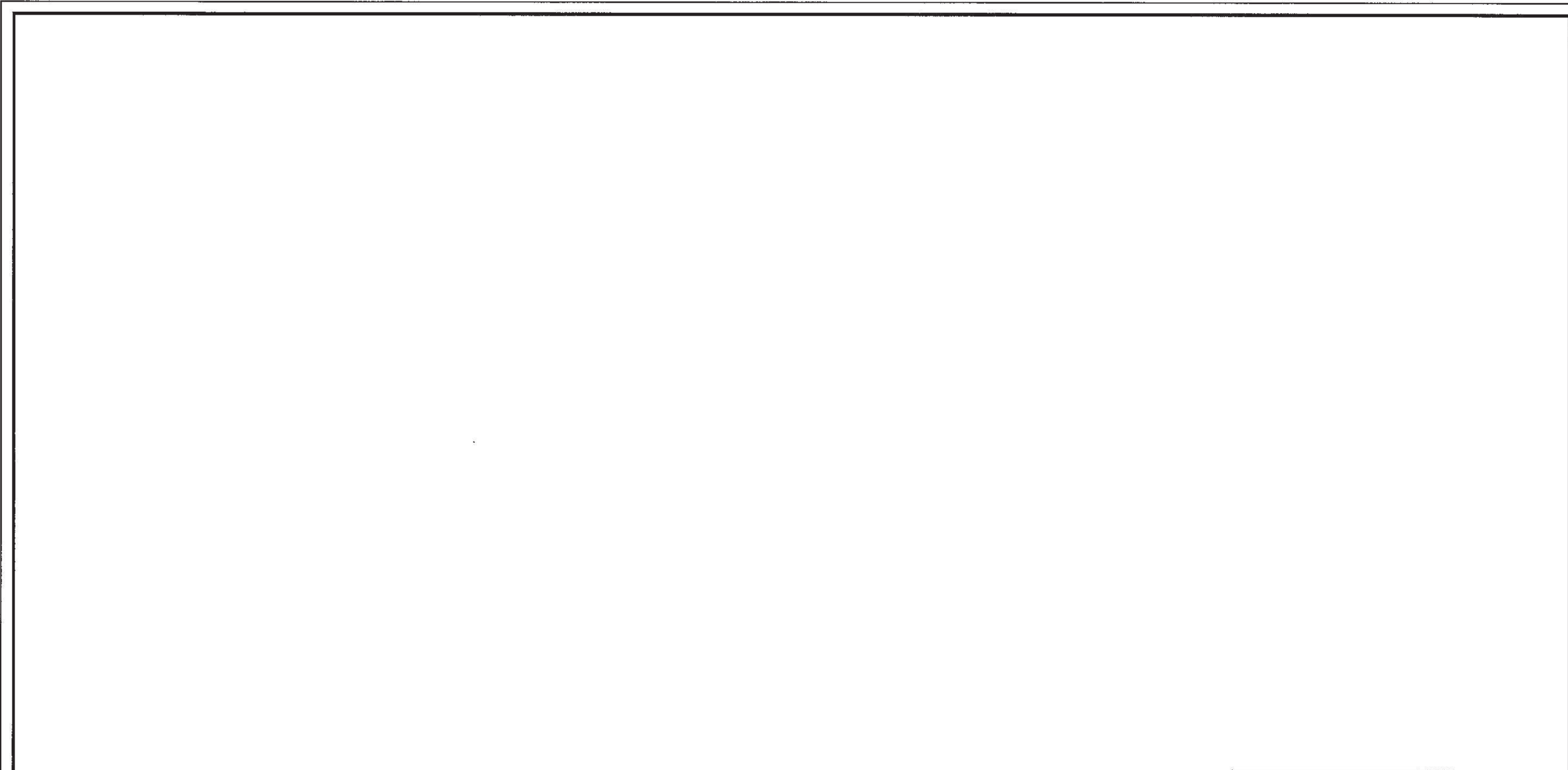
第 9-4-2-1-23 図 制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉(No. 1)構造図別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2195		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
	横	2200		同上
小扉	たて	2105		同上
	横	1100		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-24 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	250V 直流主母線盤室-制御建屋空調機械(B)室 浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2460		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1360		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-25 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	ISI 室浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-2-1-25 図 ISI 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2365		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1400		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-26 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉(No.2) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第 9-4-2-1-26 図 制御建屋空調機械(A)室-制御建屋空調機械(B)室浸水防止水密扉(No.2)構造図別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2360		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1360		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-1-27図

女川原子力発電所 第2号機

名称	燃料移送ポンプ(H)室 - 燃料移送ポンプ (A)室浸水防止水密扉 構造図
----	--

東北電力株式会社

0325

第 9-4-2-1-27 図 燃料移送ポンプ(H)室 - 燃料移送ポンプ(A)室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1990		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	990		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-28図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	燃料移送ポンプ(A)室 - 燃料移送ポンプ (B)室浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-2-1-28 図 燃料移送ポンプ(A)室 - 燃料移送ポンプ(B)室浸水防止水密扉構造図 別紙

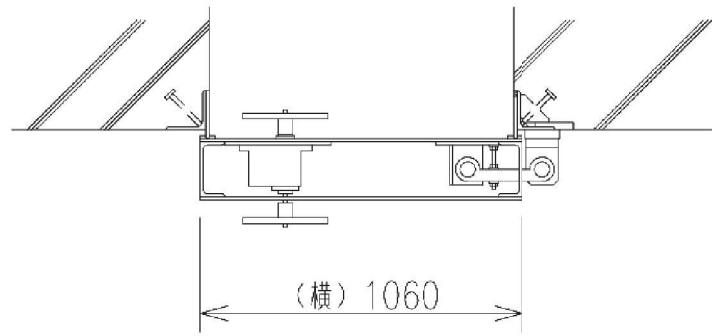
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1990		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	990		同上

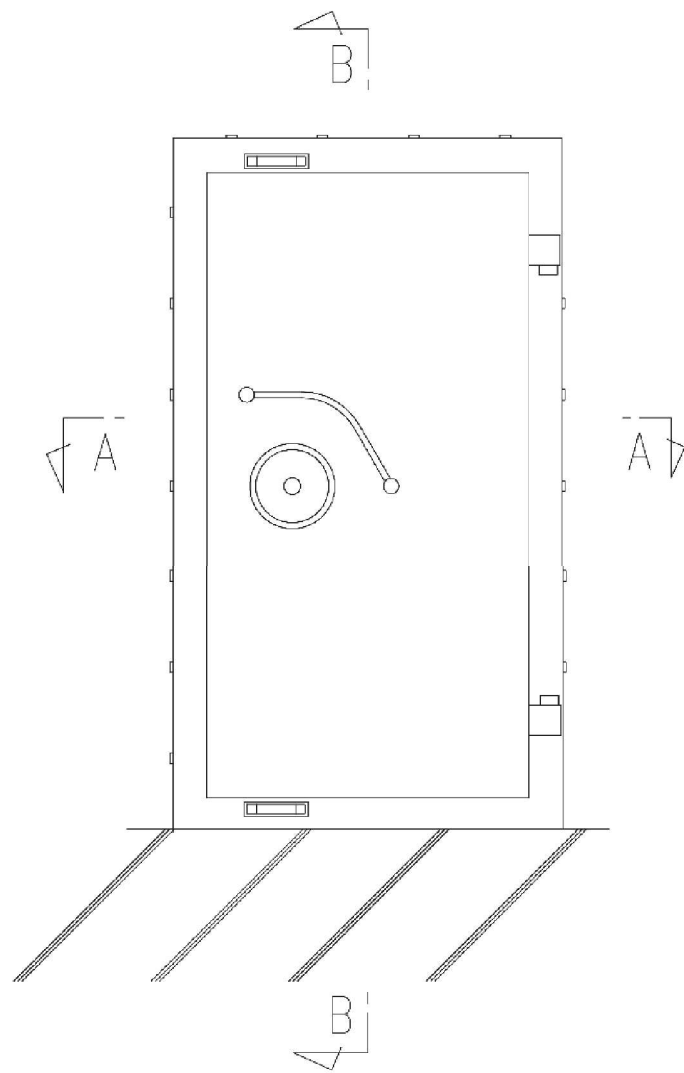
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

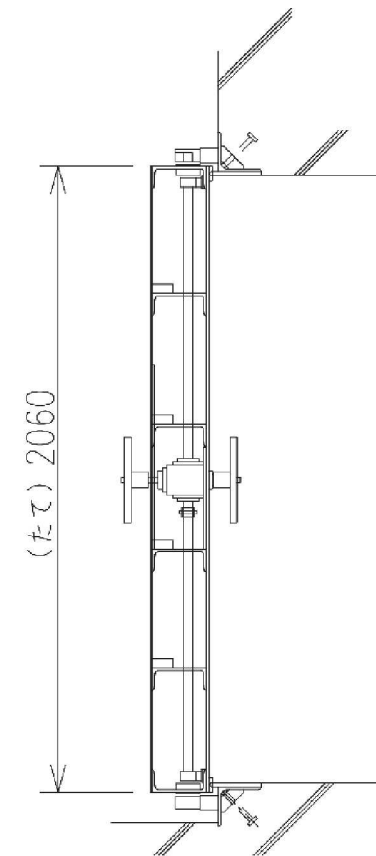
A-A断面図



正面図



B-B断面図



注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-29 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	RSW ポンプ(A)(C)室-TSW ポンプ室 浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

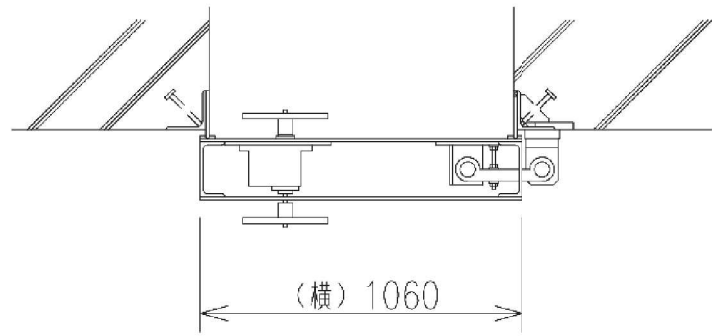
第 9-4-2-1-29 図 RSW ポンプ (A) (C) 室-TSW ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

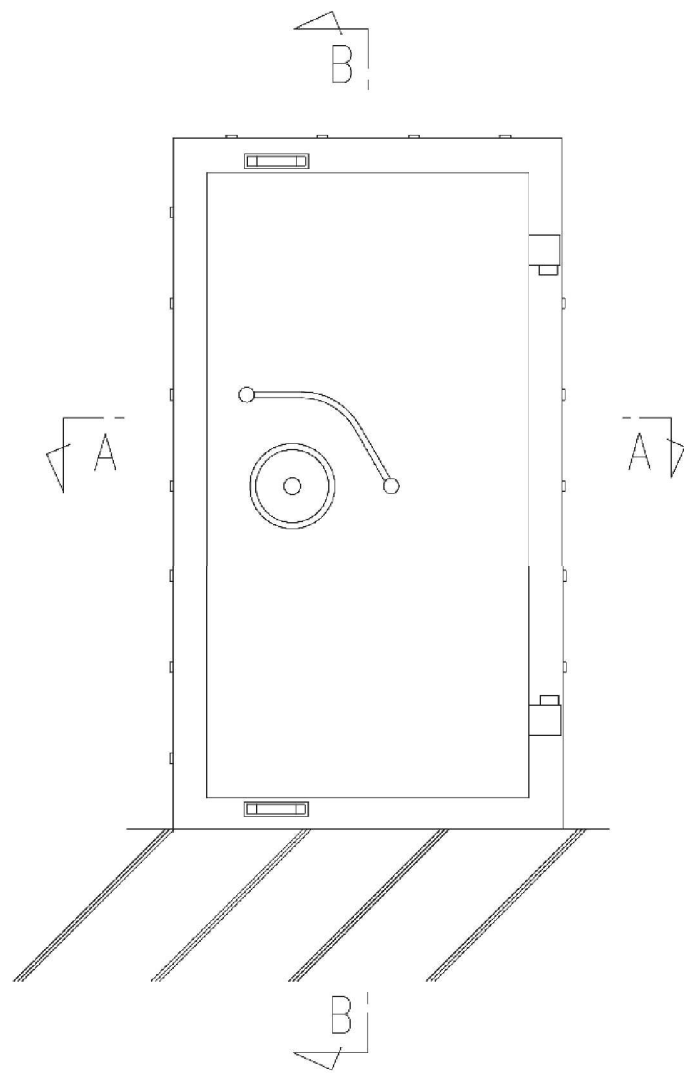
主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	2060mm	±5.0mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1060mm	±3.0mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

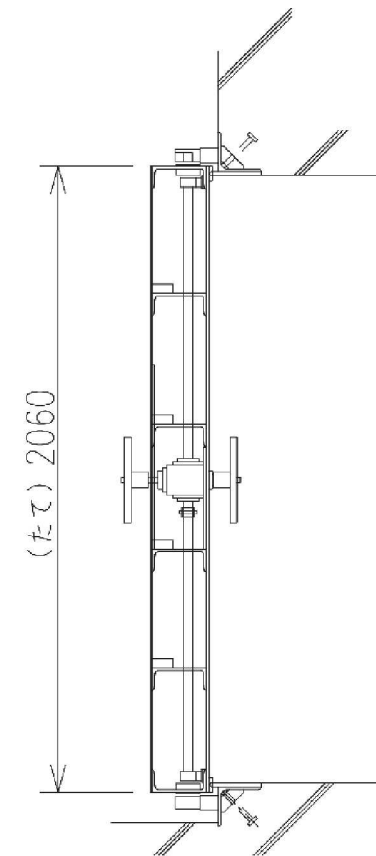
A-A断面図



正面図



B-B断面図



注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-30 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	HPSW ポンプ室 浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-2-1-30 図 HPSW ポンプ室浸水防止水密扉構造図 別紙

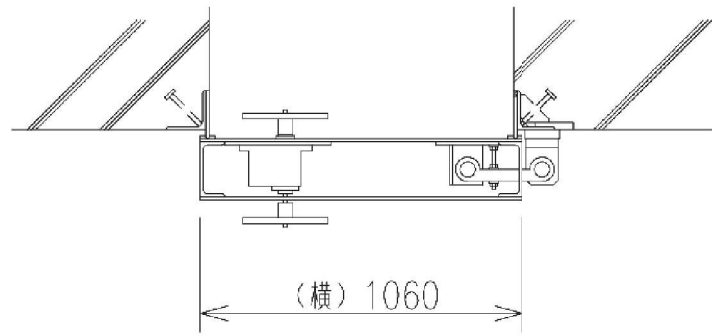
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	2060mm	±5.0mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1060mm	±3.0mm	同上

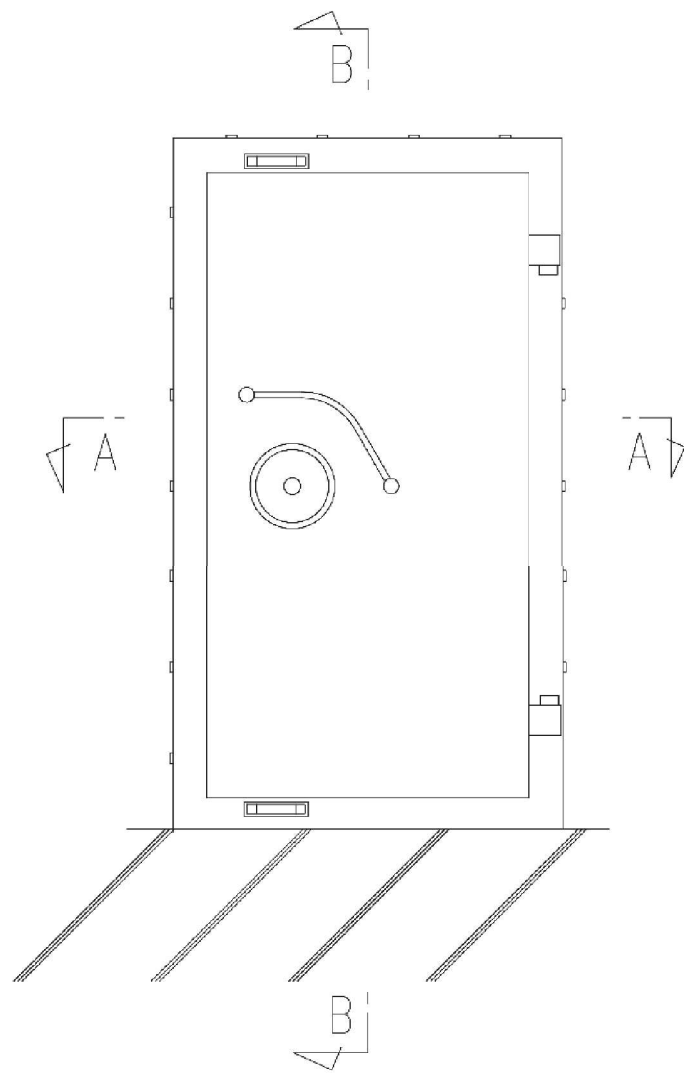
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



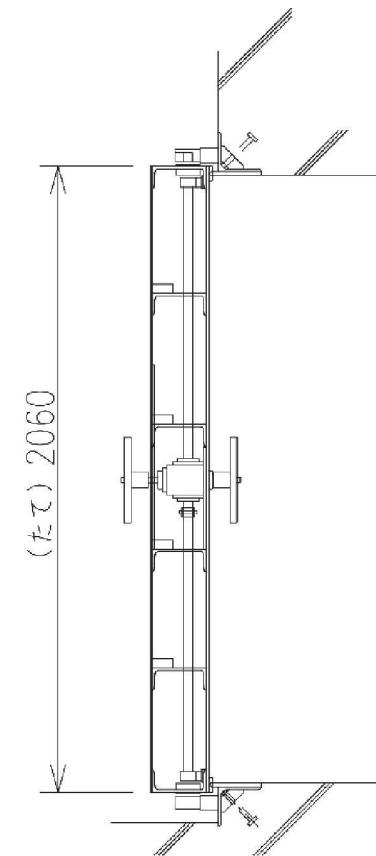
A-A断面図



正面図



B-B断面図



注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

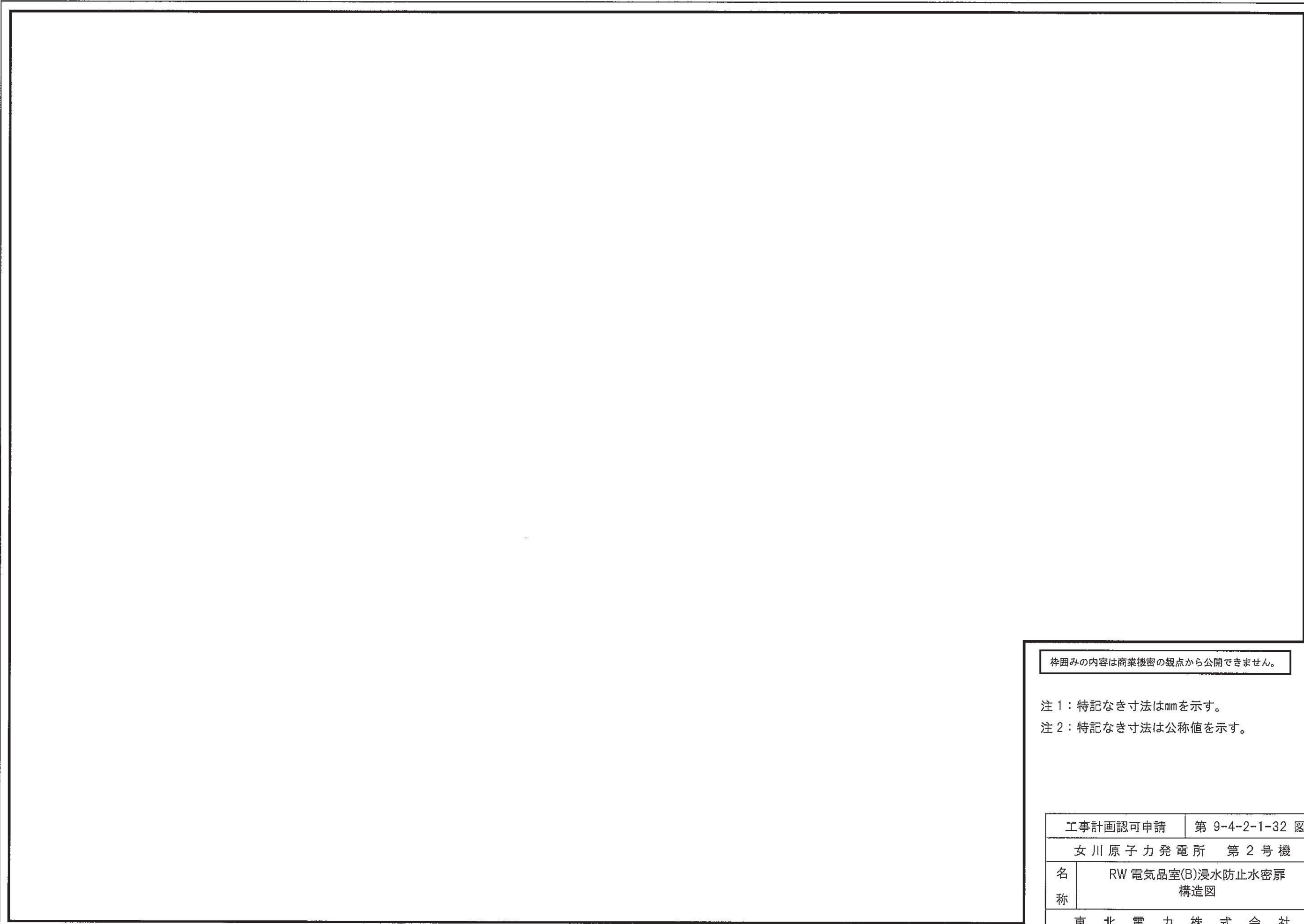
工事計画認可申請	第9-4-2-1-31 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	TSW ポンプ室-RSW ポンプ(B)(D)室 浸水防止水密扉 構造図
東北電力株式会社	

第 9-4-2-1-31 図 TSW ポンプ室-RSW ポンプ (B) (D) 室浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	2060mm	±5.0mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	1060mm	±3.0mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-32 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	RW 電気品室(B)浸水防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-32 図 RW 電気品室(B) 浸水防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2020		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1110		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-33 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	北西階段室管理区域外伝播防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-33 図 北西階段室管理区域外伝播防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1310		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	850		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-34 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉(No.3) 構造図
東北電力株式会社	

第9-4-2-1-34 図 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No. 3) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1970		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1300		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-35 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	RW 制御室管理区域外伝播防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-35 図 RW 制御室管理区域外伝播防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2040		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
	横	1050		同上
パネル	たて	2078		同上
	横	716		同上
上部パネル	たて	863		同上
	横	1822		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-36 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉建屋管理区域外伝播防止 水密扉(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-36 図 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2500		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1345		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-37 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉建屋管理区域外伝播防止 水密扉(No.2) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-37 図 原子炉建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No. 2) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	3900		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	5040		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-38 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	制御建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-38 図 制御建屋管理区域外伝播防止水密扉 (No. 1) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2270		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1430		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。  
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-1-39図

女川原子力発電所 第2号機

名 称 タービン建屋管理区域外伝播防止水密扉  
構造図

東北電力株式会社

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)			許容範囲	根 拠
扉体	たて	2110		製造能力，製造実績を考慮したメーカ基準
	横	1000		同上
パネル①	たて	2120		同上
	横	1090		同上
パネル②	たて	2120		同上
	横	1095		同上
上部パネル①	たて	725		同上
	横	1010		同上
上部パネル②	たて	725		同上
	横	1090		同上
上部パネル③	たて	725		同上
	横	1095		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-40 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	主排気ダクト連絡トレンチ(2T-5) 管理区域外伝播防止水密扉 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

第9-4-2-1-40 図 主排気ダクト連絡トレンチ(2T-5)管理区域外伝播防止水密扉構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	2500		製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
横	1345		同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

注1：特記なき寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-41 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉建屋浸水防止水密扉(No.4) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	
0428	

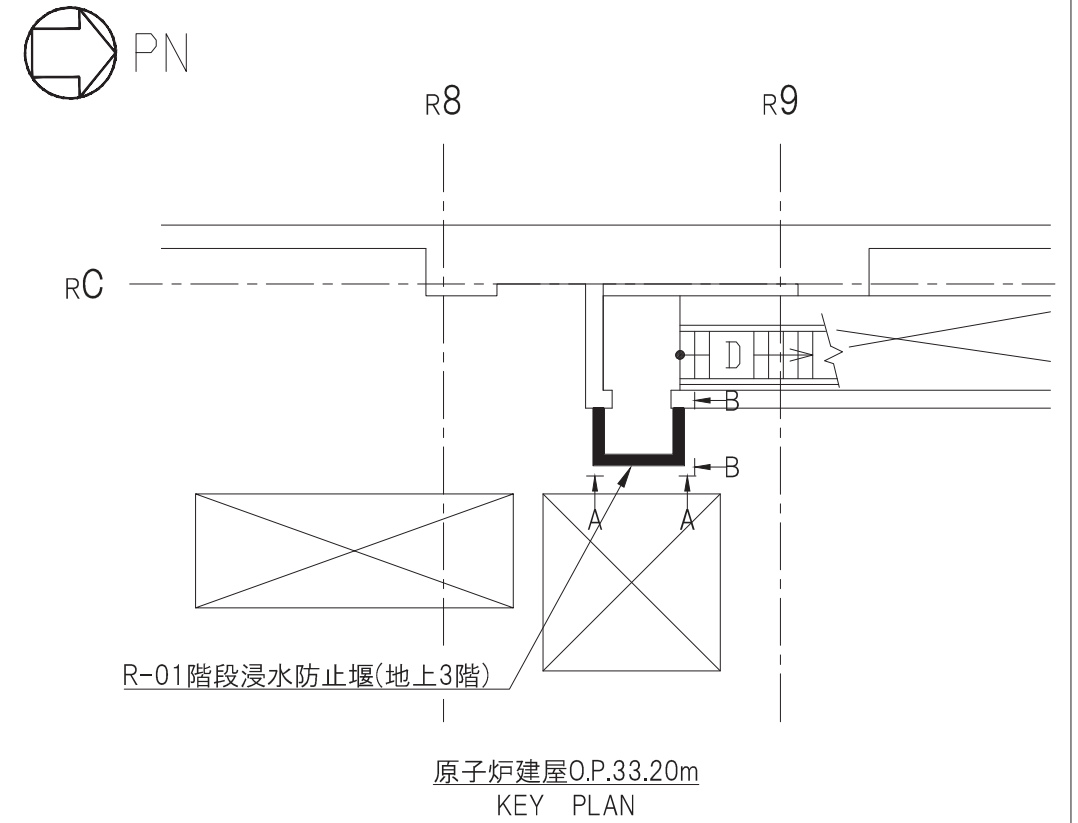
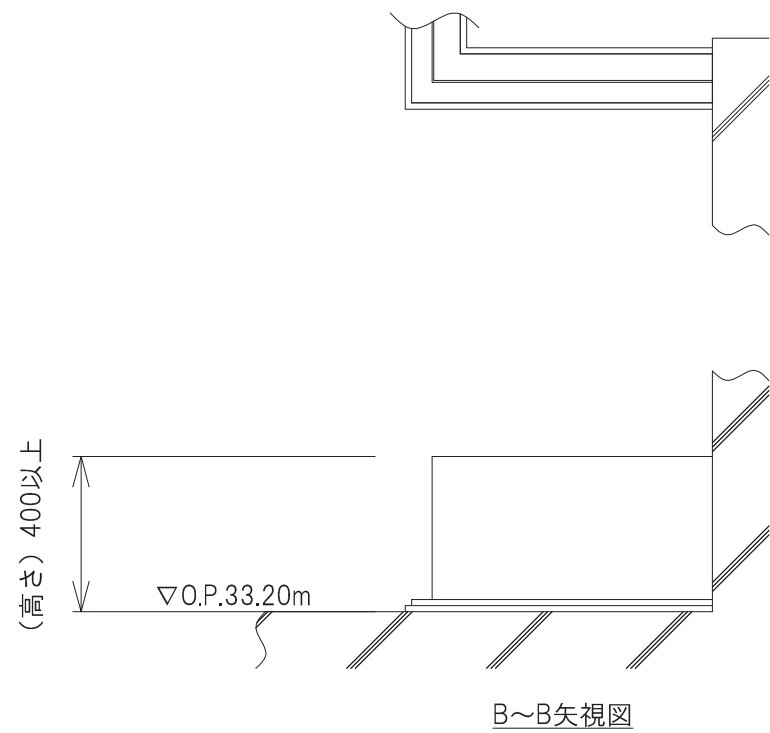
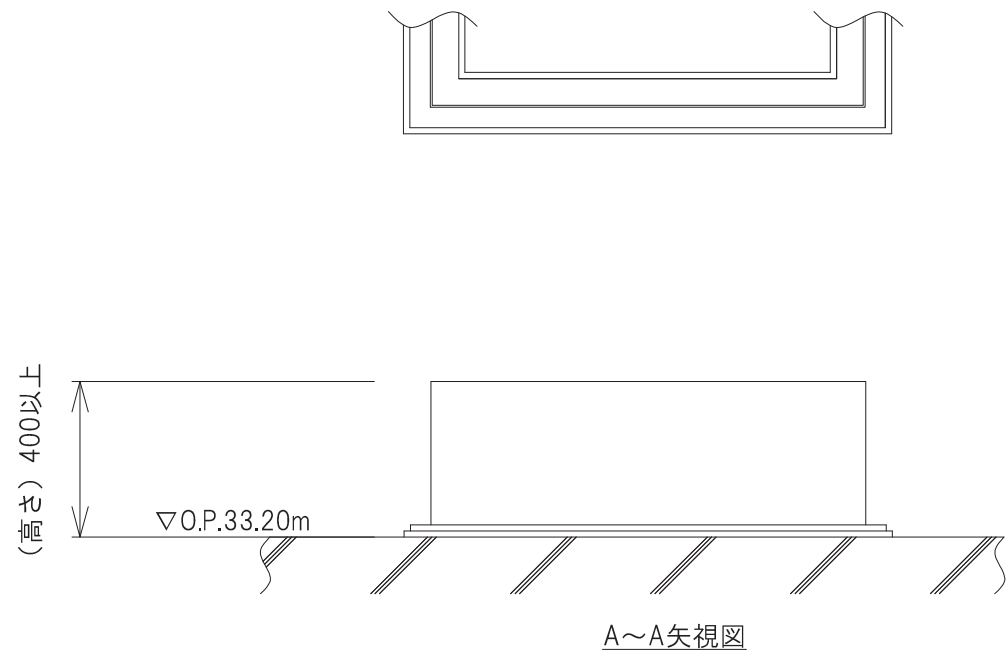
第9-4-2-1-41 図 原子炉建屋浸水防止水密扉 (No. 4) 構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
たて	1190		製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
横	575		同上

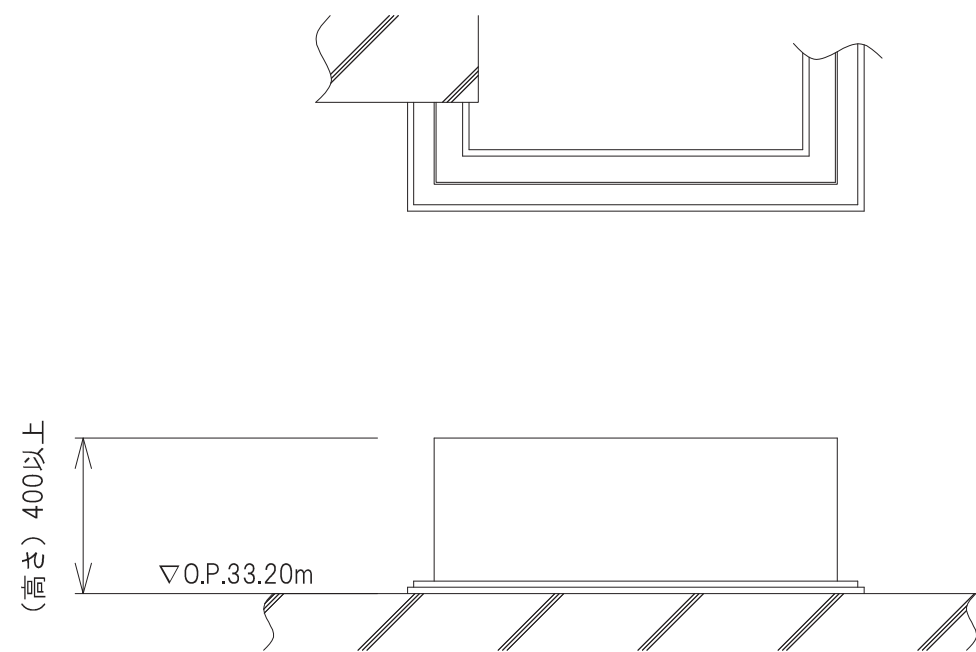
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

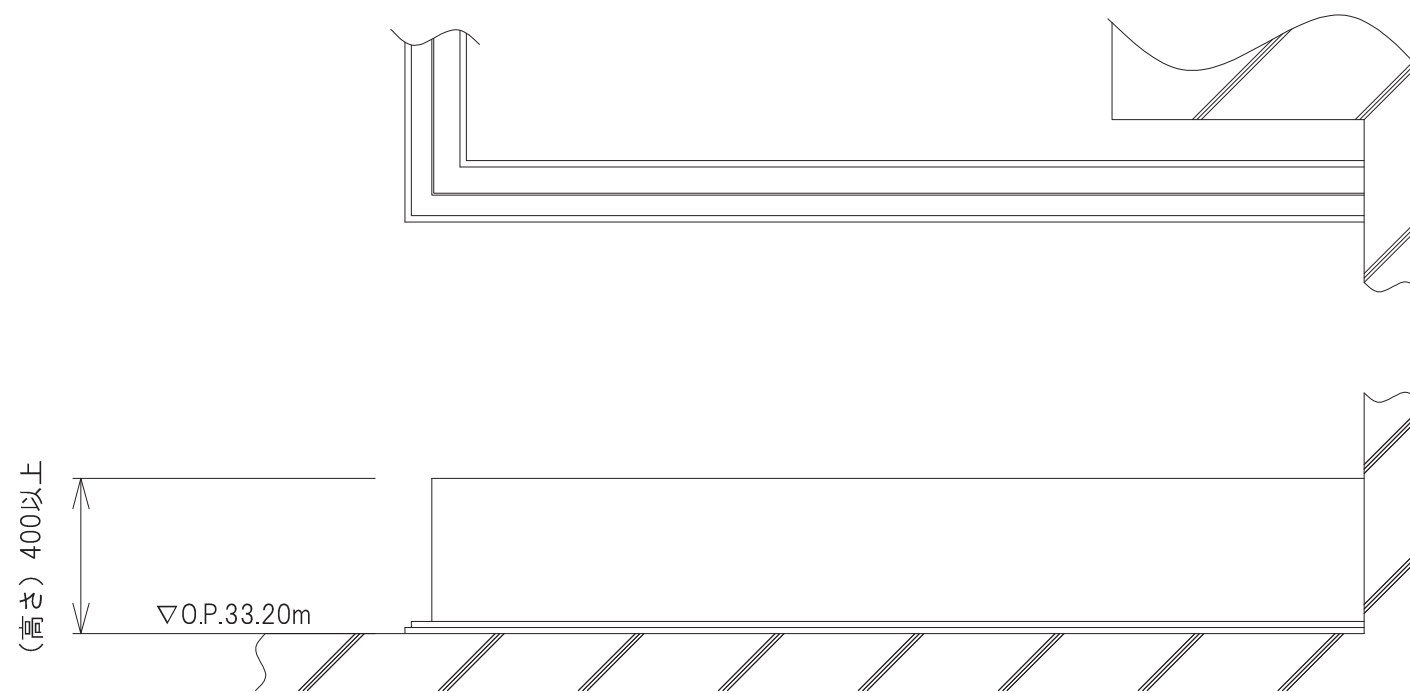


注：特記なき寸法はmmを示す。

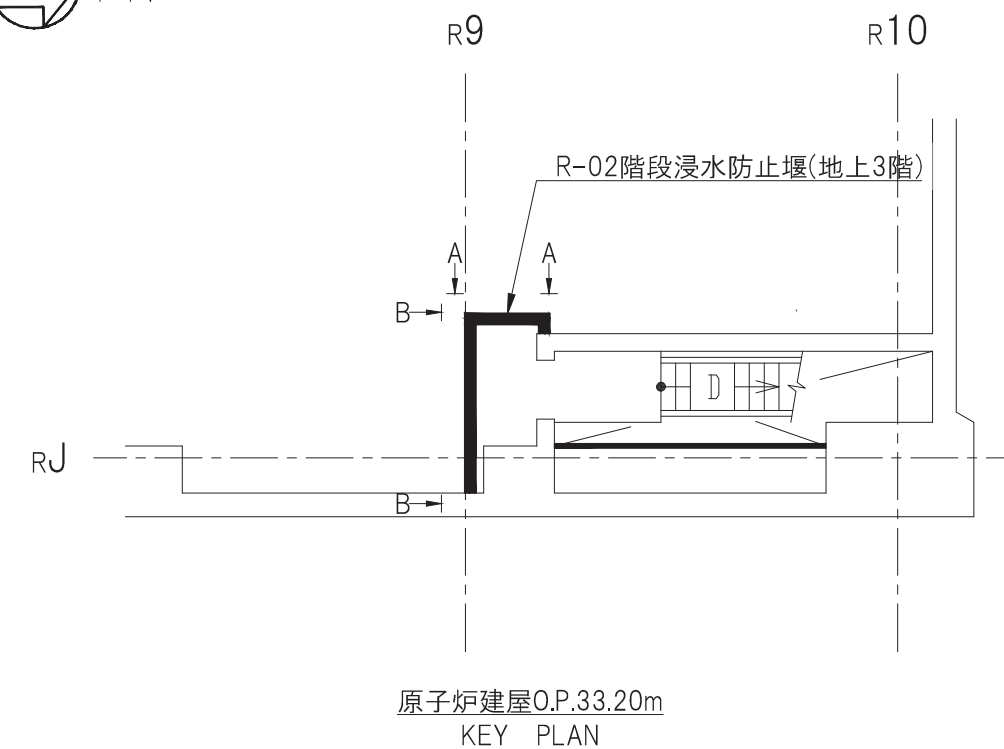
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-44 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	R-01階段浸水防止堰(地上3階) 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢視図



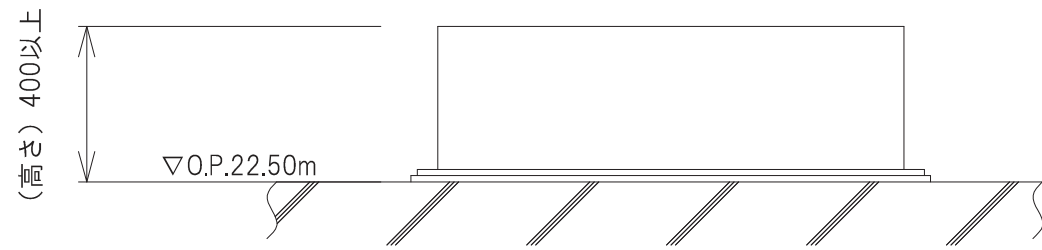
B~B矢視図



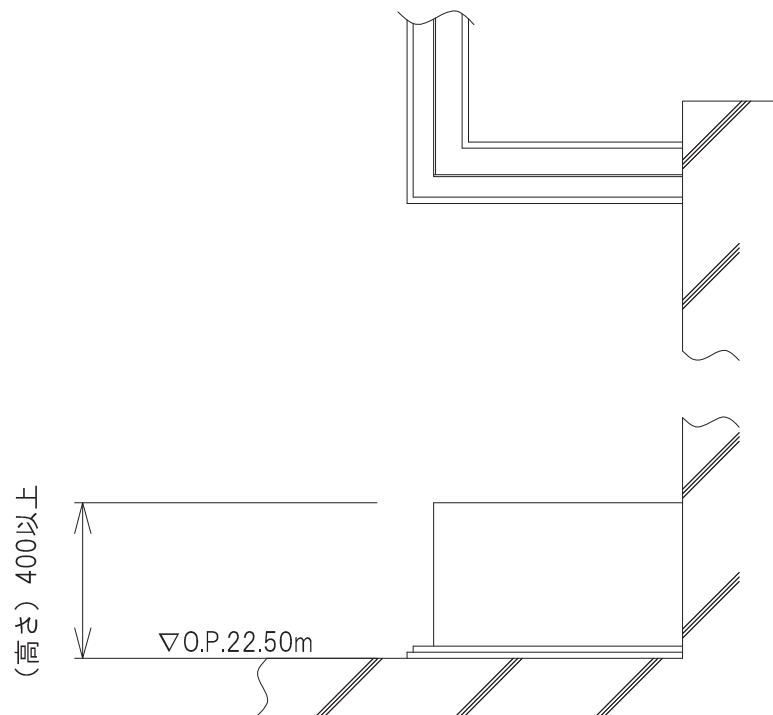
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-45 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	R-02階段浸水防止堰(地上3階) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

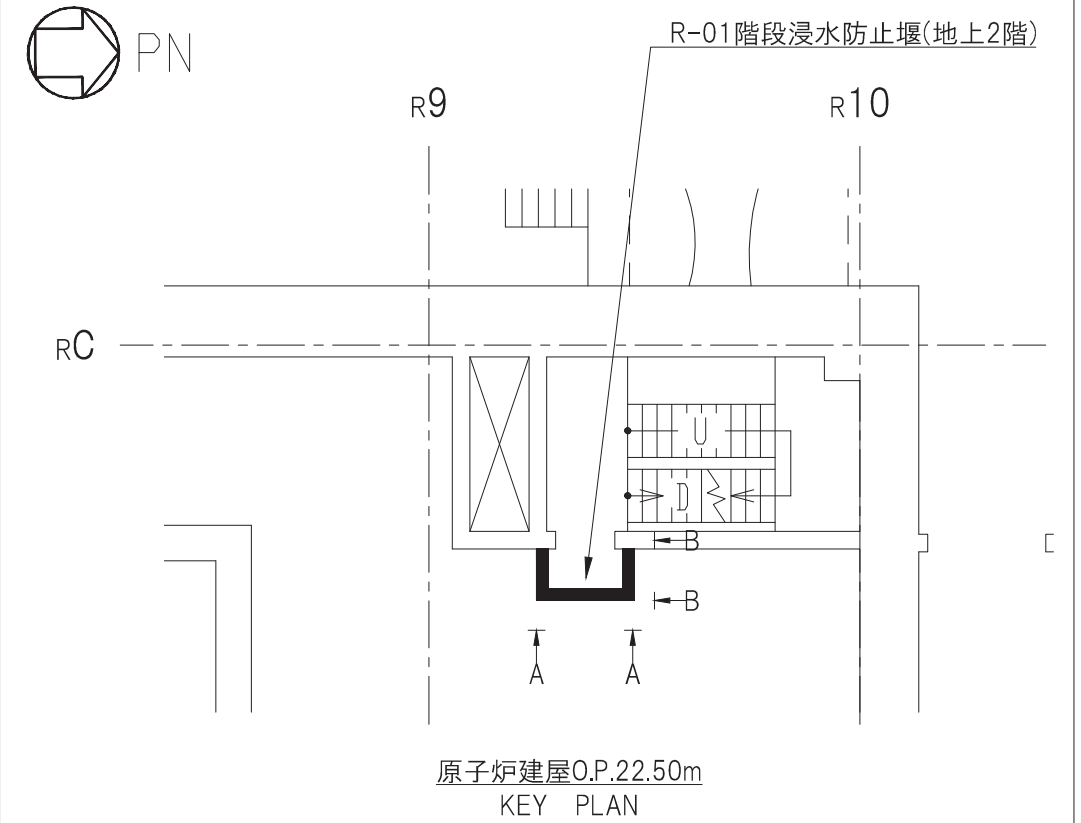




A~A矢視図



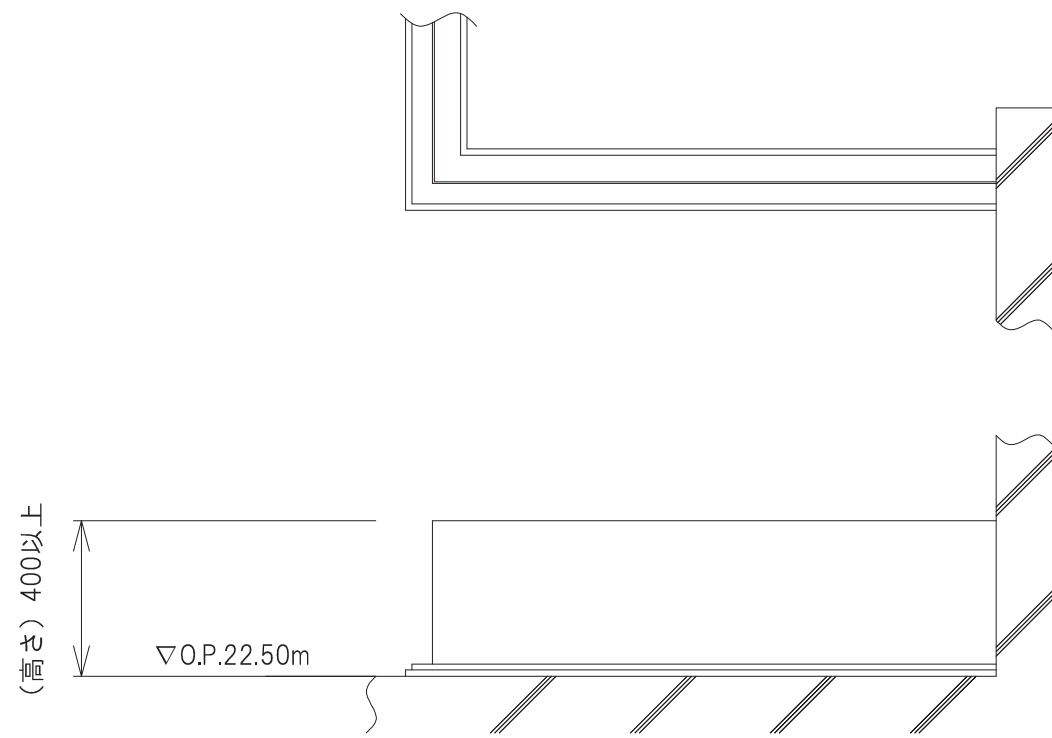
B~B矢視図



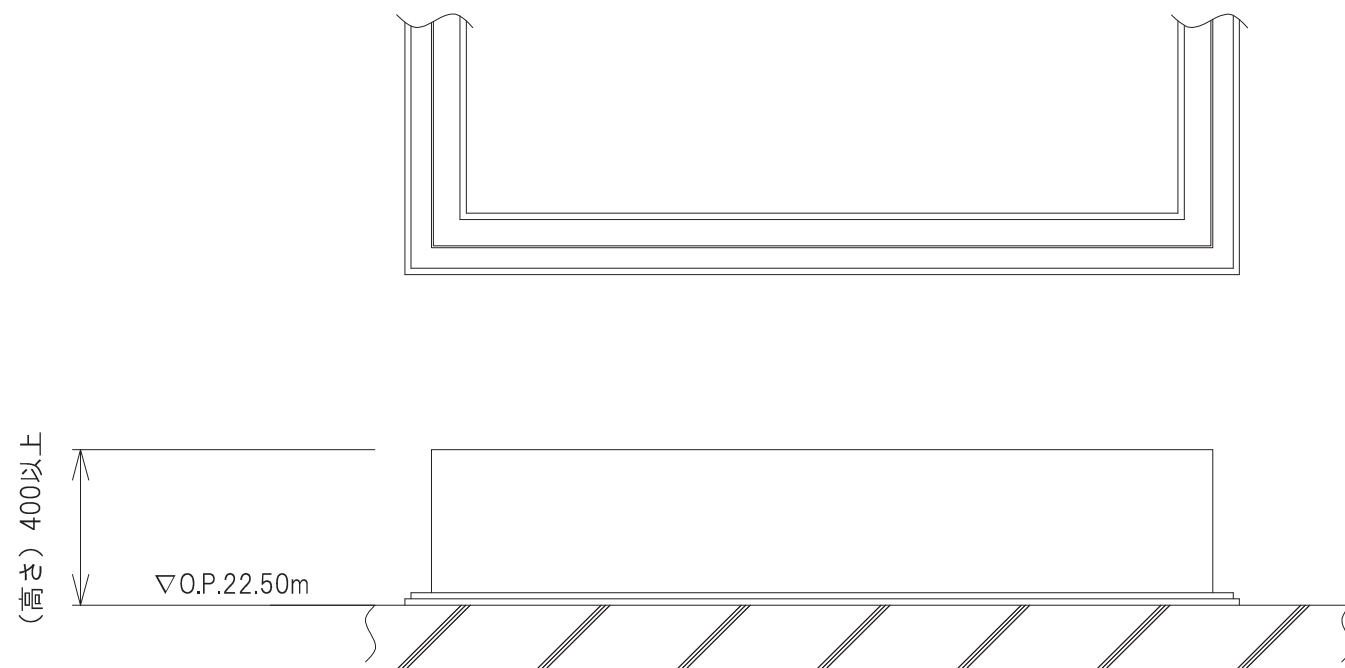
原子炉建屋0.P.22.50m  
KEY PLAN

注：特記なき寸法はmmを示す。

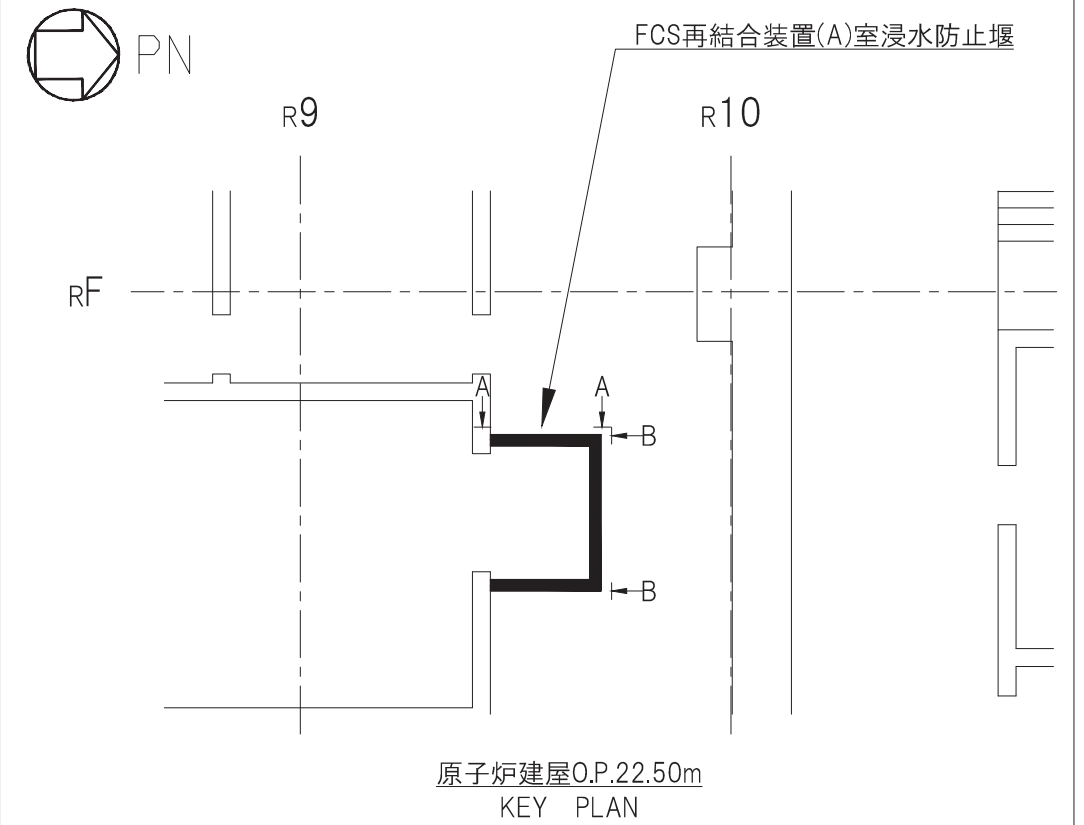
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-46 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	R-01階段浸水防止堰(地上2階) 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢视图

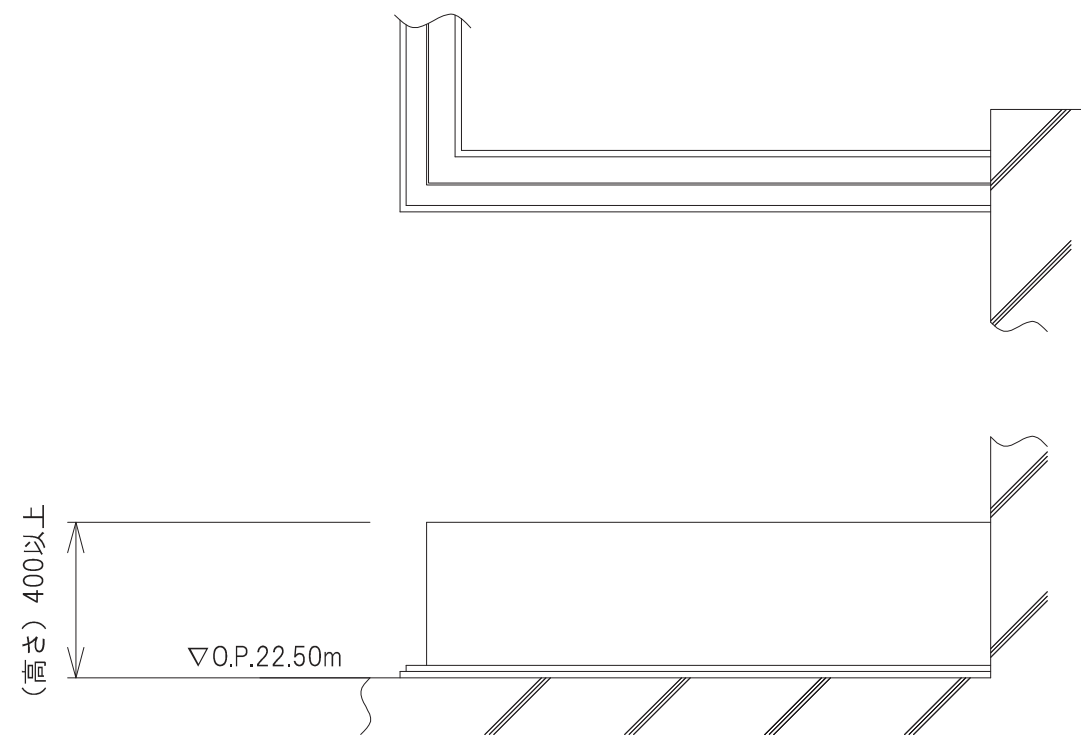


B~B矢视图

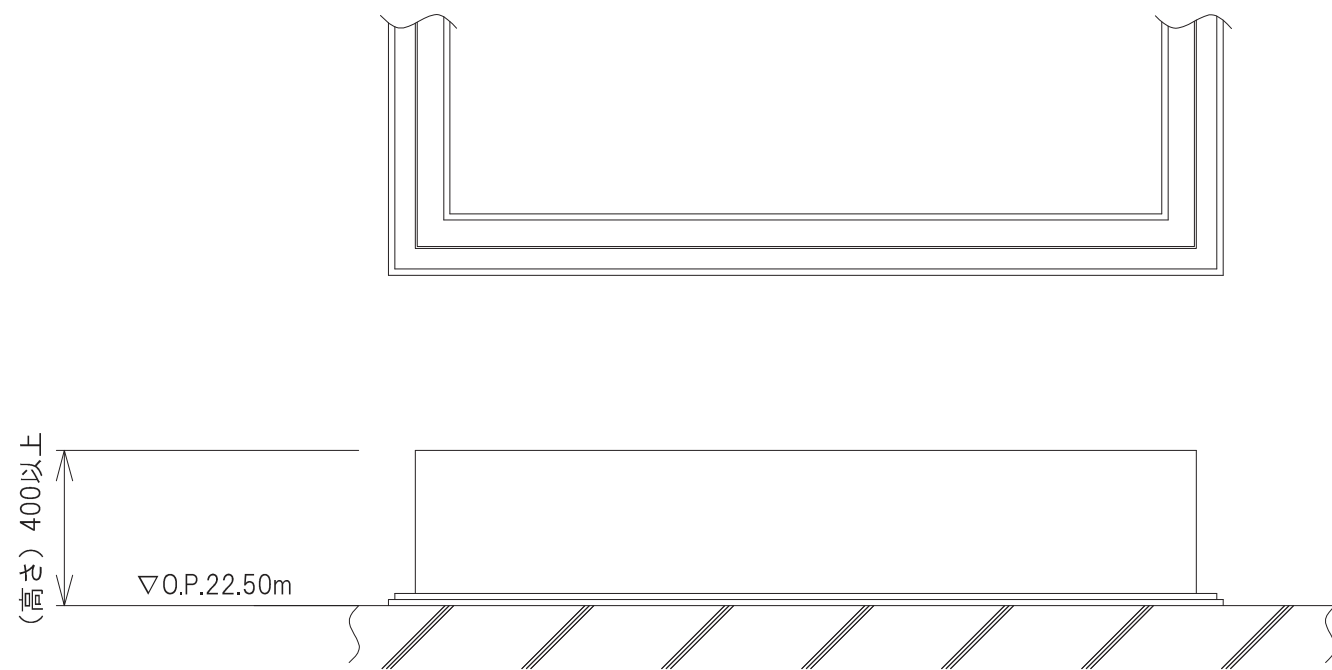


注：特記なき寸法はmmを示す。

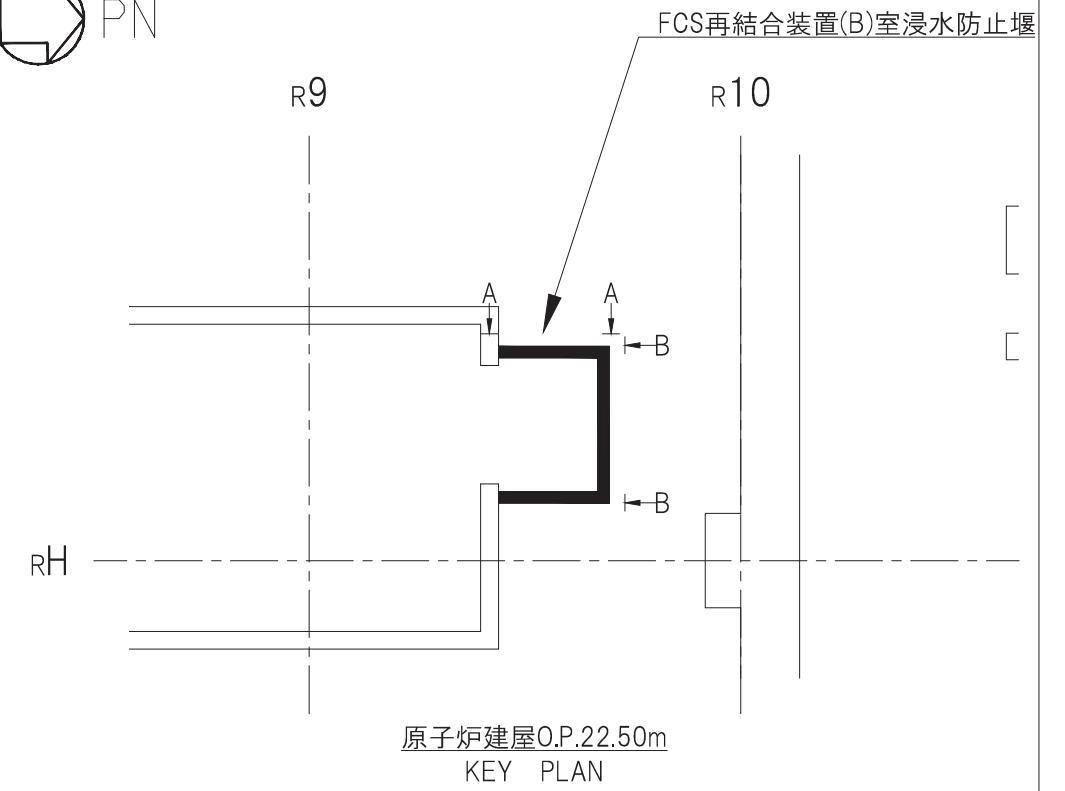
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-47 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	FCS再結合装置(A)室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢视图

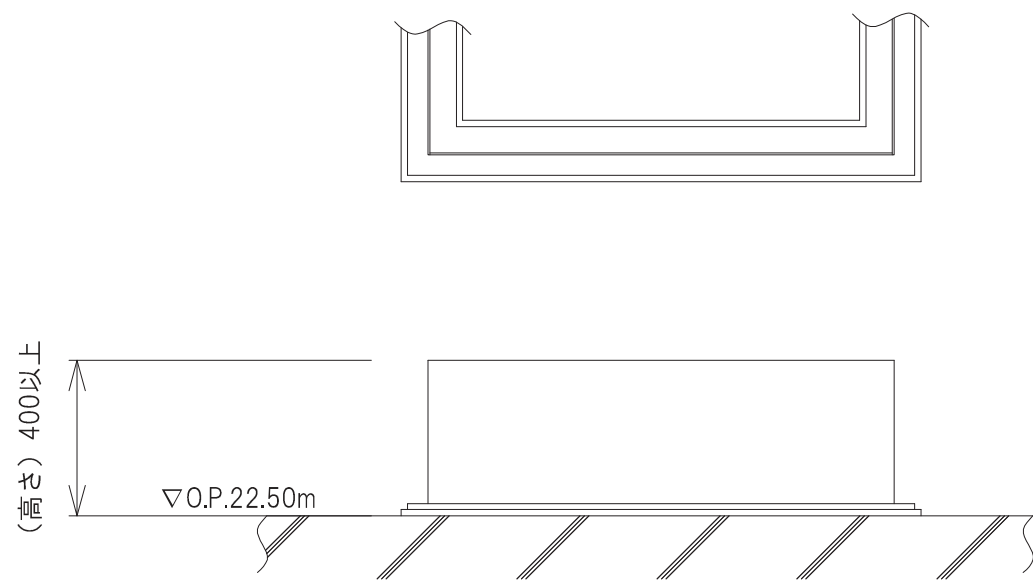


B~B矢视图

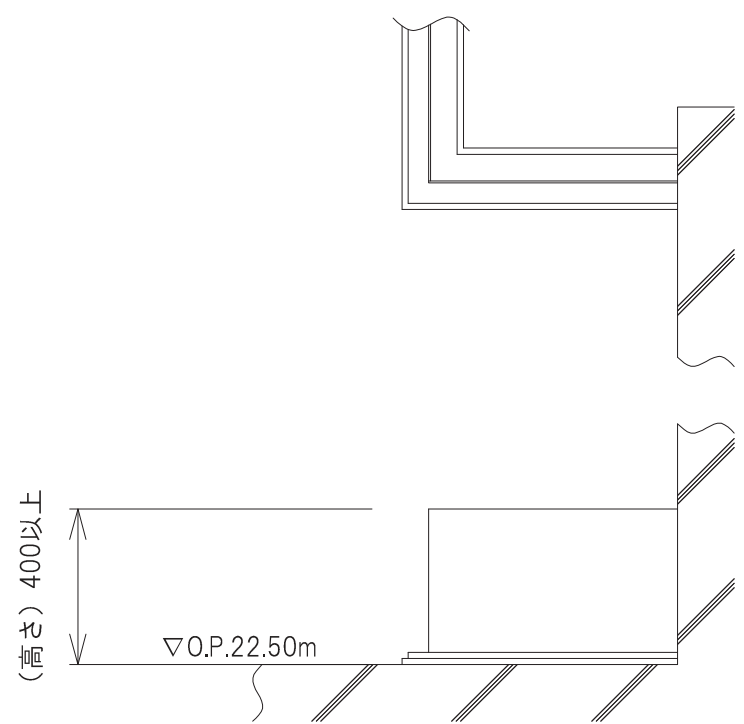


注：特記なき寸法はmmを示す。

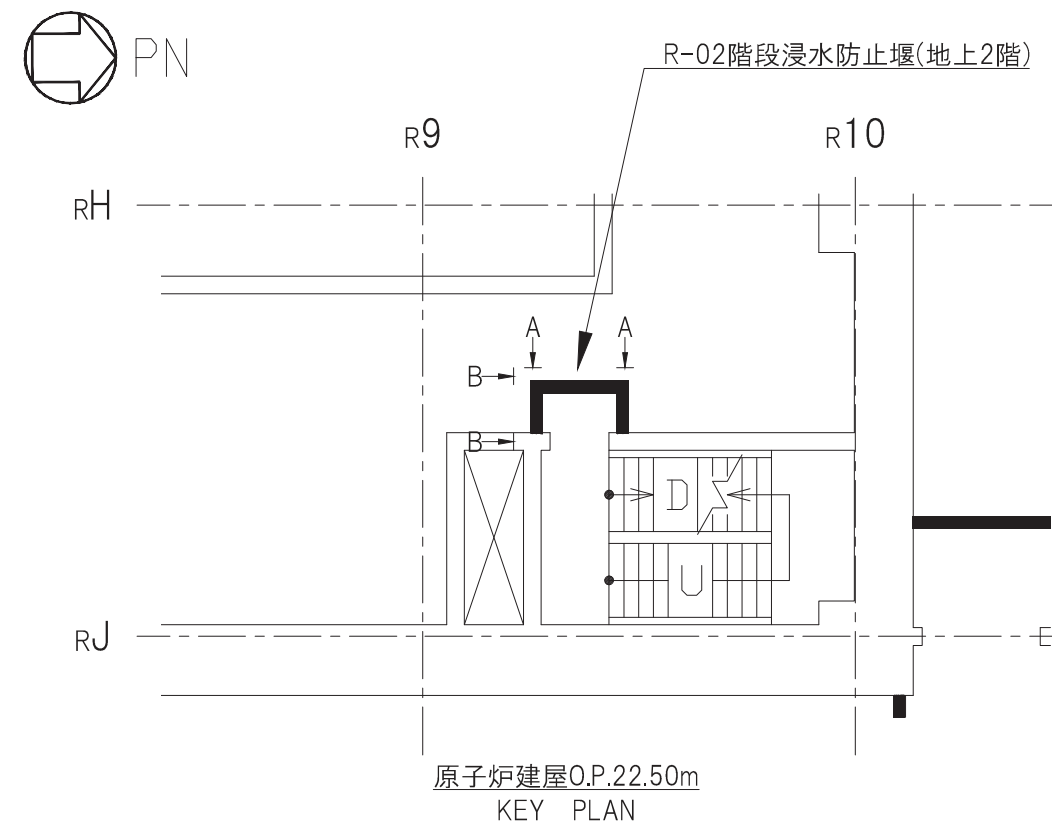
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-48 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	FCS再結合装置(B)室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢視図

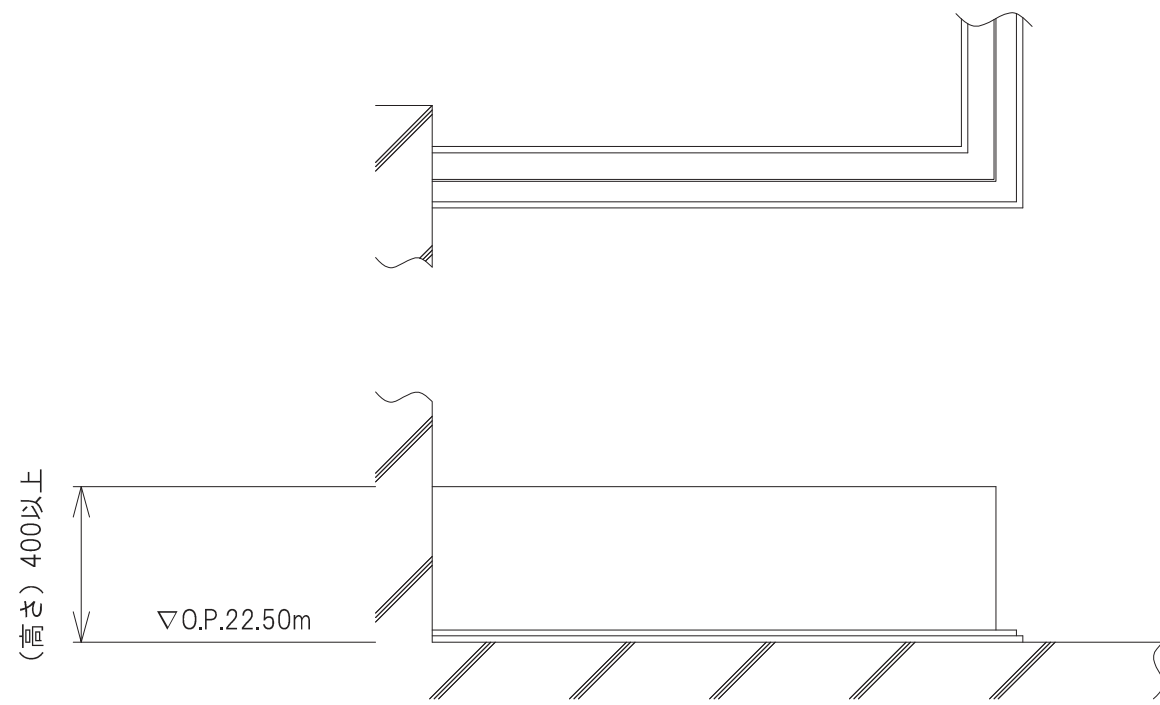


B~B矢視図

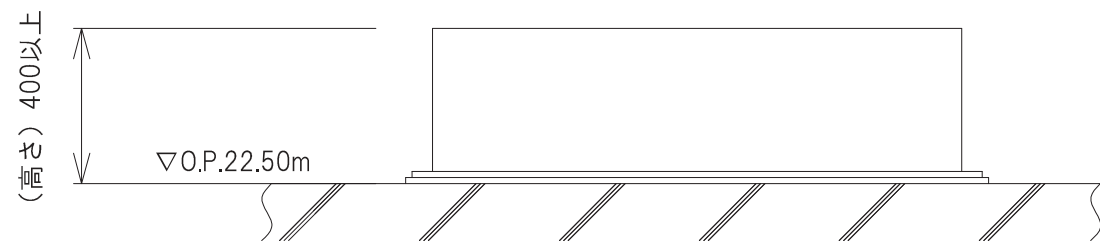


注：特記なき寸法はmmを示す。

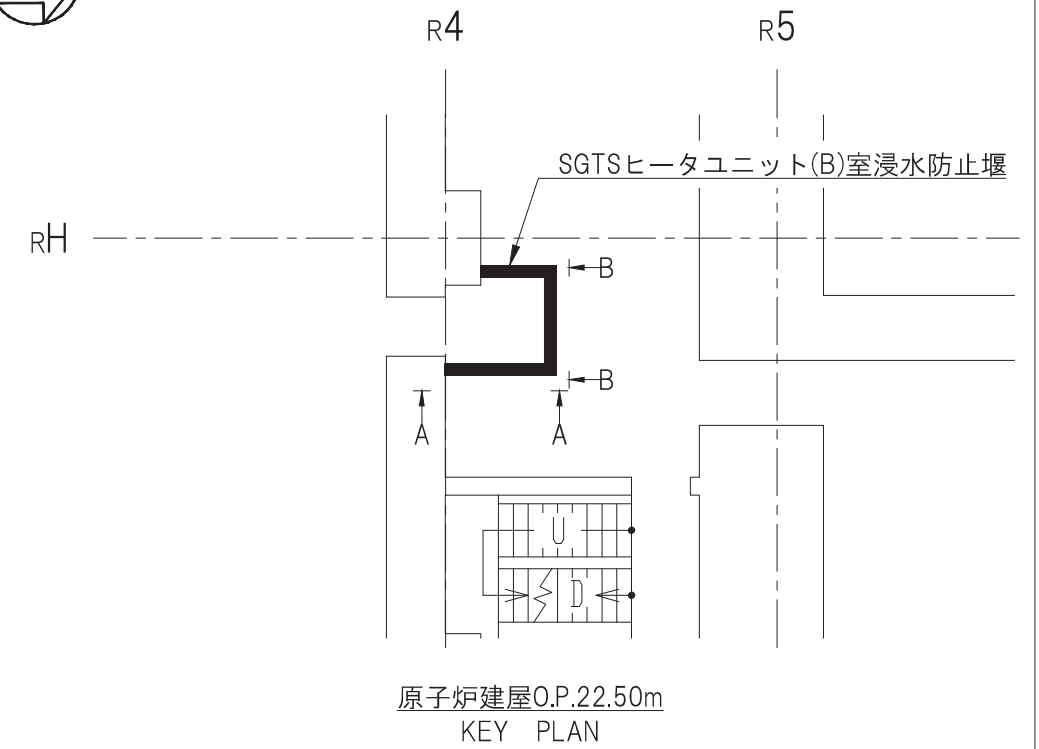
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-49 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	R-02階段浸水防止堰(地上2階) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢視図

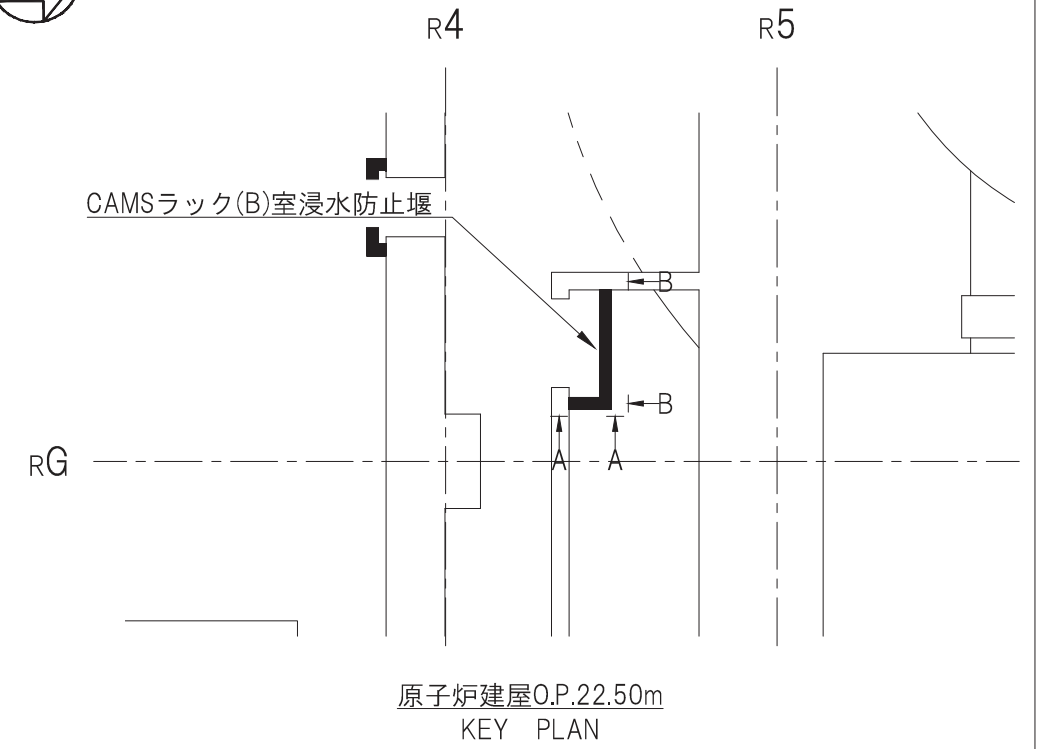
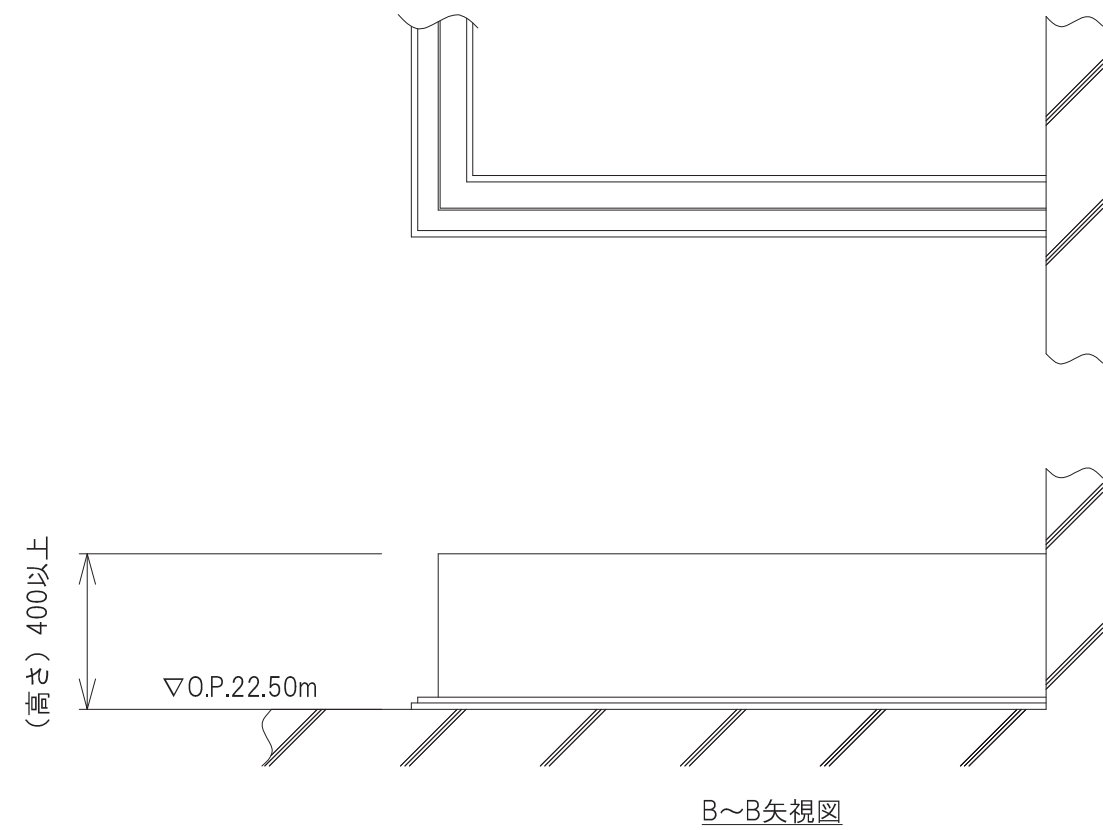
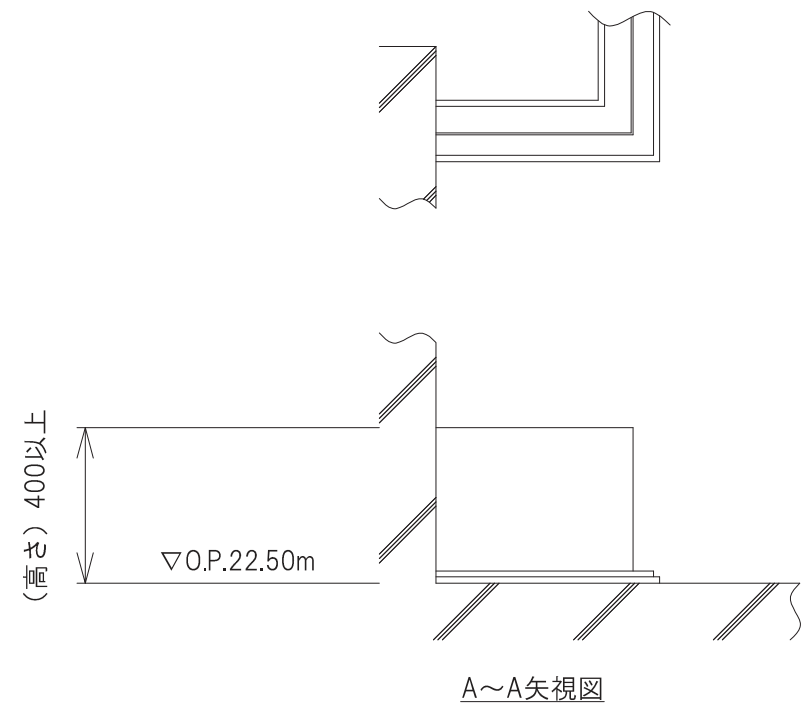


B~B矢視図



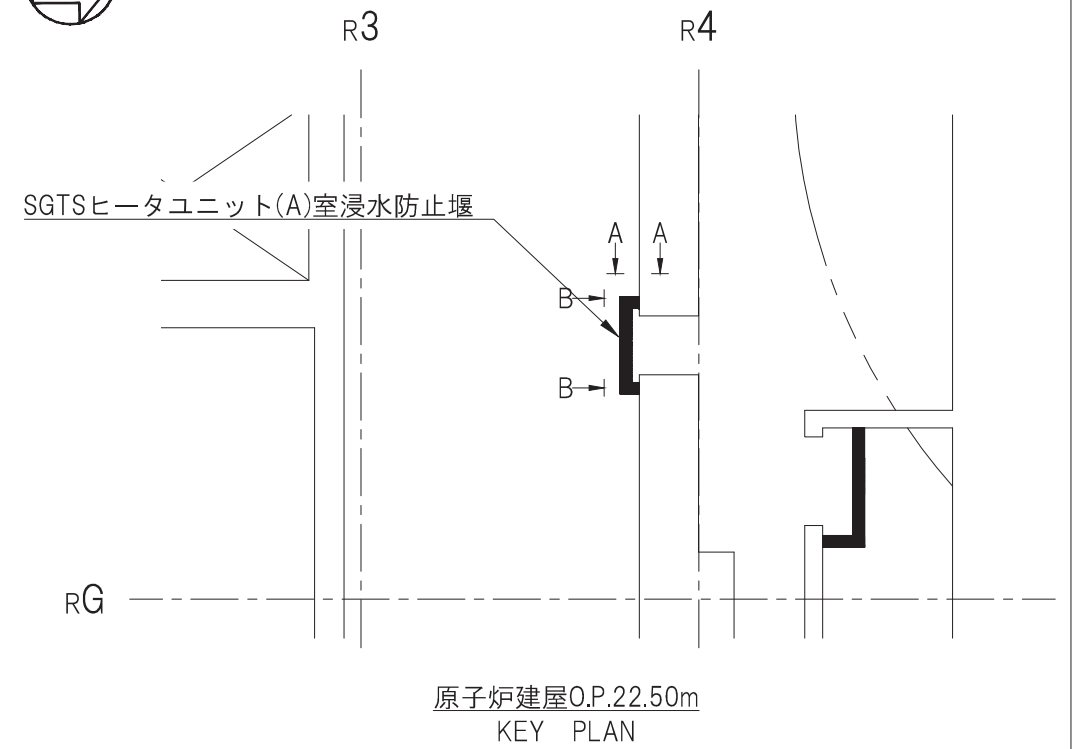
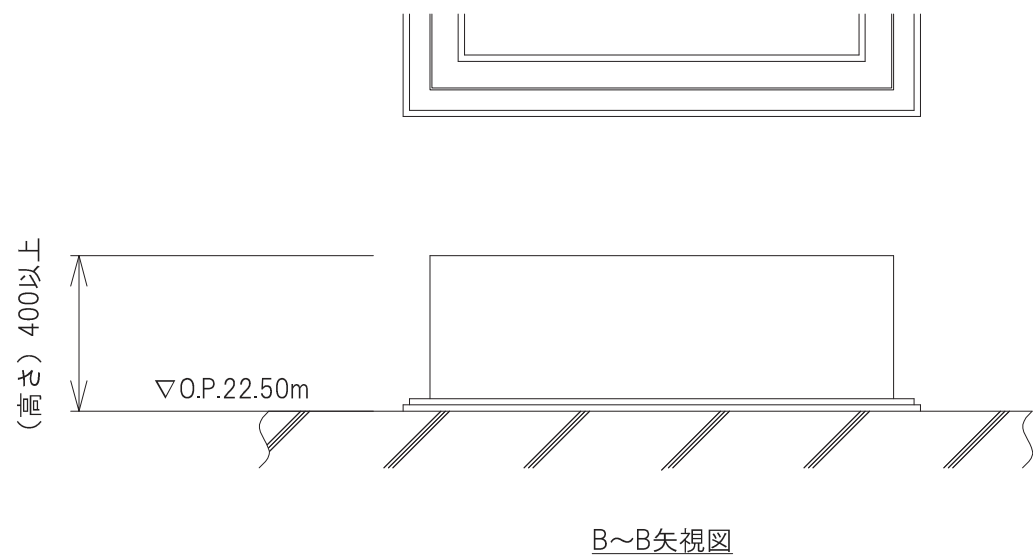
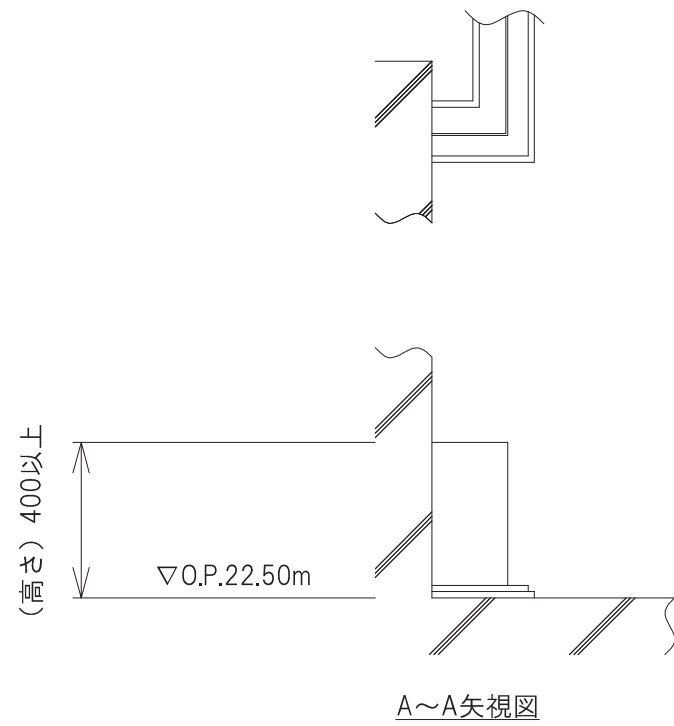
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-50 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	SGTSヒータユニット(B)室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



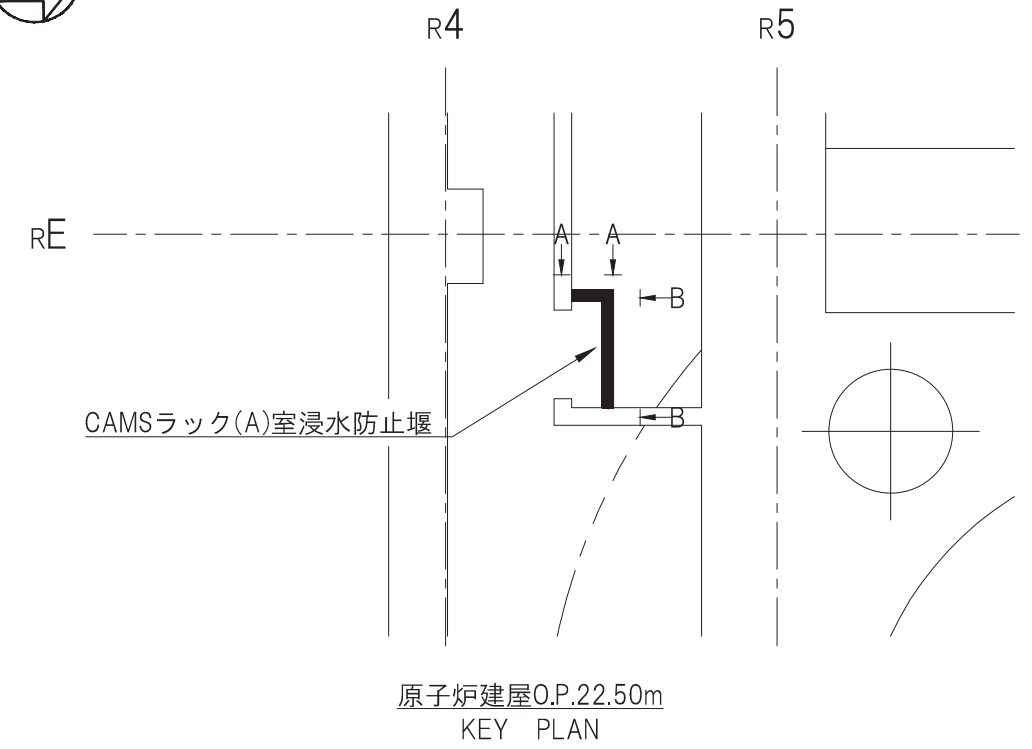
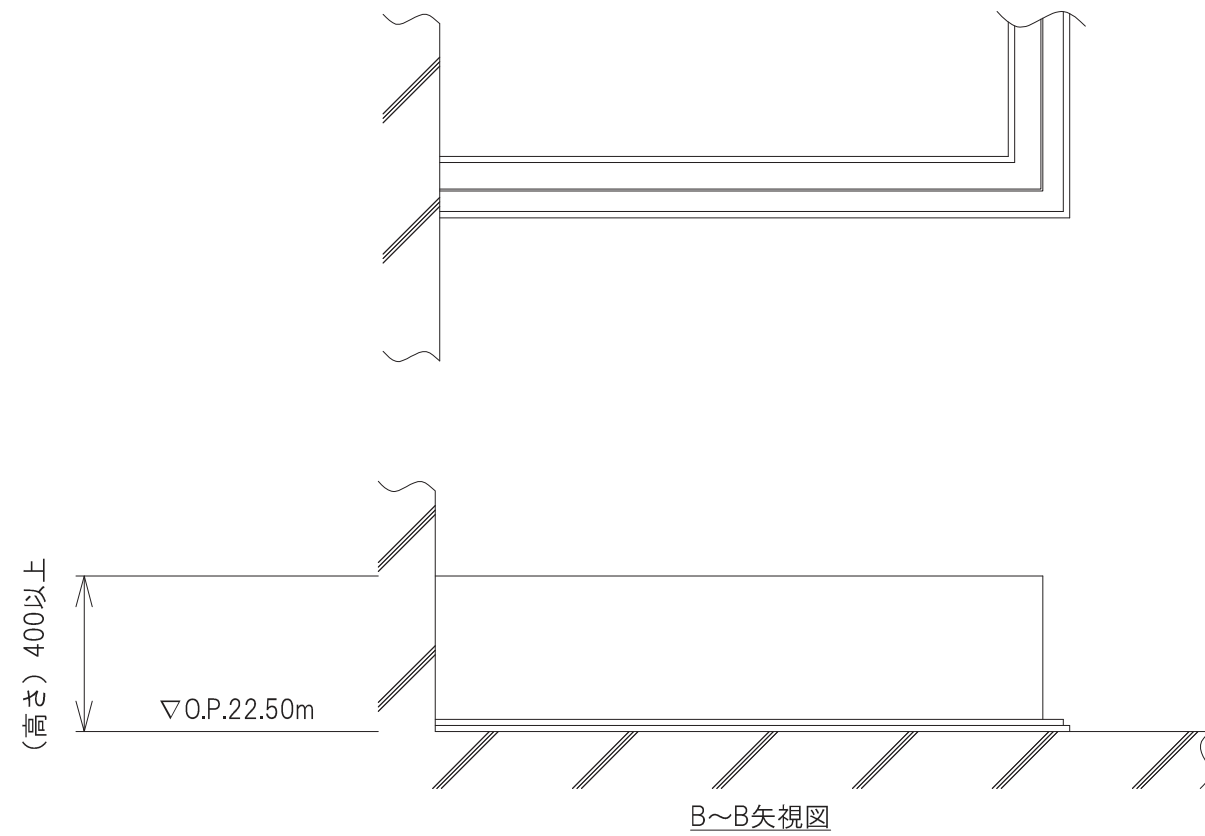
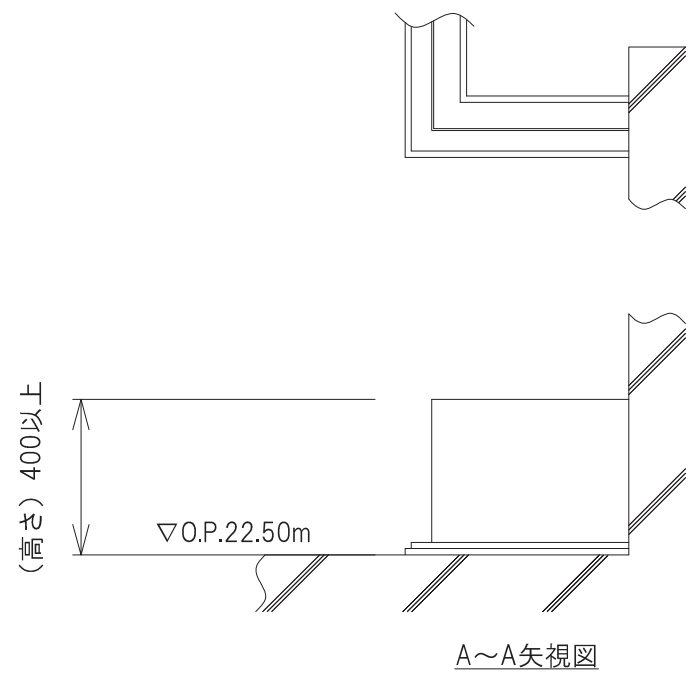
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-51図
女川原子力発電所	第2号機
名 称	CAMSラック(B)室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



注：特記なき寸法はmmを示す。

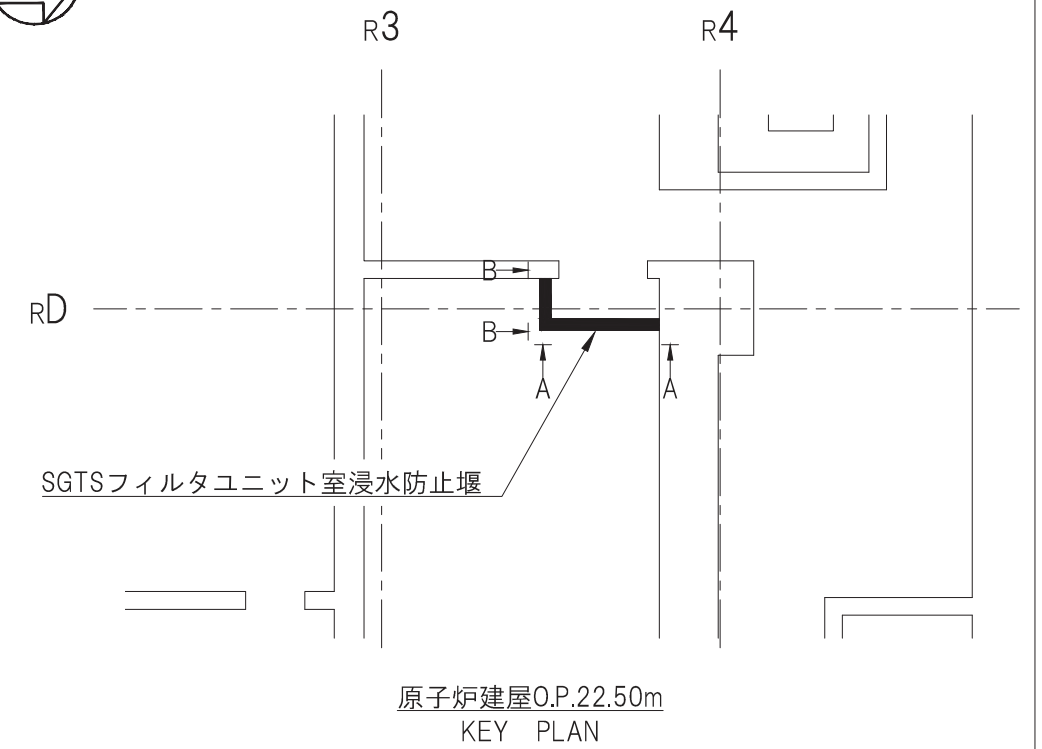
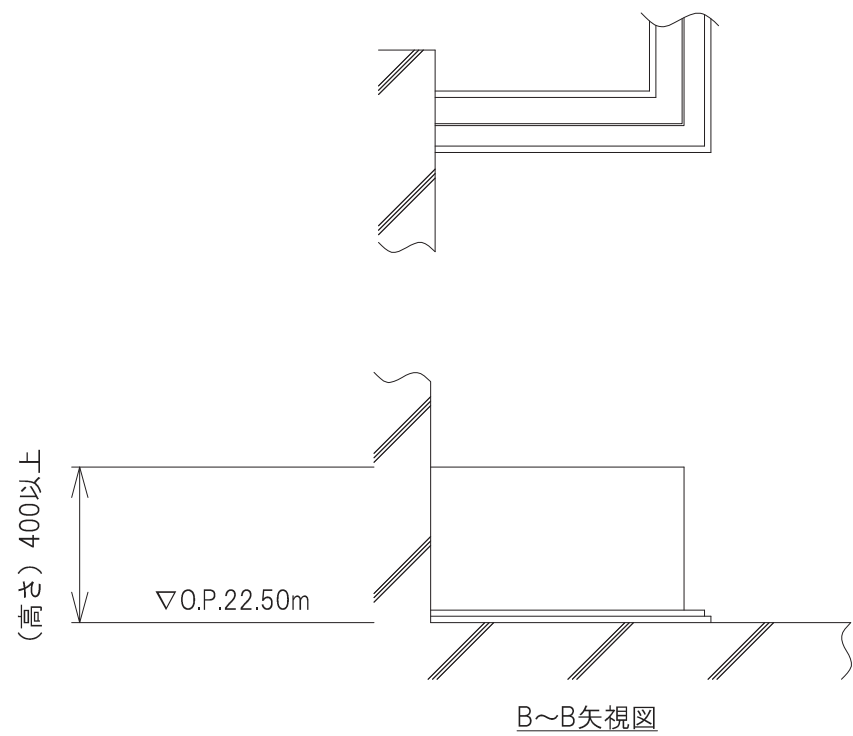
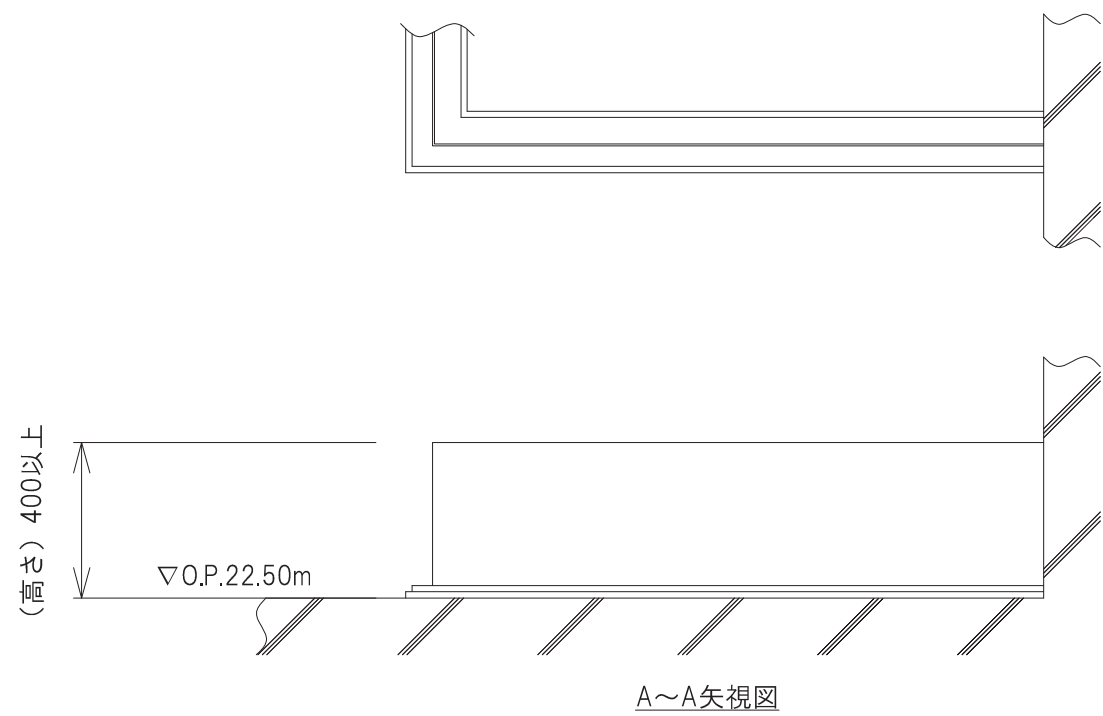
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-52 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	SGTSヒータユニット(A)室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



注：特記なき寸法はmmを示す。

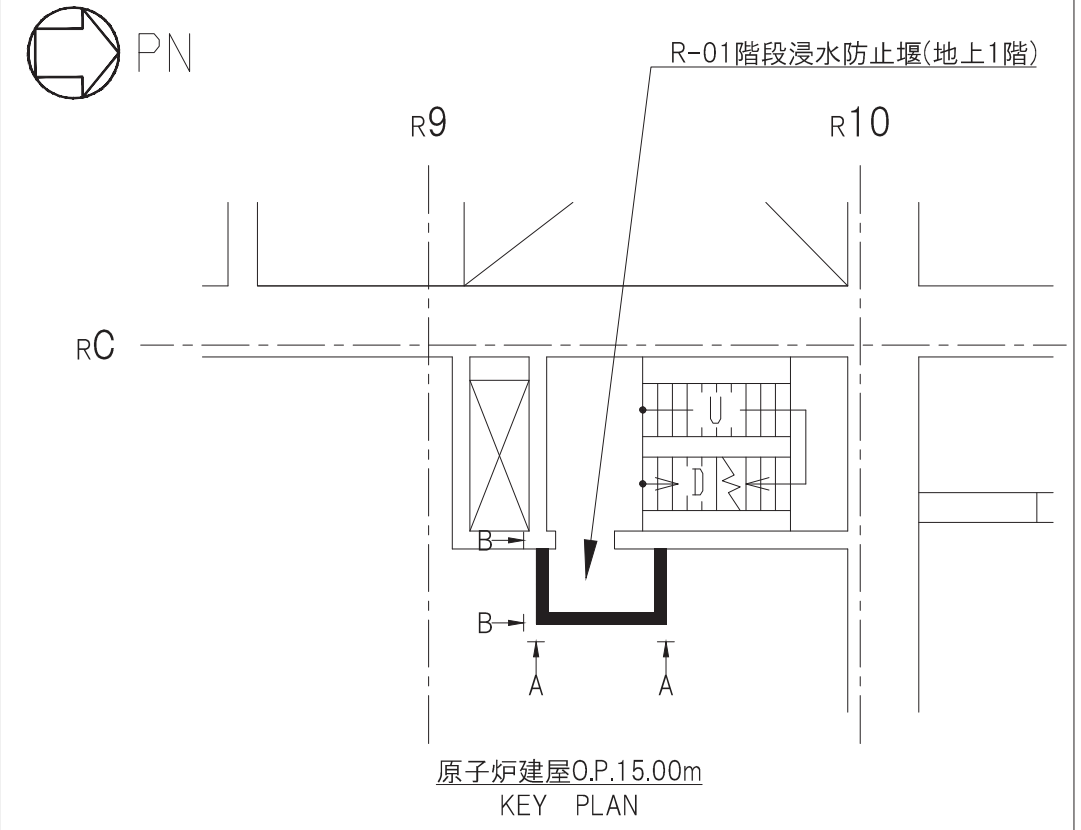
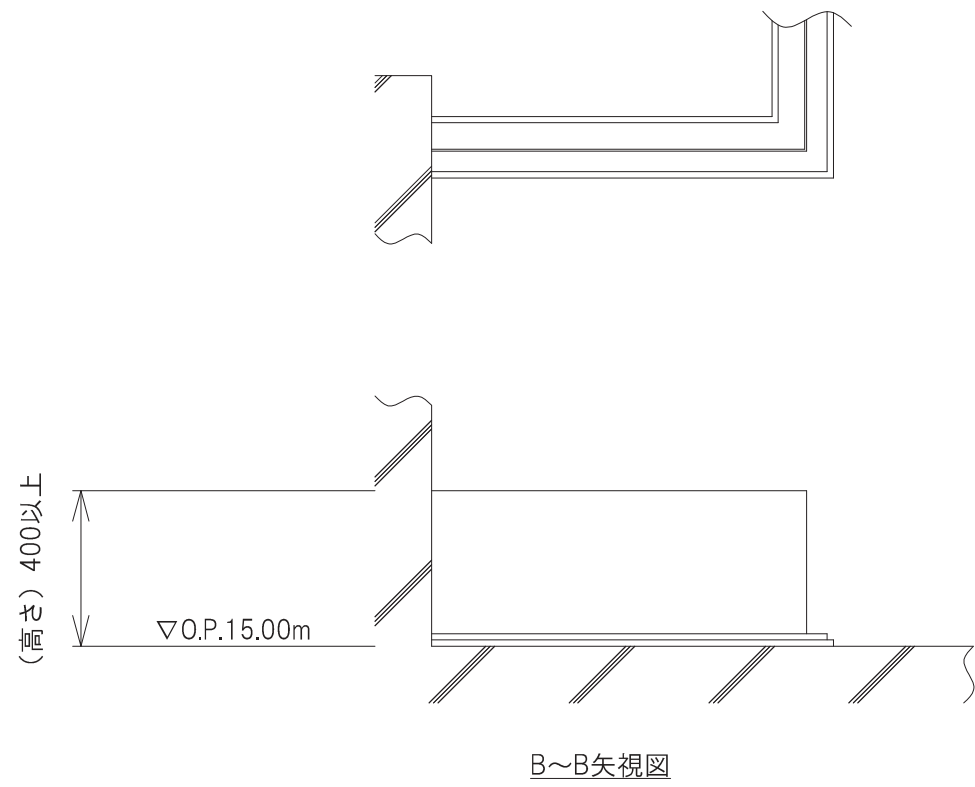
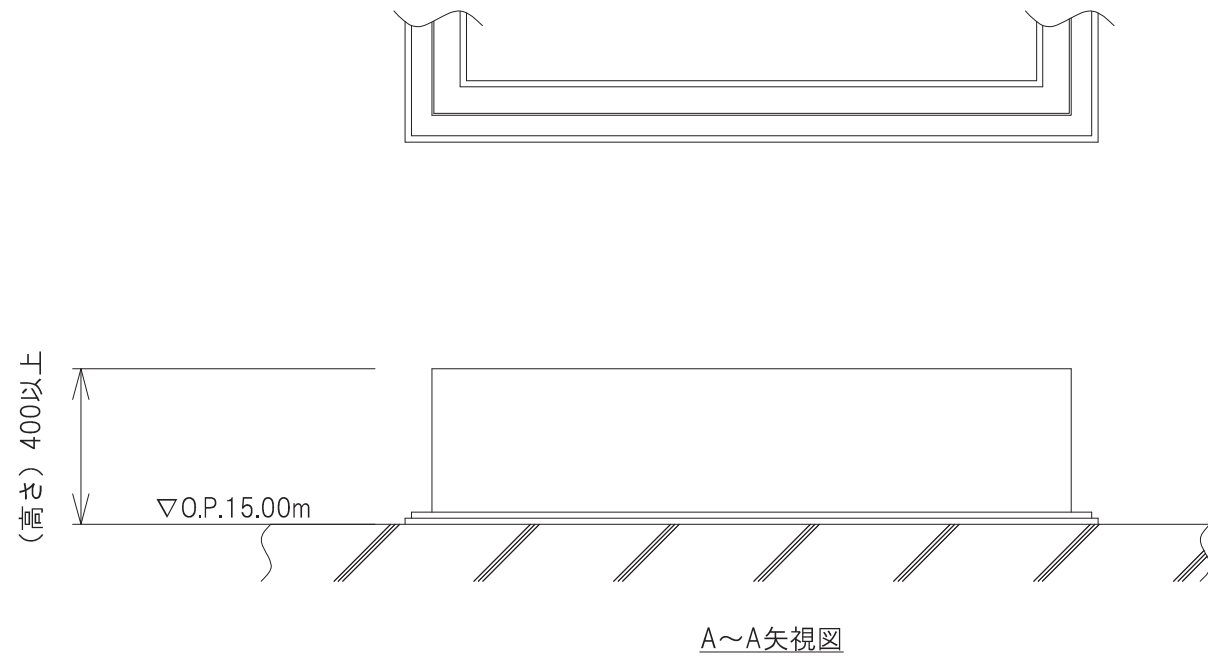
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-53 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	CAMSラック(A)室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	





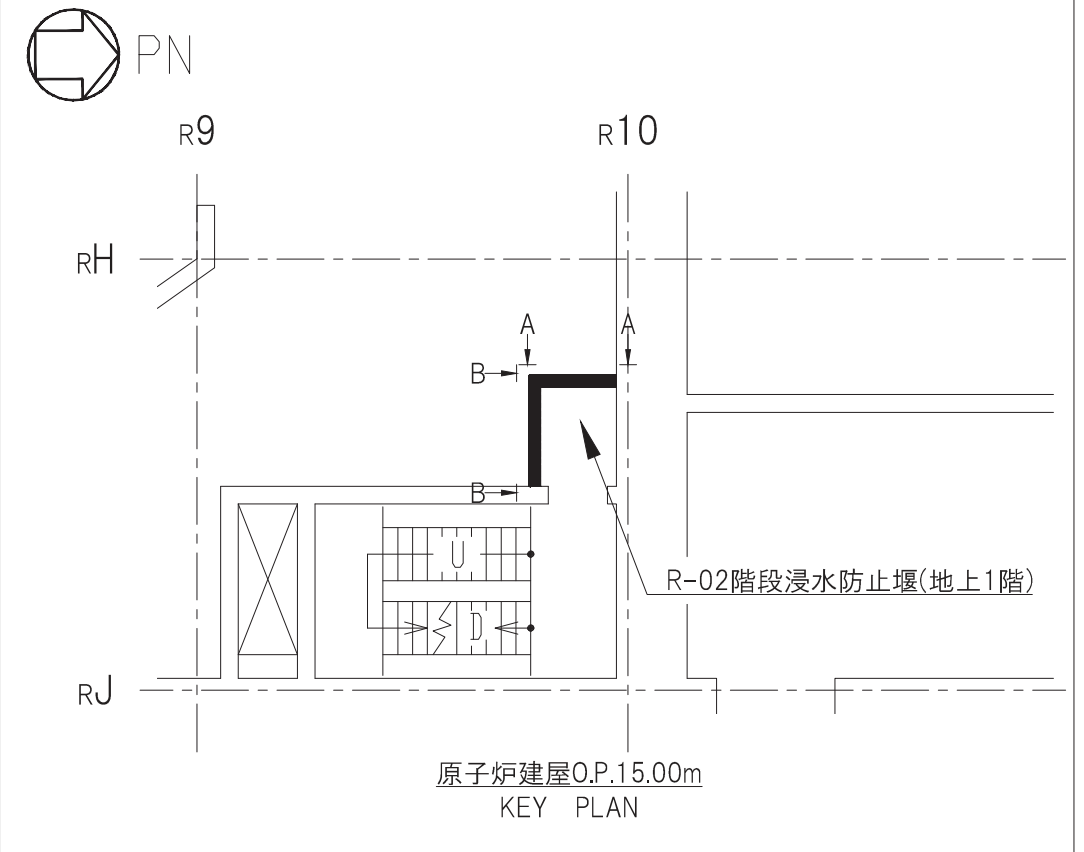
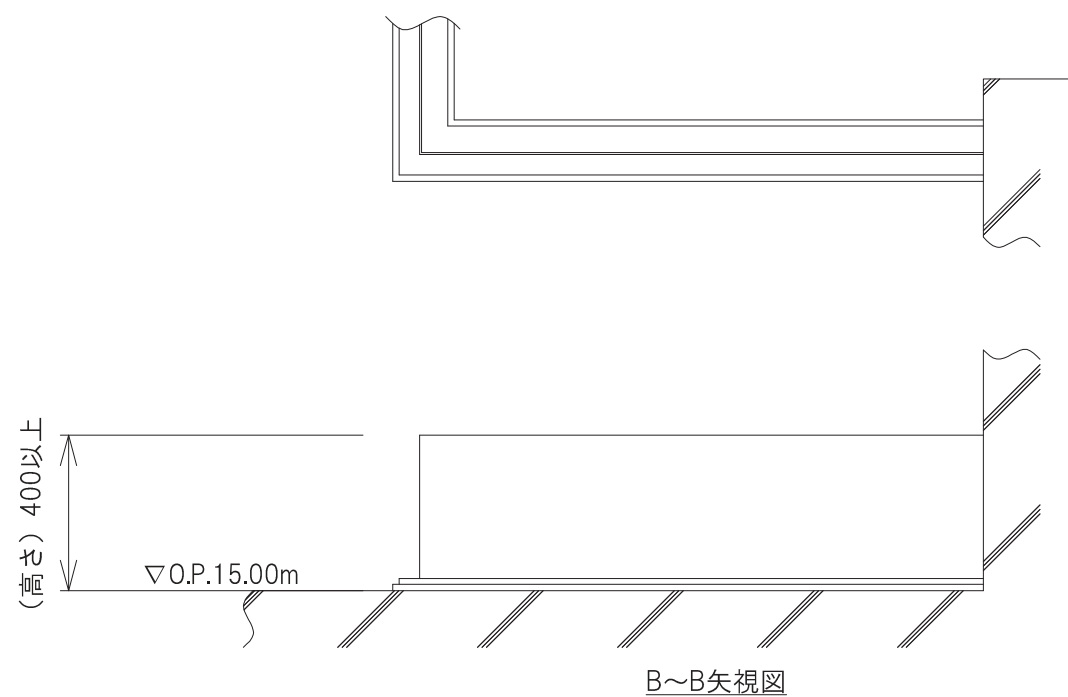
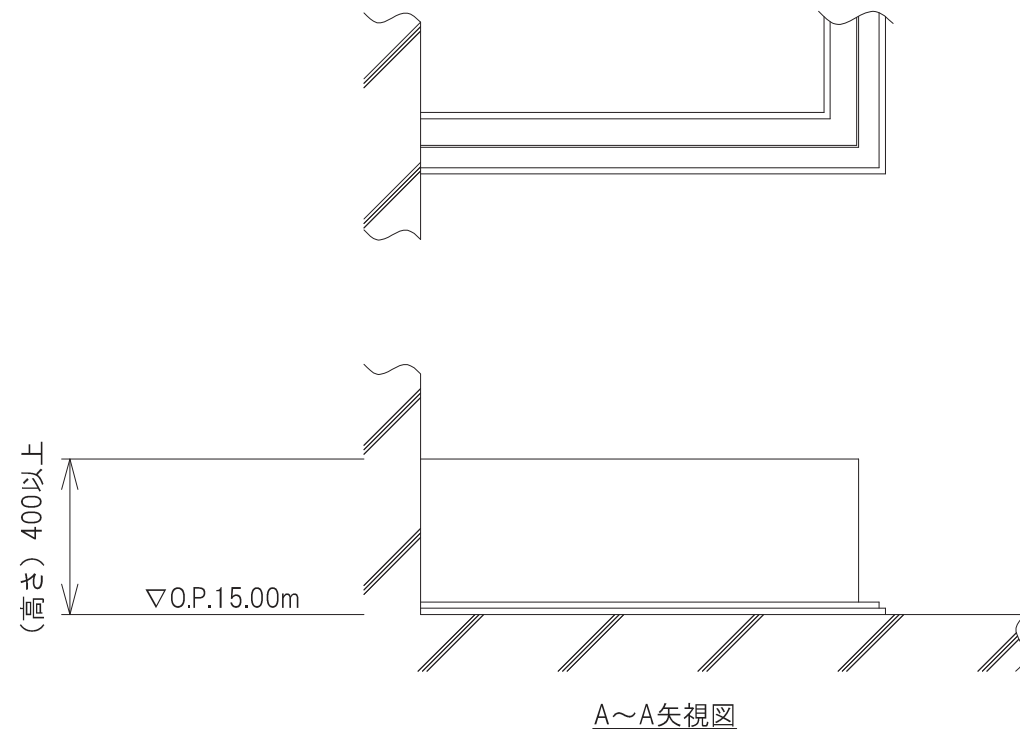
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-54 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	SGTSフィルタユニット室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



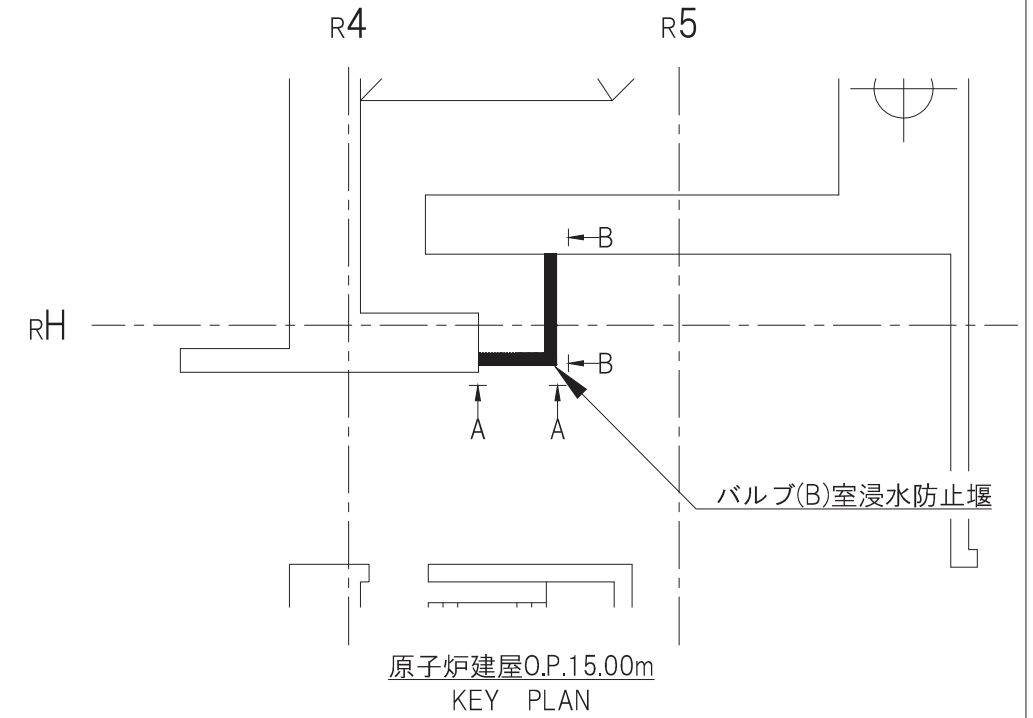
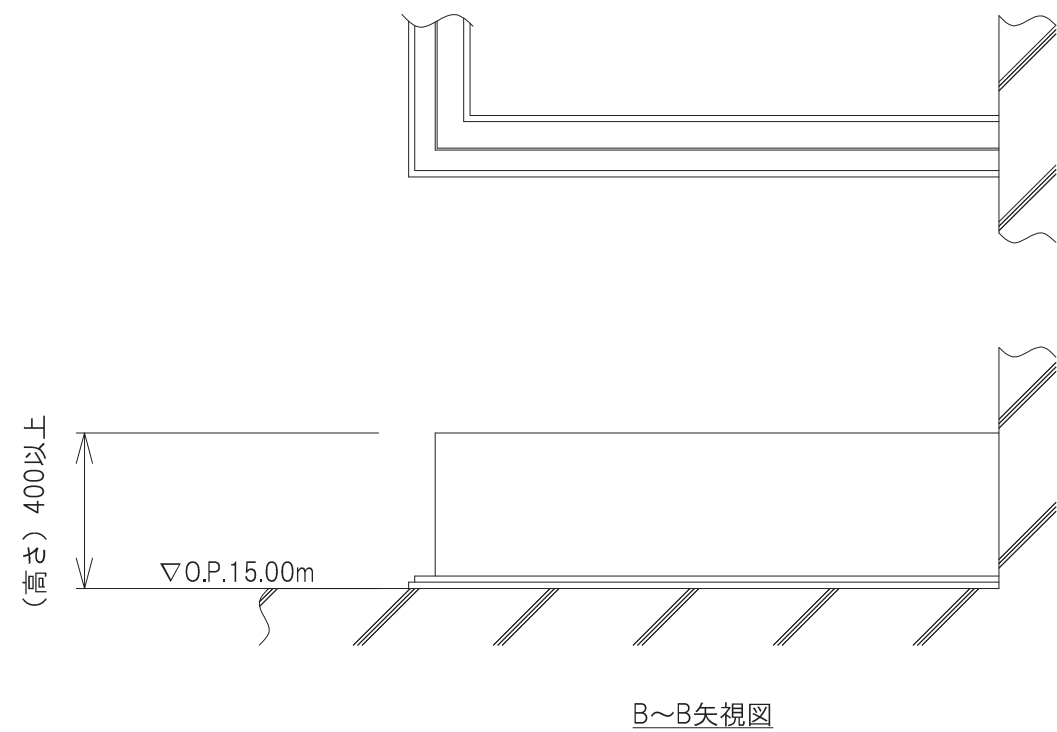
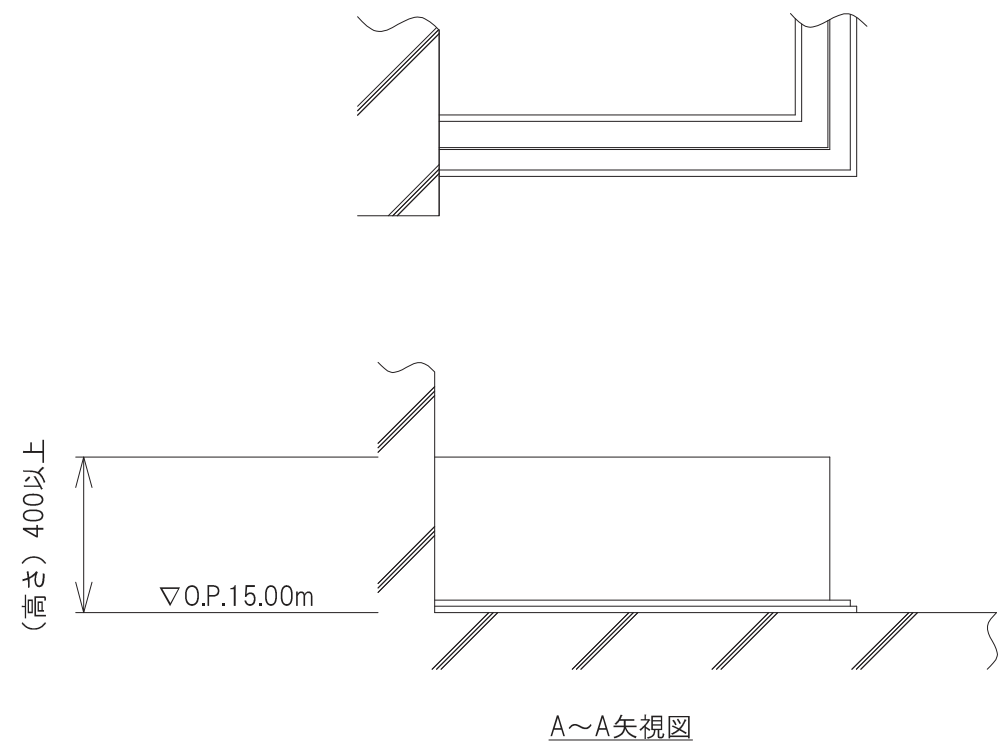
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-55 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	R-01階段浸水防止堰(地上1階) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



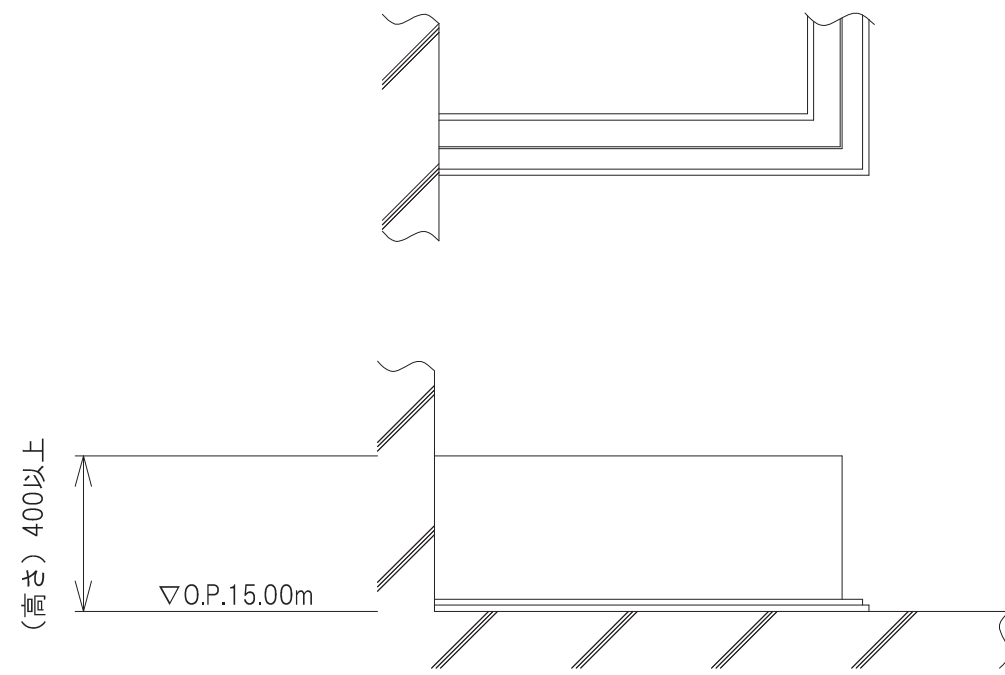
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-56 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	R-02階段浸水防止堰(地上1階) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

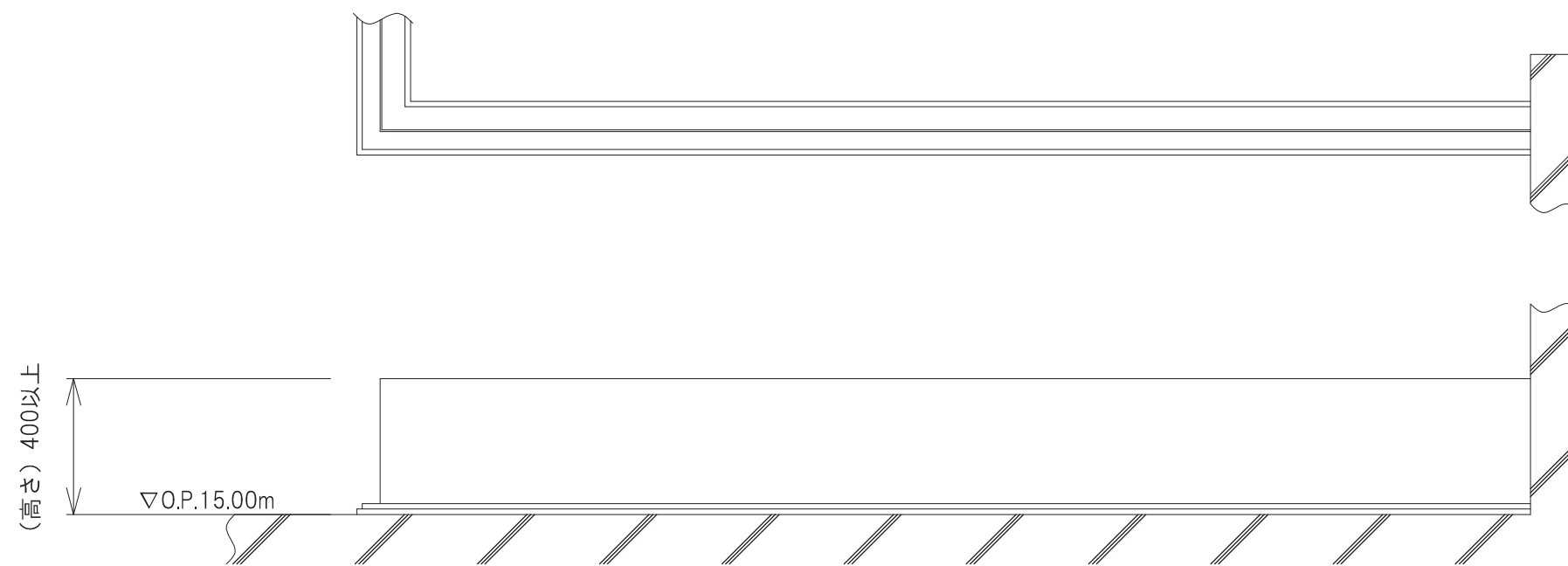


注：特記なき寸法はmmを示す。

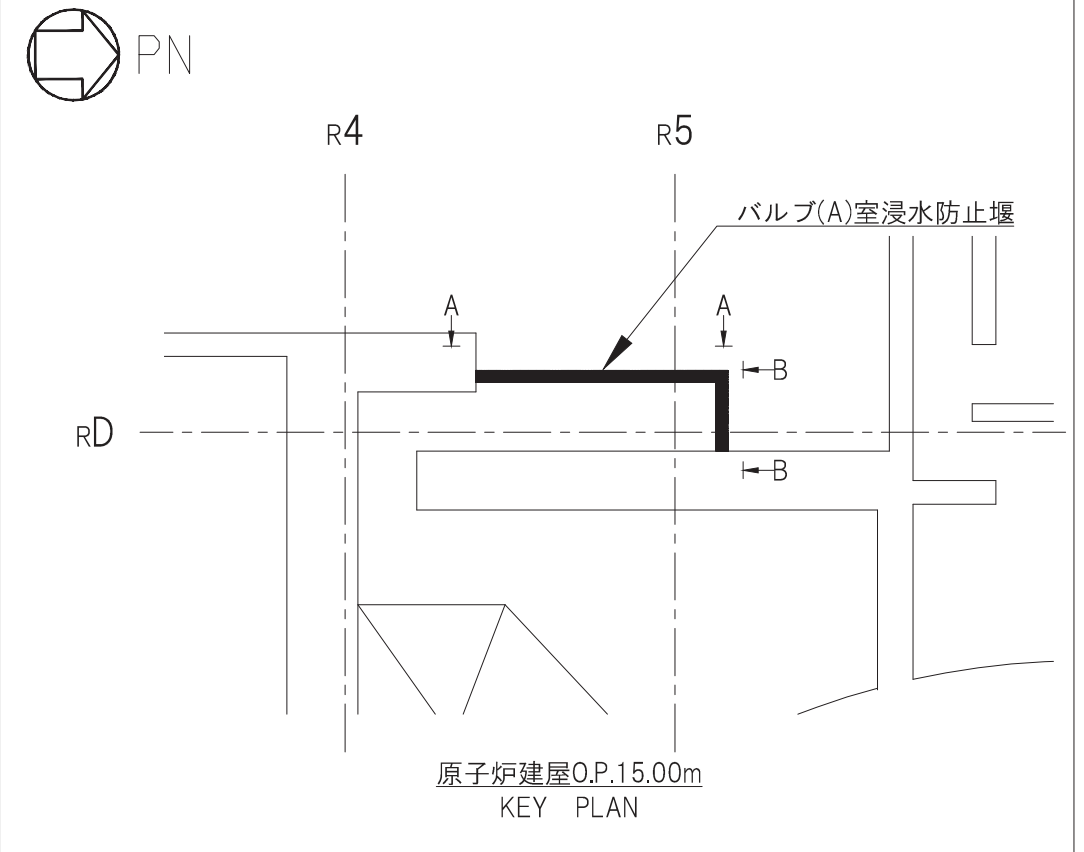
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-57 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	バルブ(B)室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



B~B矢視図

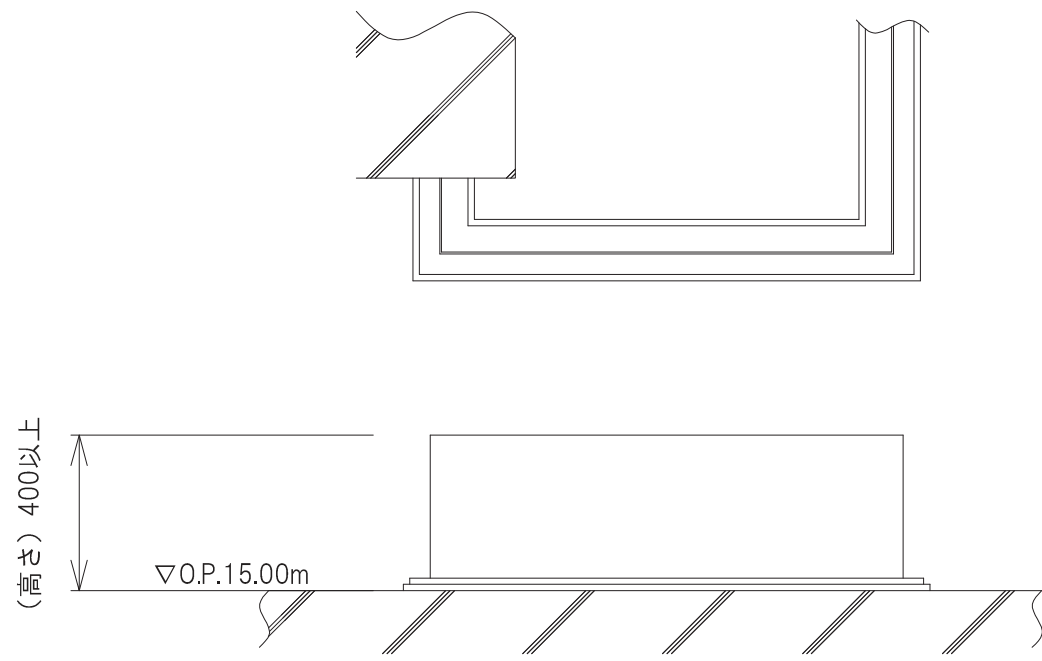


A~A矢視図

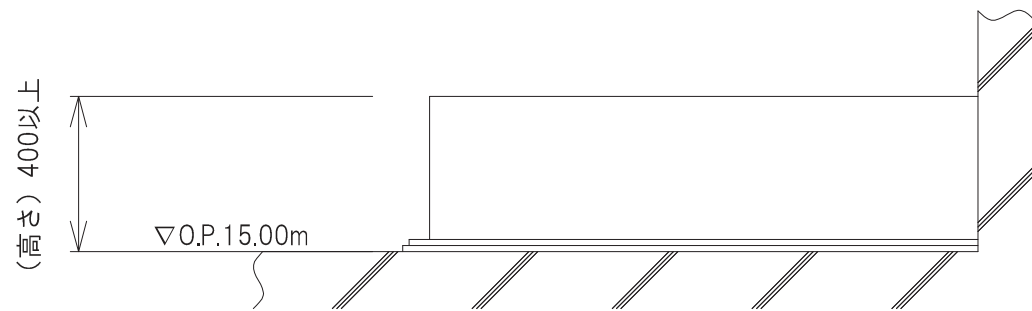
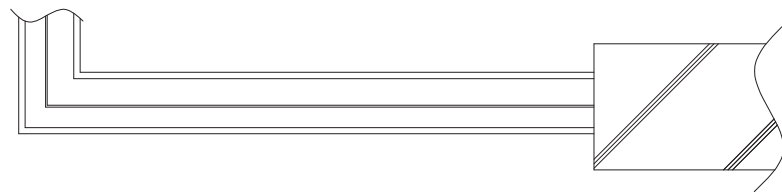


注：特記なき寸法はmmを示す。

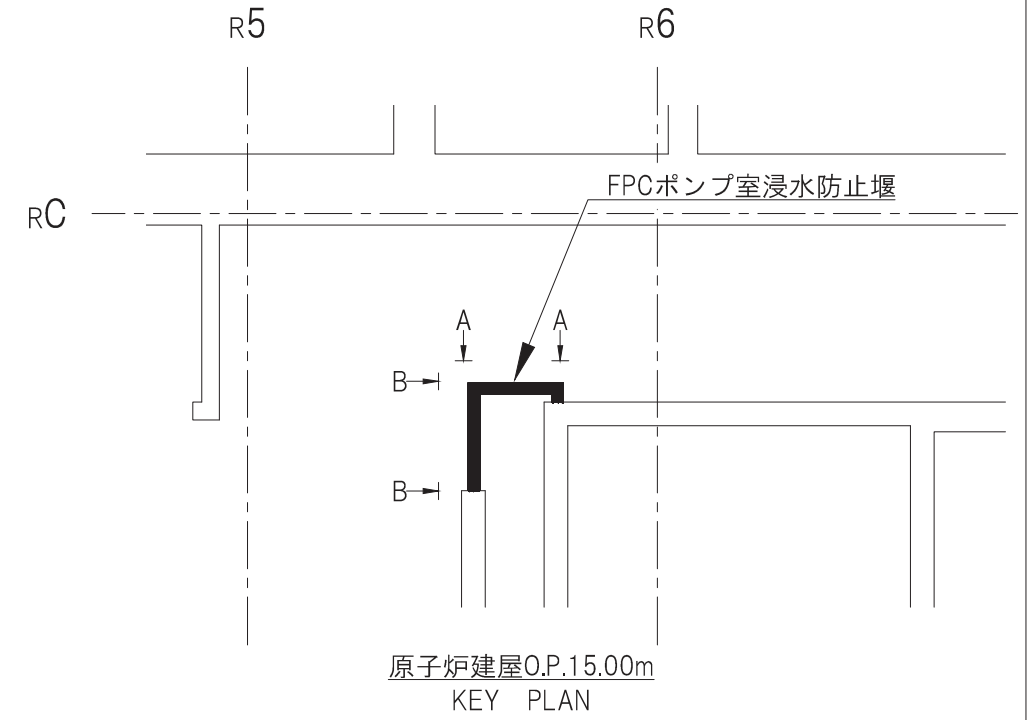
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-58 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	バルブ(A)室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢視図

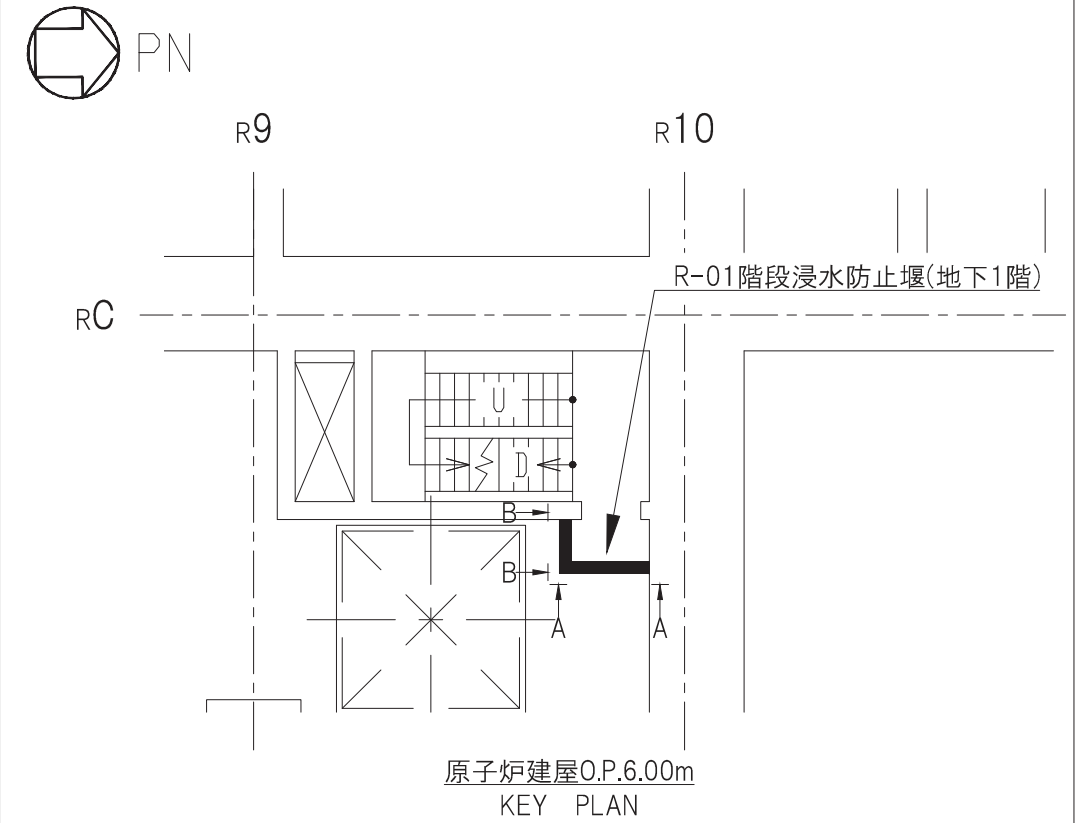
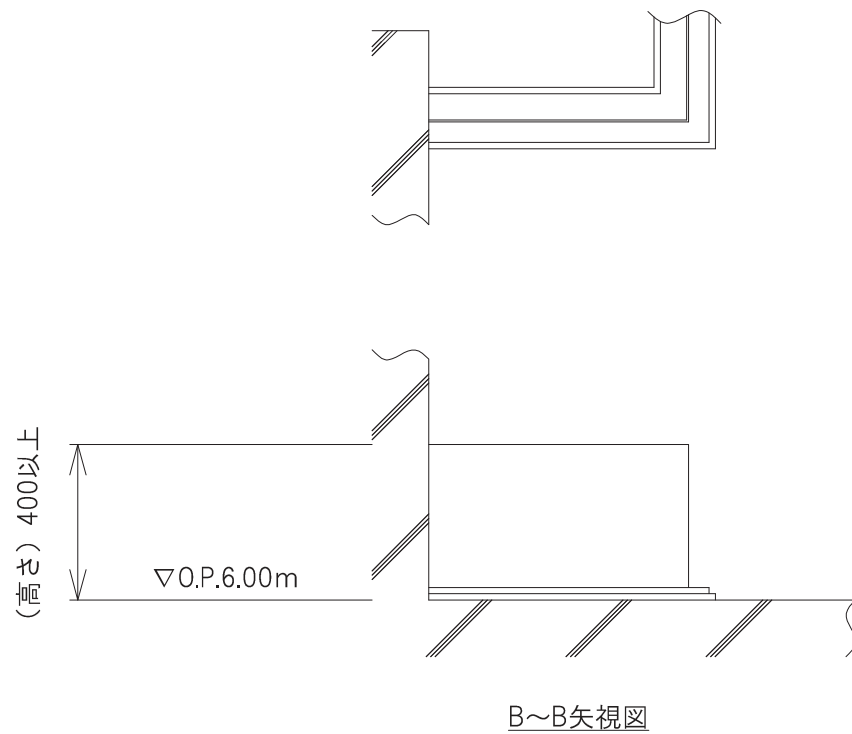
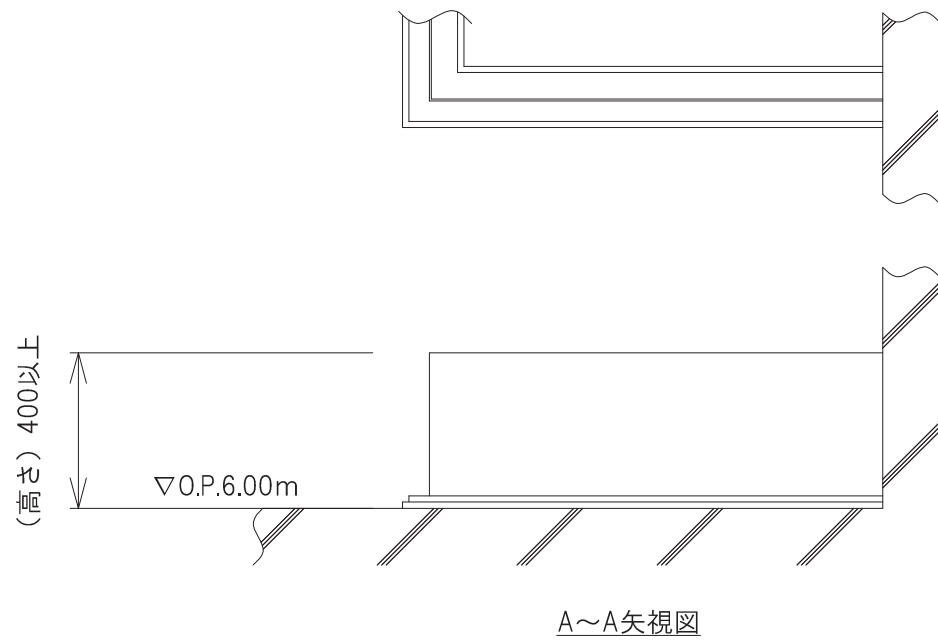


B~B矢視図



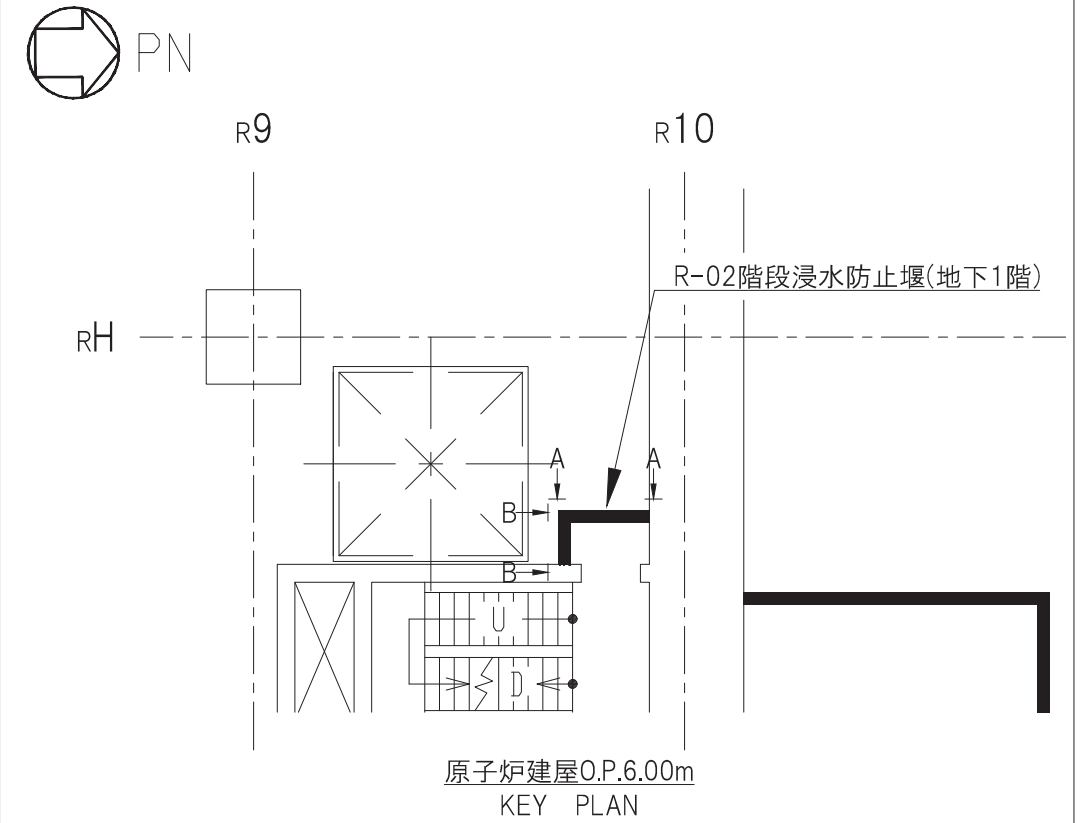
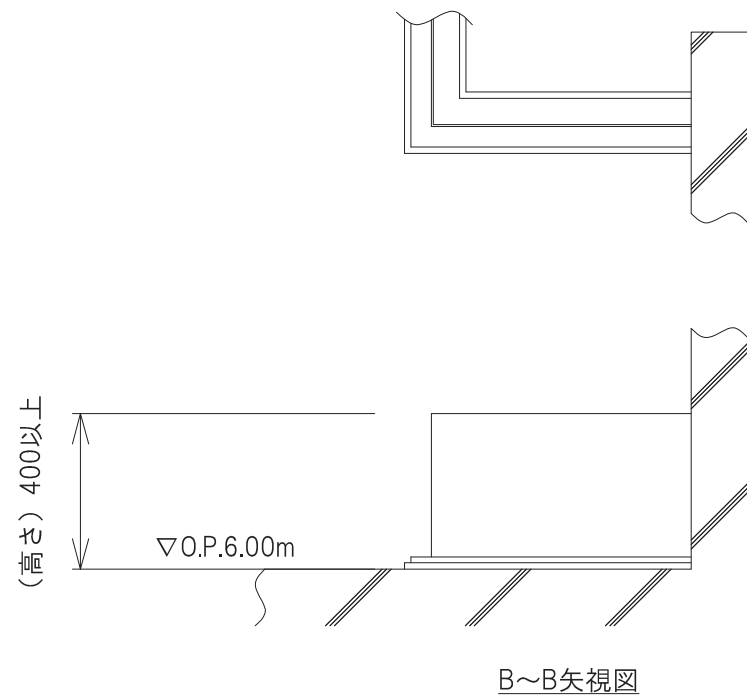
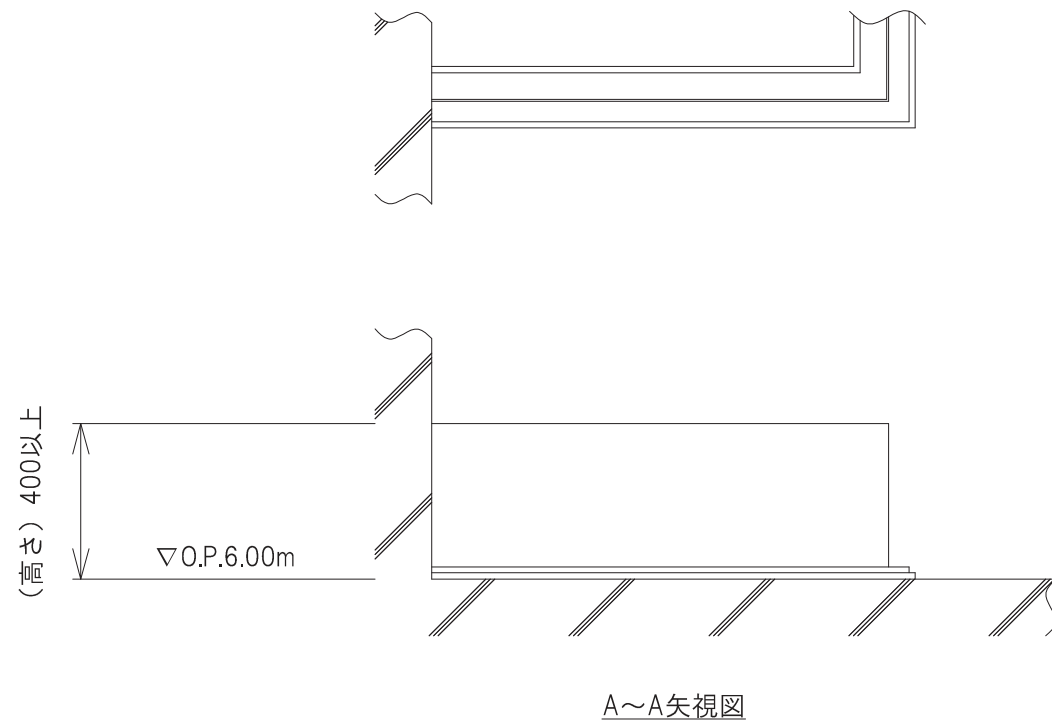
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-59 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	FPCポンプ室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



注：特記なき寸法はmmを示す。

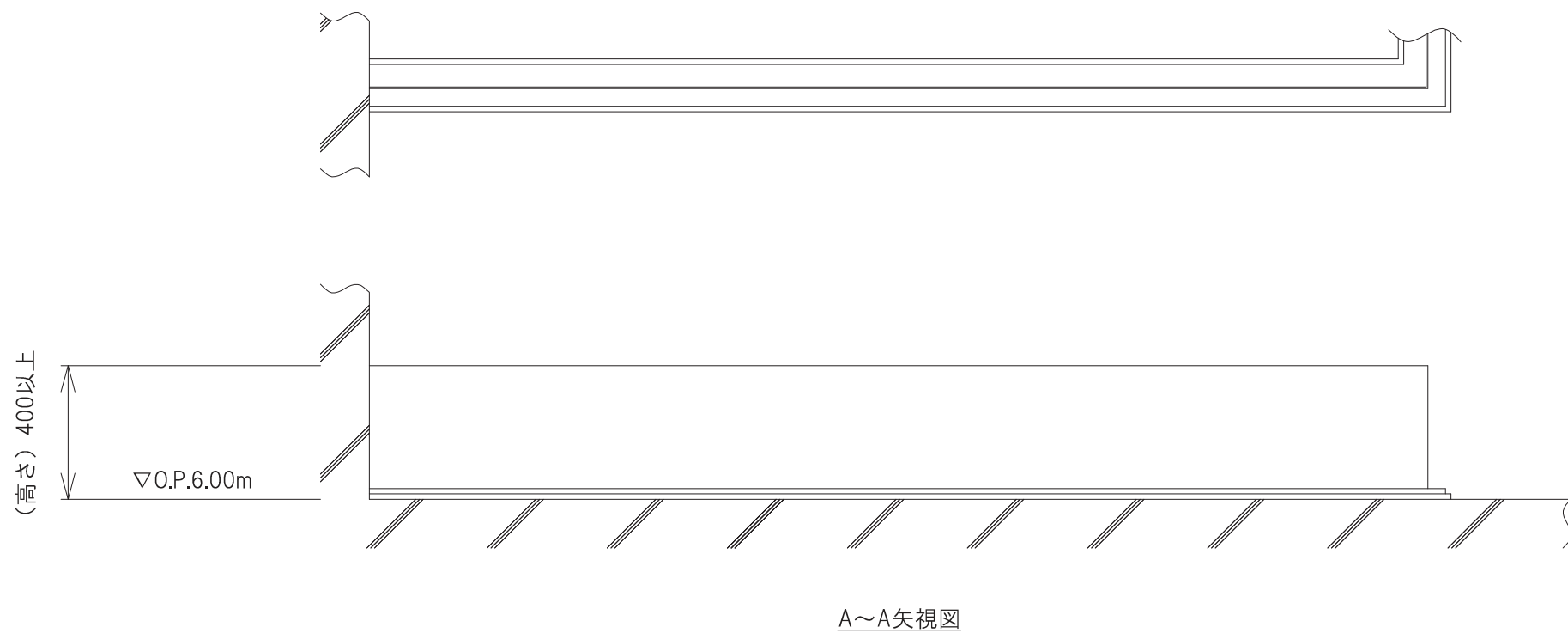
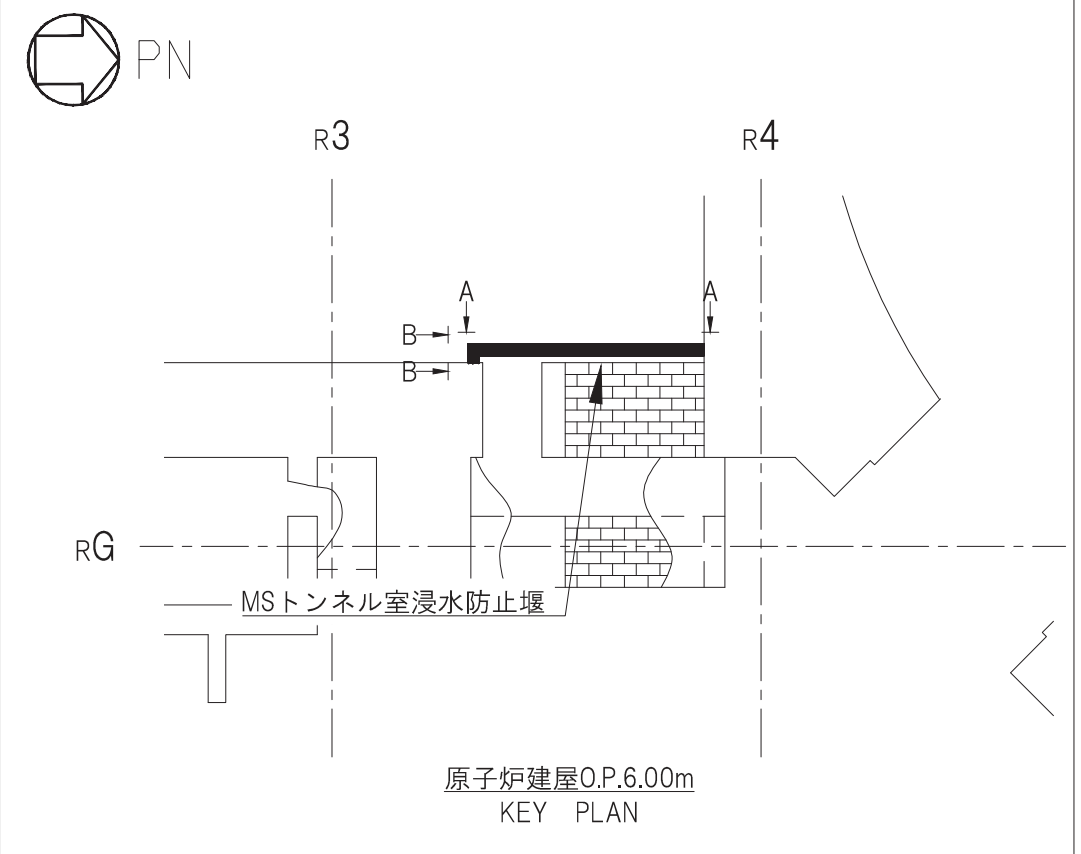
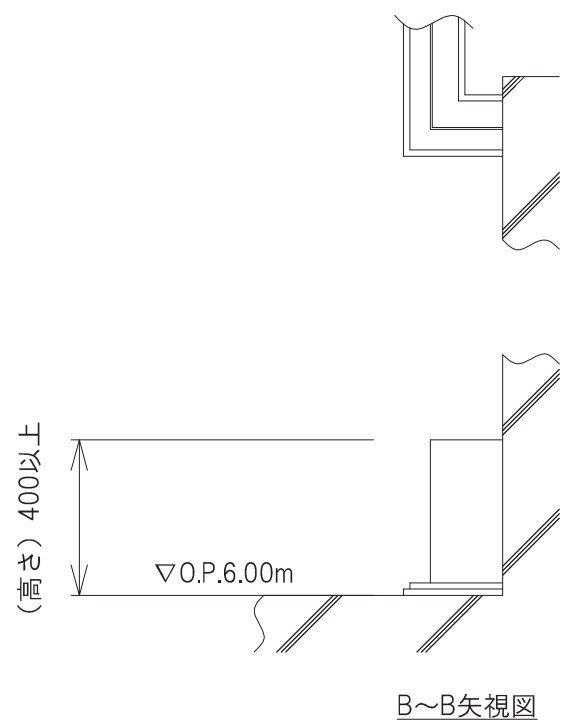
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-60 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	R-01階段浸水防止堰(地下1階) 構造図
東北電力株式会社	



注：特記なき寸法はmmを示す。

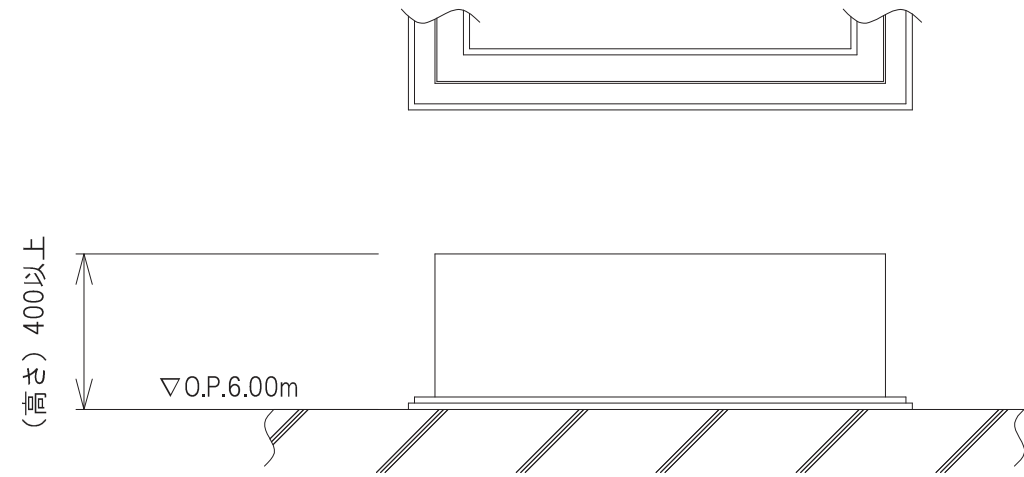
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-61 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	R-02階段浸水防止堰(地下1階) 構造図
東北電力株式会社	



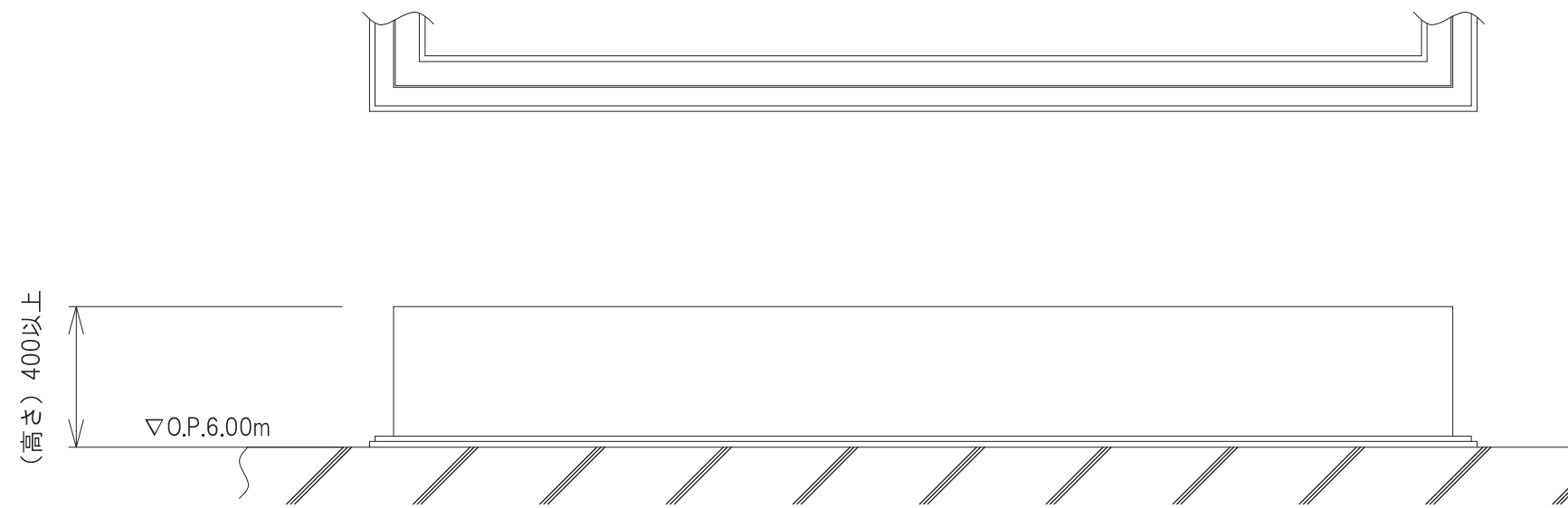


注：特記なき寸法はmmを示す。

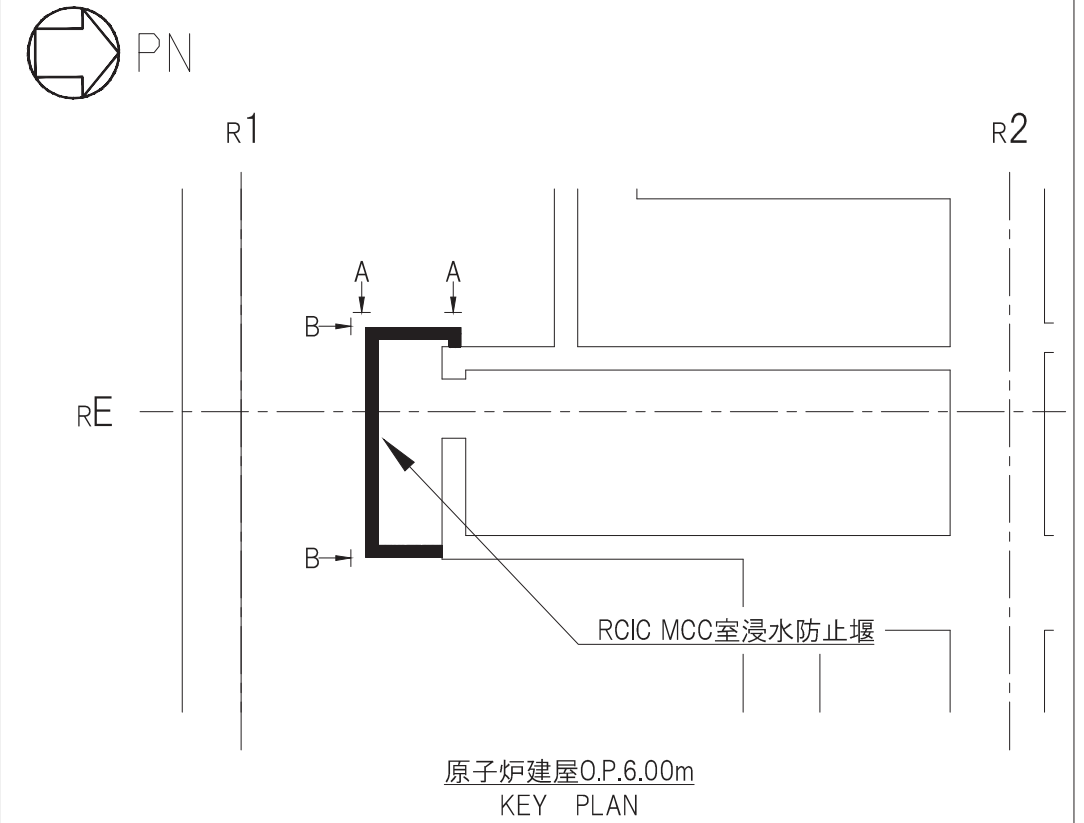
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-62 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	MSトンネル室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢视图

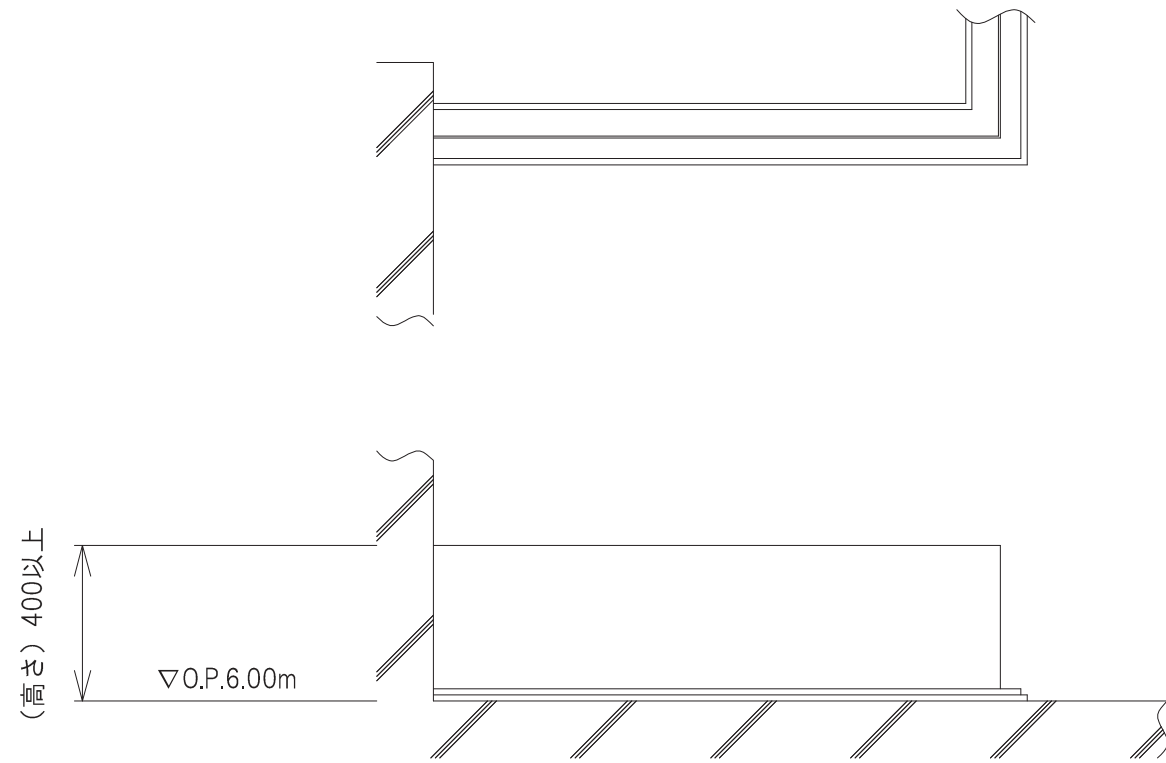


B~B矢视图

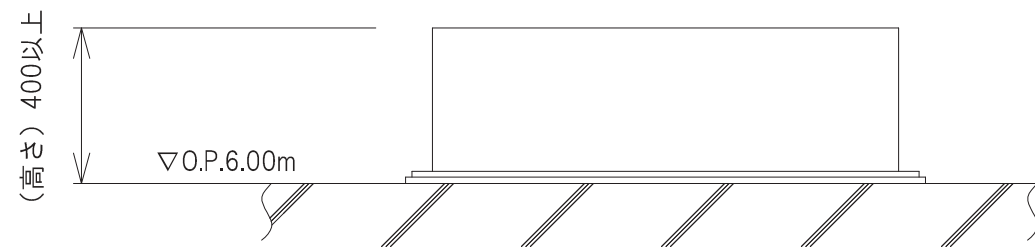
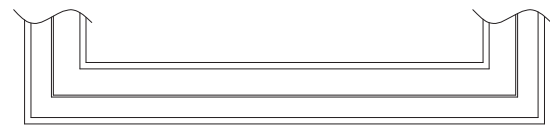


注：特記なき寸法はmmを示す。

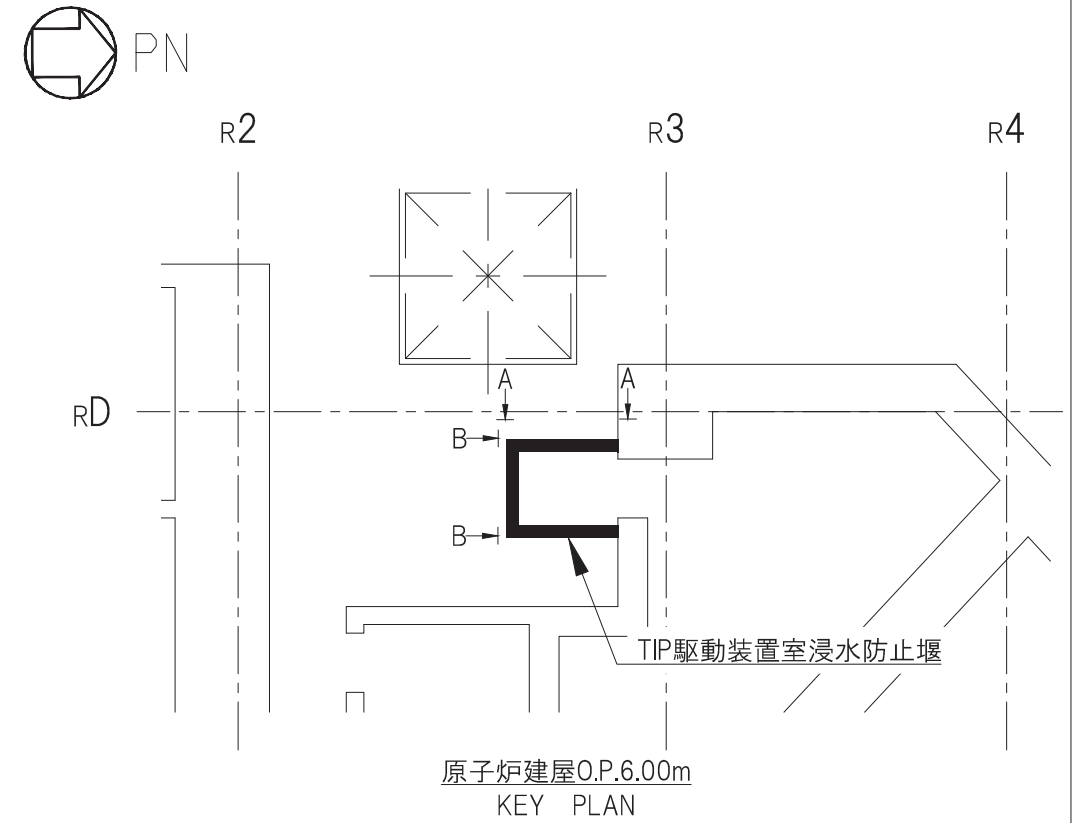
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-63 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	RCIC MCC室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢視図

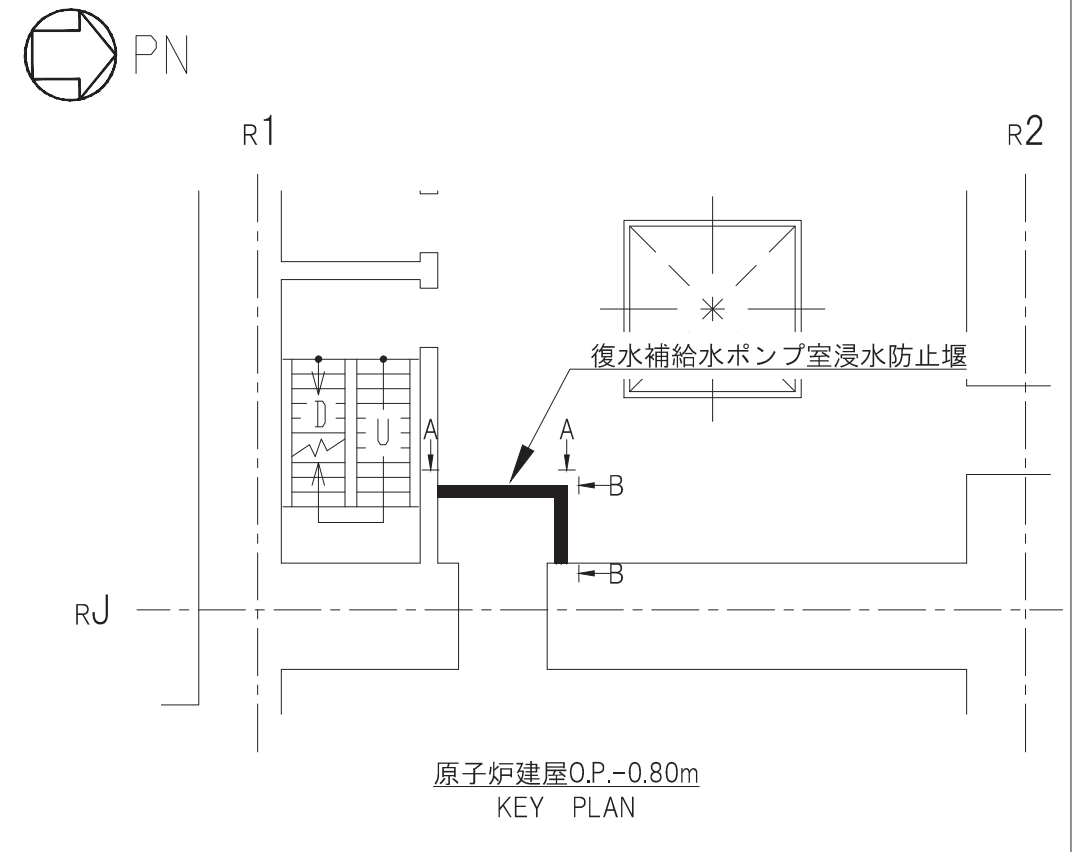
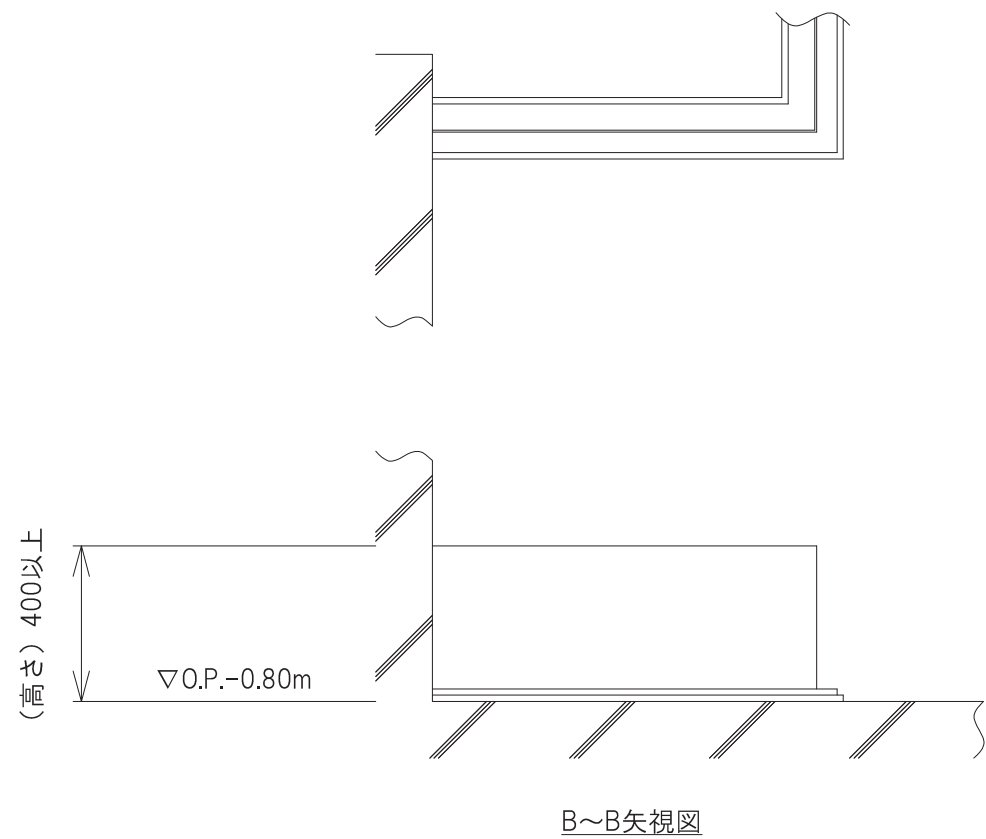
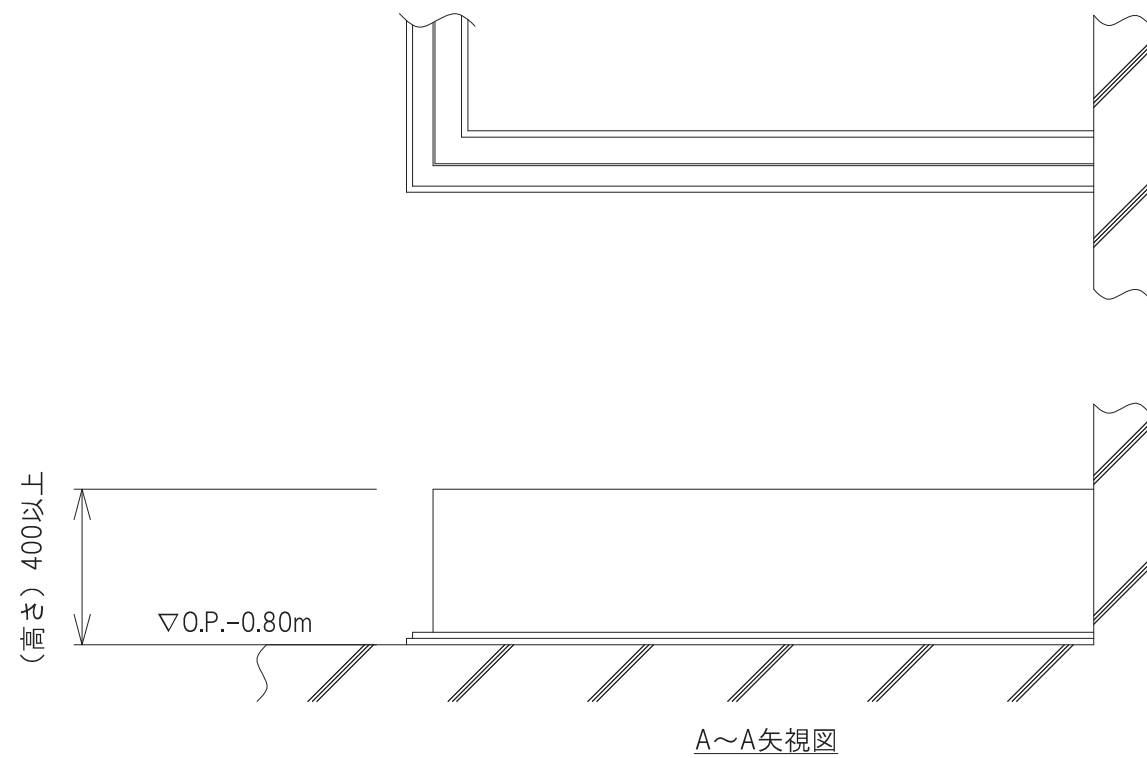


B~B矢視図



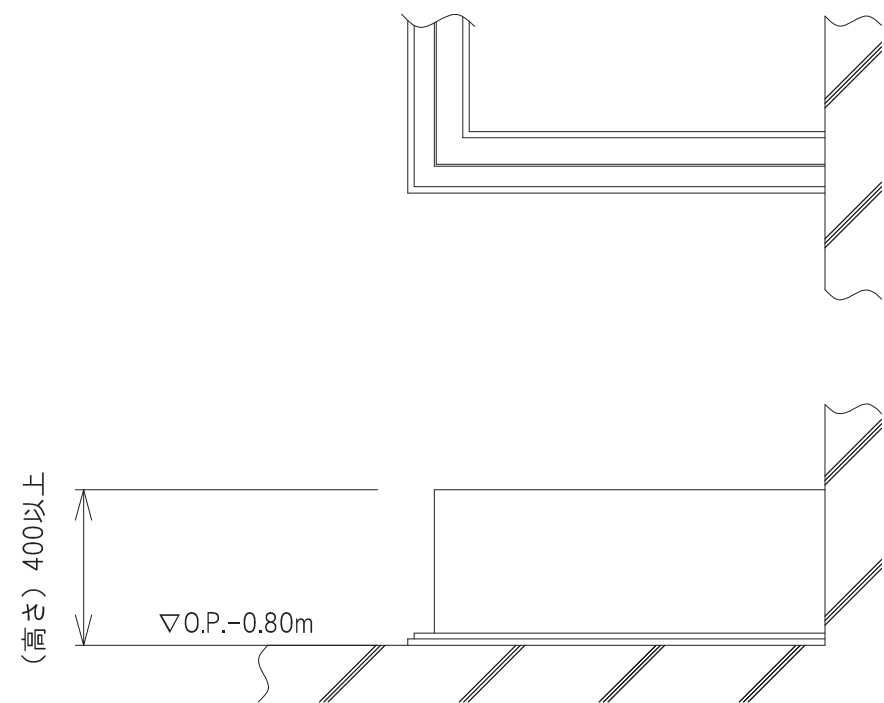
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-64 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	TIP駆動装置室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

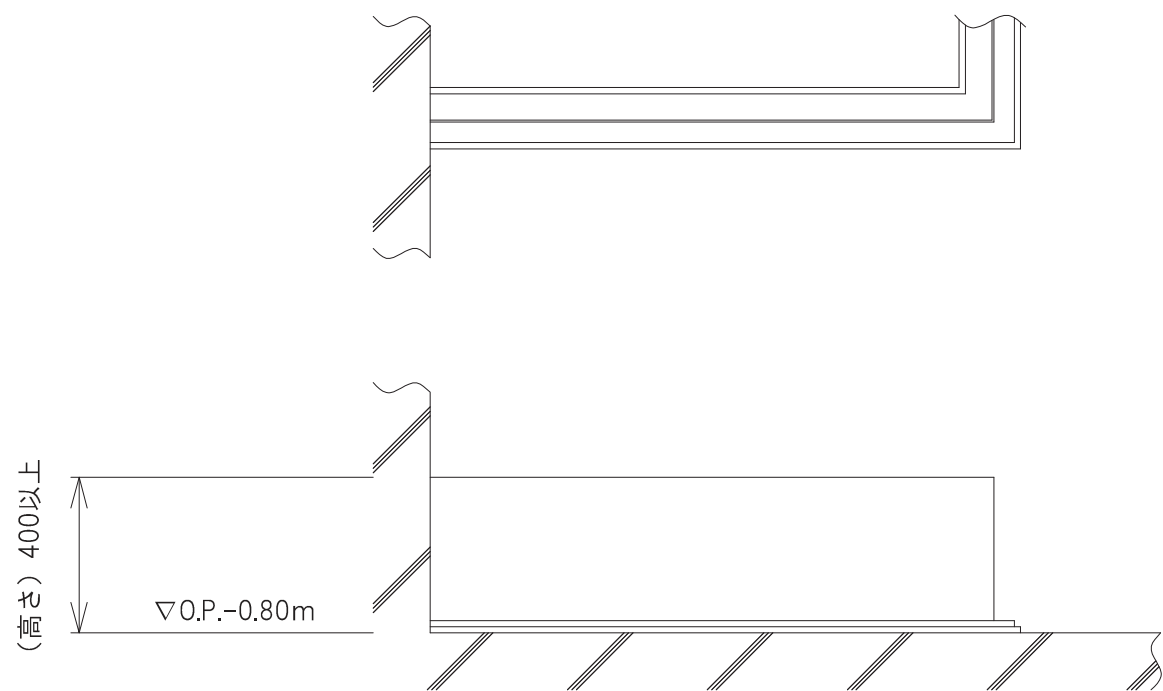


注：特記なき寸法はmmを示す。

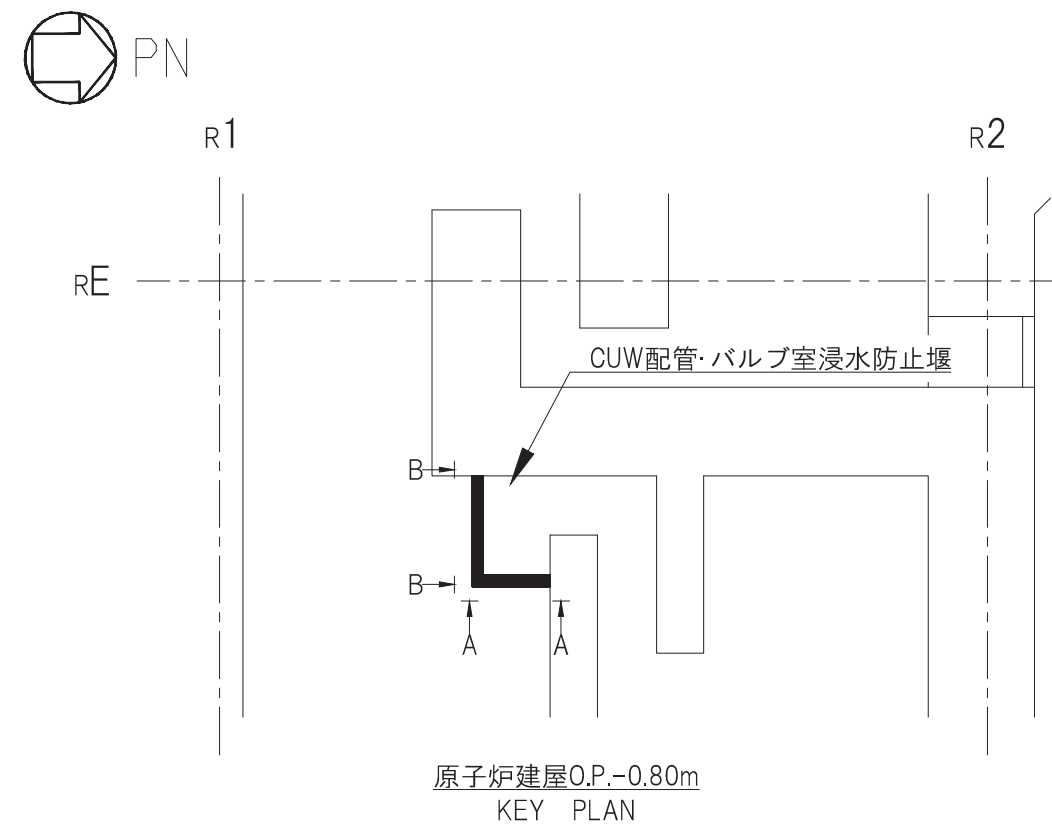
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-65 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	復水補給水ポンプ室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢視図

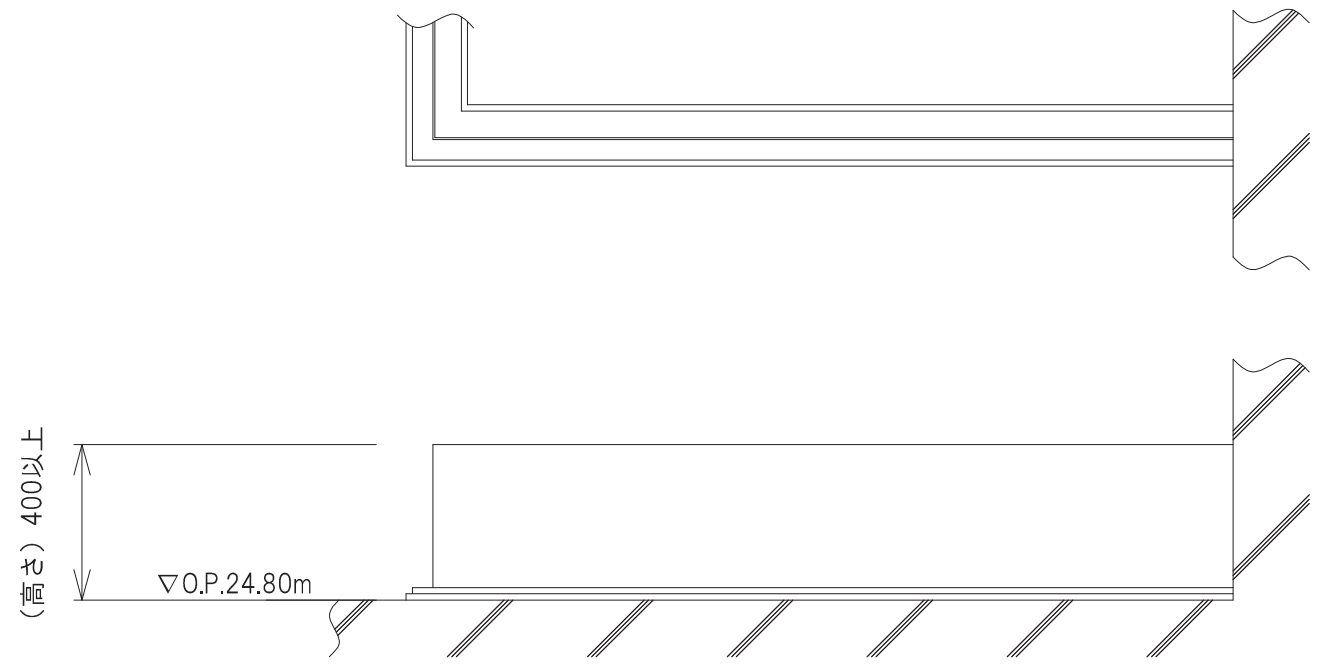


B~B矢視図

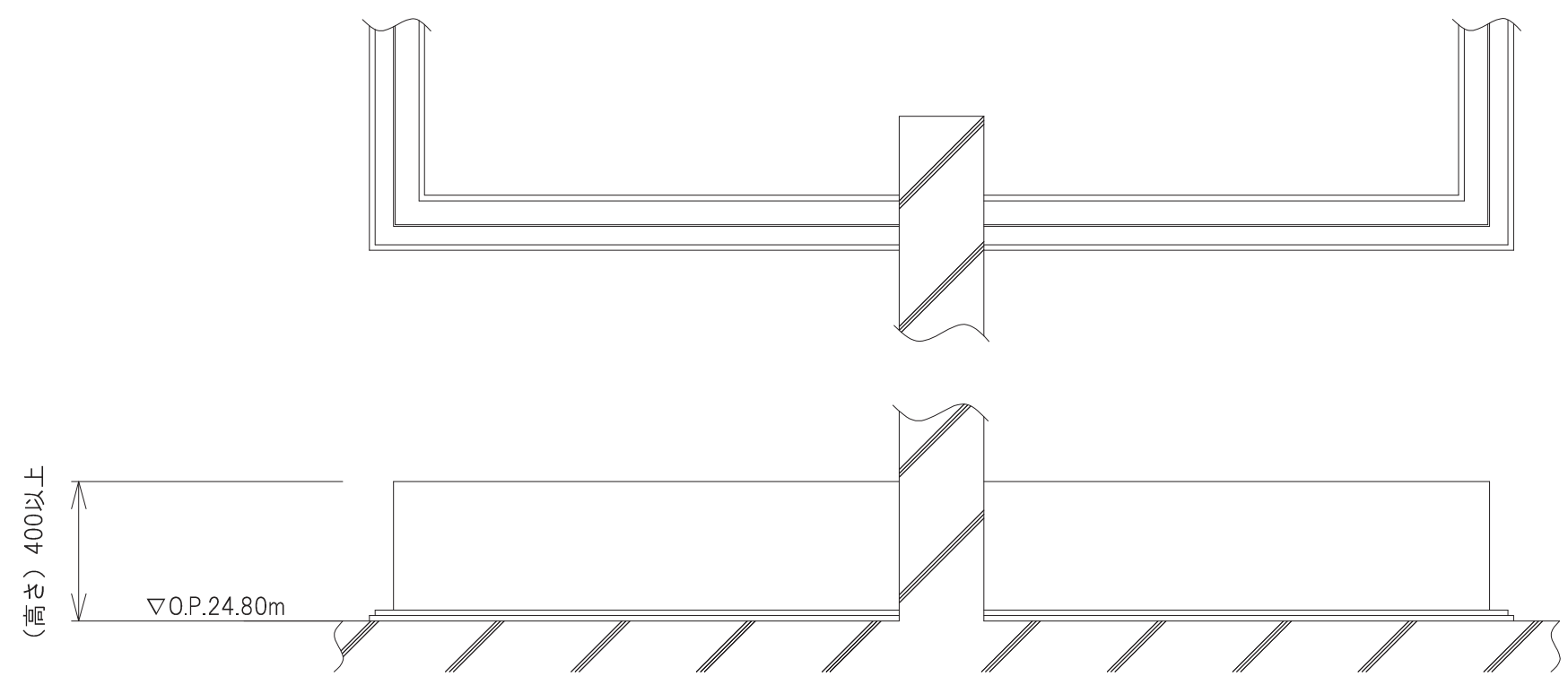


注：特記なき寸法はmmを示す。

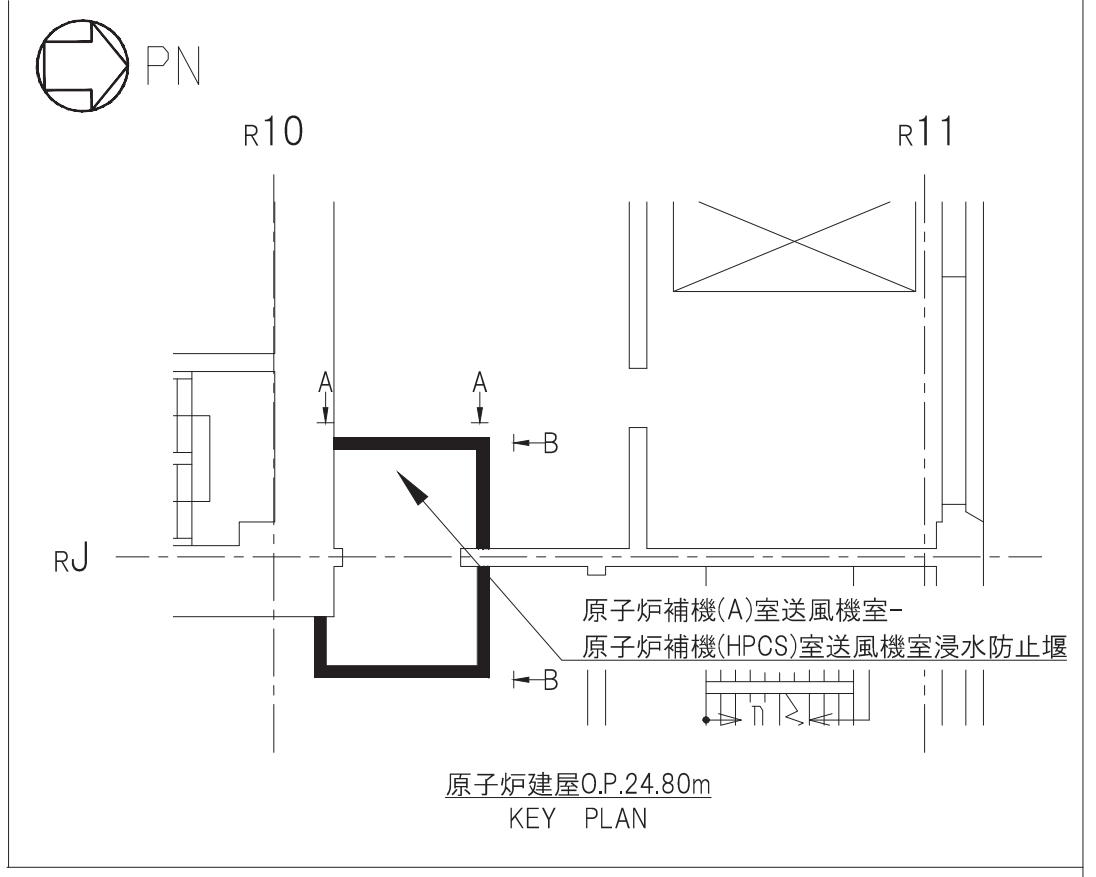
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-66 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	CUW配管・バルブ室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢视图



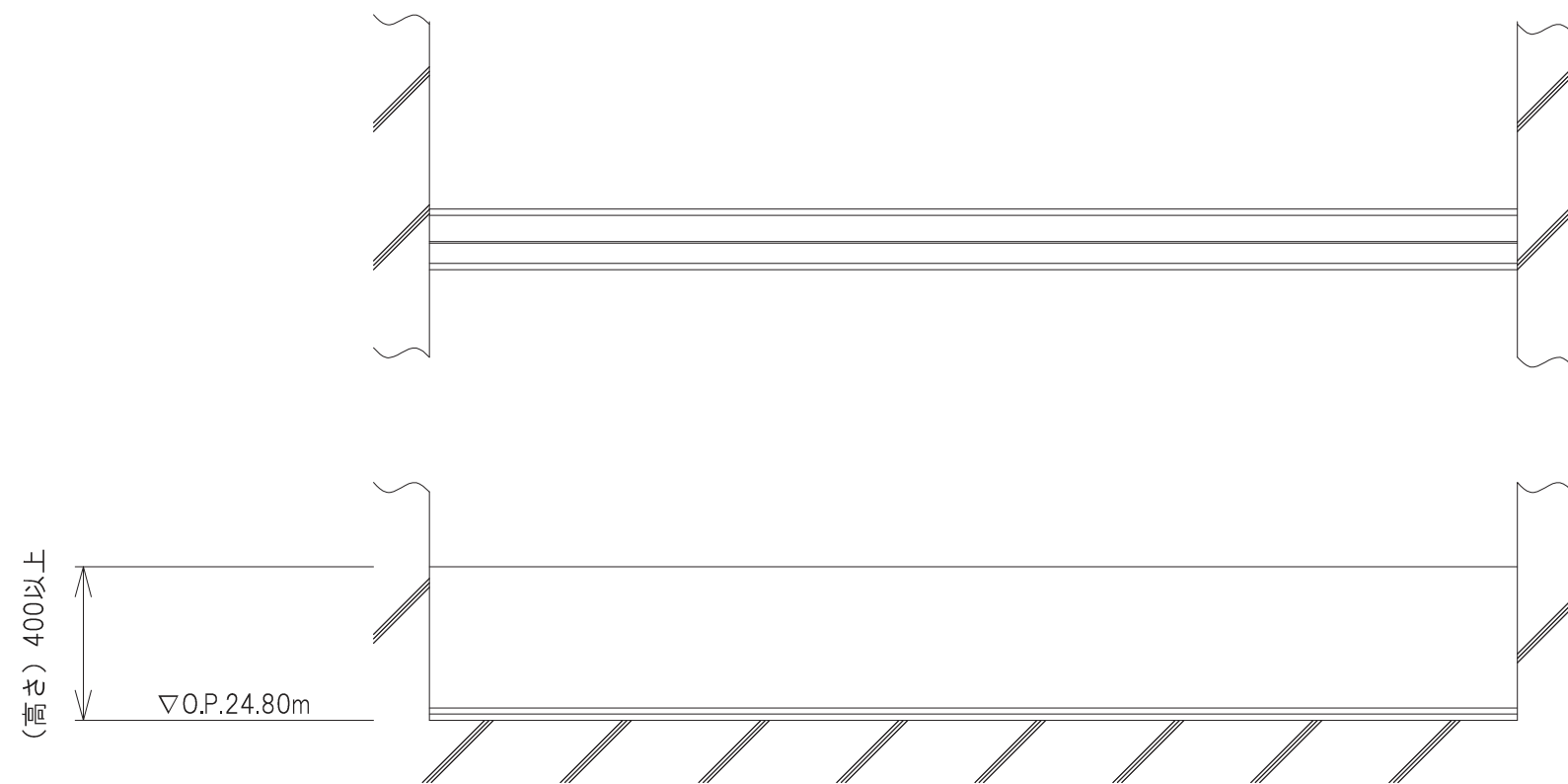
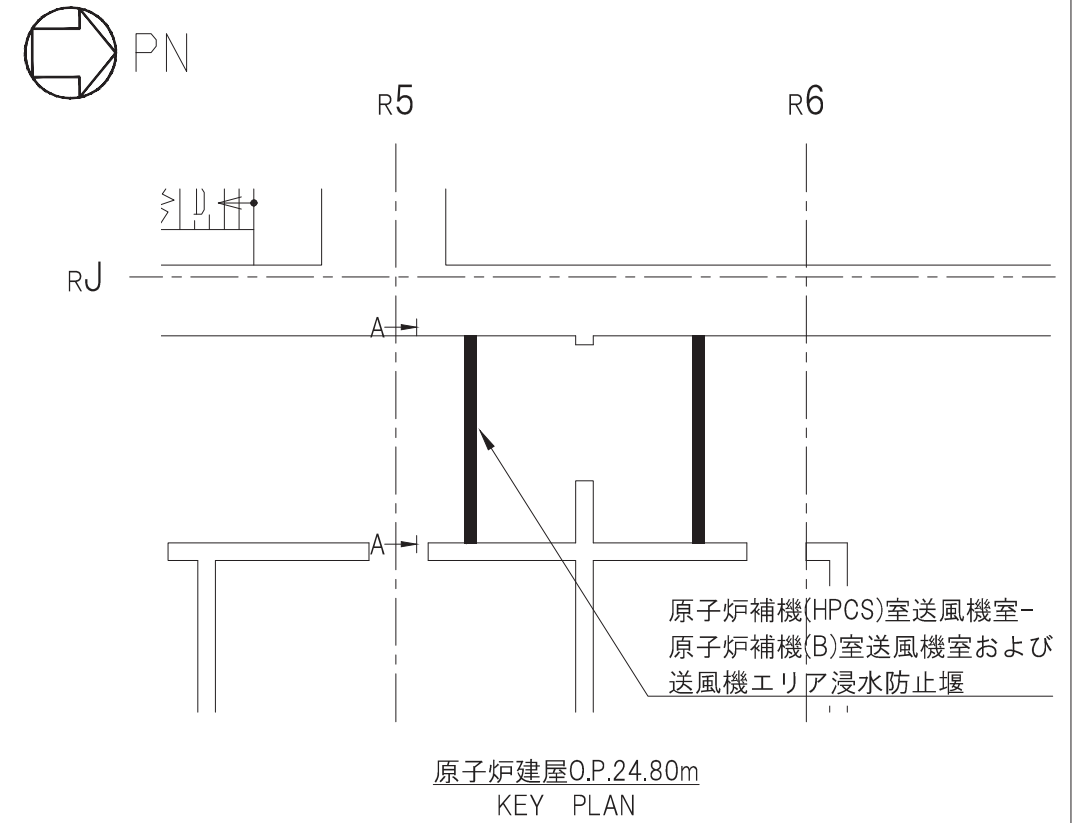
B~B矢视图



原子炉建屋O.P.24.80m  
KEY PLAN

注：特記なき寸法はmmを示す。

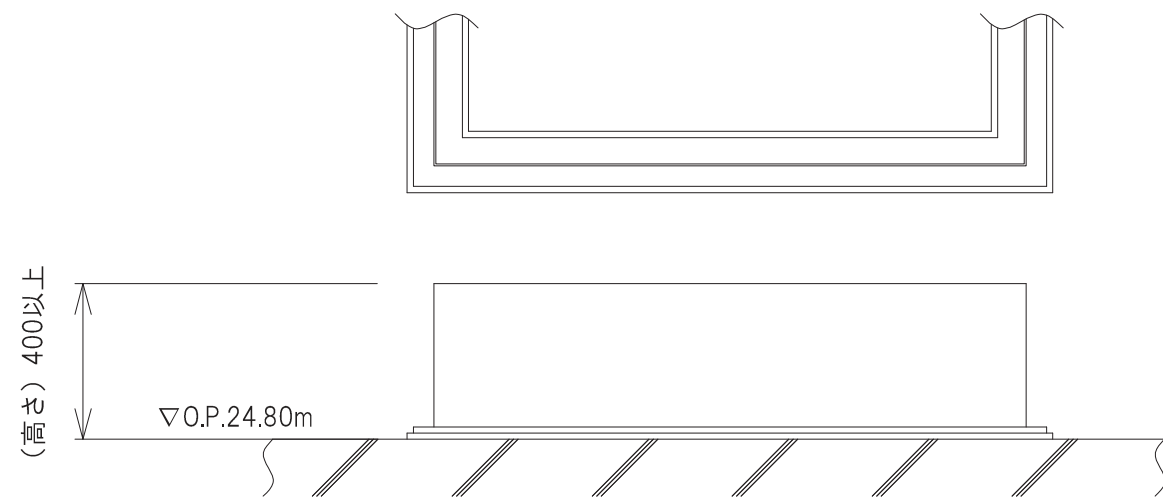
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-67 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉補機(A)室送風機室- 原子炉補機(HPCS)室送風機室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢視図

注：特記なき寸法はmmを示す。

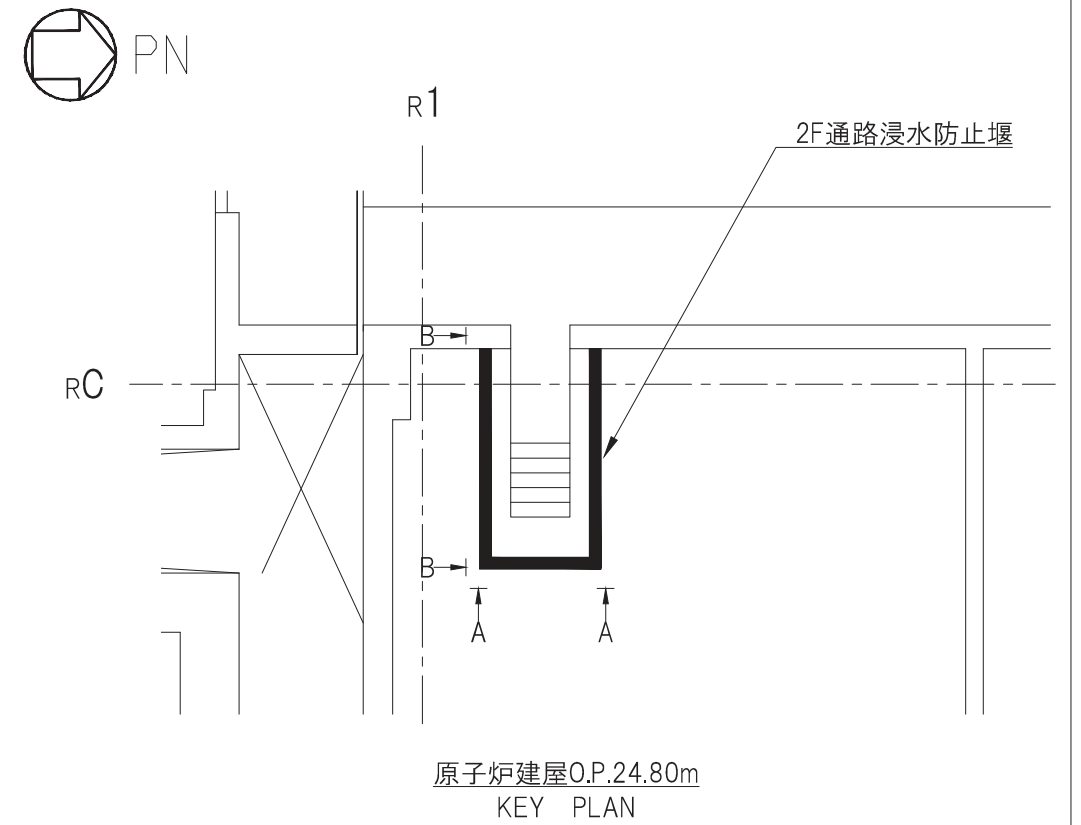
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-68 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	原子炉補機(HPCS)室送風機室-原子炉補機(B)室送風機室および送風機エリア浸水防止堰構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢視図



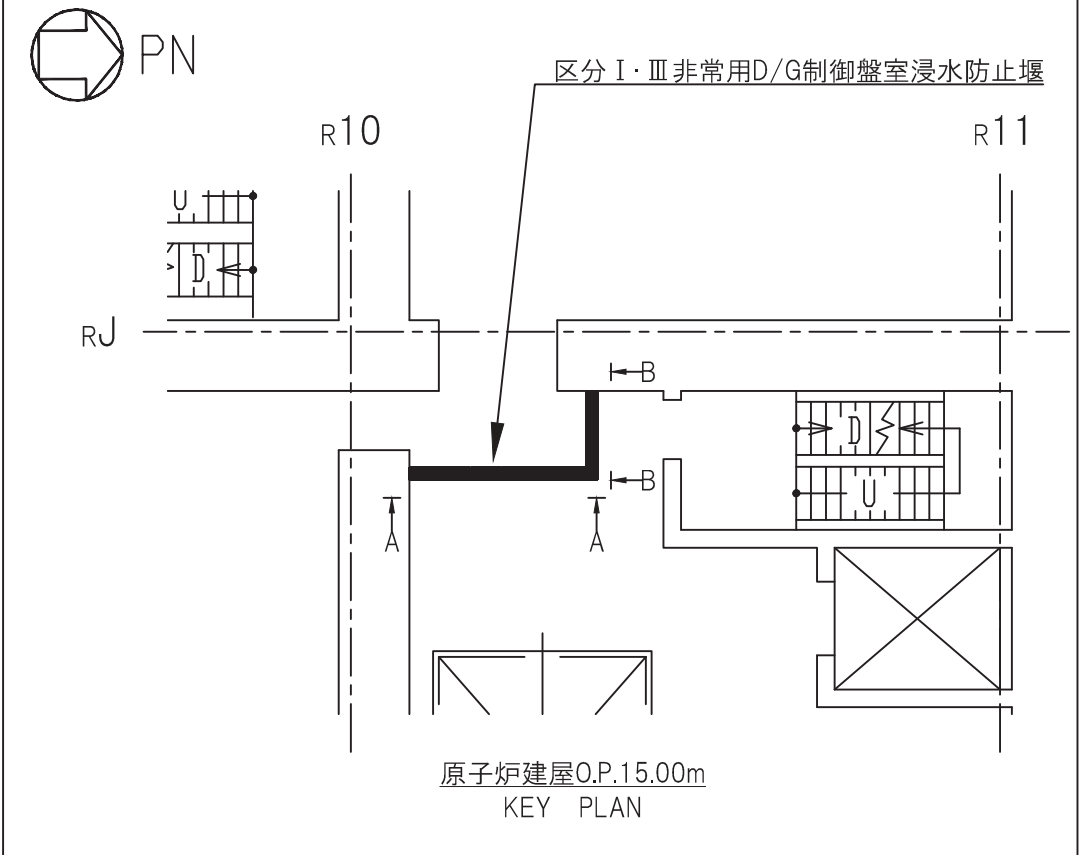
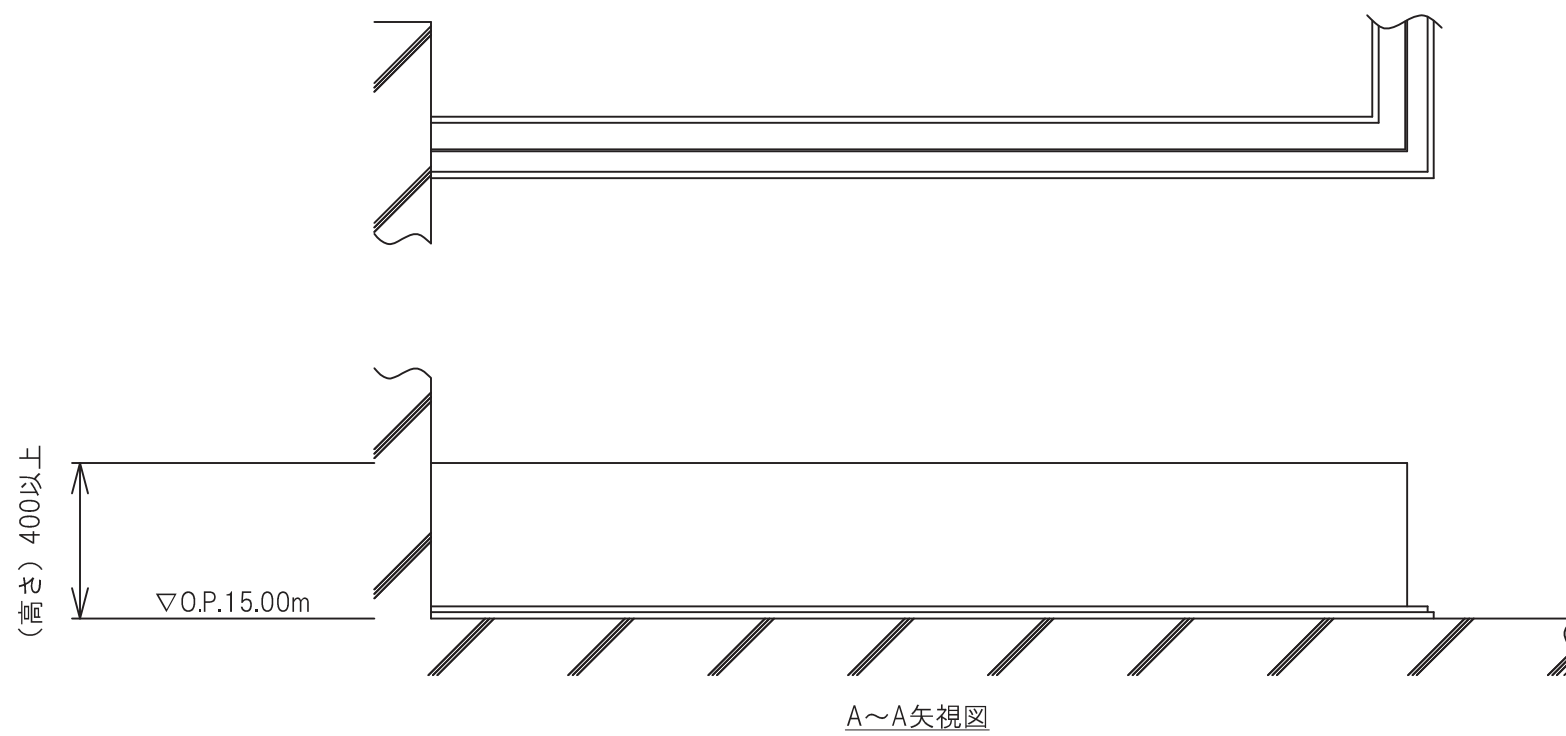
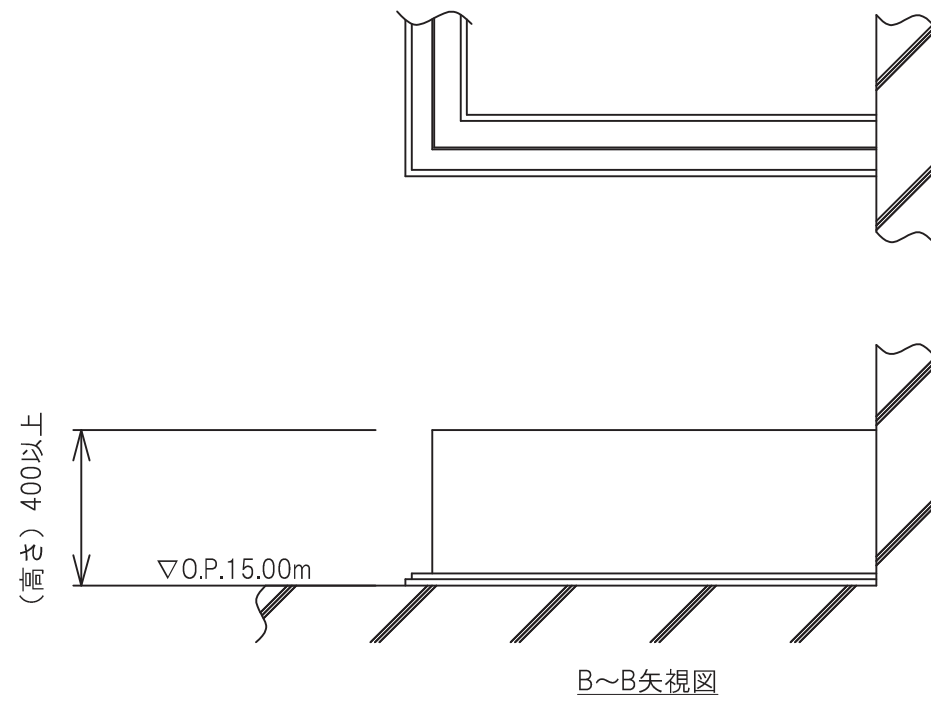
B~B矢視図



注：特記なき寸法はmmを示す。

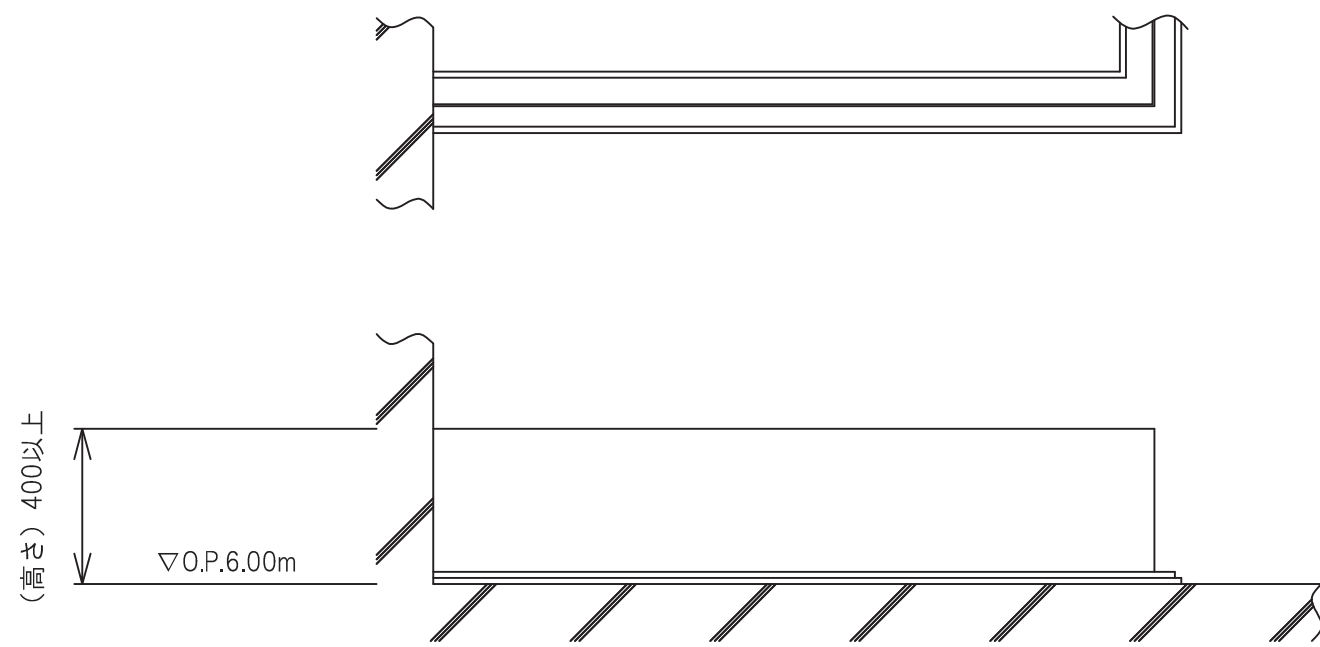
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-69 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	2F通路浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



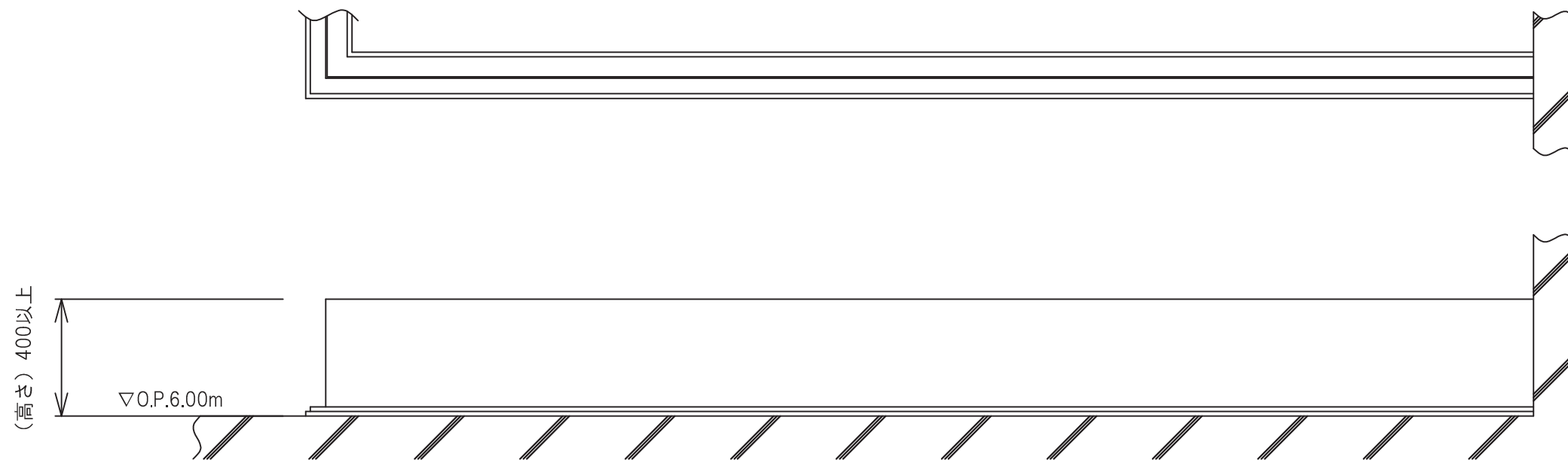


注：特記なき寸法はmmを示す。

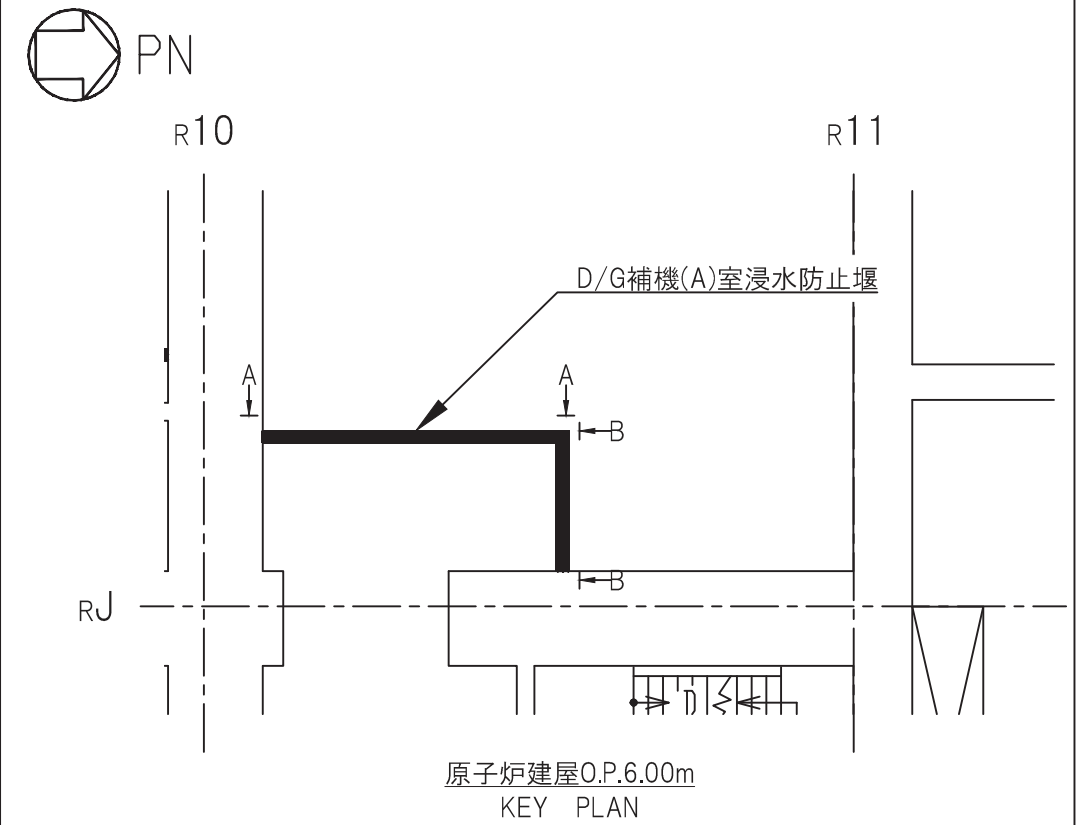
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-70 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	区分 I・III 非常用 D/G 制御盤室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



B~B矢視図

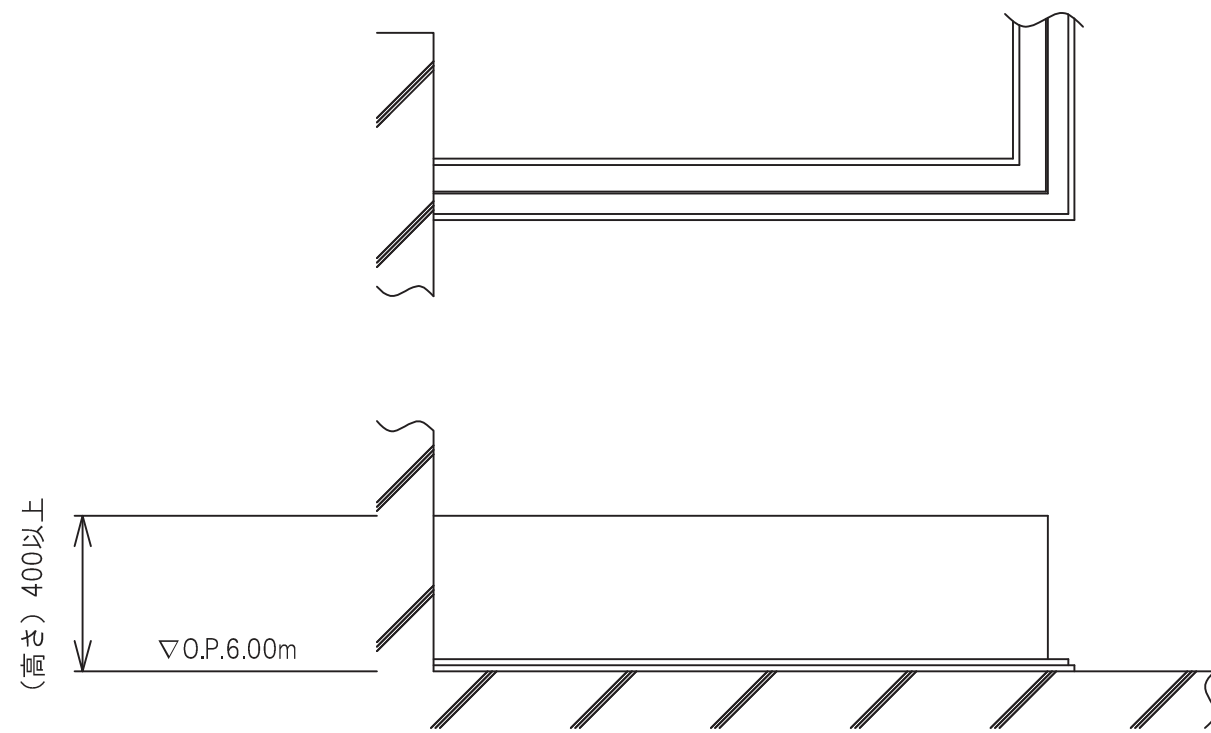


A~A矢視図

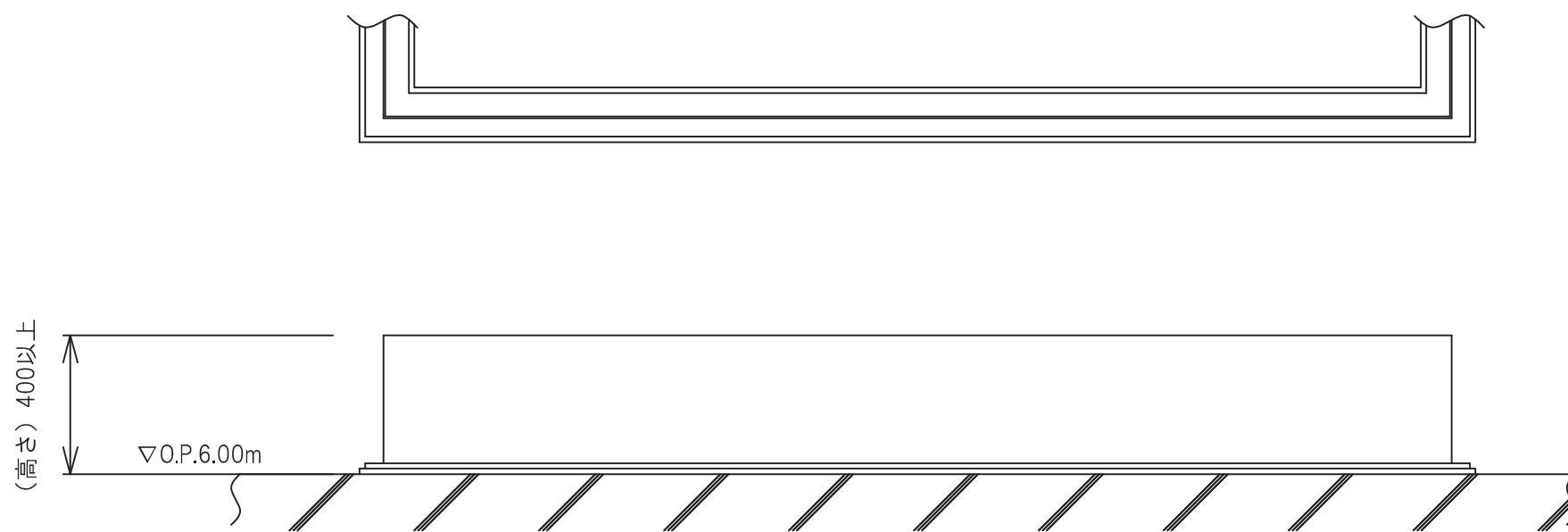


注：特記なき寸法はmmを示す。

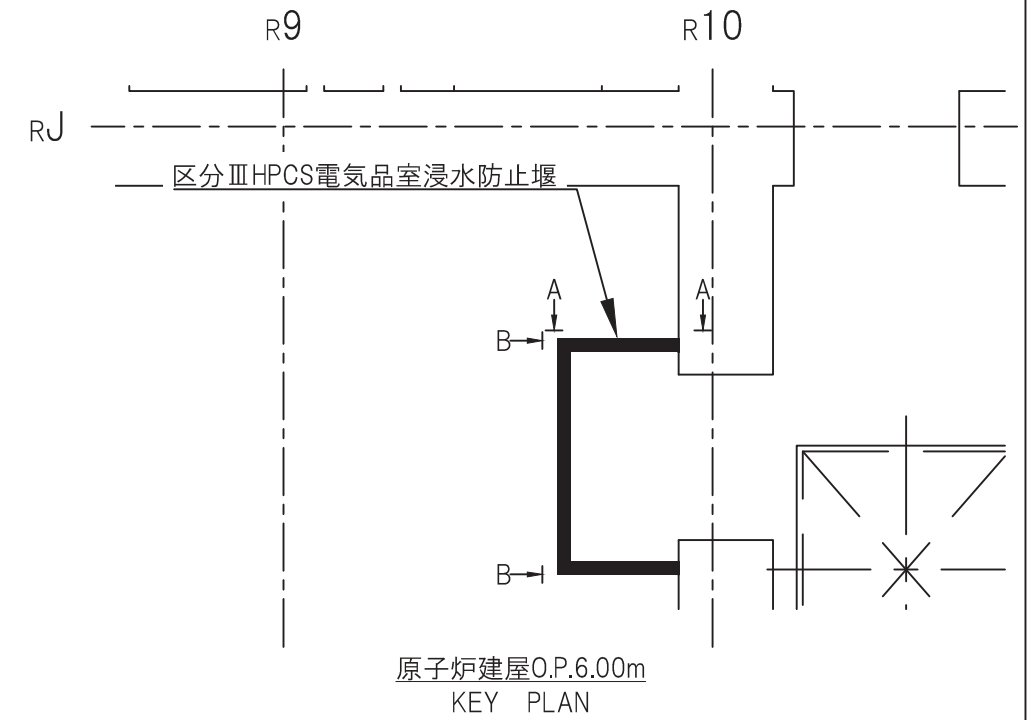
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-71 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	D/G補機(A)室浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



A~A矢視図



B~B矢視図



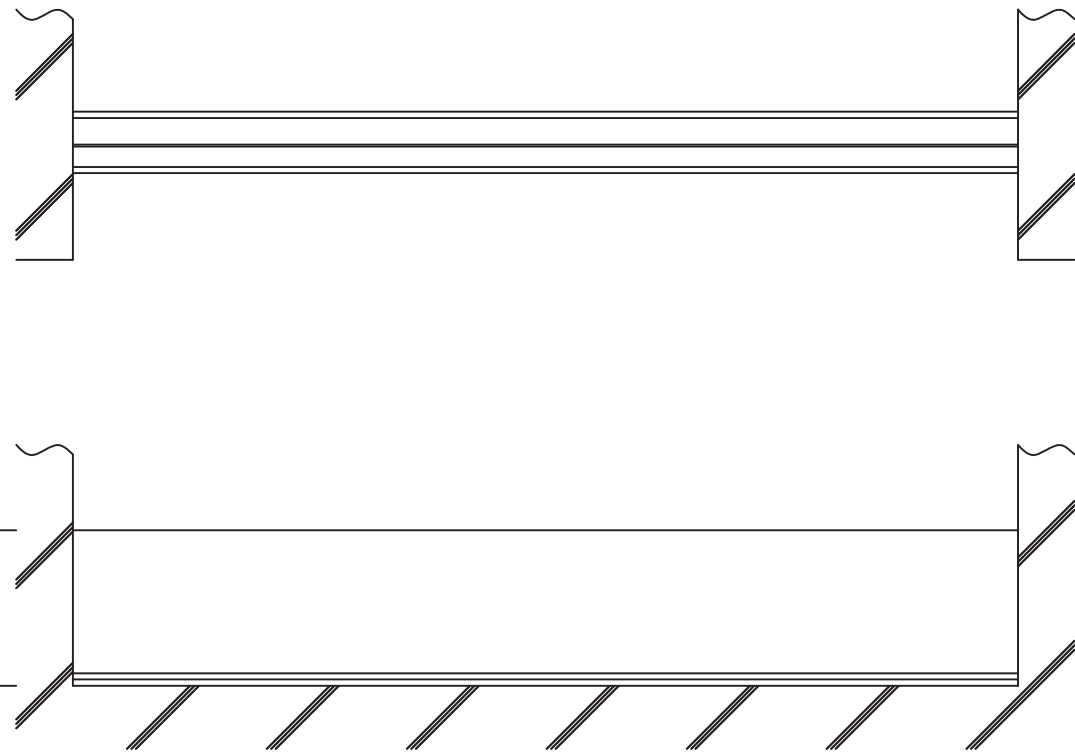
原子炉建屋O.P.6.00m  
KEY PLAN

注：特記なき寸法はmmを示す。

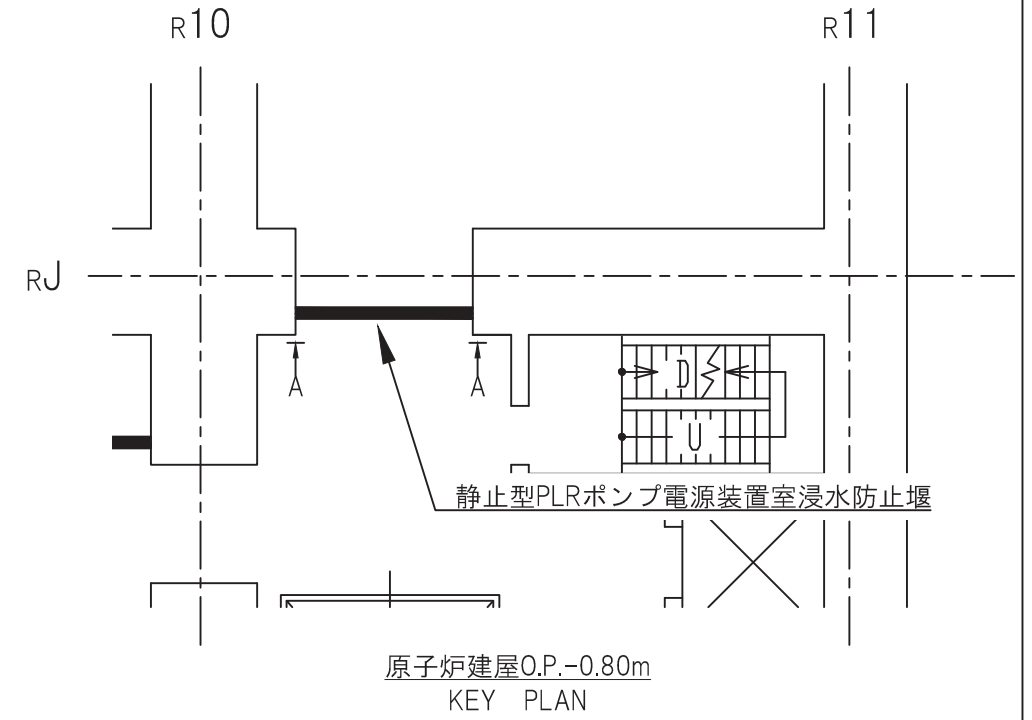
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-72 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	区分ⅢHPCS電気品室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	

(高さ) 400以上

▽O.P.-0.80m

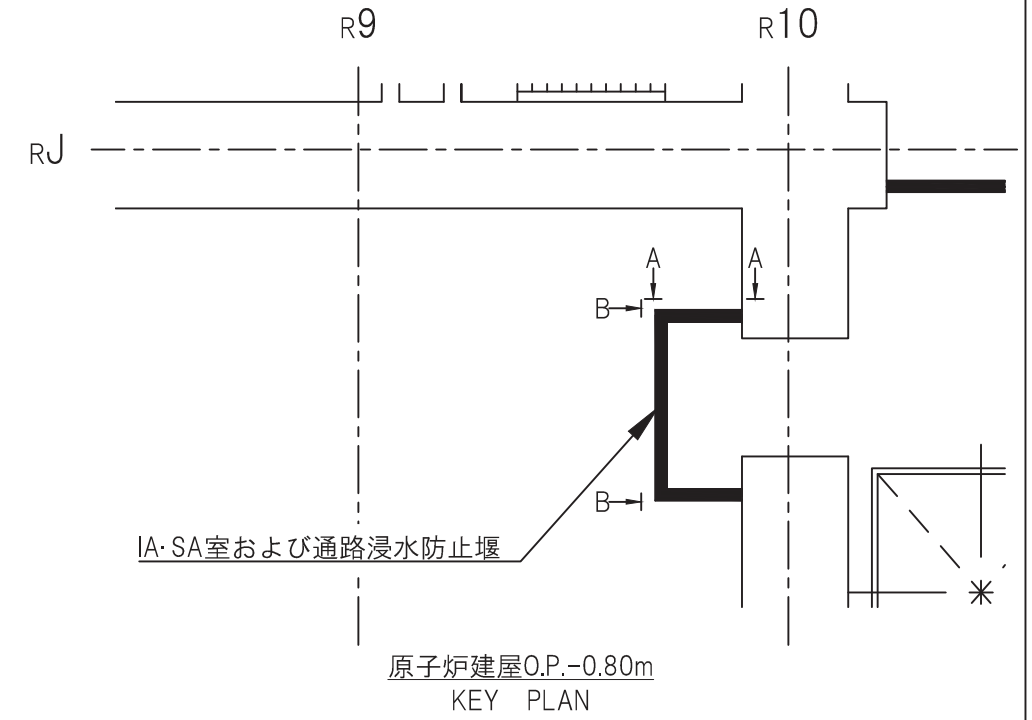
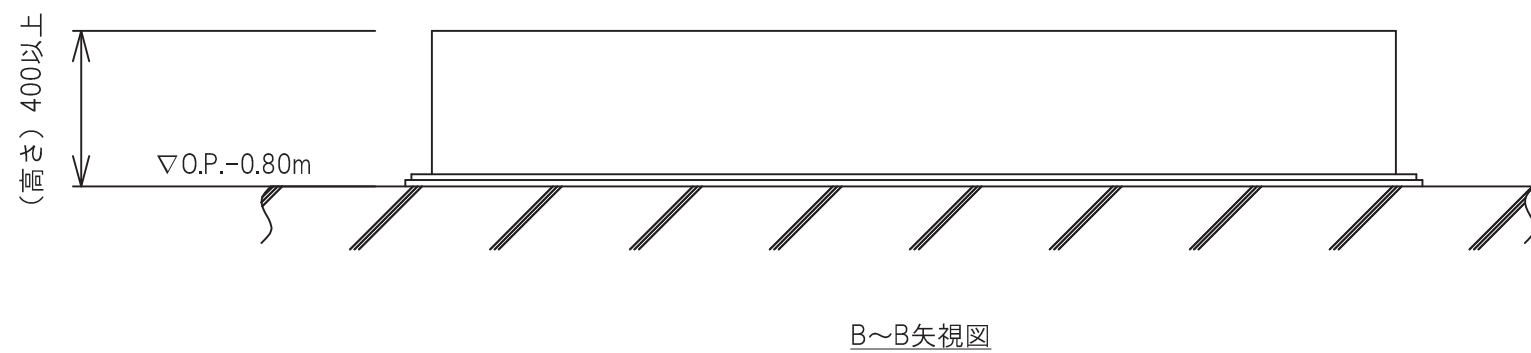
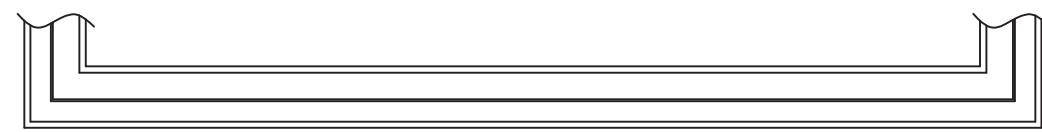
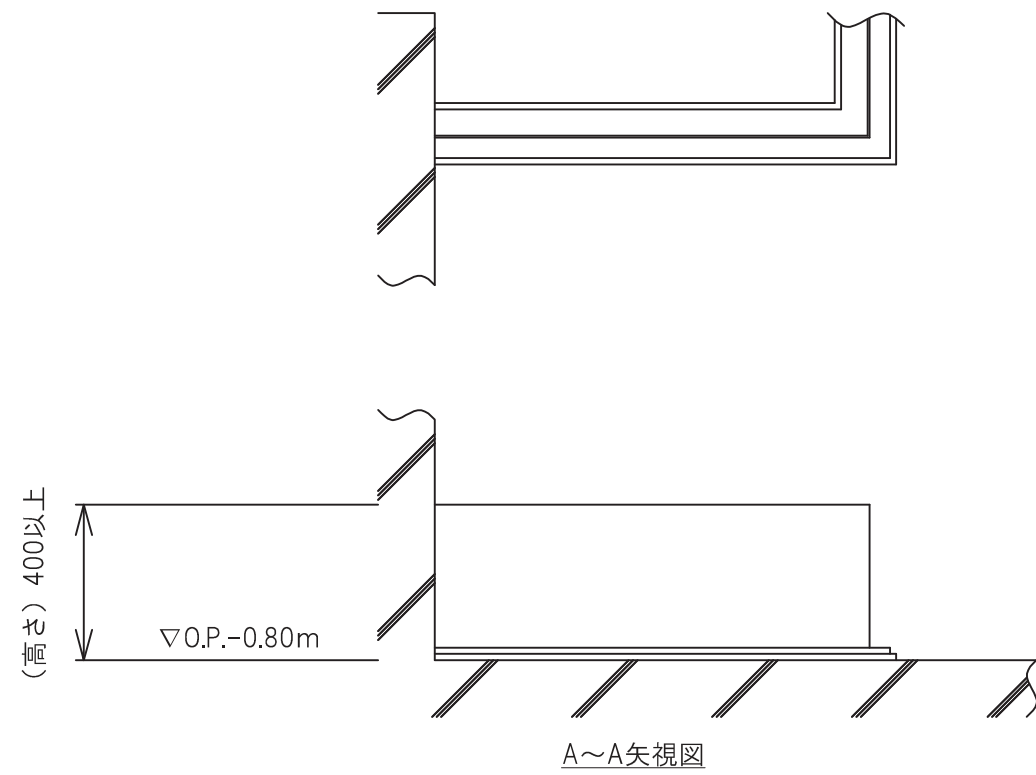


A~A矢視図



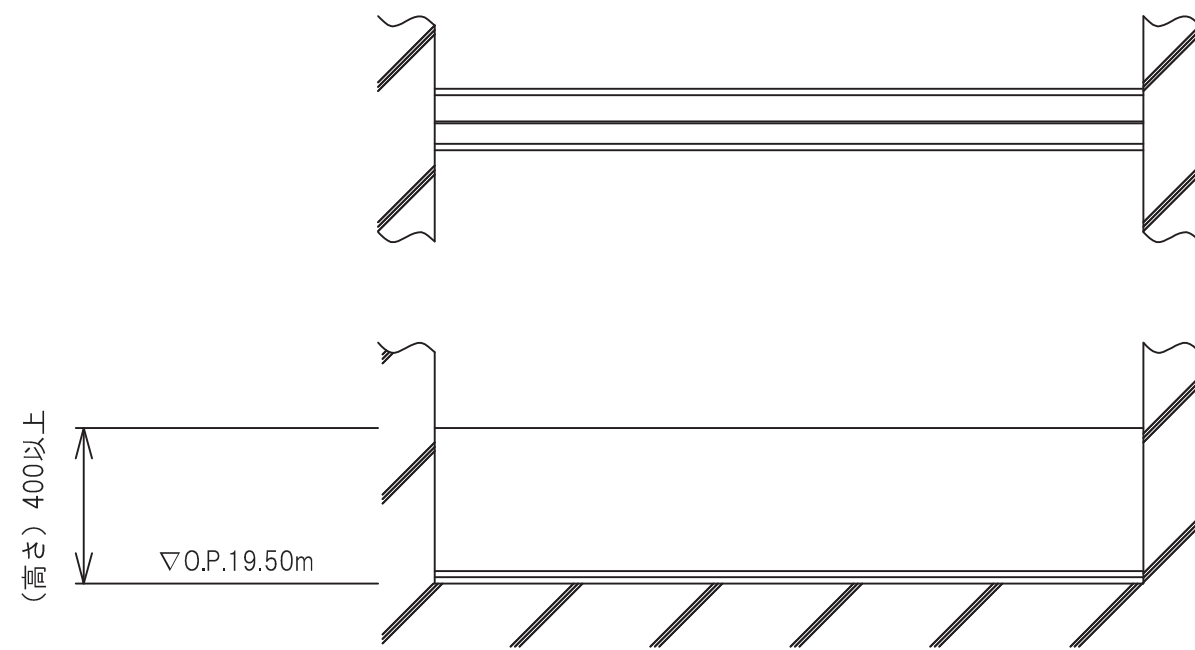
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-73 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	静止型PLRポンプ電源装置室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	

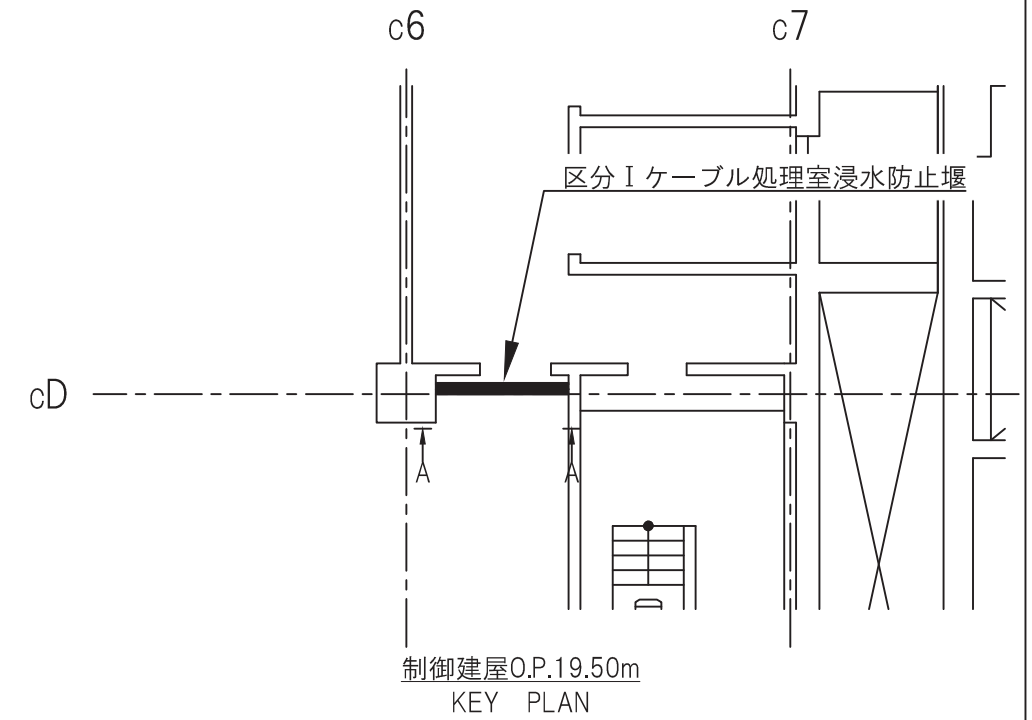


注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-74 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	IA・SA室および通路浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

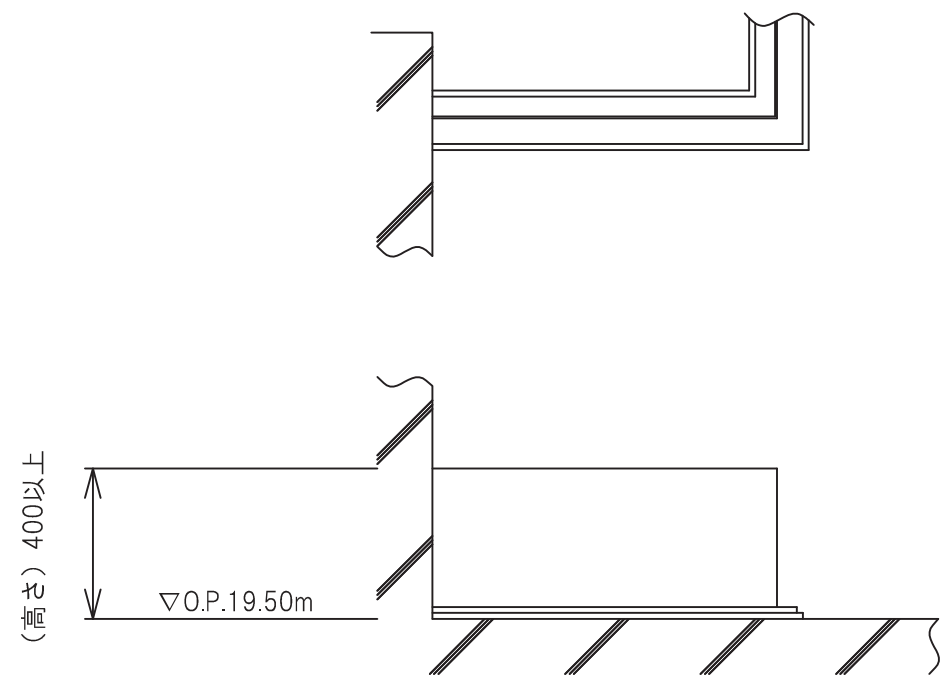


A~A矢視図

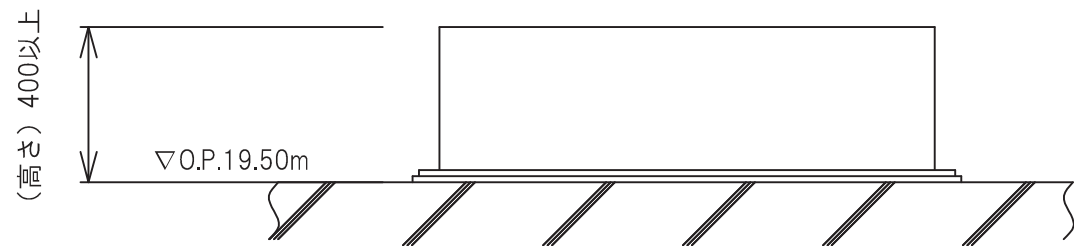
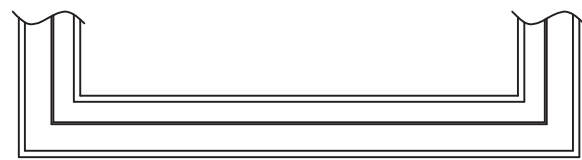


注：特記なき寸法はmmを示す。

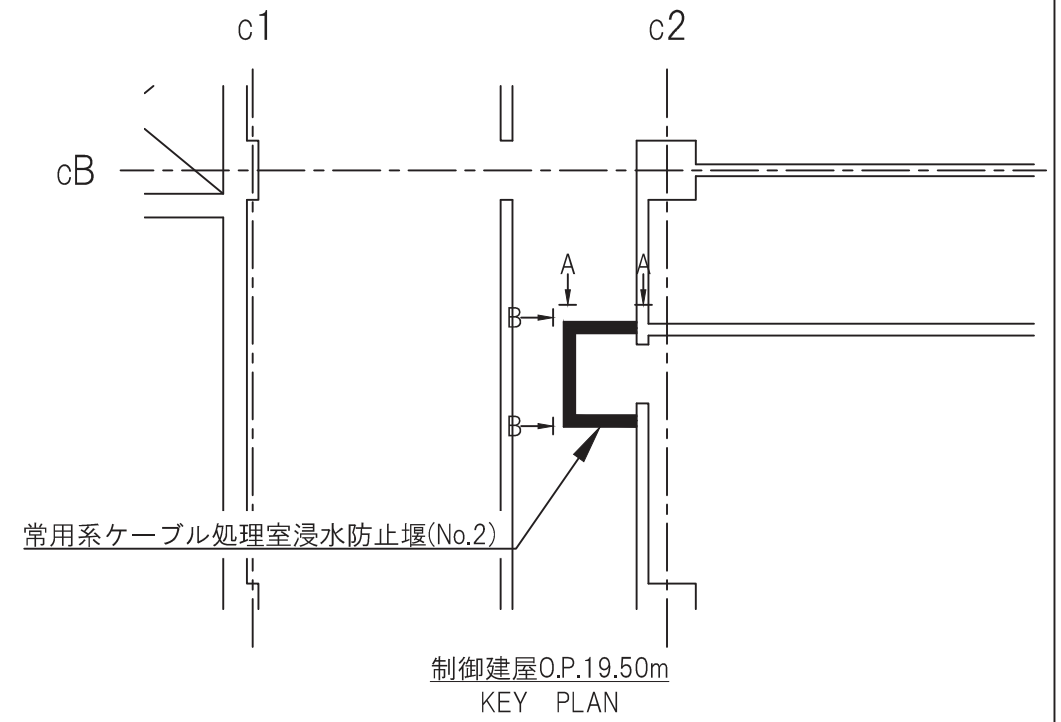
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-75 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	区分 I ケーブル処理室浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢視図

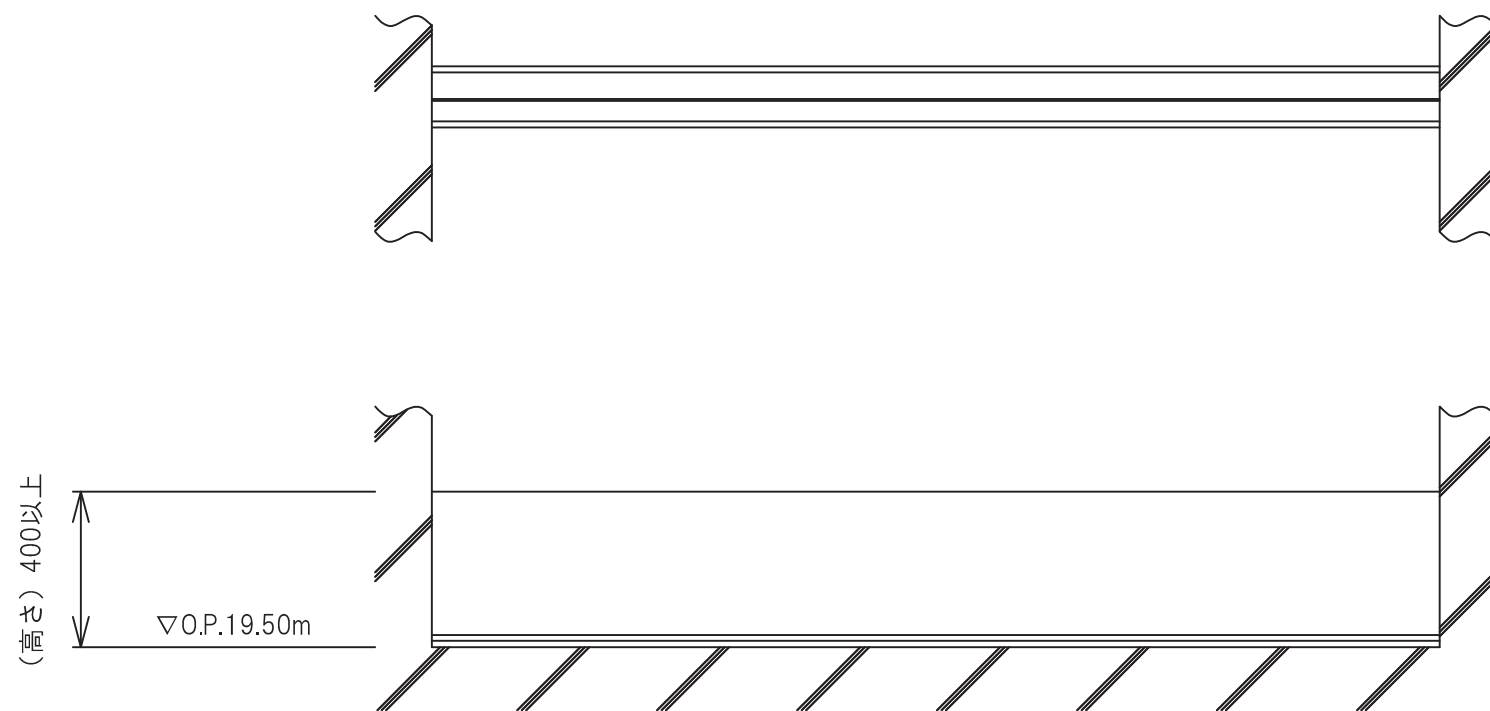
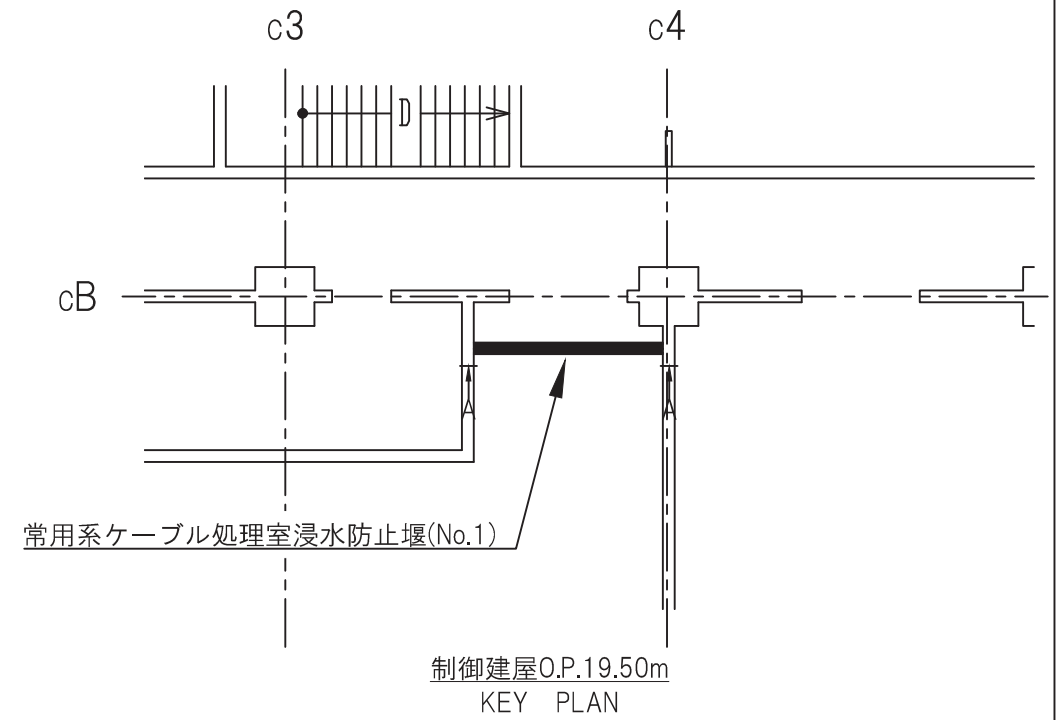


B~B矢視図



注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-76 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	常用系ケーブル処理室浸水防止堰(No.2) 構造図
東北電力株式会社	

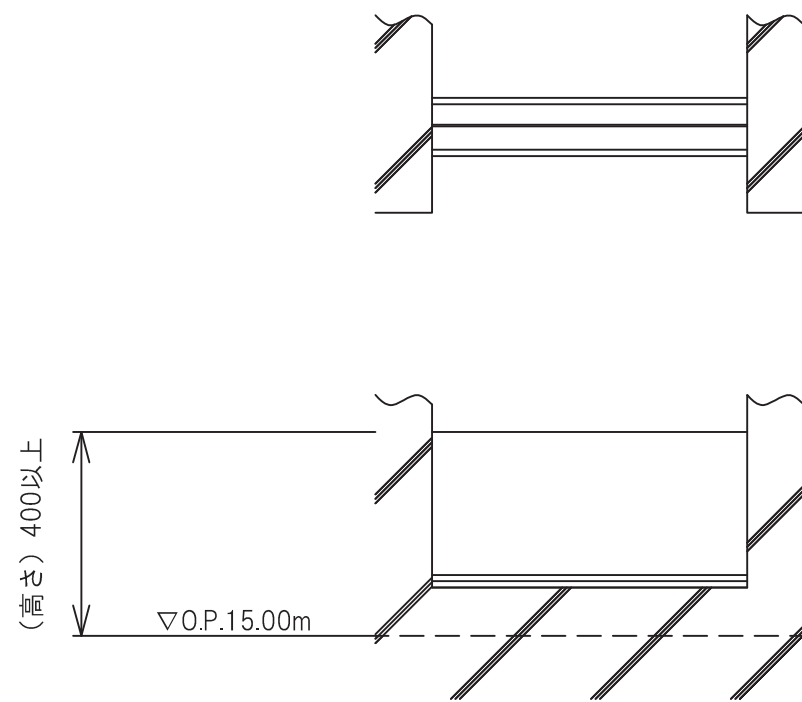


A~A矢視図

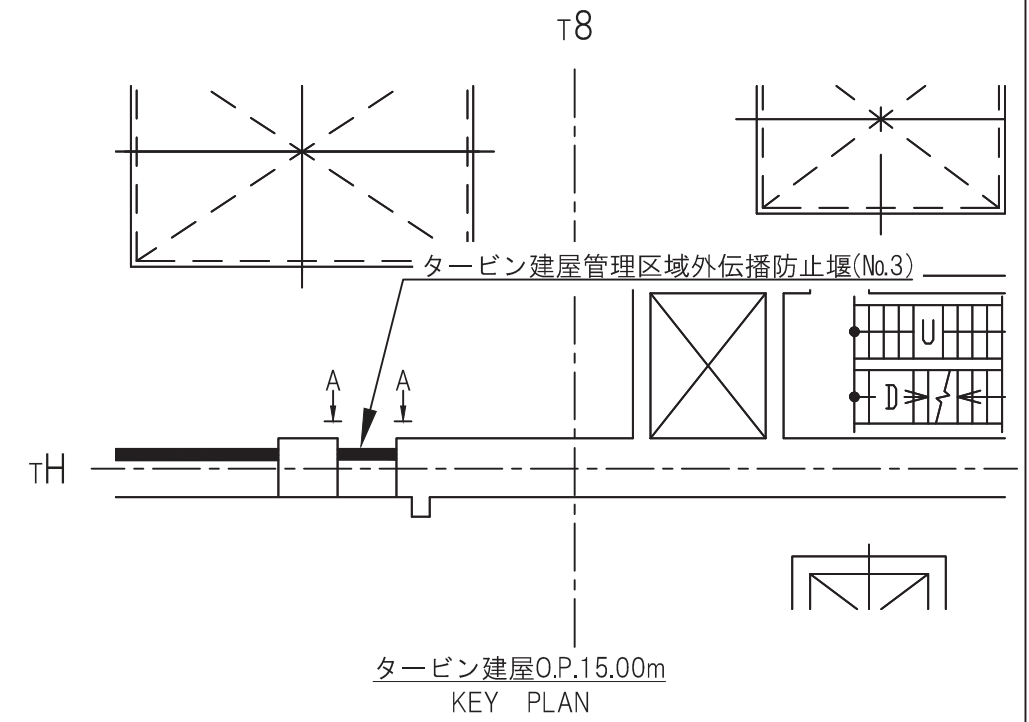
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-77 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	常用系ケーブル処理室浸水防止堰(No.1) 構造図
東北電力株式会社	



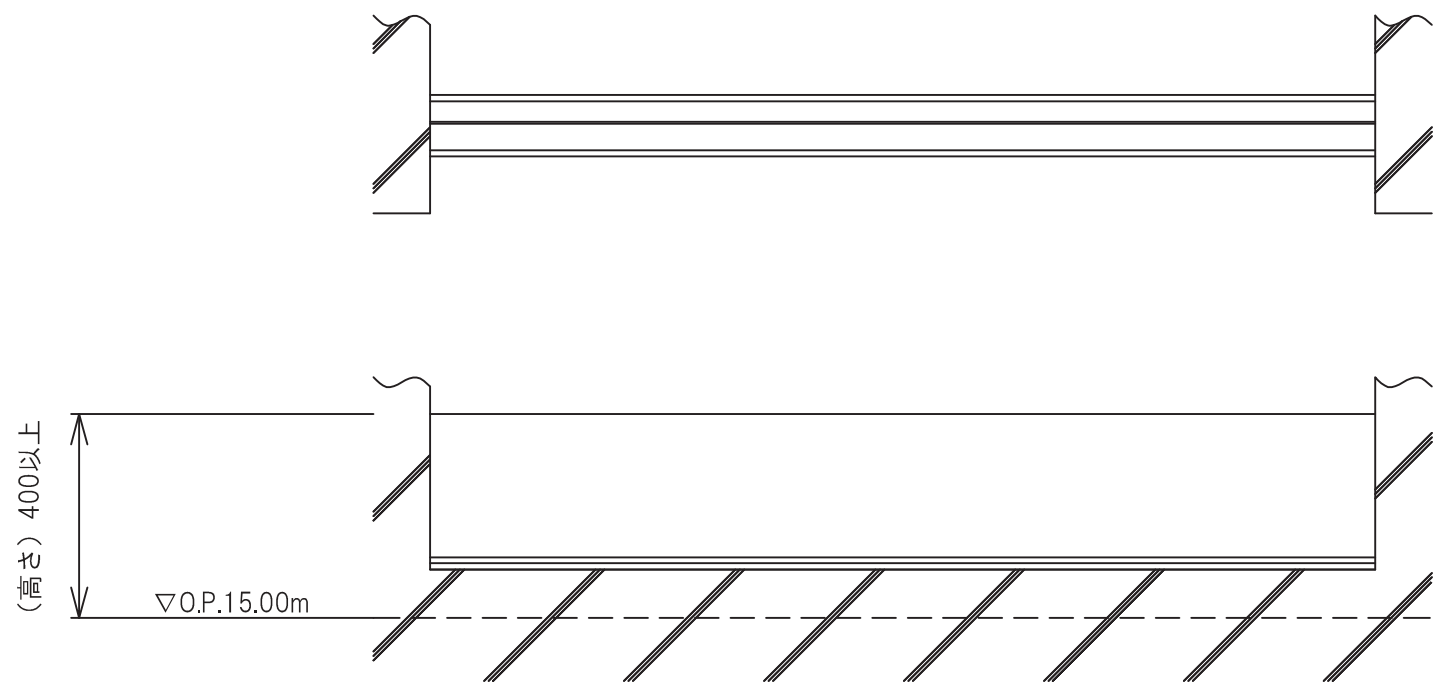


A~A矢視図

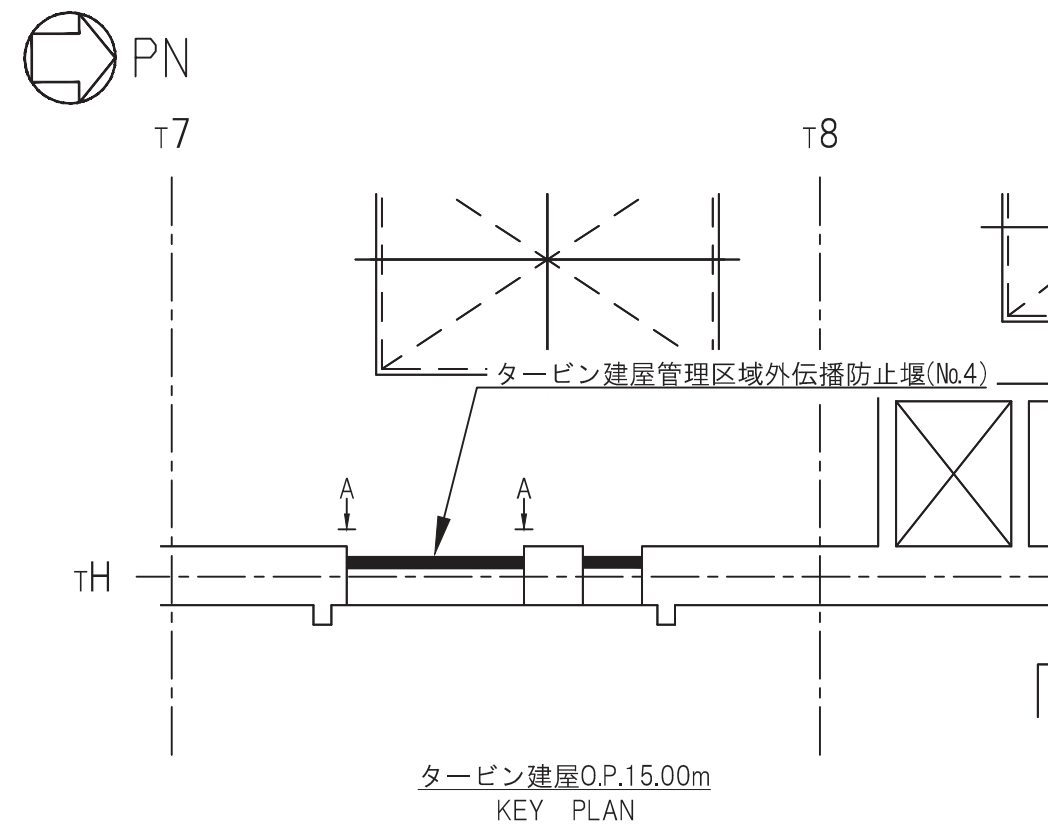


注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-78 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	タービン建屋管理区域外伝播防止堰(No.3) 構造図
東北電力株式会社	



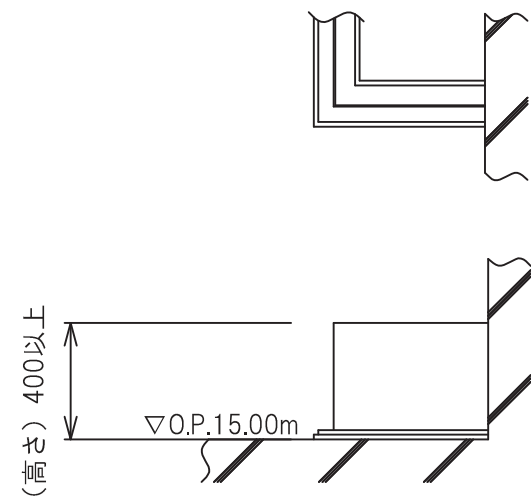
A~A矢视图



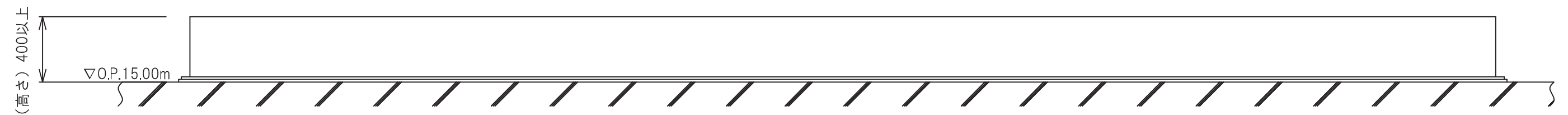
タービン建屋O.P.15.00m  
KEY PLAN

注：特記なき寸法はmmを示す。

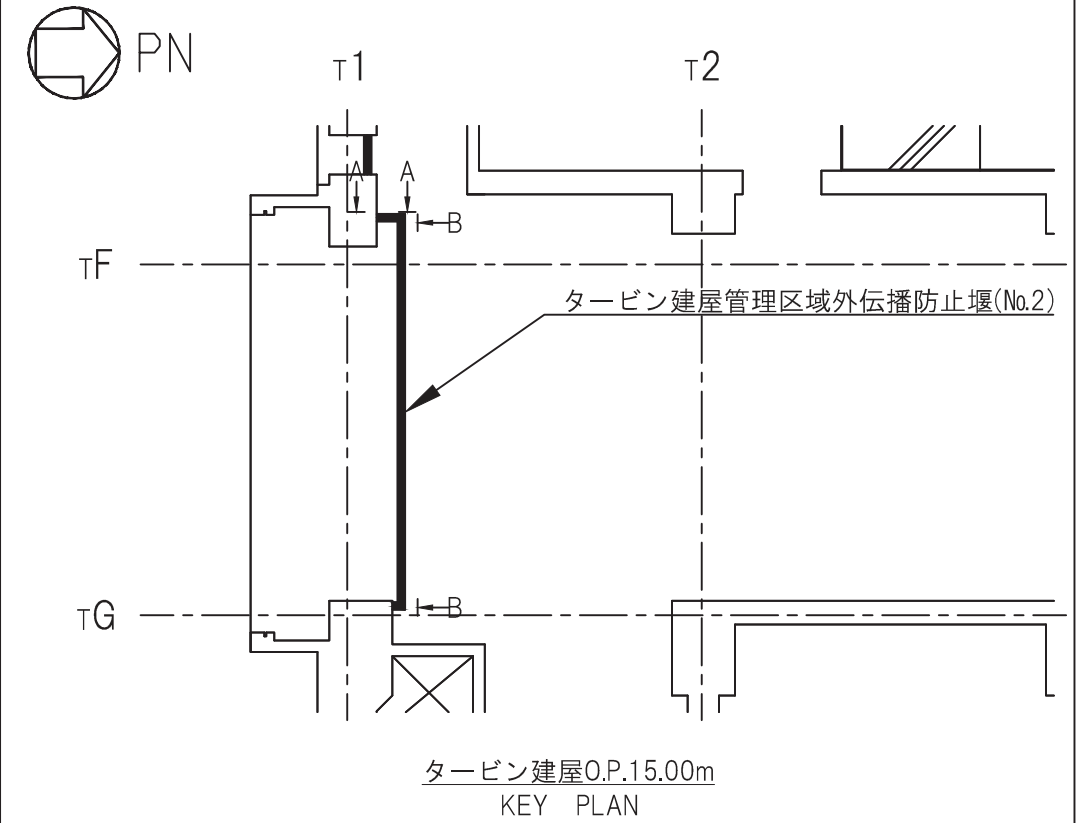
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-79 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	タービン建屋管理区域外伝播防止堰(No.4) 構造図
東北電力株式会社	



A~A矢視図

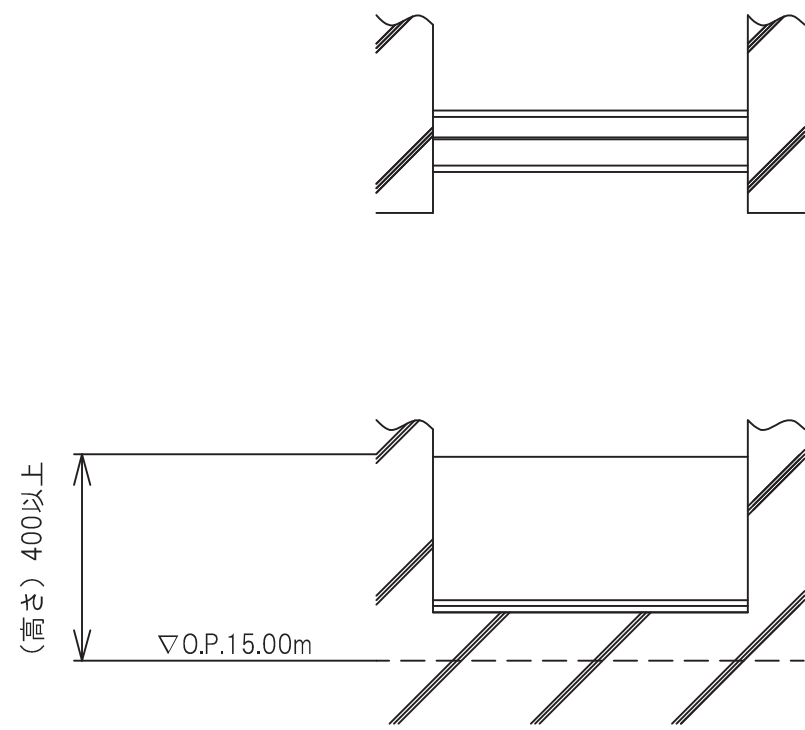


B~B矢視図

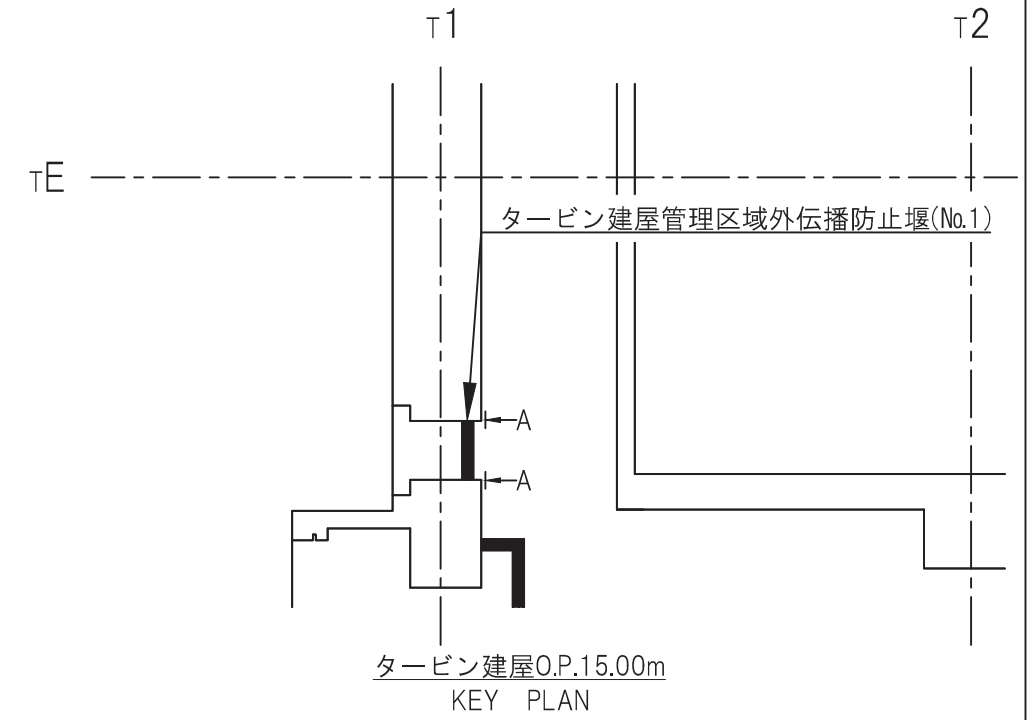


注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-80 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	タービン建屋管理区域外伝播防止堰(No.2) 構造図
東北電力株式会社	

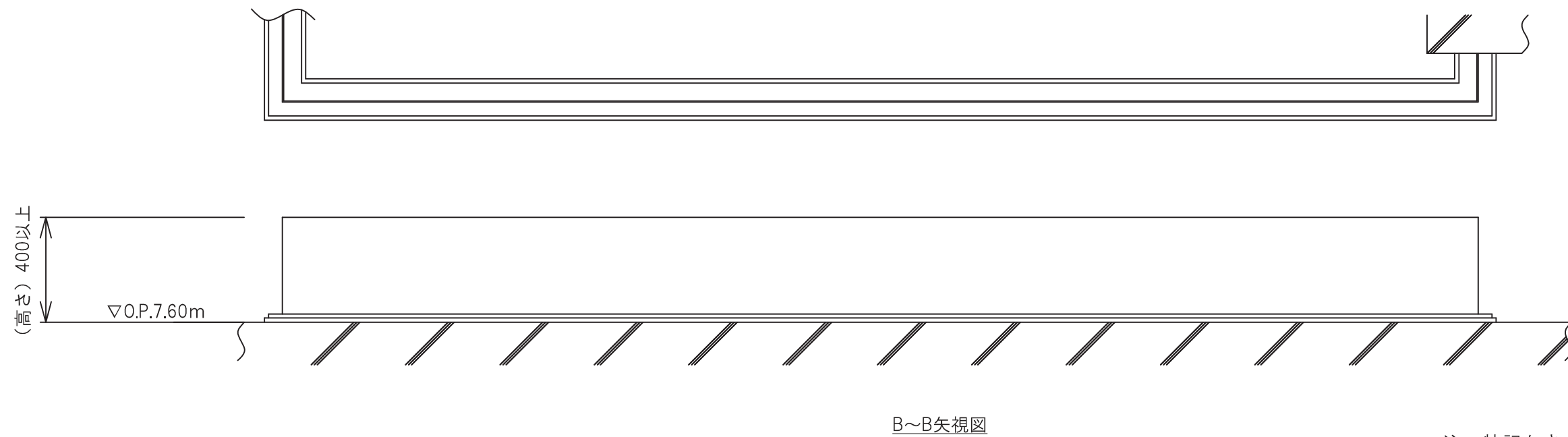
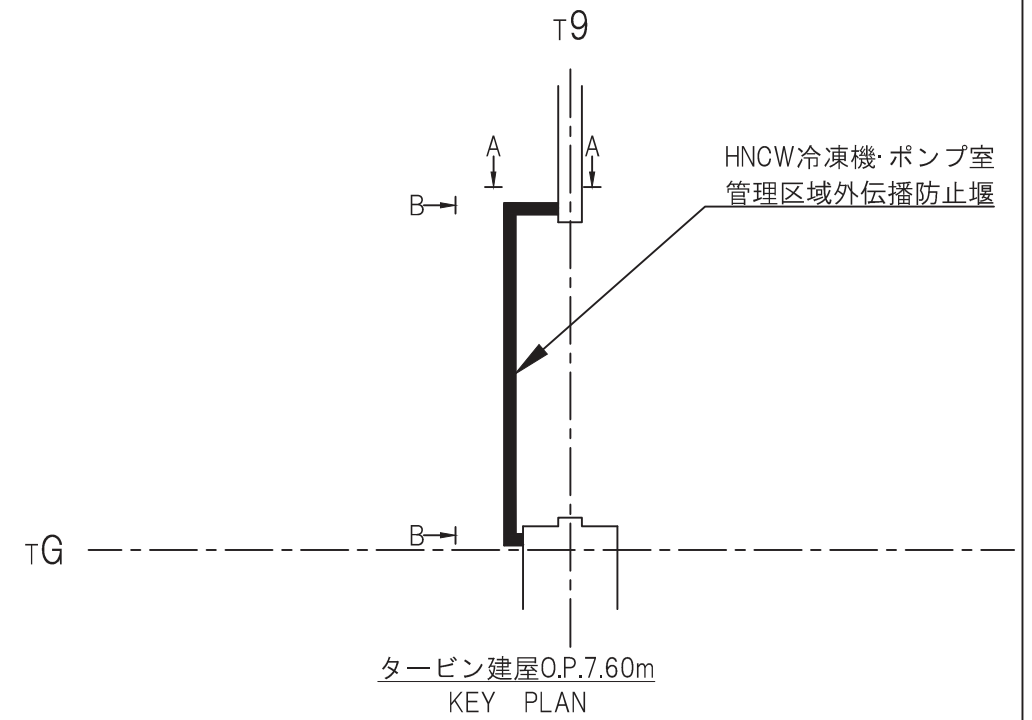
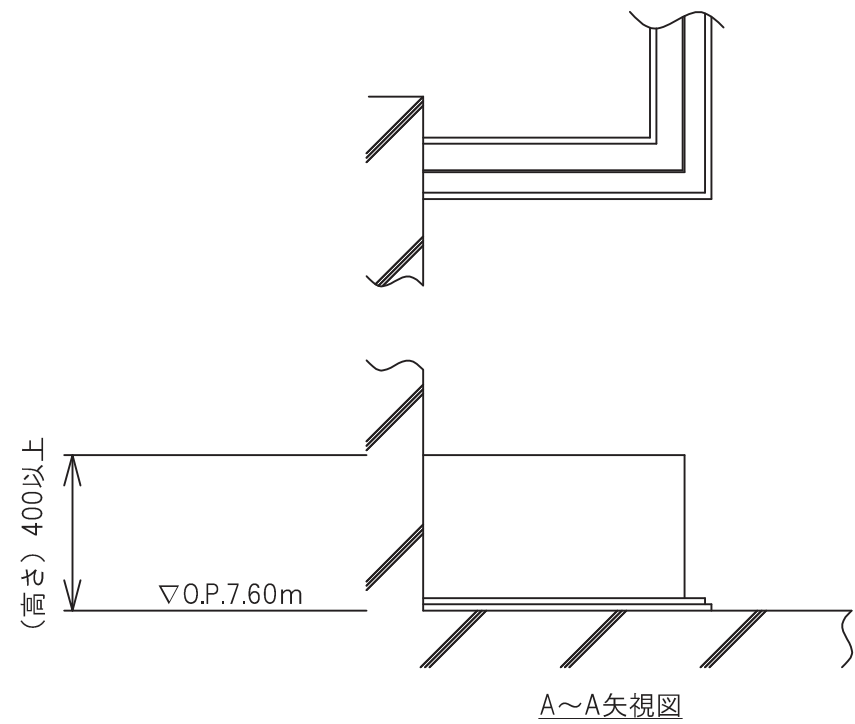


A~A矢視図



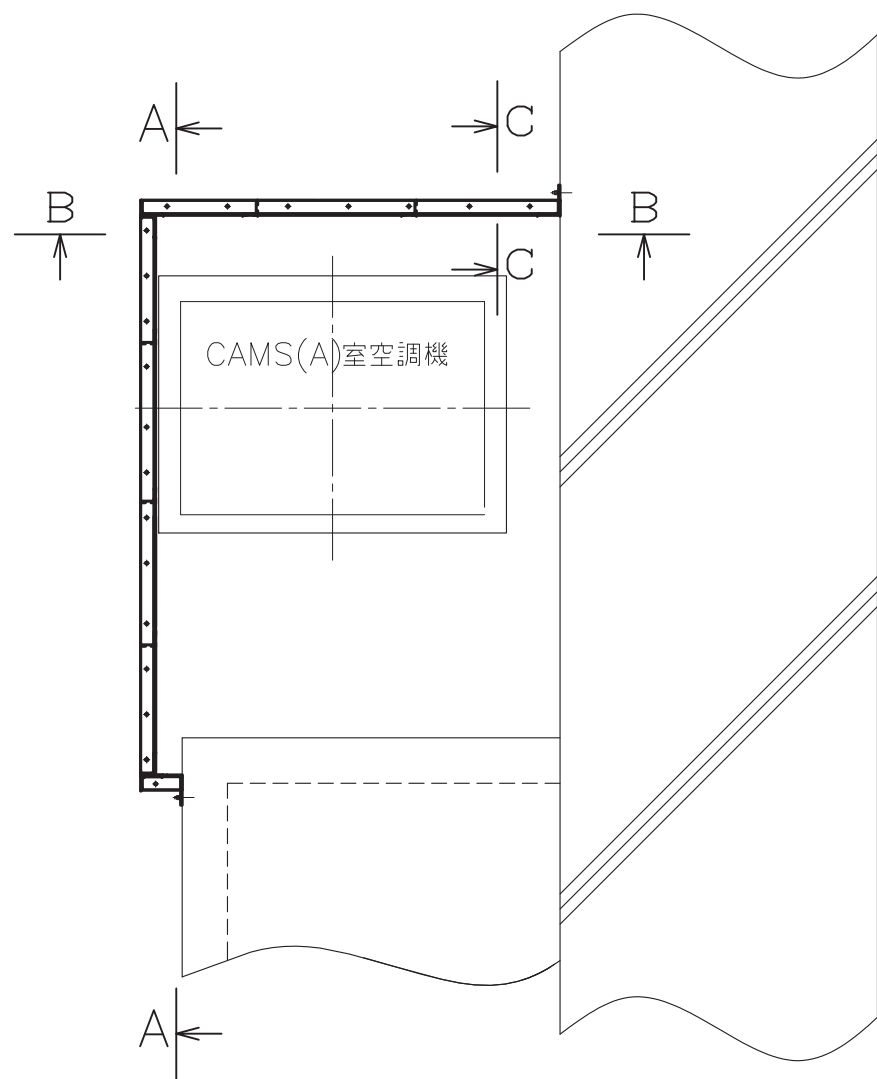
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-1-81 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	タービン建屋管理区域外伝播防止堰(No.1) 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	

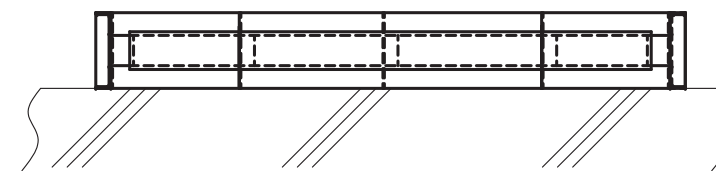


注：特記なき寸法はmmを示す。

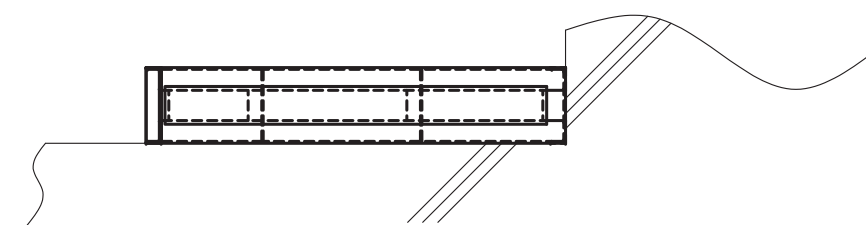
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-82 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名称	HNCW冷凍機・ポンプ室 管理区域外伝播防止堰 構造図
東北電力株式会社	



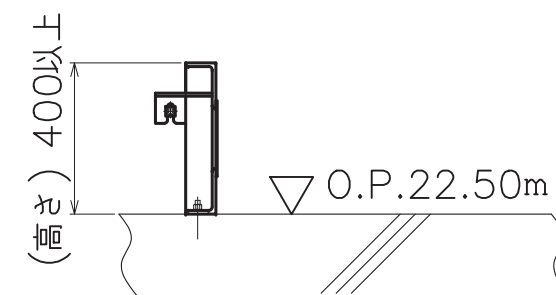
原子炉建屋 O.P.22.50m



A-A 矢視



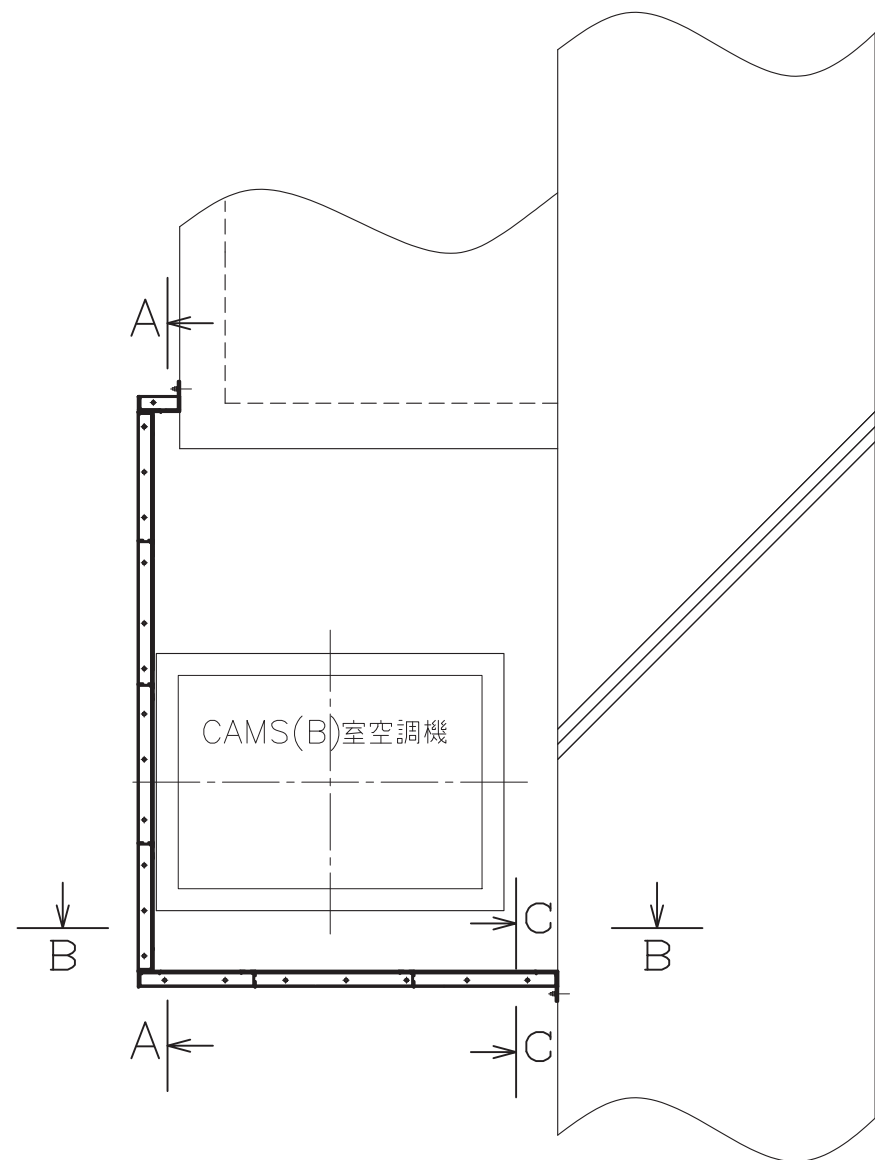
B-B 矢視



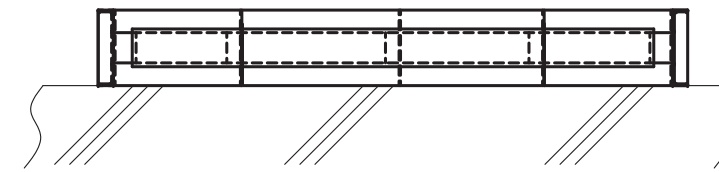
C-C 矢視  
(拡大図)

注：特記なき寸法はmmを示す。

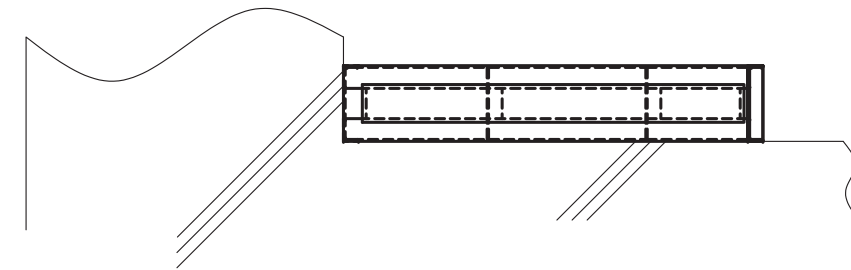
工事計画認可申請	第9-4-2-1-83図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	CAMS(A)室空調機浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



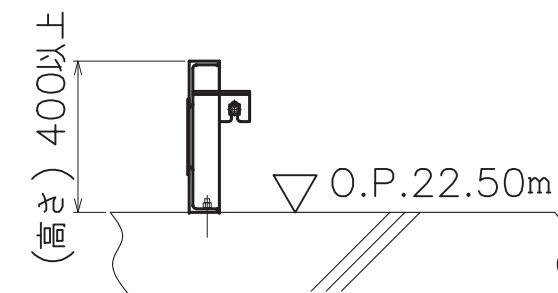
原子炉建屋 O.P.22.50m



A-A 矢視



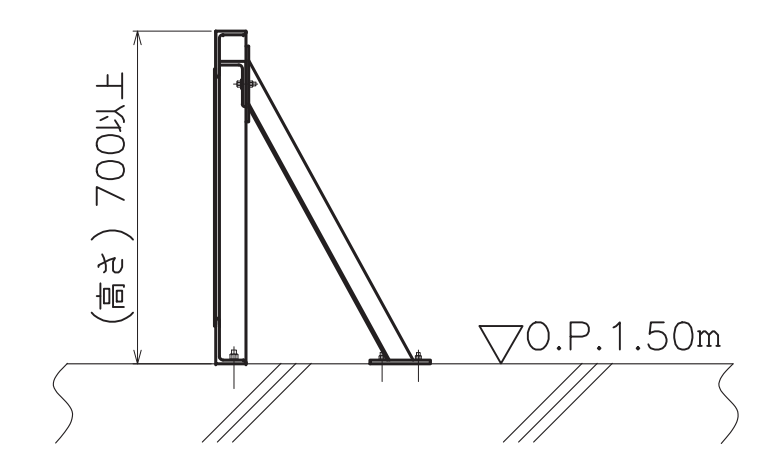
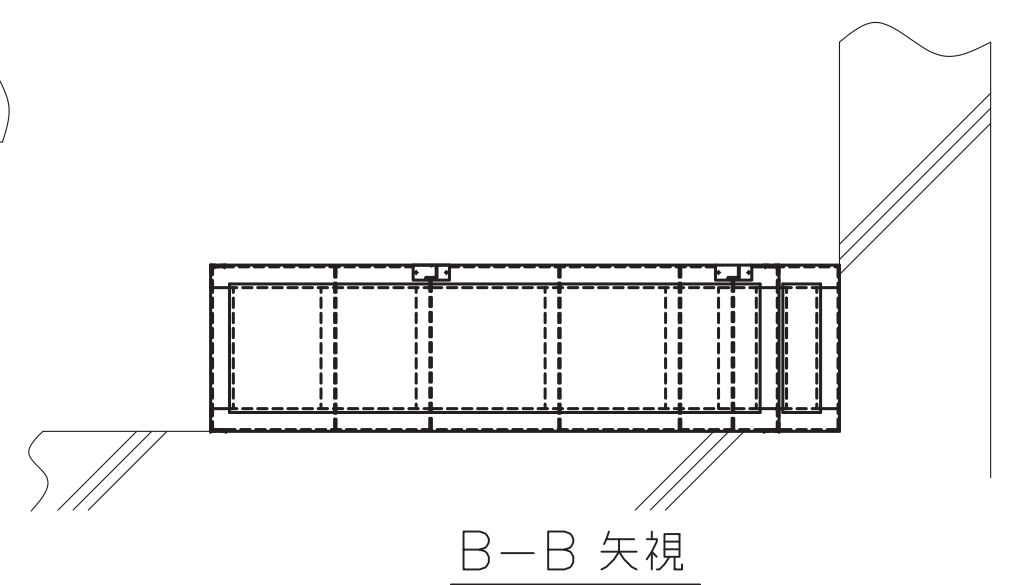
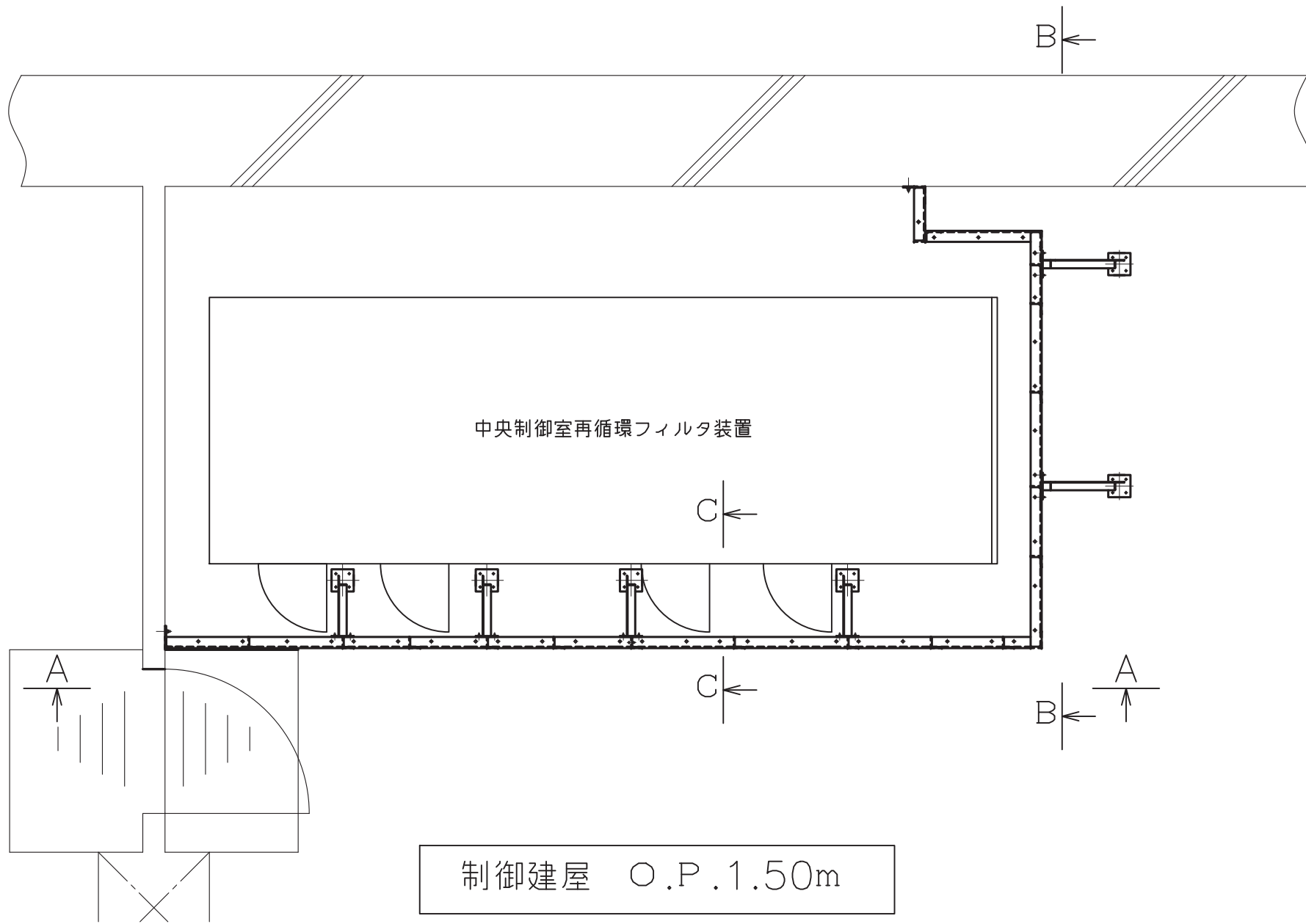
B-B 矢視



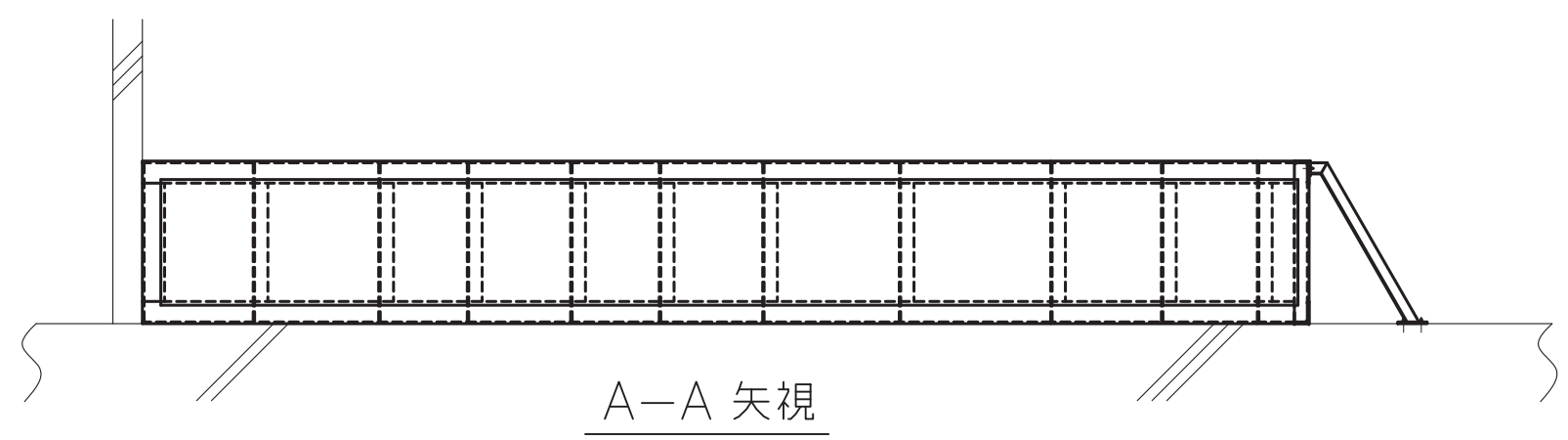
C-C 矢視  
(拡大図)

注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-84図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	CAMS(B)室空調機浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	



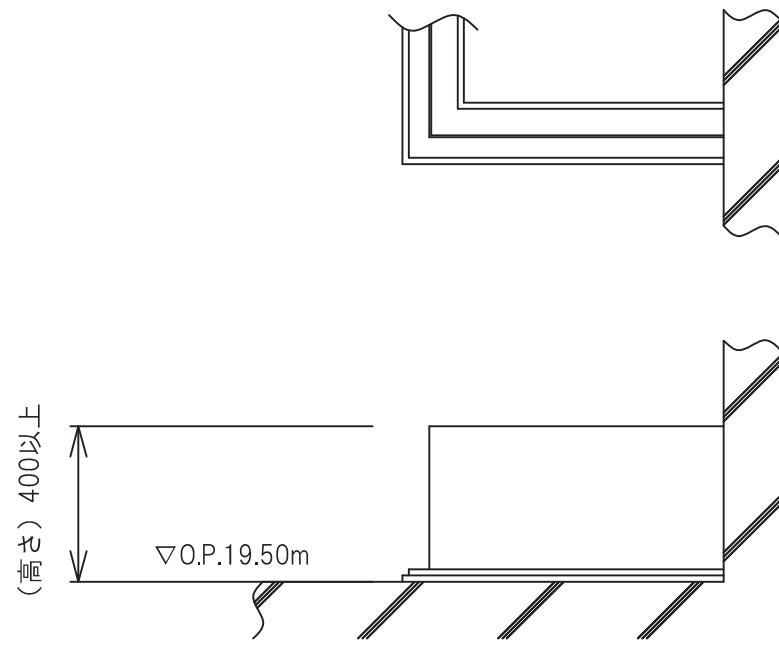
C-C 矢視  
(拡大図)



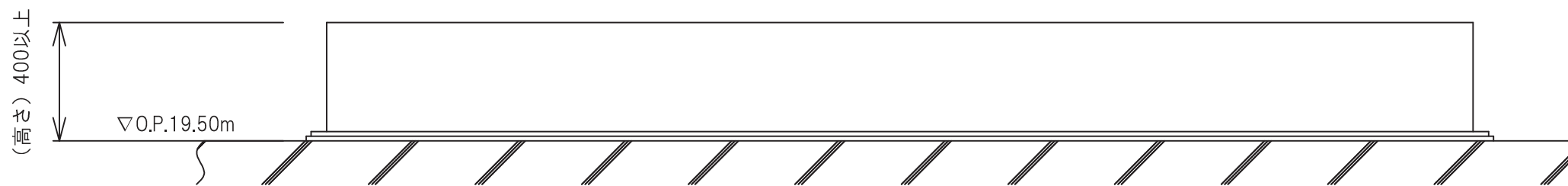
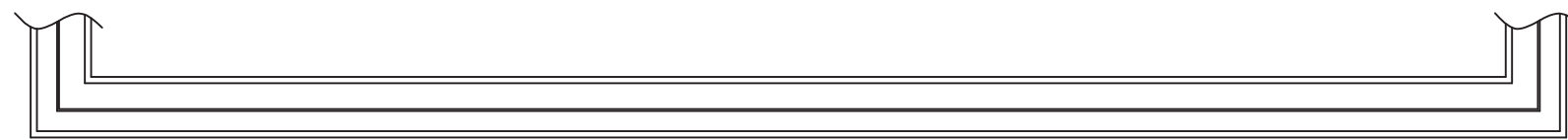
注：特記なき寸法はmmを示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-1-85図
女川原子力発電所	第2号機
名称	中央制御室再循環フィルタ装置 浸水防止堰 構造図
東北電力株式会社	

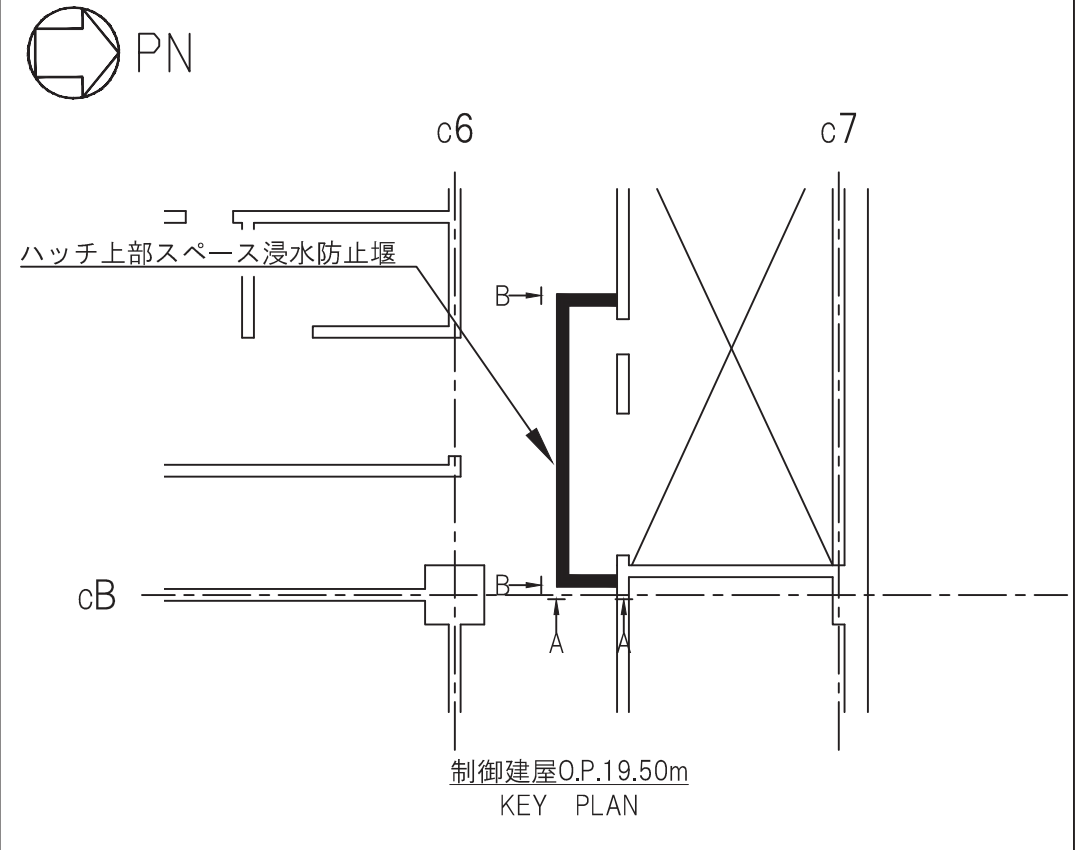




A~A矢视图

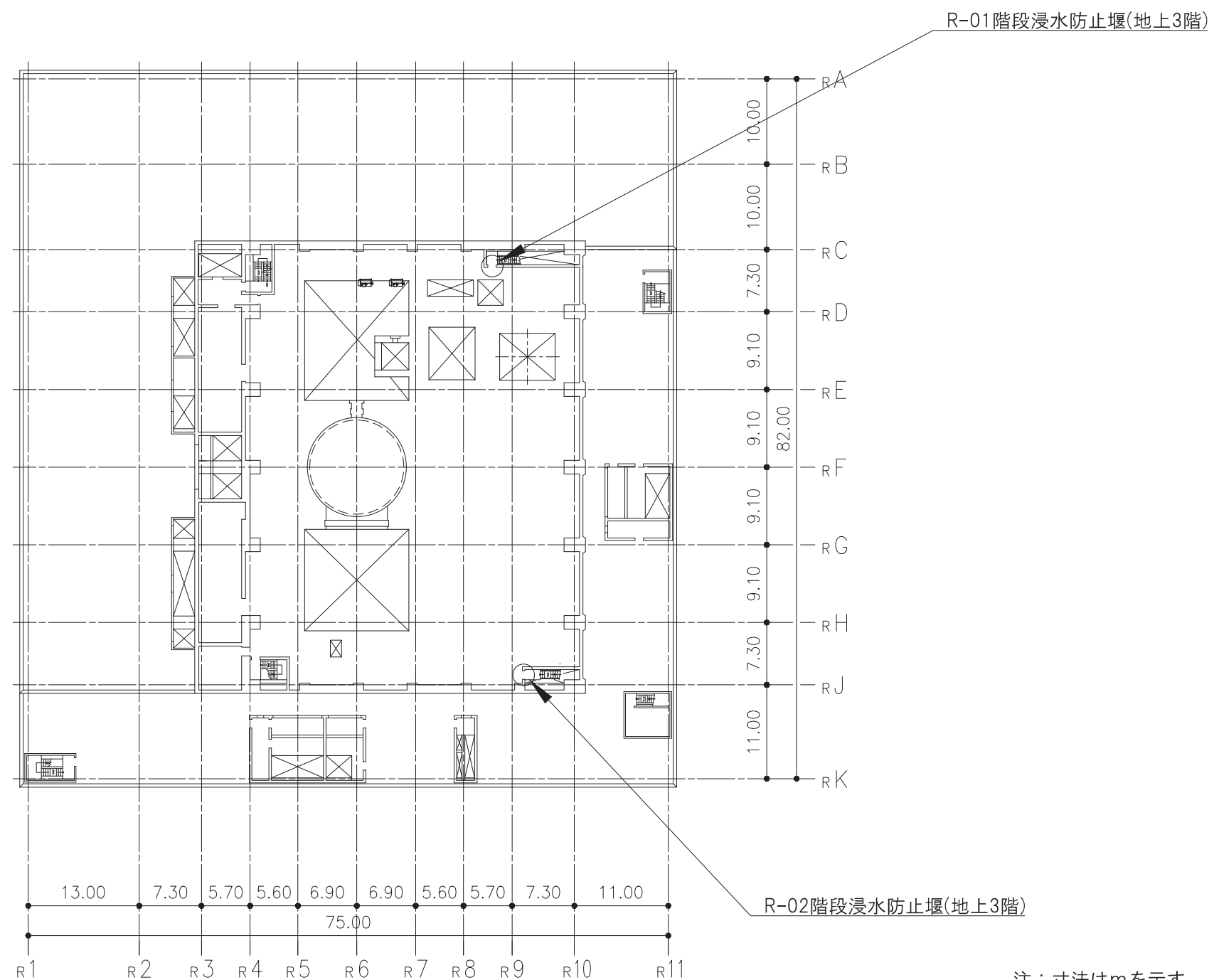


B~B矢视图



注：特記なき寸法はmmを示す。

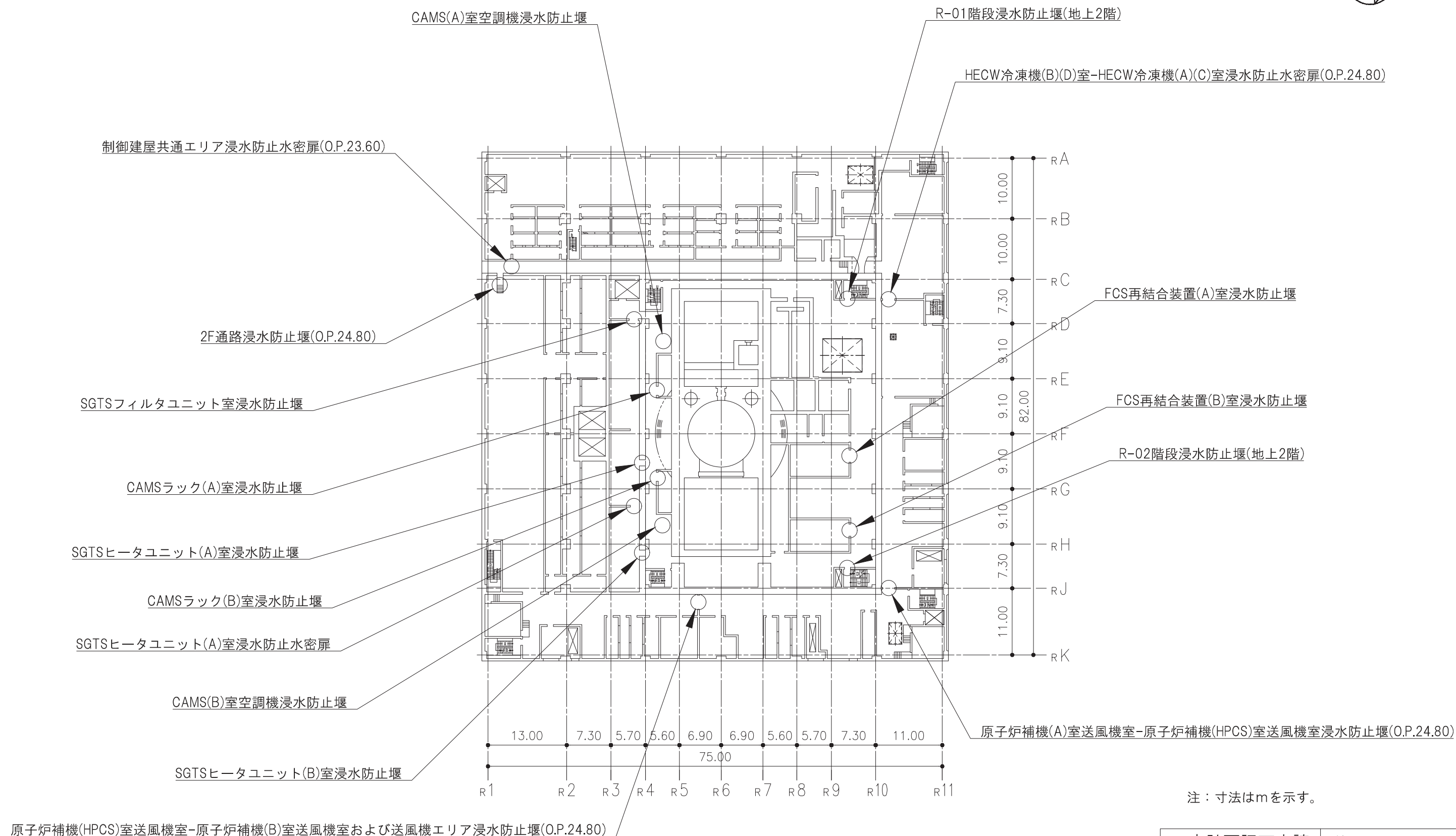
工事計画認可申請	第 9-4-2-1-86 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	ハッチ上部スペース浸水防止堰 構造図
東 北 電 力 株 式 会 社	



注：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O. P. 33. 20

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-1 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その1)
東 北 電 力 株 式 会 社	



注：寸法はmを示す。

原子炉補機(HPCS)室送風機室-原子炉補機(B)室送風機室および送風機エリア浸水防止堰(O.P.24.80)

原子炉建屋 O. P. 22. 50

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-2 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その 2)
東 北 電 力 株 式 会 社	

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

注：寸法はmを示す。

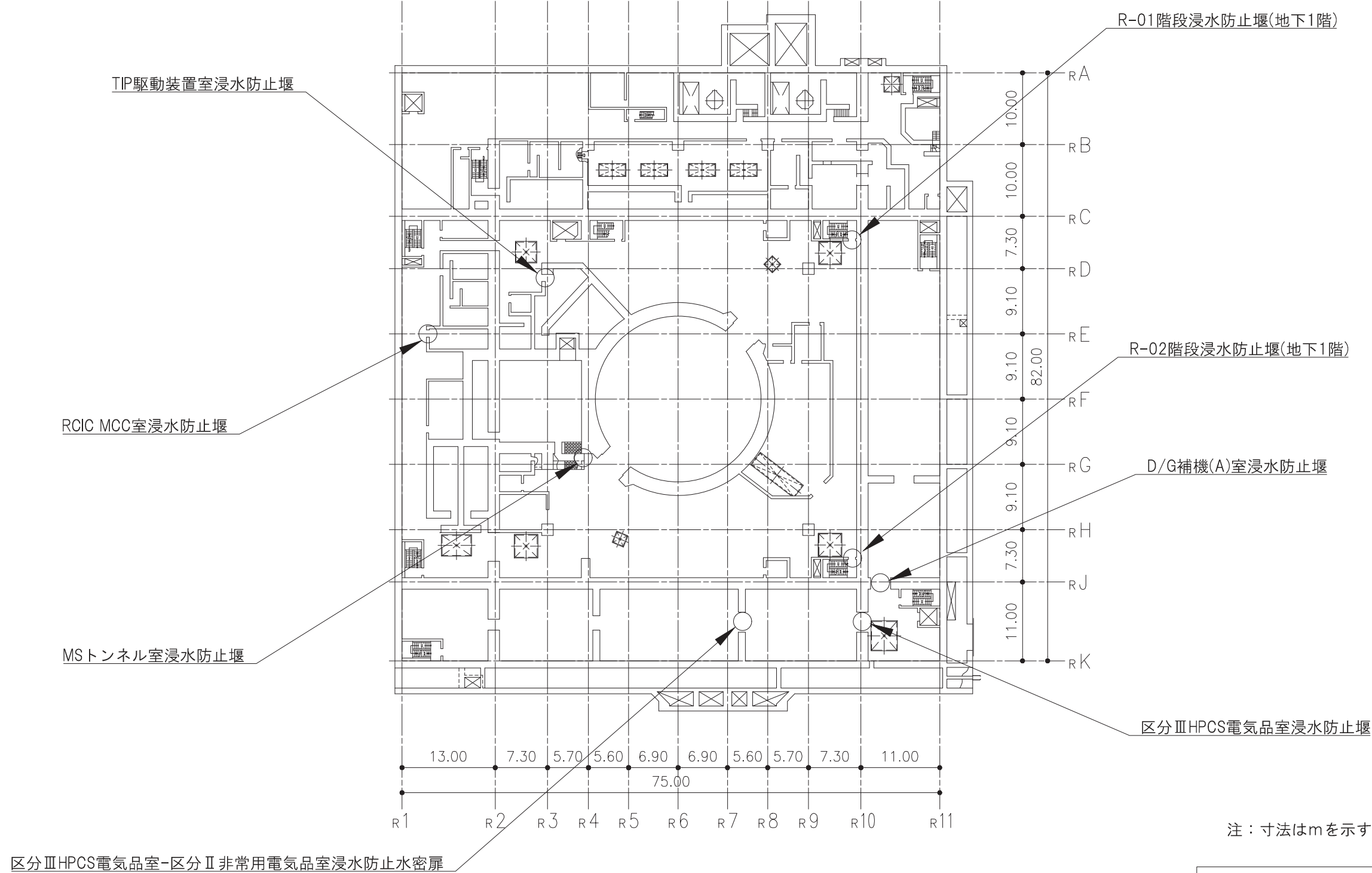
工事計画認可申請 第9-4-2-2-3 図

女川原子力発電所 第2号機

名称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その3）

東北電力株式会社

0428



原子炉建屋 O.P. 6.00

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-4 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その 4)
東 北 電 力 株 式 会 社	

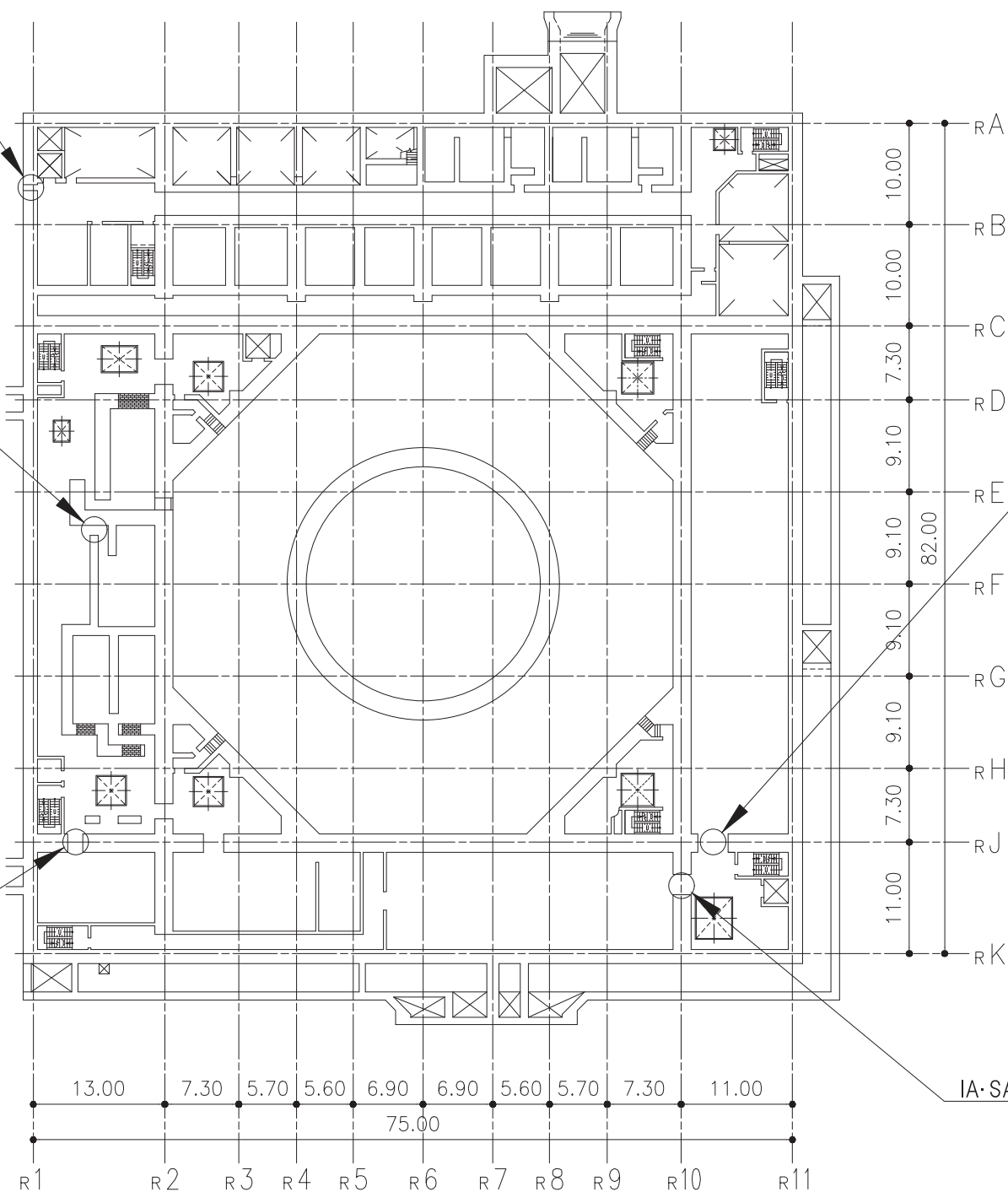
原子炉建屋浸水防止水密扉(No.4)(O.P.2.00)

CUW配管・バルブ室浸水防止堰

復水補給水ポンプ室浸水防止堰

静止型PLRポンプ電源装置室浸水防止堰

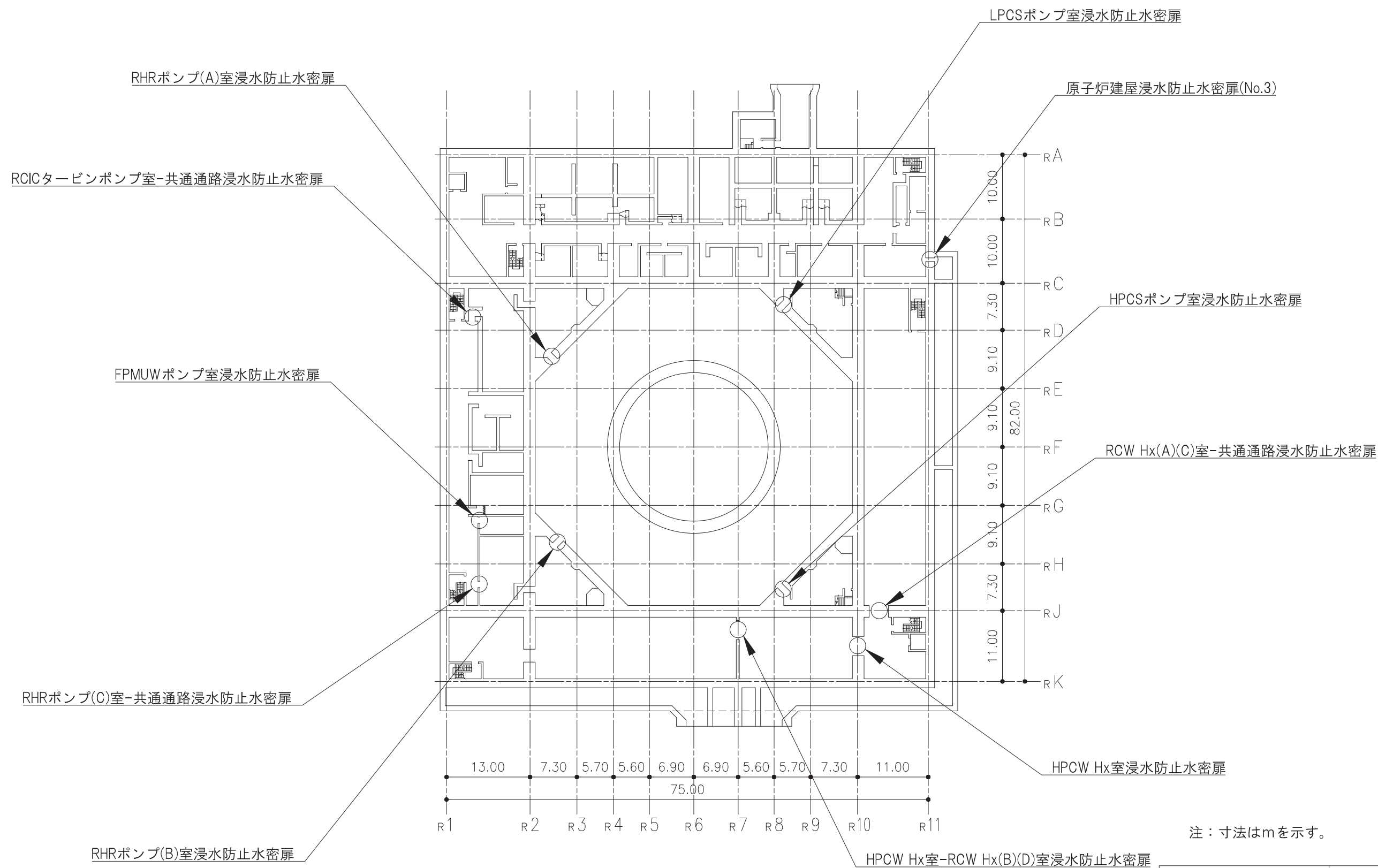
IA・SA室および通路浸水防止堰



注：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P. -0.80

工事計画認可申請	第9-4-2-2-5 図
女川原子力発電所 第2号機	
名	内郭浸水防護設備
称	機器の配置を明示した図面(その5)
東北電力株式会社	



注：寸法はmを示す。

原子炉建屋 O.P. -8.10

工事計画認可申請	第9-4-2-2-6 図
女川原子力発電所	第2号機
名	内郭浸水防護設備
称	機器の配置を明示した図面(その6)
東北電力株式会社	

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

注記\*：浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

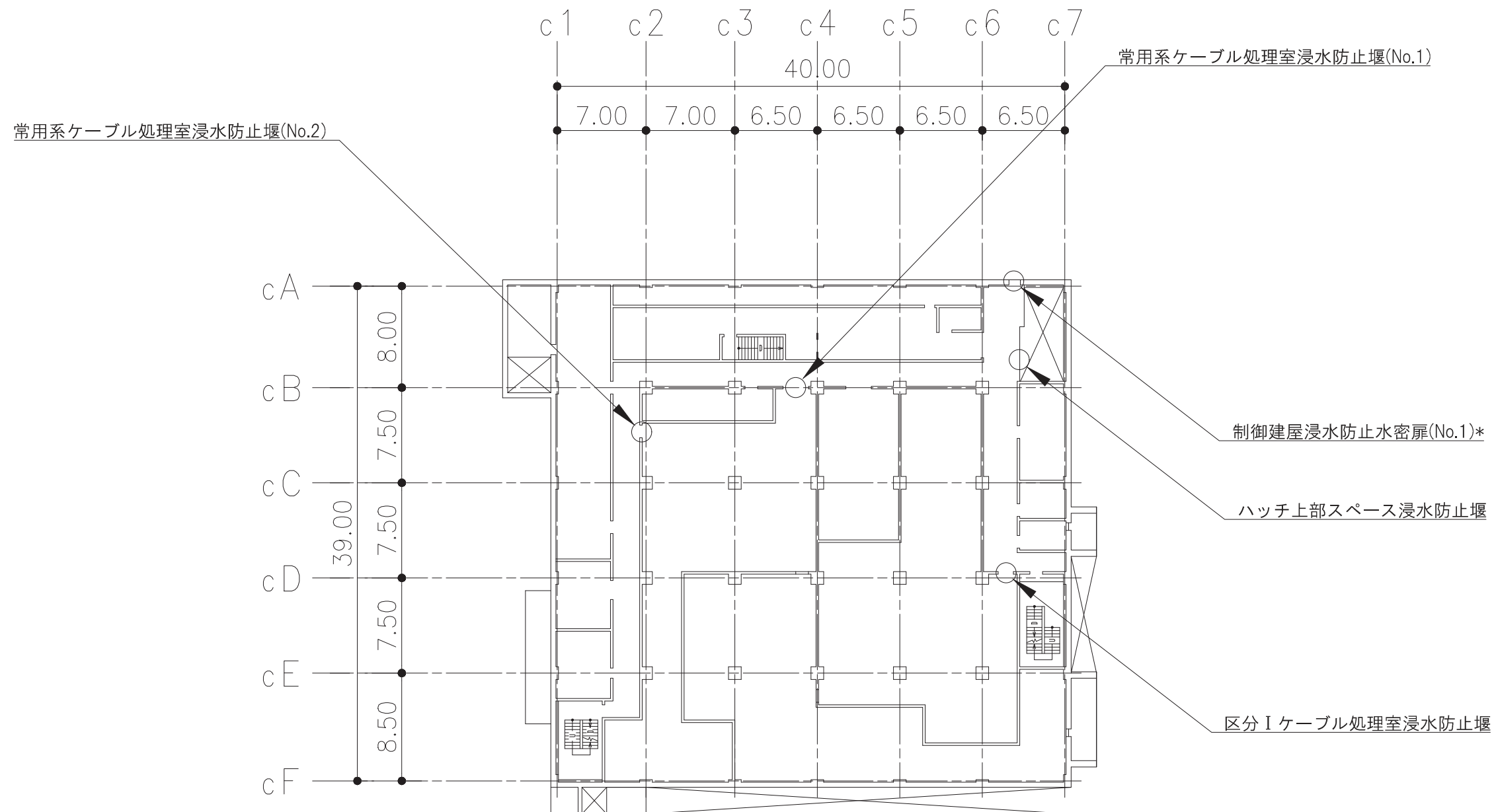
工事計画認可申請 第9-4-2-2-7 図

女川原子力発電所 第2号機

名 称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その7）

東北電力株式会社





制御建屋 O.P. 19.50

注記\*：浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-8 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その 8)
東 北 電 力 株 式 会 社	

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

注記\*：浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備と兼用する。

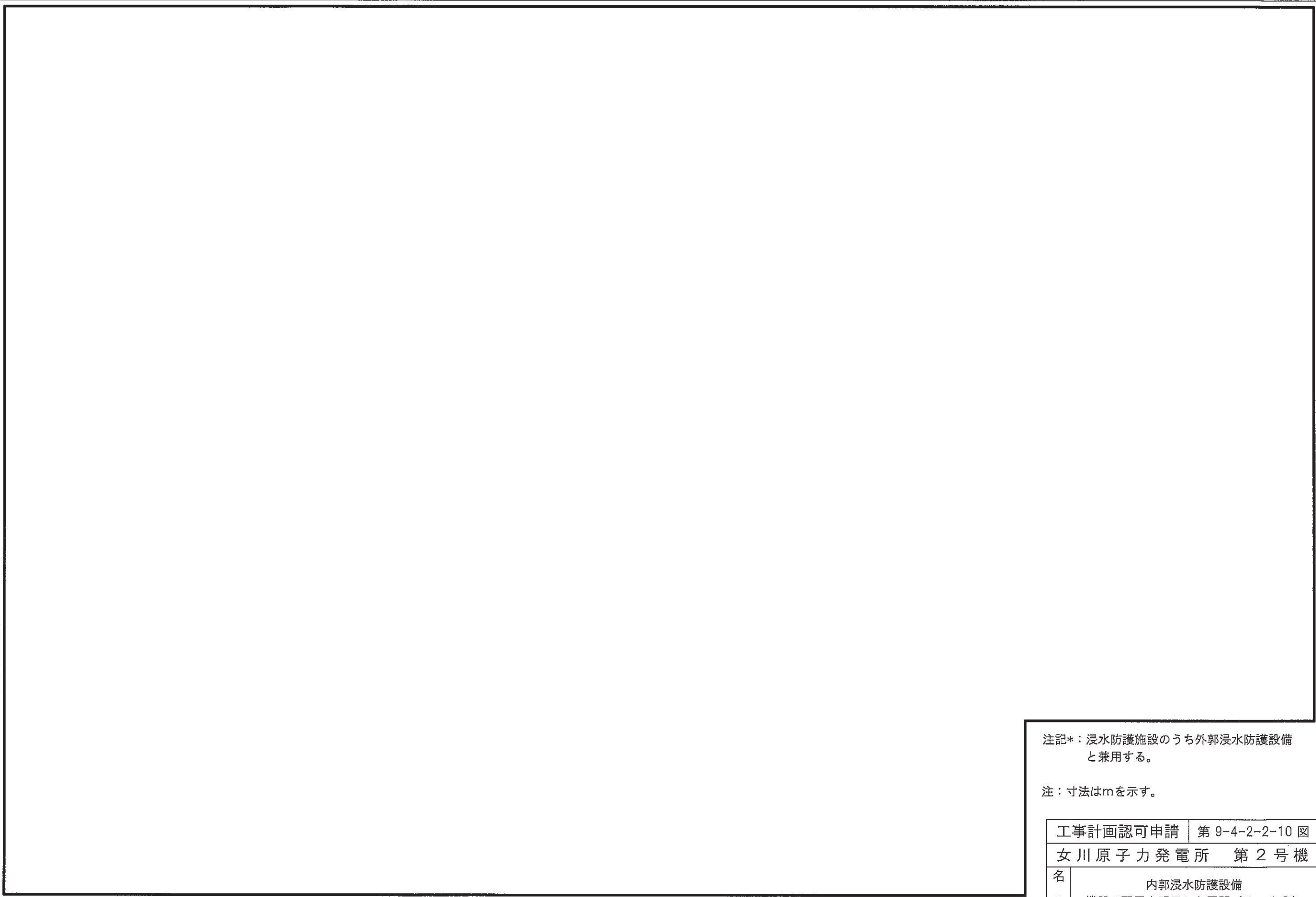
注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請 第9-4-2-2-9 図

女川原子力発電所 第2号機

名 称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その9）

東北電力株式会社



注記\*：浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

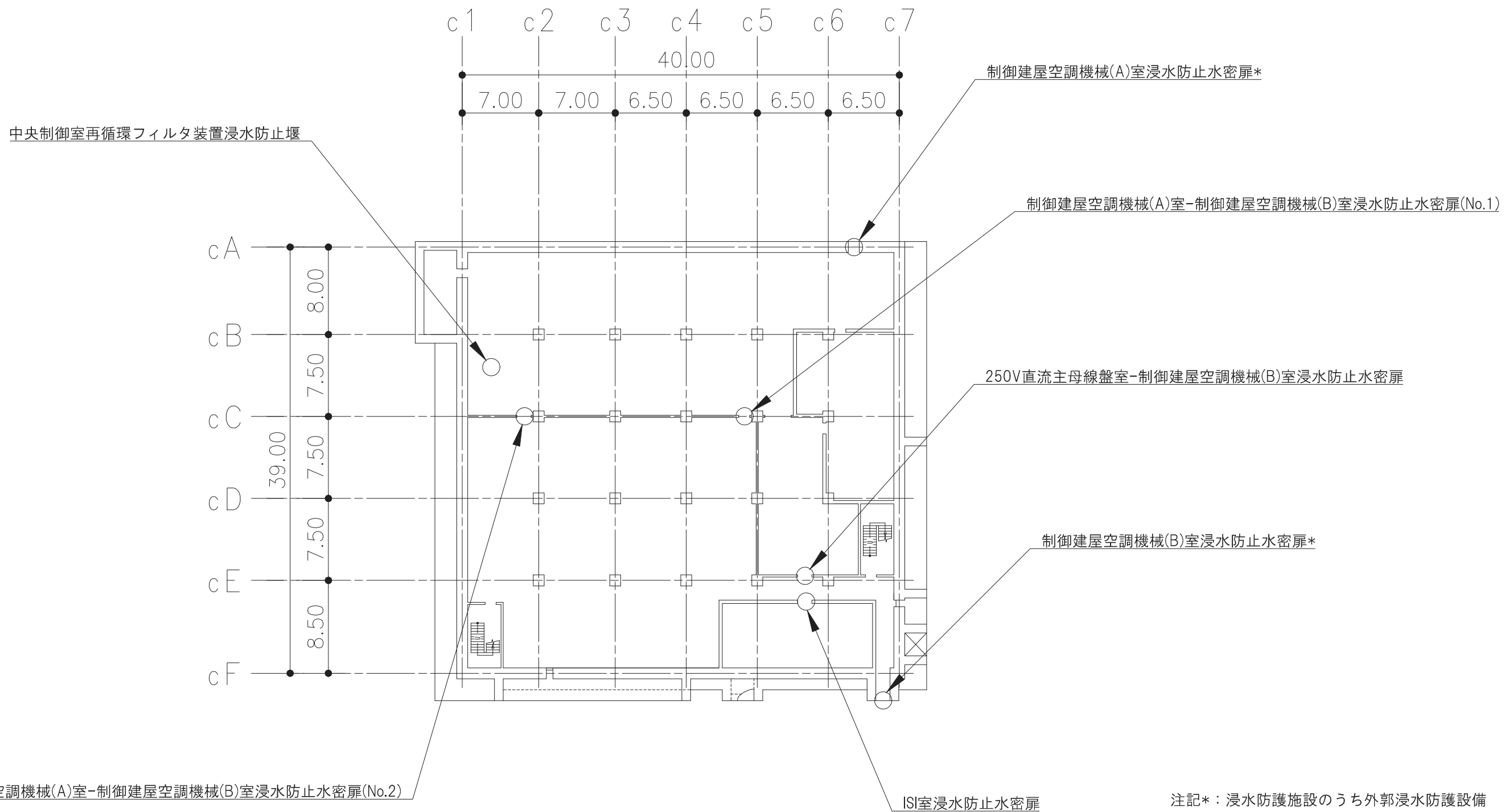
工事計画認可申請 第9-4-2-2-10 図

女川原子力発電所 第2号機

名 称 内郭浸水防護設備  
機器の配置を明示した図面（その10）

東北電力株式会社

枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

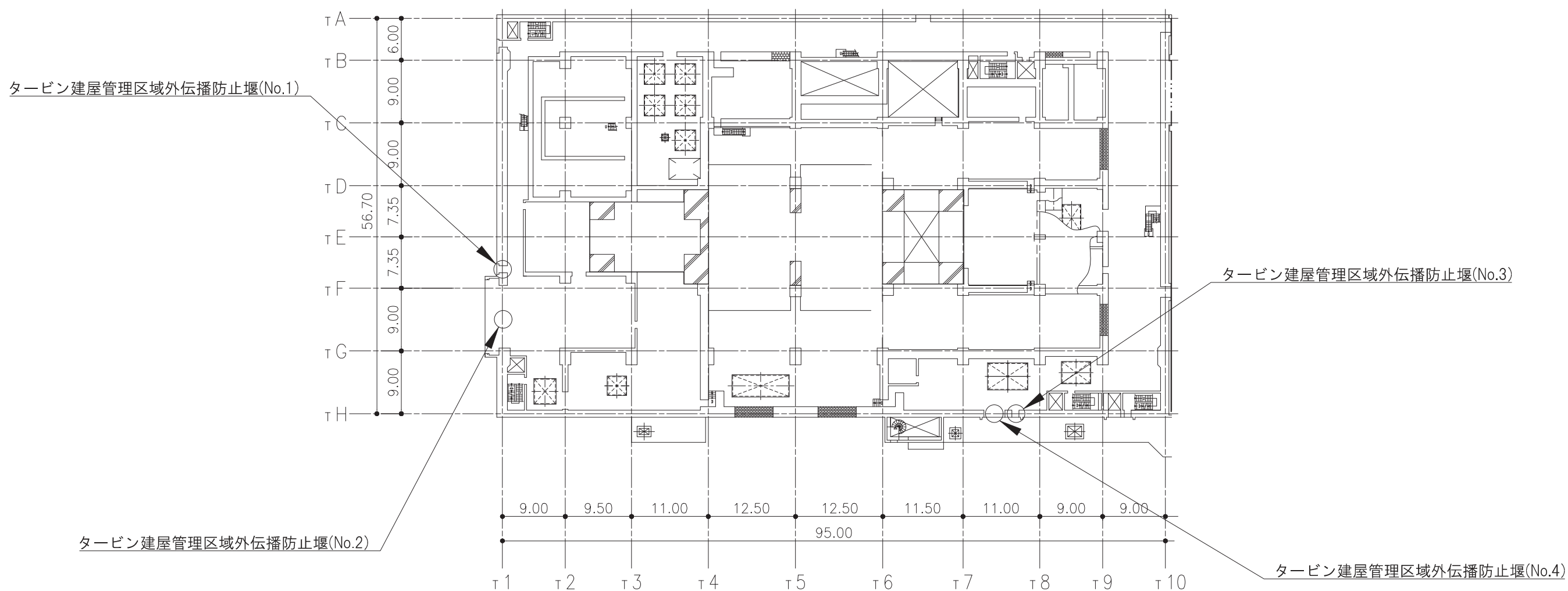


注記\*：浸水防護施設のうち外郭浸水防護設備と兼用する。

注：寸法はmを示す。

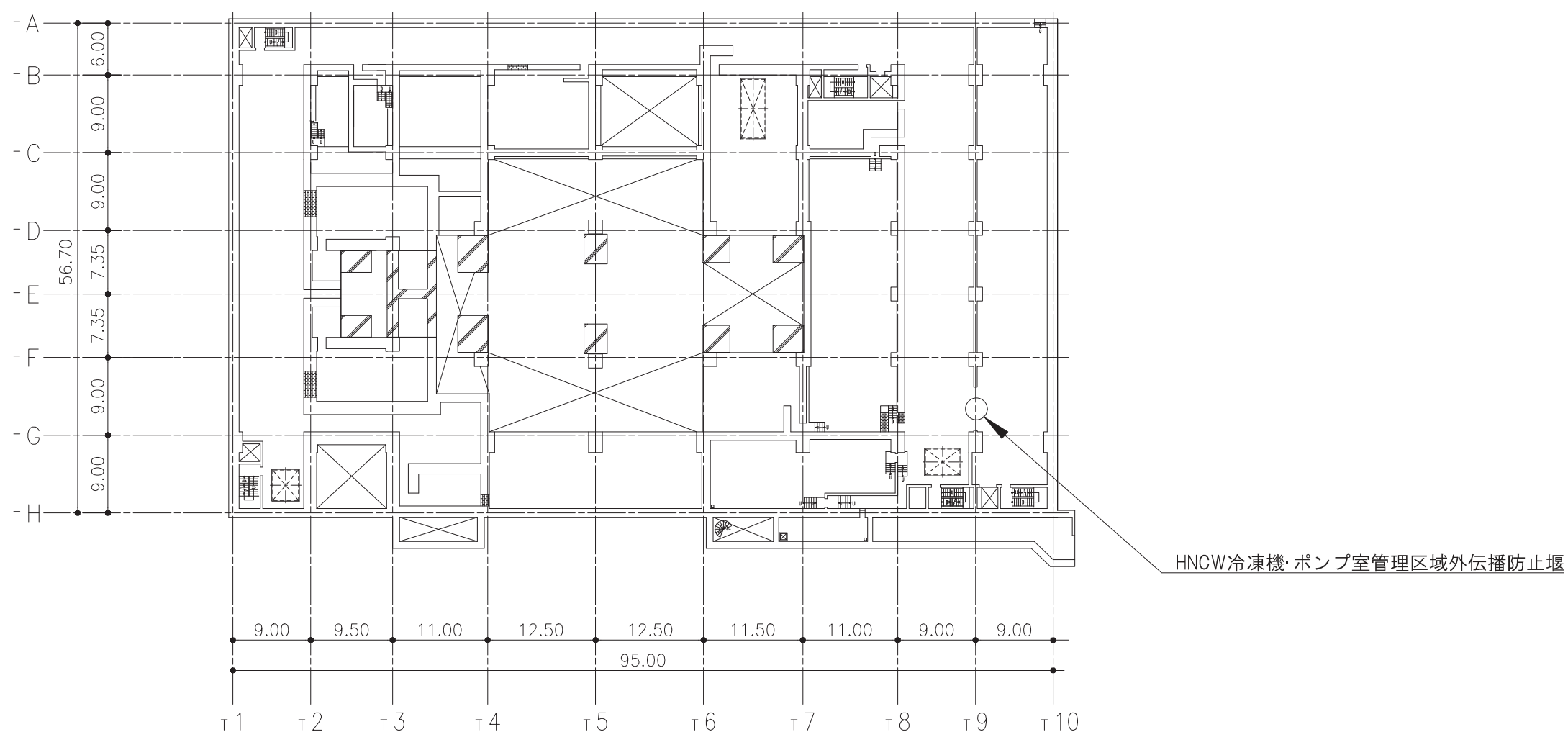
制御建屋 O. P. 1. 50

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-11 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その 1 1)
東 北 電 力 株 式 会 社	



注：寸法はmを示す。

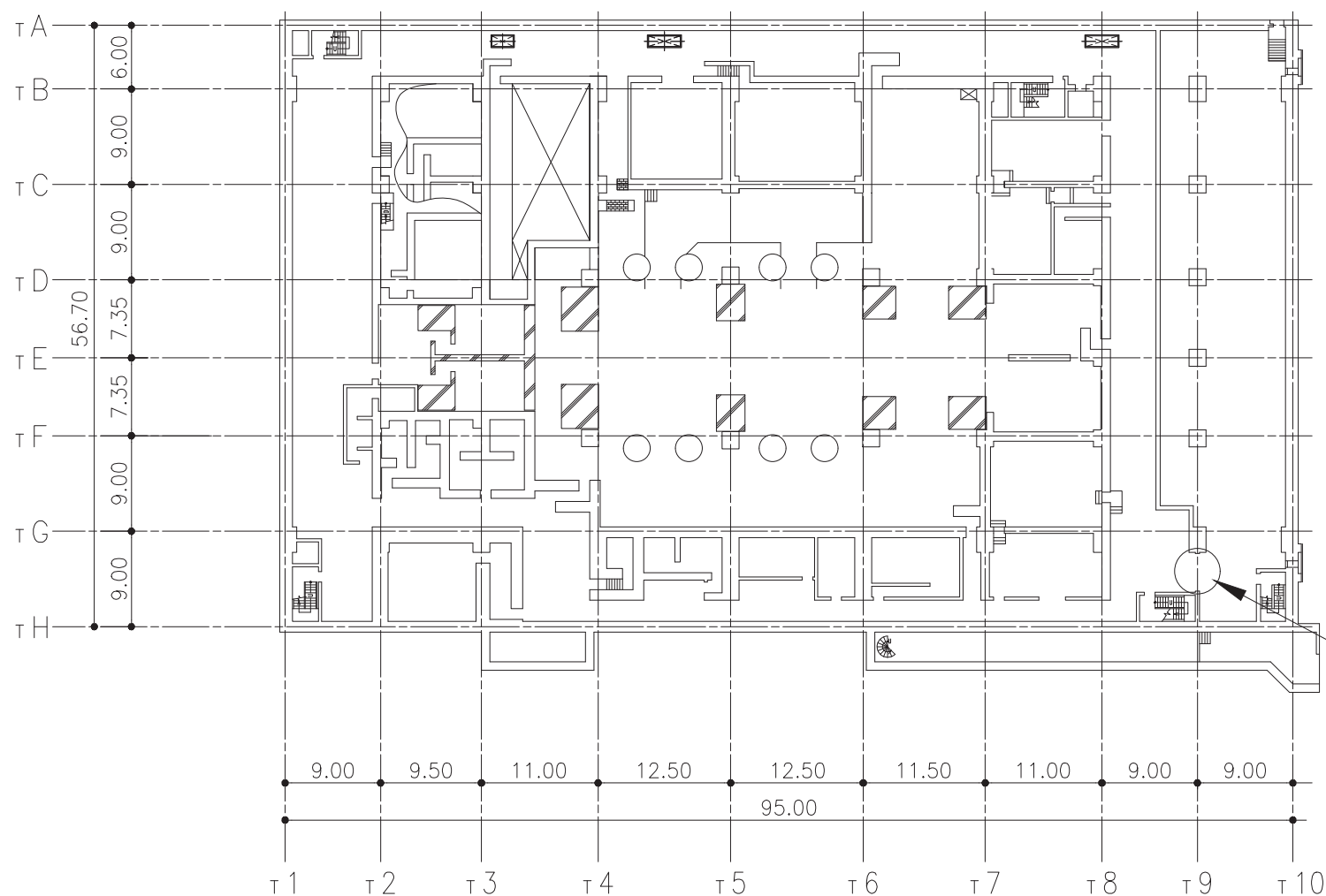
工事計画認可申請	第 9-4-2-2-12 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名 称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その 1 2)
東 北 電 力 株 式 会 社	



タービン建屋 O. P. 7. 60

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-13 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名	内郭浸水防護設備
称	機器の配置を明示した図面 (その 1 3)
東北電力株式会社	



タービン建屋管理区域外伝播防止水密扉  
タービン建屋地下2階TCW熱交換器室出入口\*

注記\*：放射性廃棄物の廃棄施設のうち  
堰その他設備と兼用する。  
タービン建屋地下2階及び制御  
建屋地下2階配管エリアの施設外  
との境界壁面及びこれに囲まれた  
床面の堰を示す。

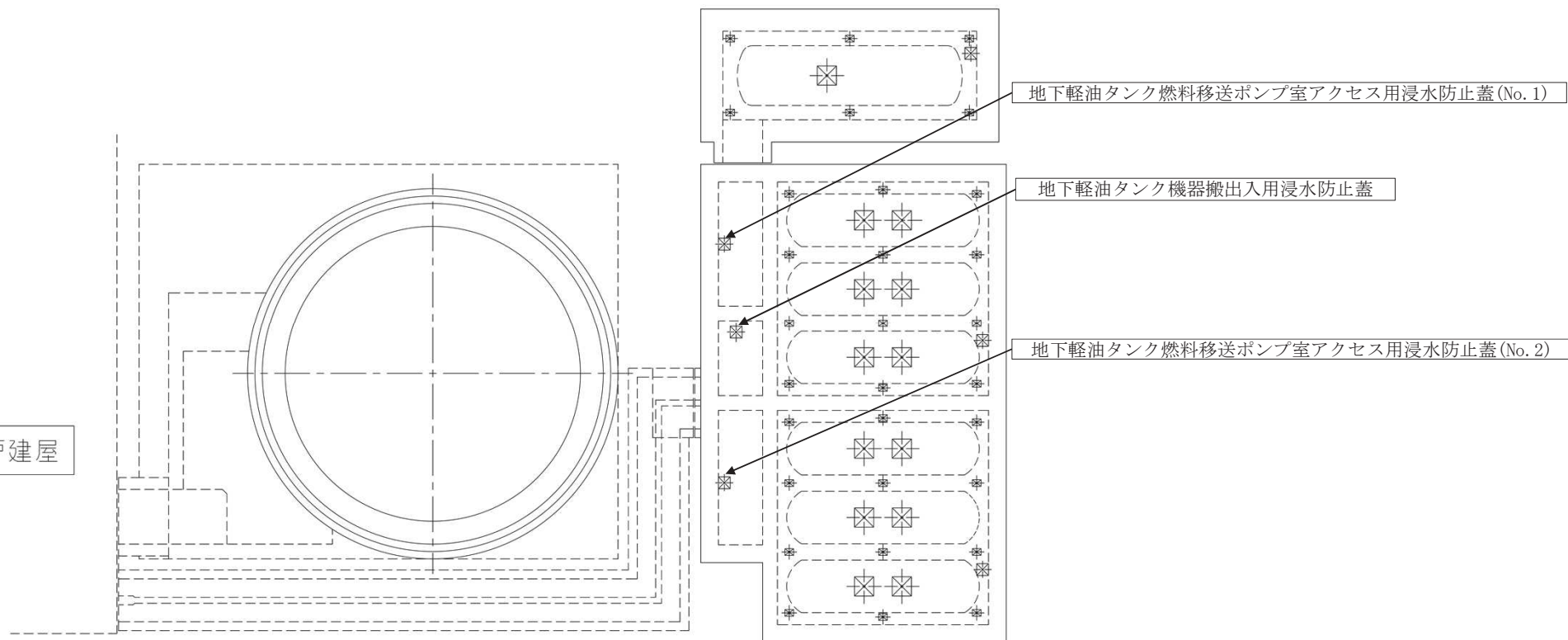
注：寸法はmを示す。

タービン建屋 O.P.O. 80

工事計画認可申請	第 9-4-2-2-14 図
女川原子力発電所	第 2 号機
名	内郭浸水防護設備
称	機器の配置を明示した図面 (その 14)
東 北 電 力 株 式 会 社	

地下軽油タンクピット O. P. 14. 80

原子炉建屋



地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋(No. 1)

地下軽油タンク機器搬出入用浸水防止蓋

地下軽油タンク燃料移送ポンプ室アクセス用浸水防止蓋(No. 2)

復水貯蔵タンク O. P. 14. 80

地下軽油タンクピット O. P. 14. 80

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-2-15図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その15)
東北電力株式会社	





燃料移送ポンプ(H)室 - 燃料移送ポンプ(A)室浸水防止水密扉 (O. P. 9. 50m)

燃料移送ポンプ(A)室 - 燃料移送ポンプ(B)室浸水防止水密扉 (O. P. 9. 50m)

燃料移送ポンプ(A)室浸水防止水密扉 (O. P. 9. 50m)

燃料移送ポンプ(B)室浸水防止水密扉 (O. P. 9. 50m)

地下軽油タンクピット O. P. 6. 10

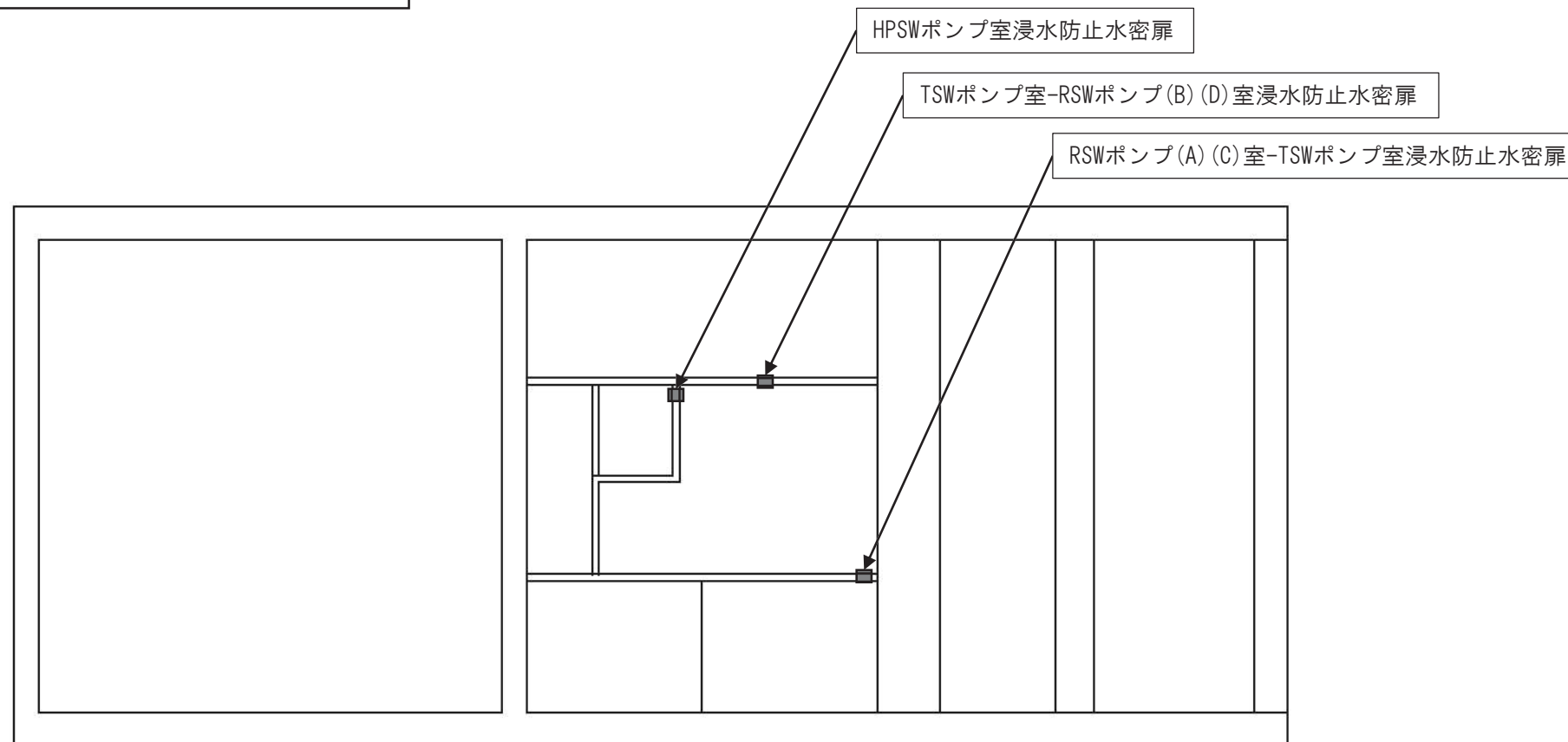
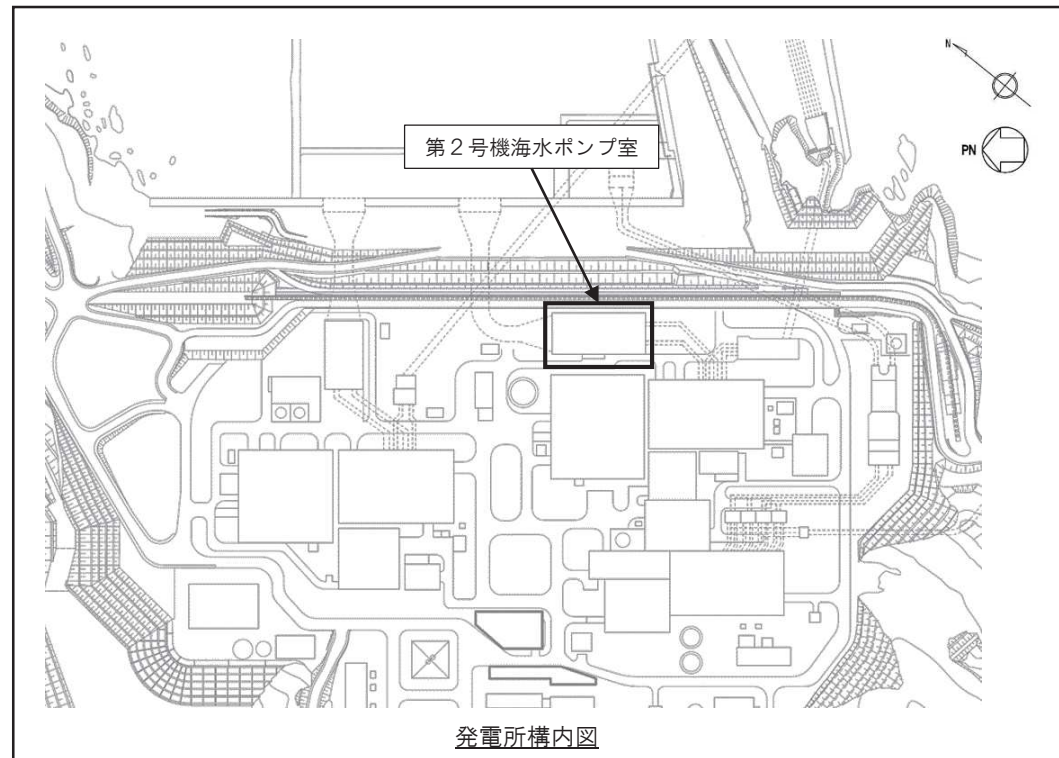
原子炉建屋

復水貯蔵タンク O. P. 9. 50

地下軽油タンクピット O. P. 9. 50

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-4-2-2-16図
女川原子力発電所	第2号機
名称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面 (その16)
東北電力株式会社	

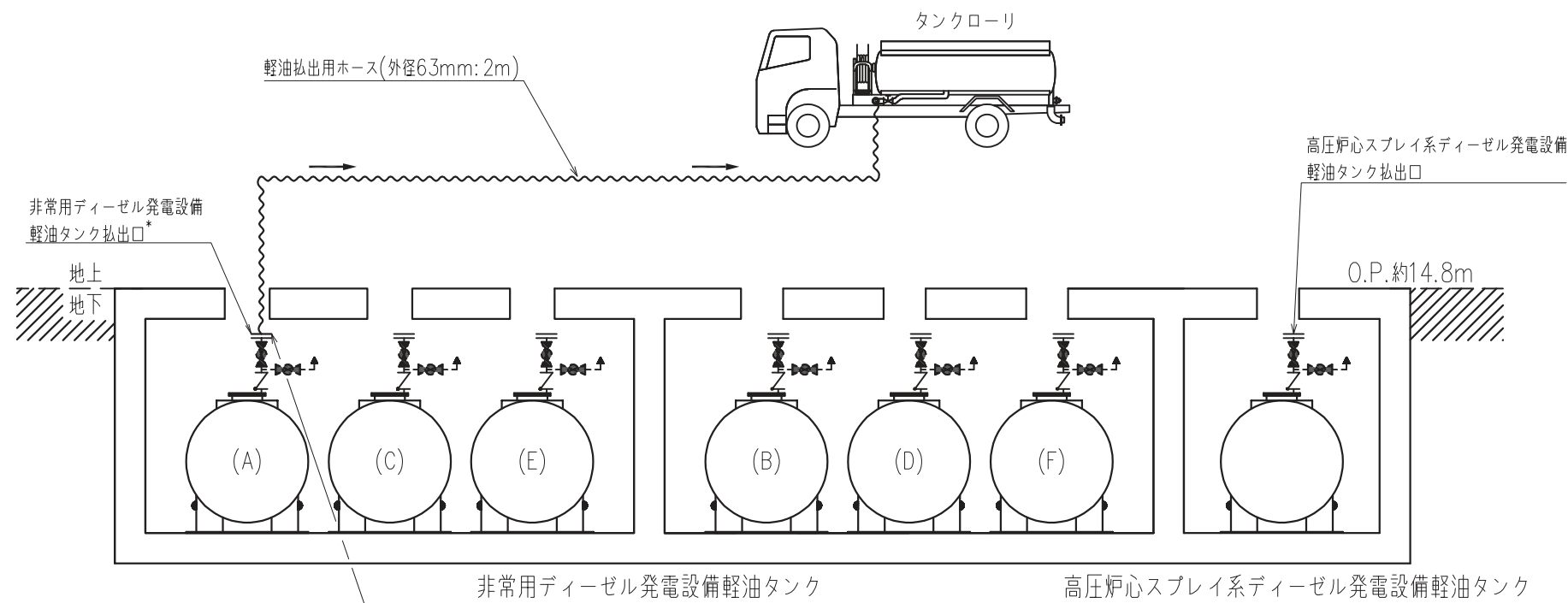


第2号機海水ポンプ室

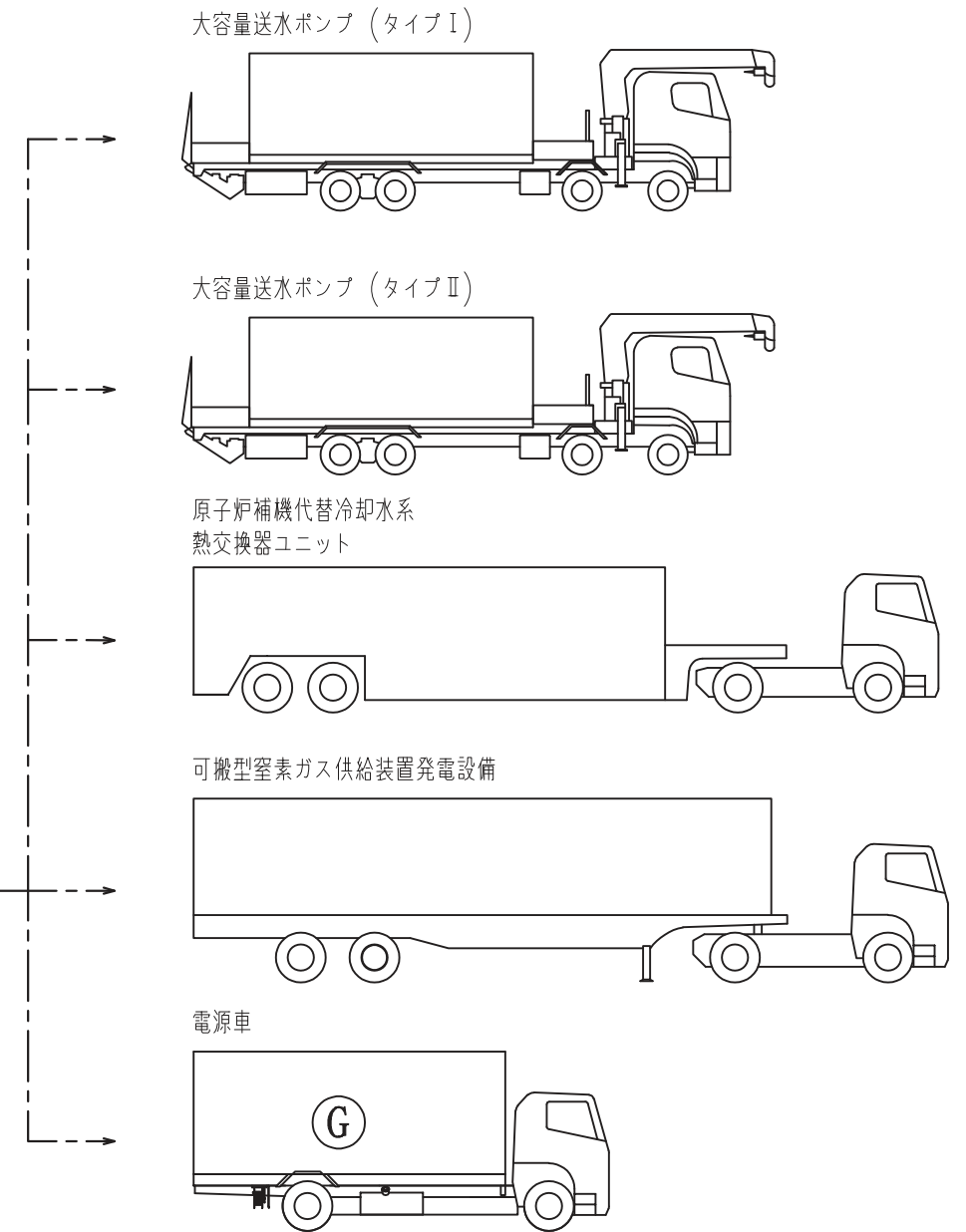
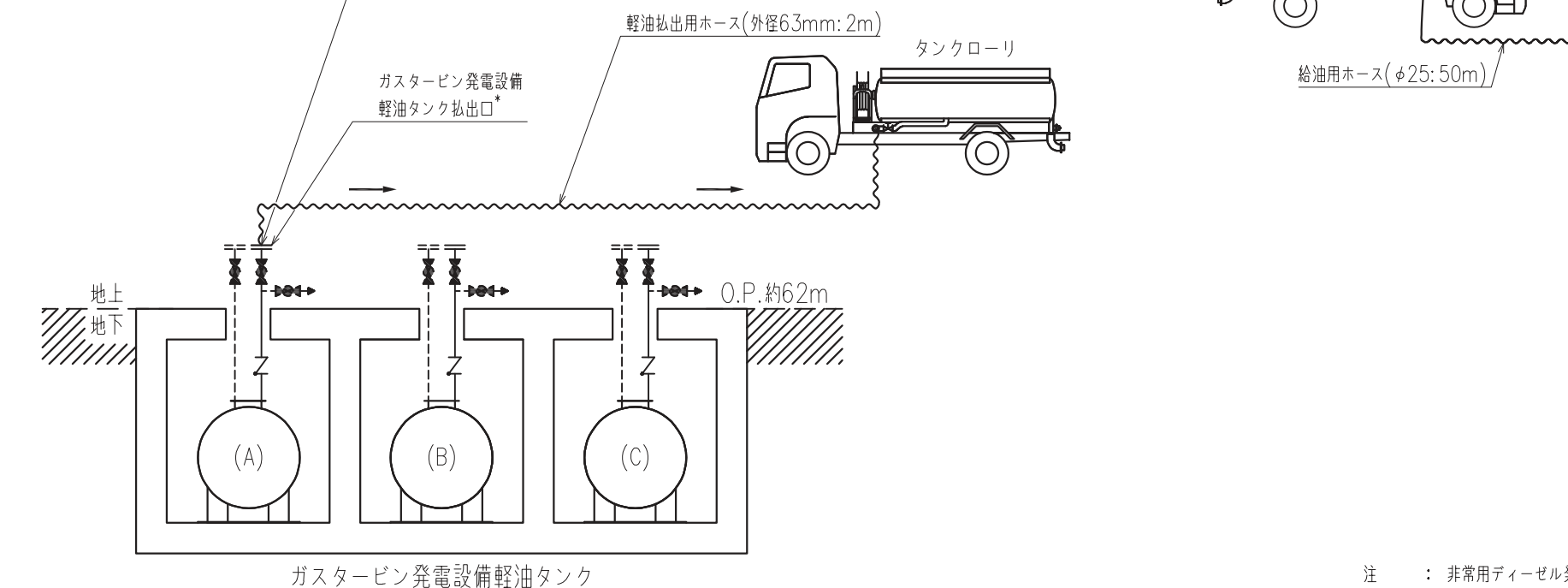
工事計画認可申請	第9-4-2-2-17図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	内郭浸水防護設備 機器の配置を明示した図面(その17)
東北電力株式会社	

## 9.5 補機駆動用燃料設備

## 9.5.1 燃料設備



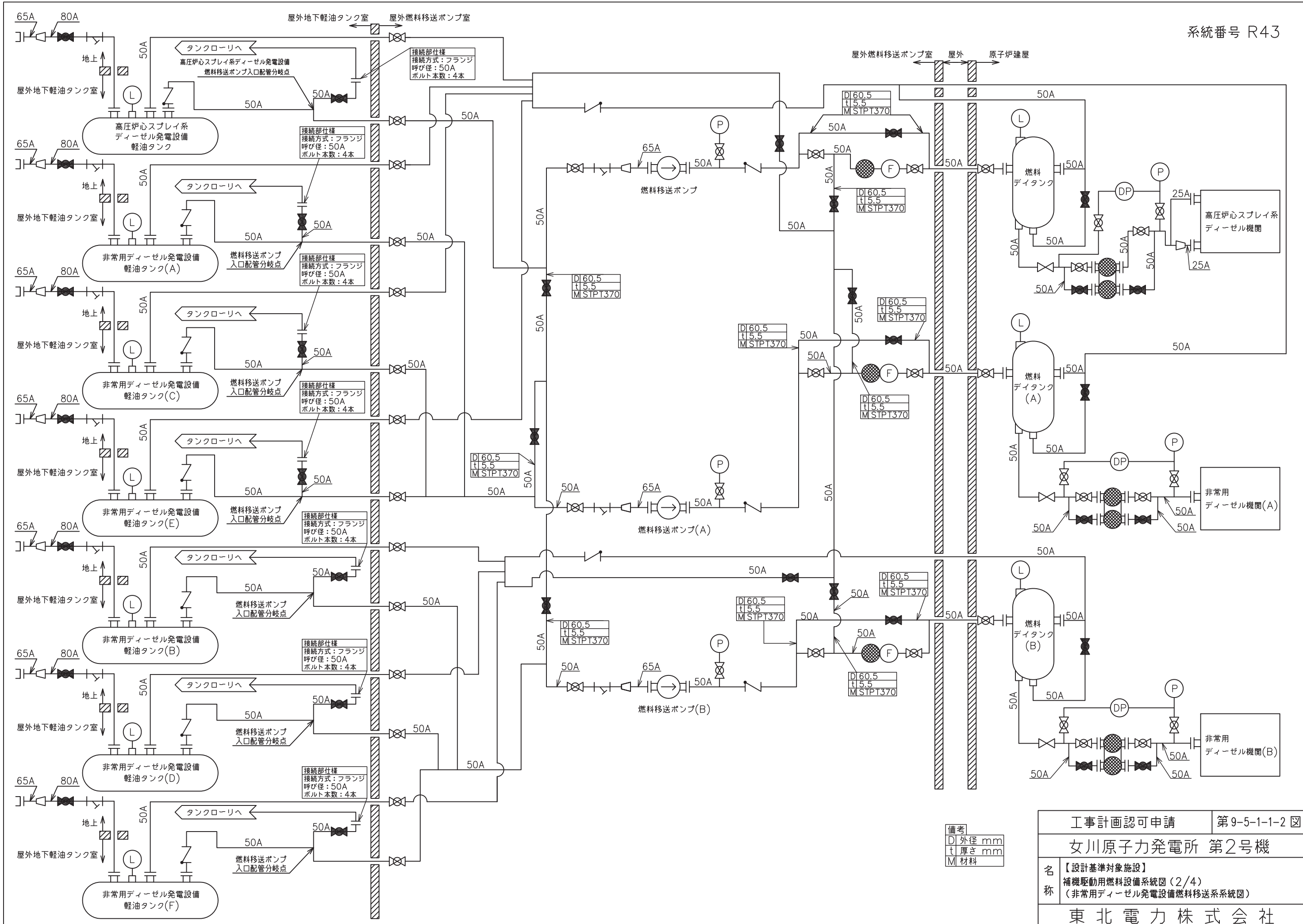
接続部仕様  
 接続形状 : フランジ  
 呼び径 : 50A  
 ボルト本数 : 4本



燃料補給対象設備

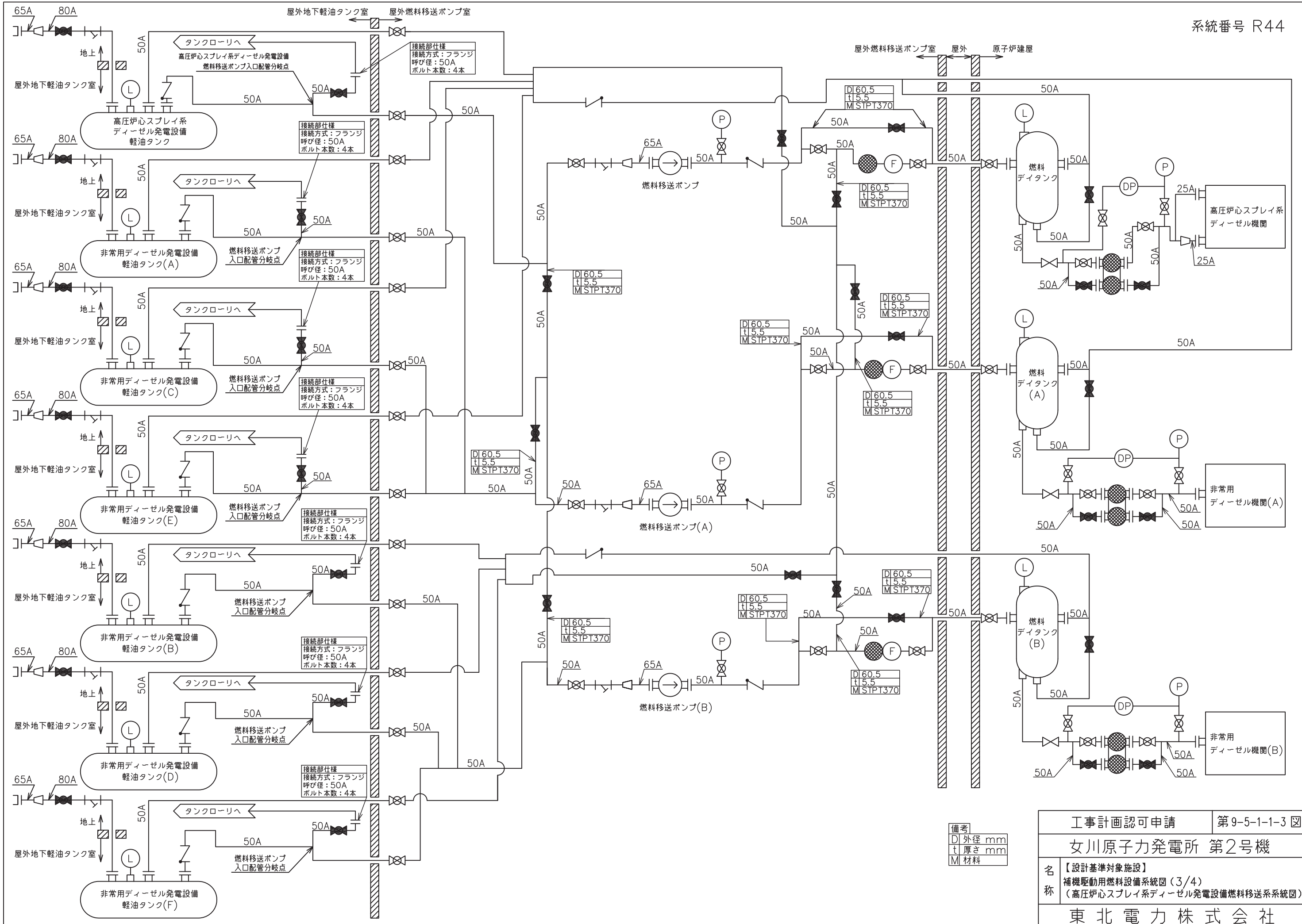
注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの払出口は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-5-1-1-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【設計基準対象施設】 補機駆動用燃料設備系統図(1/4)可搬
東北電力株式会社	



備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-5-1-1-2 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 補機駆動用燃料設備系統図 (2/4) (非常用ディーゼル発電設備燃料移送系統図)	
東北電力株式会社		
0501		



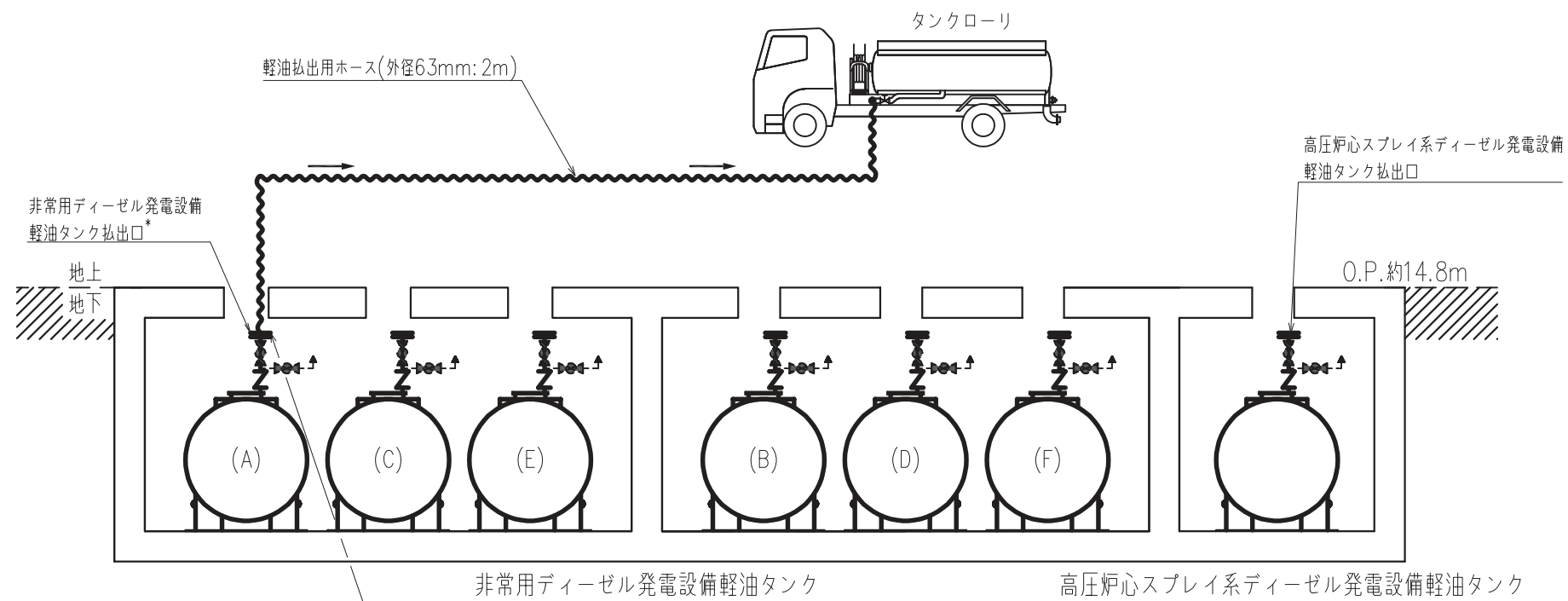
備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請		第9-5-1-1-3 図
女川原子力発電所 第2号機		
名称	【設計基準対象施設】 補機駆動用燃料設備系統図(3/4) (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)	
東北電力株式会社		
0501		

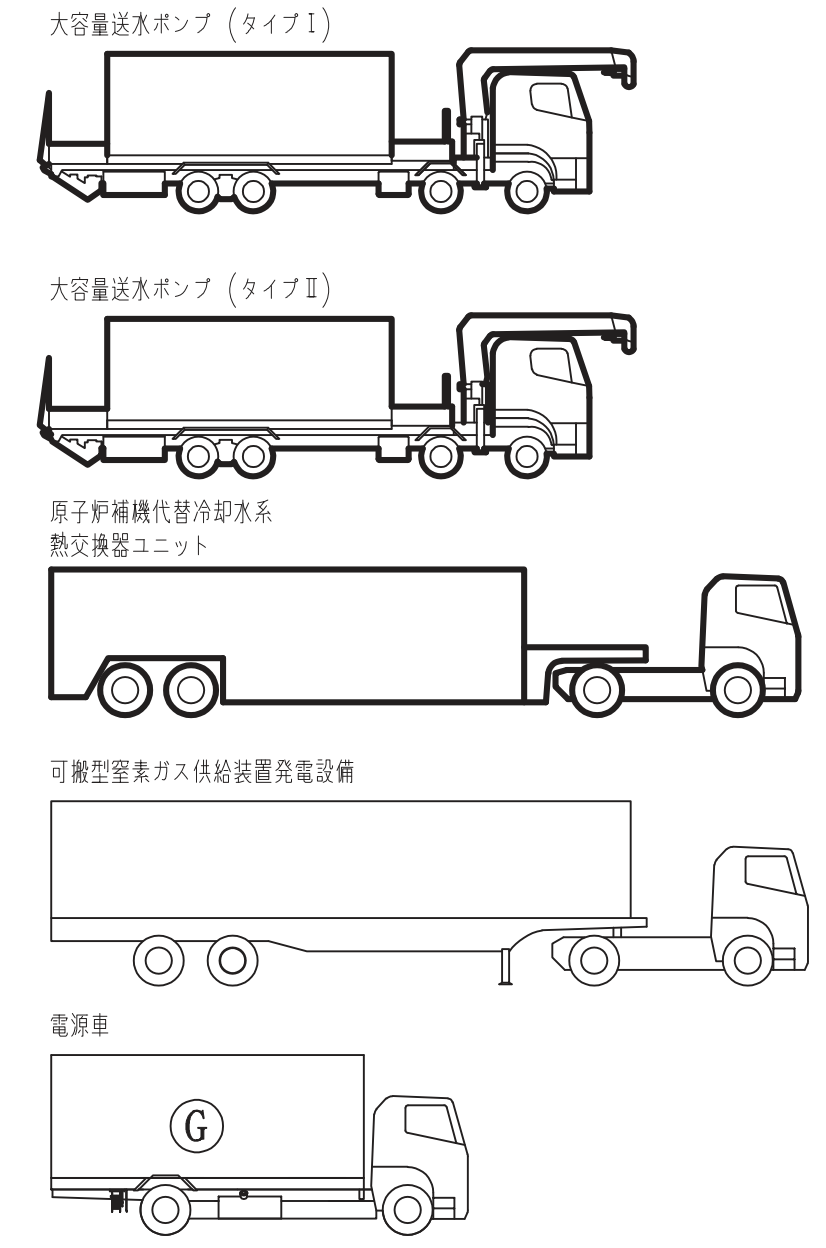
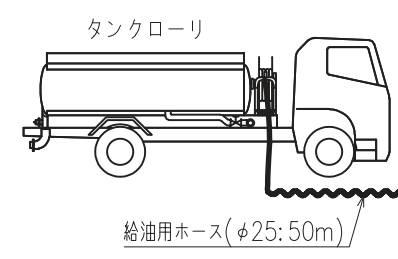
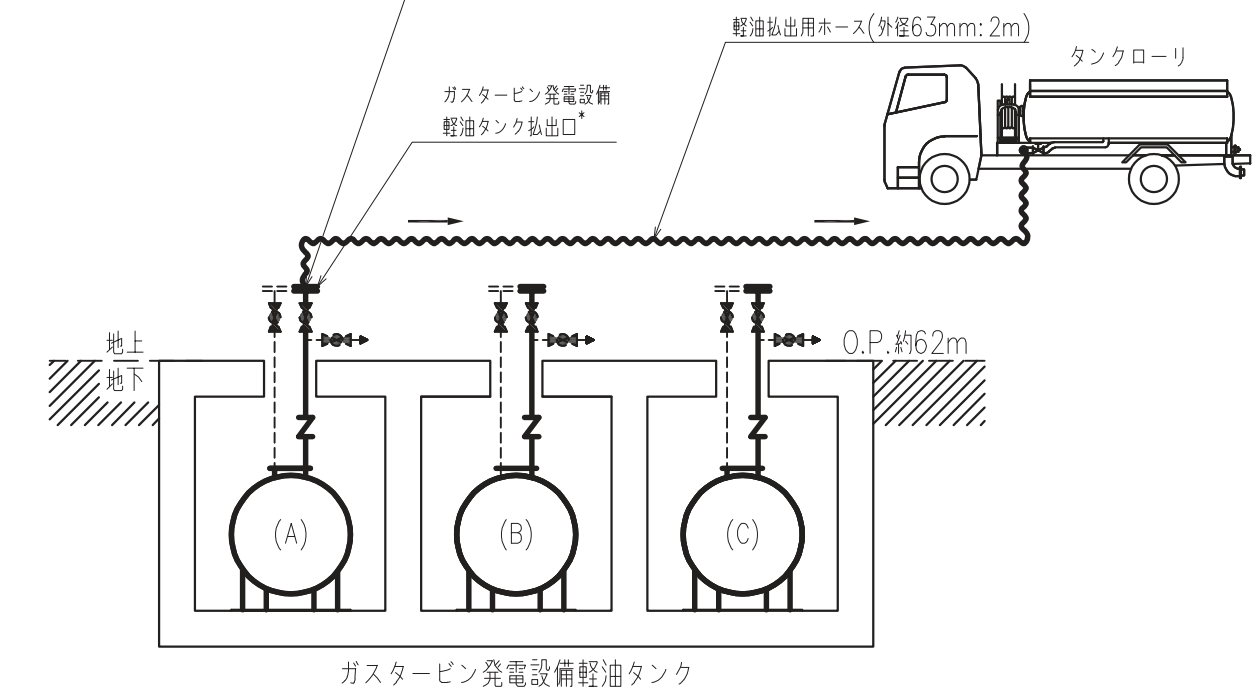








接続部仕様  
 接続形状 : フランジ  
 呼び径 : 50A  
 ボルト本数 : 4本

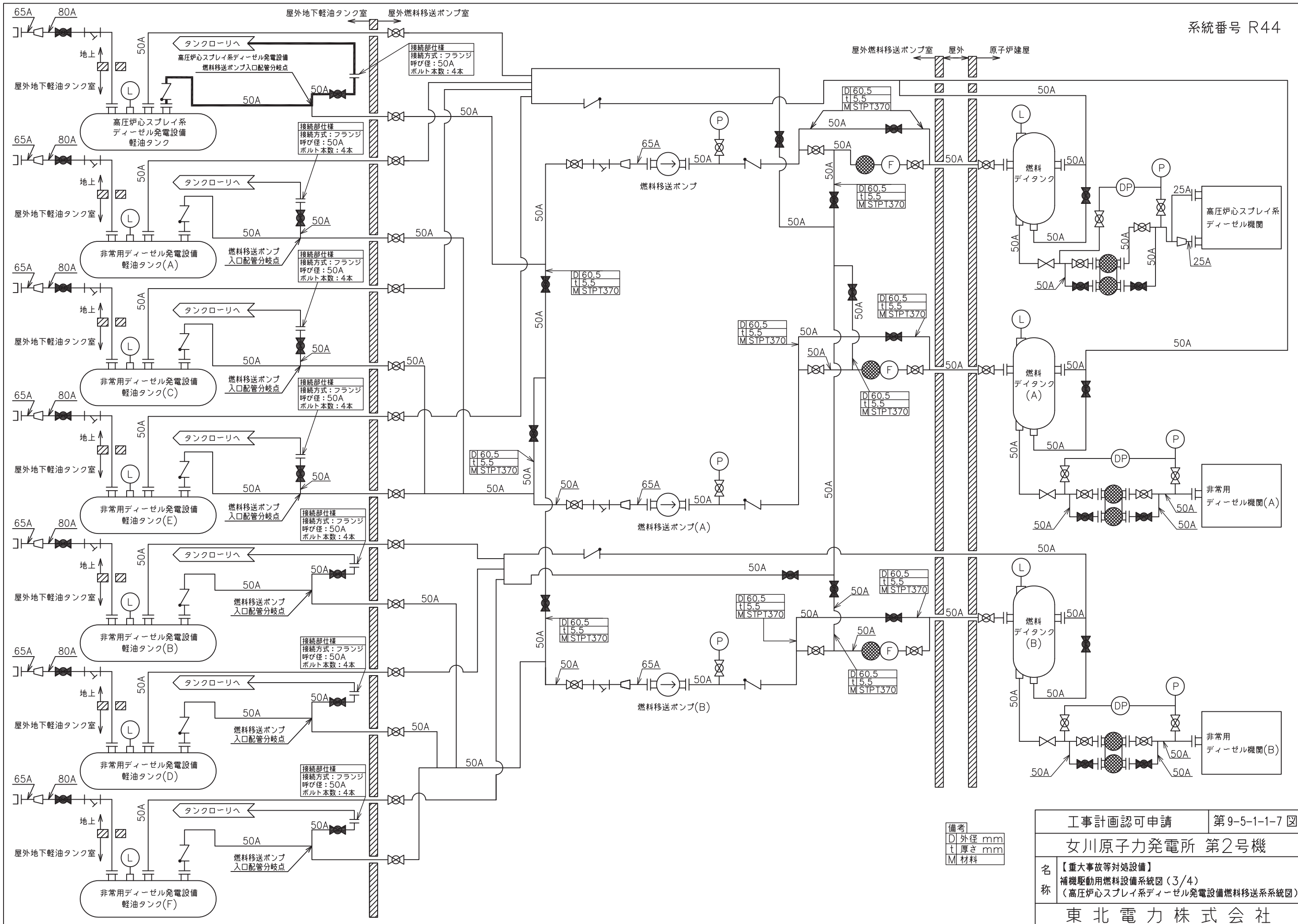


燃料補給対象設備

注 : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクから燃料補給できない場合は、ガスタービン発電設備軽油タンクから燃料補給する。  
 注記 \* : 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクの払出口は (A) を代表で記載する。

工事計画認可申請	第9-5-1-1-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 補機駆動用燃料設備系統図(1/4)可搬
東北電力株式会社	





備考  
 D 外径 mm  
 t 厚さ mm  
 M 材料

工事計画認可申請	第9-5-1-1-7 図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	【重大事故等対処設備】 補機駆動用燃料設備系統図 (3/4) (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系系統図)
東北電力株式会社	
0501	



工事計画認可申請 第9-5-1-2-1図

女川原子力発電所 第2号機

名称 大容量送水ポンプ(タイプI)  
(燃料タンク)構造図

東北電力株式会社

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0220



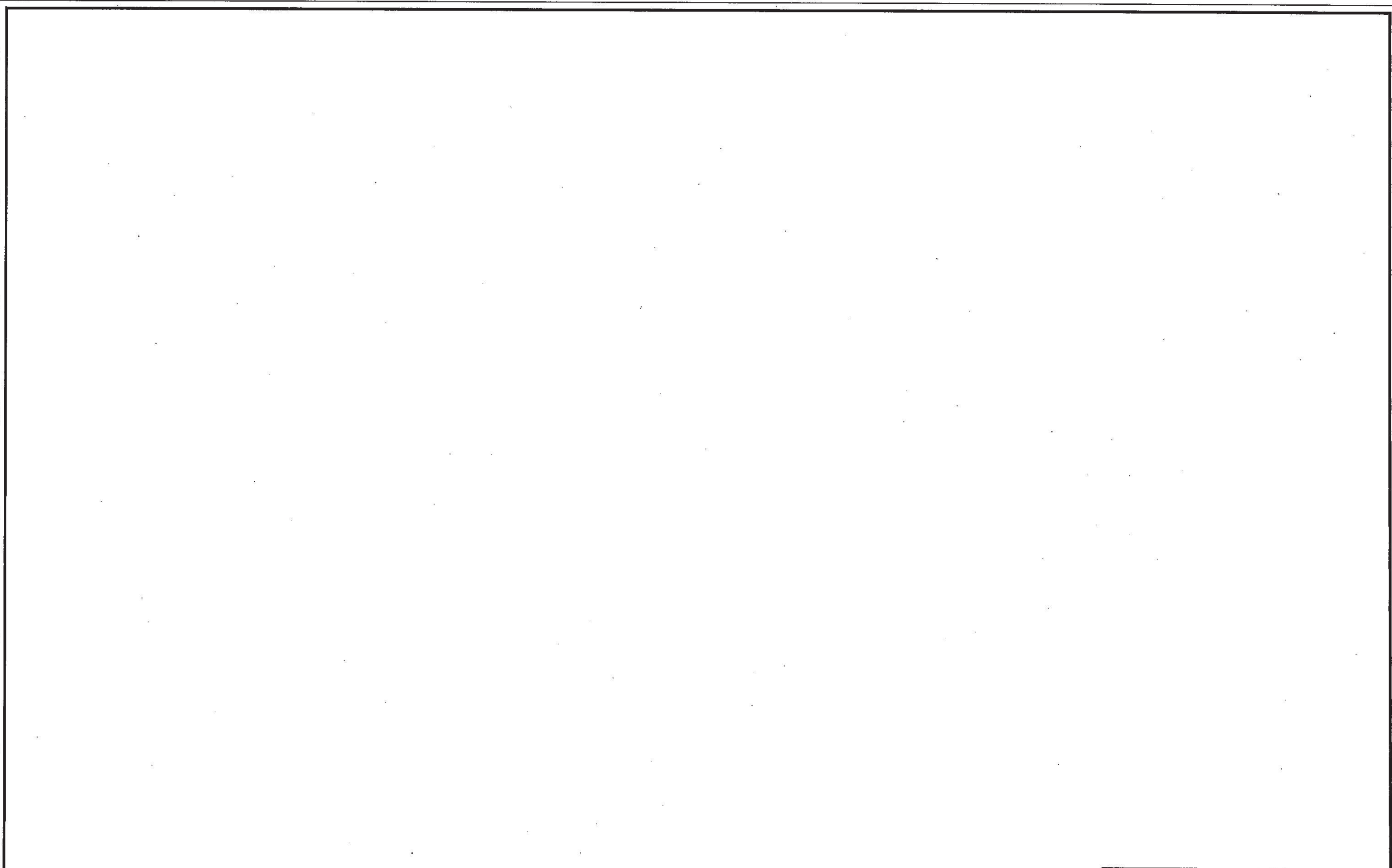
第 9-5-1-2-1 図 大容量送水ポンプ(タイプ I)(燃料タンク)構造図別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[大容量送水ポンプ(タイプ I)(燃料タンク)]

主 要 寸 法 (mm)		許 容 範 囲	根 拠
た	て 1480		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
横	540		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高	さ 640		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値を示す。



工事計画認可申請 第9-5-1-2-2図

女川原子力発電所 第2号機

名 大容量送水ポンプ(タイプⅡ)  
称 (燃料タンク)構造図

東北電力株式会社

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

0220

第9-5-1-2-2 図 大容量送水ポンプ(タイプII)(燃料タンク)構造図別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[大容量送水ポンプ(タイプII)(燃料タンク)]

主 要 寸 法 (mm)		許 容 範 囲	根 拠
た	て 1480		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
横	540		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高	さ 640		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。



工事計画認可申請 第9-5-1-2-3図

女川原子力発電所 第2号機

名 原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット  
称 (燃料タンク) 構造図

東北電力株式会社

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

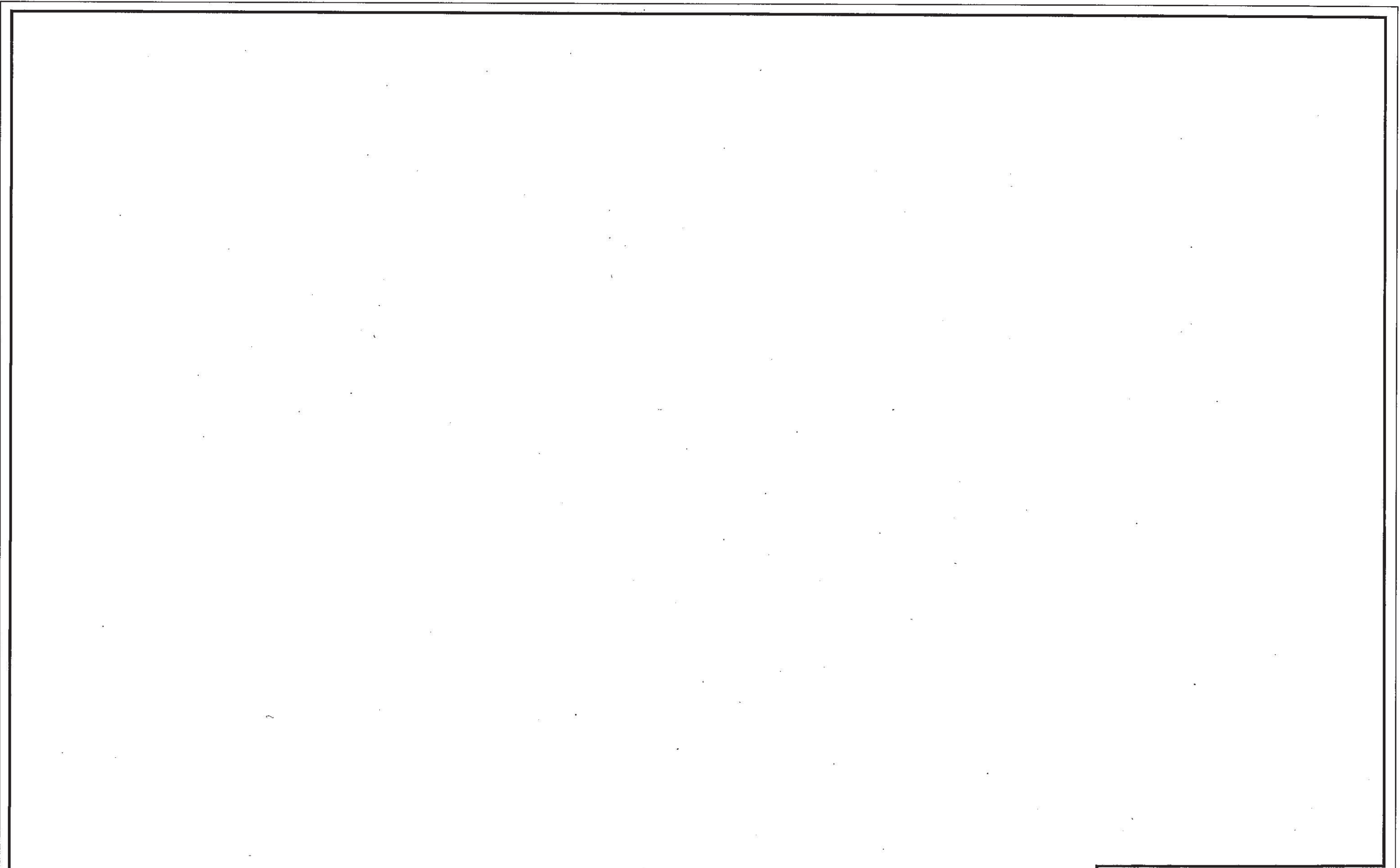
第 9-5-1-2-3 図 原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(燃料タンク)構造図別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット(燃料タンク)]

主 要 寸 法 (mm)	許 容 範 囲	根 拠
た て		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
横		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
高 さ		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



工事計画認可申請 第9-5-1-2-4図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	タンクローリ構造図
東北電力株式会社	

第9-5-1-2-4 図 タンクローリ構造図別紙

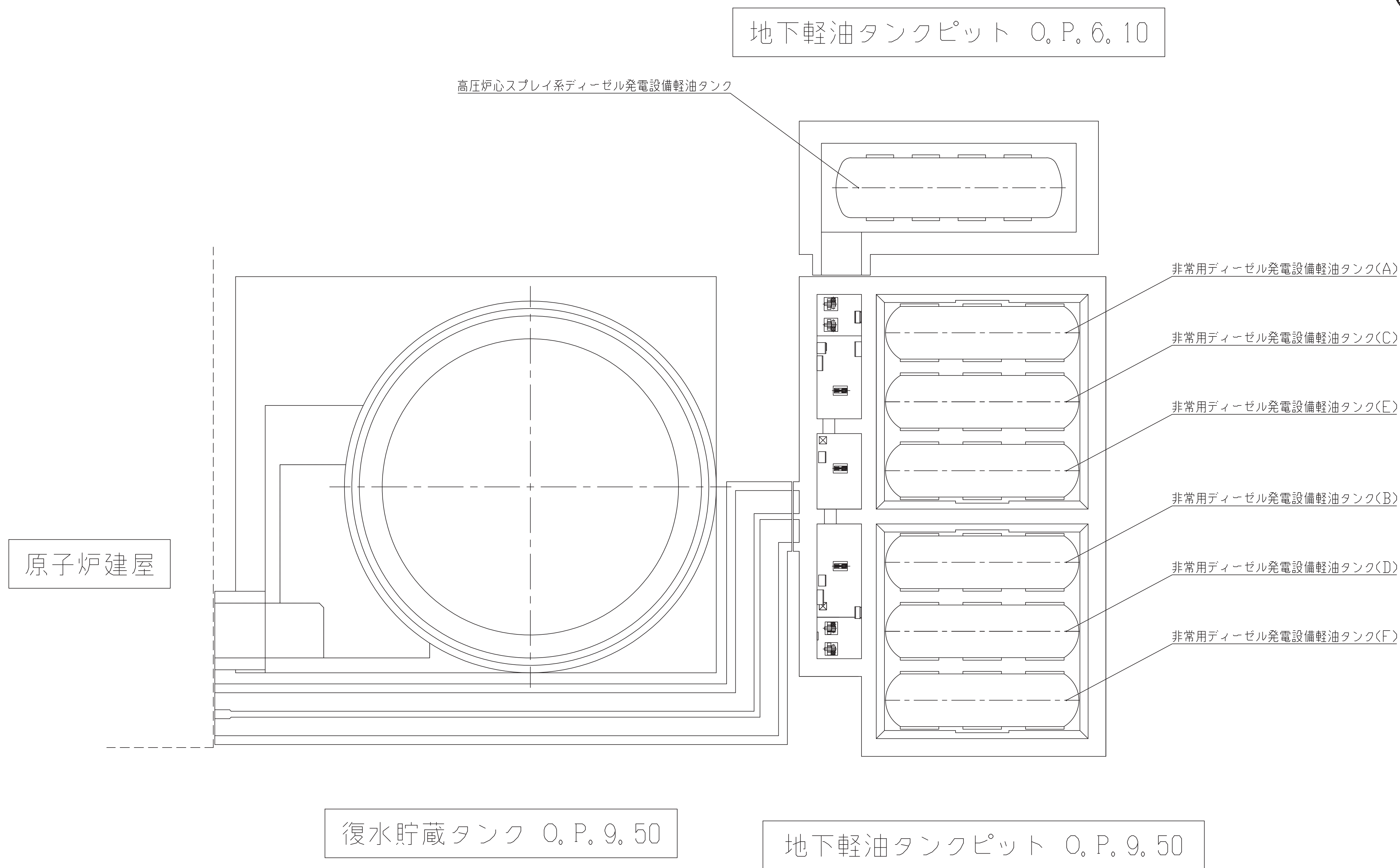
工事計画記載の公称値の許容範囲

[タンクローリ]

主 要 寸 法 (mm)		許 容 範 囲	根 拠
洞 長 径	1800		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
洞 短 径	930		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
洞 板 厚 さ	3.2	+規定しない -0.4mm	消防法
鏡 板 厚 さ	3.2	+規定しない -0.4mm	消防法
鏡 板 の 形 状 に 係 る 寸 法	(鏡板長径) 1800		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
	(鏡板短径の 2分の1) 65		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
排出口管台外径	136.4		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
排出口管台厚さ	3.2	+規定しない -0.4mm	消防法
マンホール 管 台 外 径	406.4		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
マンホール 管 台 厚 さ	3.2	+規定しない -0.4mm	消防法
マンホール ふ た 厚 さ	3.2	+規定しない -0.4mm	消防法
全 長	3350		製造能力, 製造実績を考慮した メーカー基準
車 両 全 長	5920	—	概略寸法のため規定しない
車 両 全 幅	2200	—	概略寸法のため規定しない
車 両 高 さ	2420	—	概略寸法のため規定しない

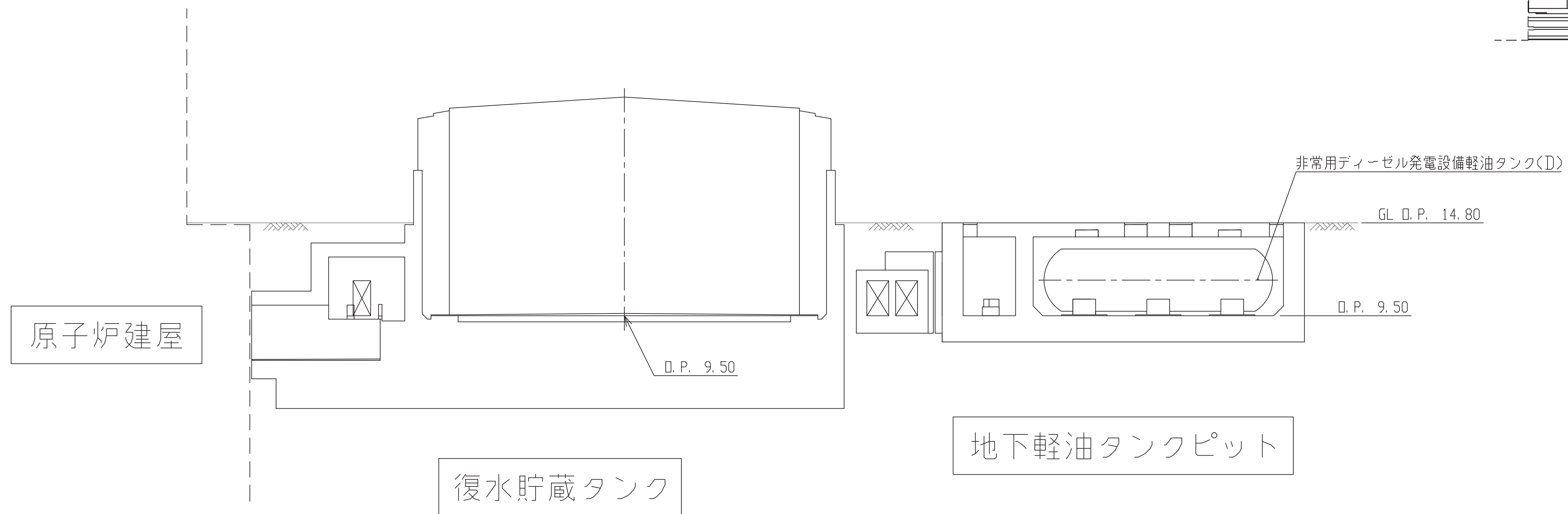
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。

枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

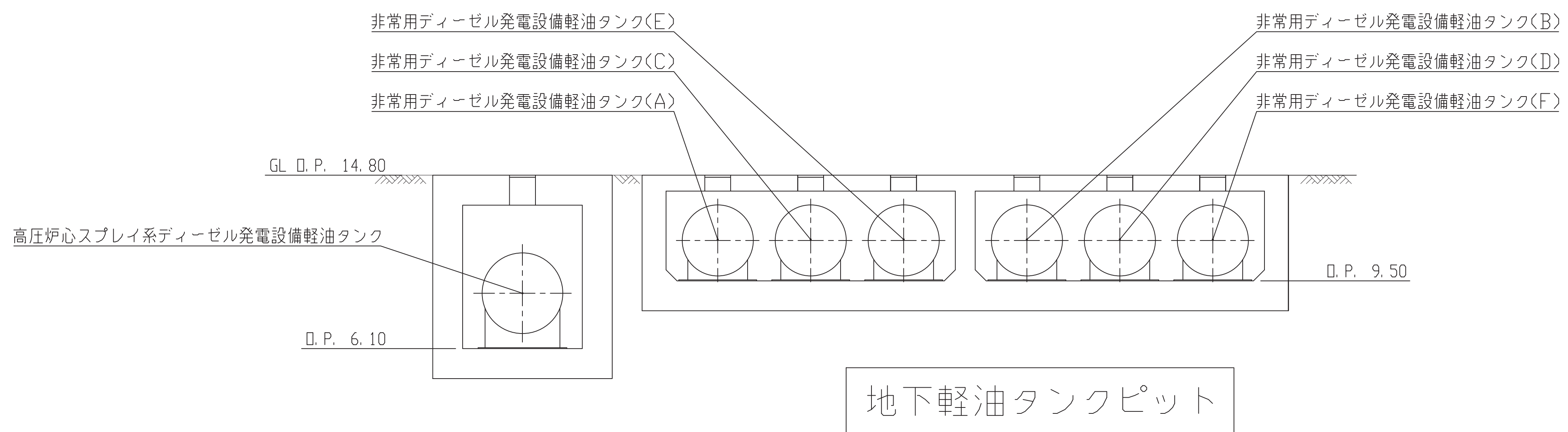


注：寸法はmを示す。

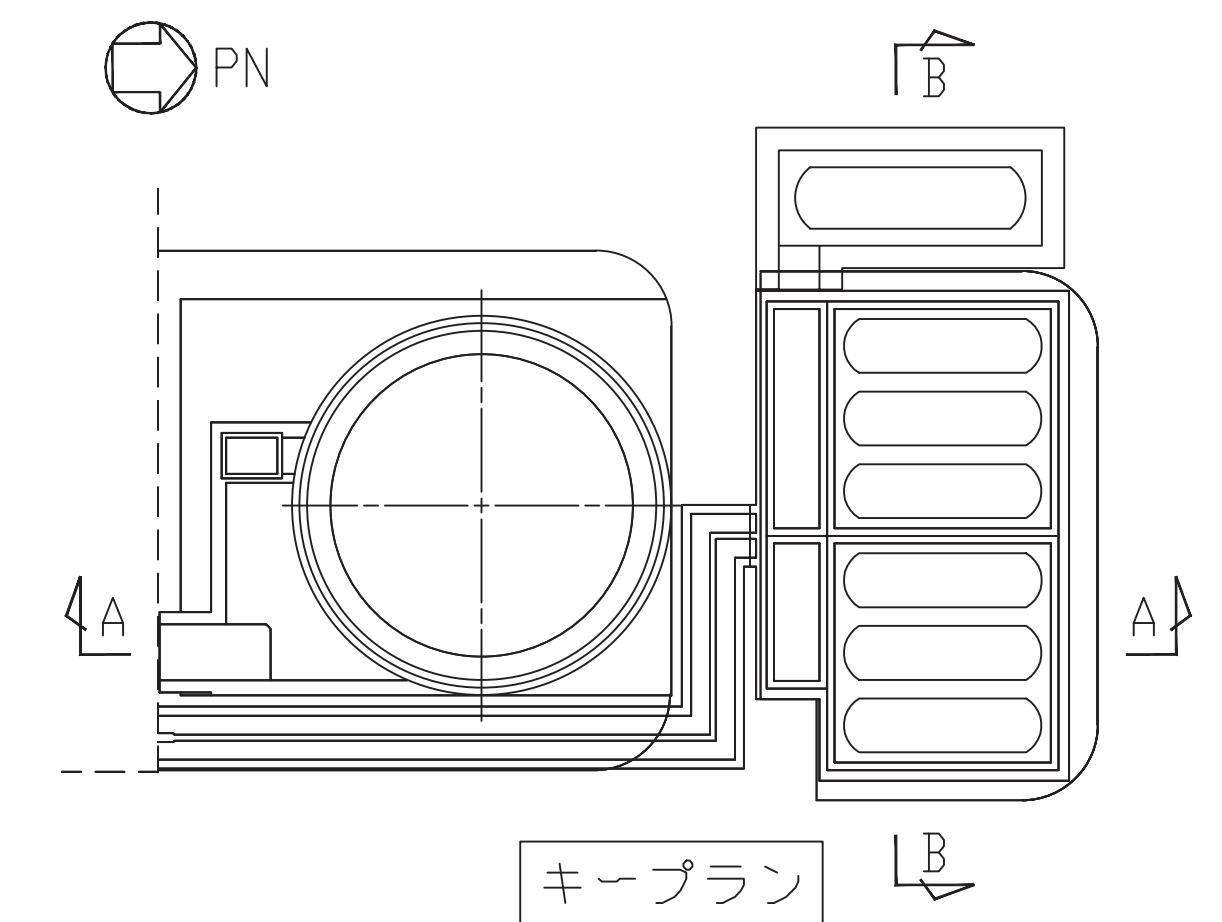
工事計画認可申請	第9-5-1-3-1 図
女川原子力発電所	第2号機
名	補機駆動用燃料設備
称	機器の配置を明示した図面(その1)
東北電力株式会社	



A-A断面図



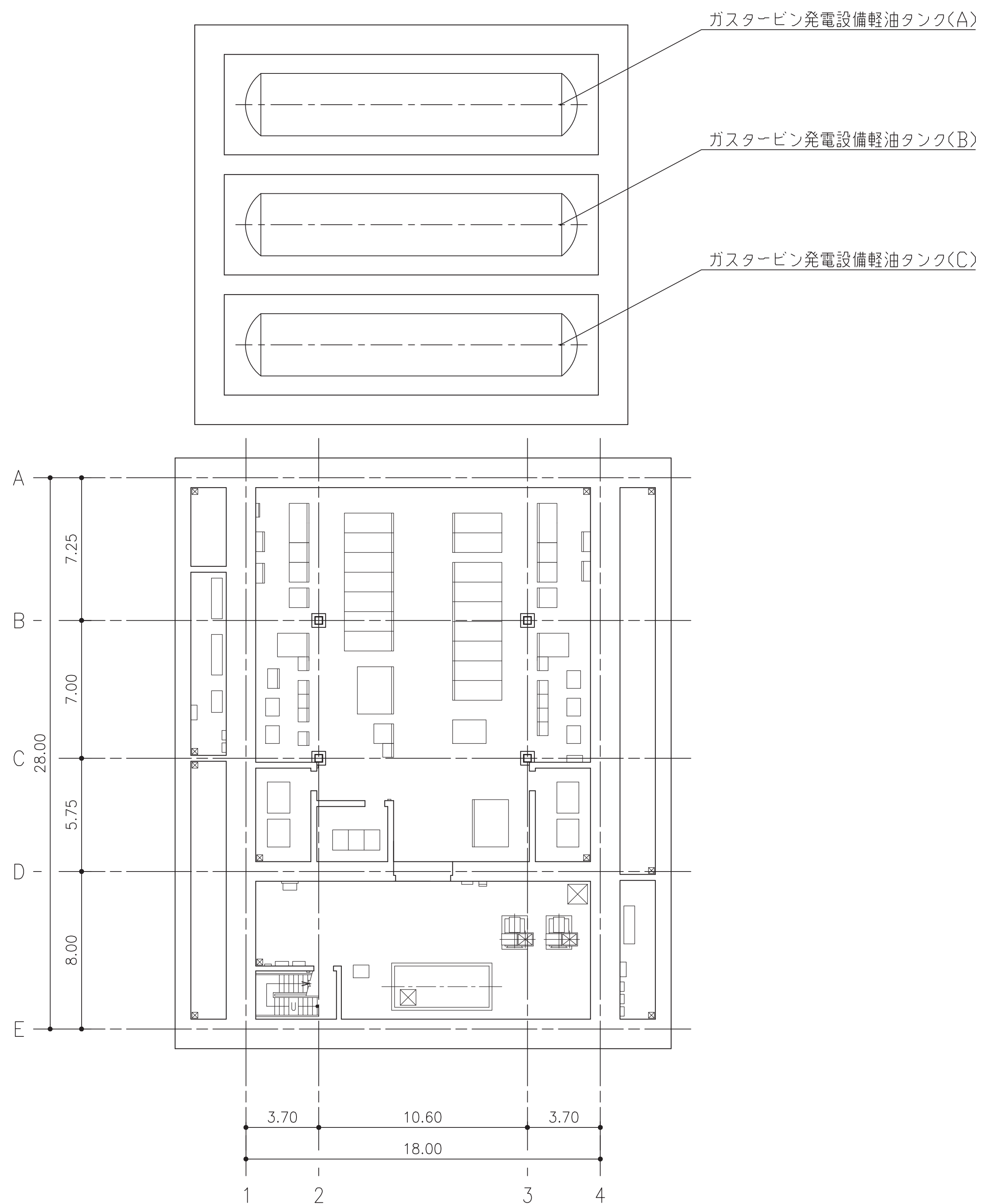
B-B断面図



注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-5-1-3-2図
女川原子力発電所	第2号機
名	補機駆動用燃料設備
称	機器の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	

地下軽油タンクピット O. P. 56. 70

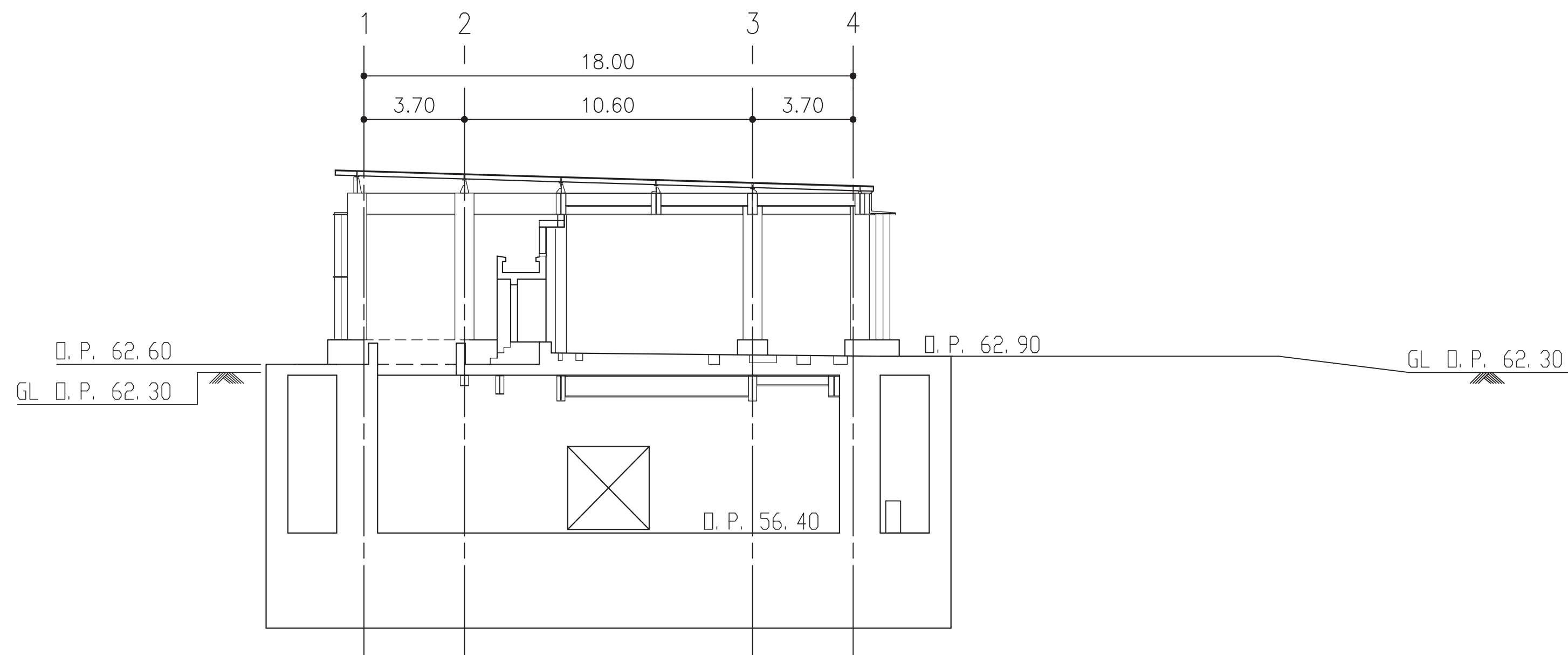


緊急用電気品建屋 O. P. 56. 40

注：寸法はmを示す。

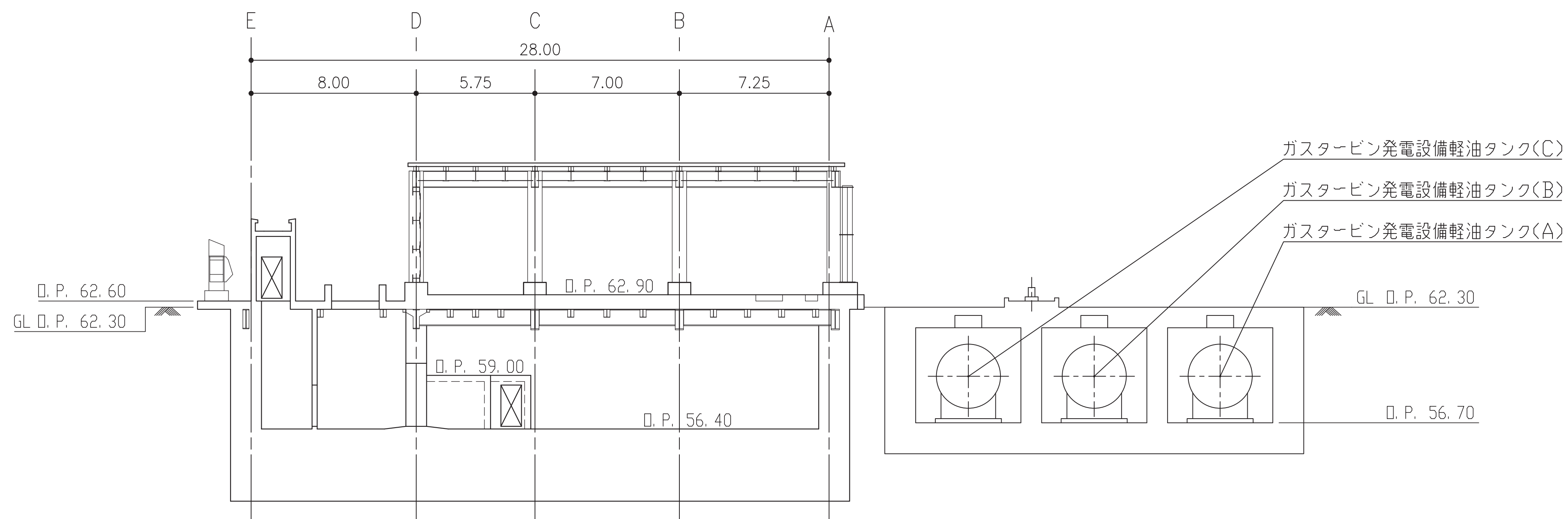
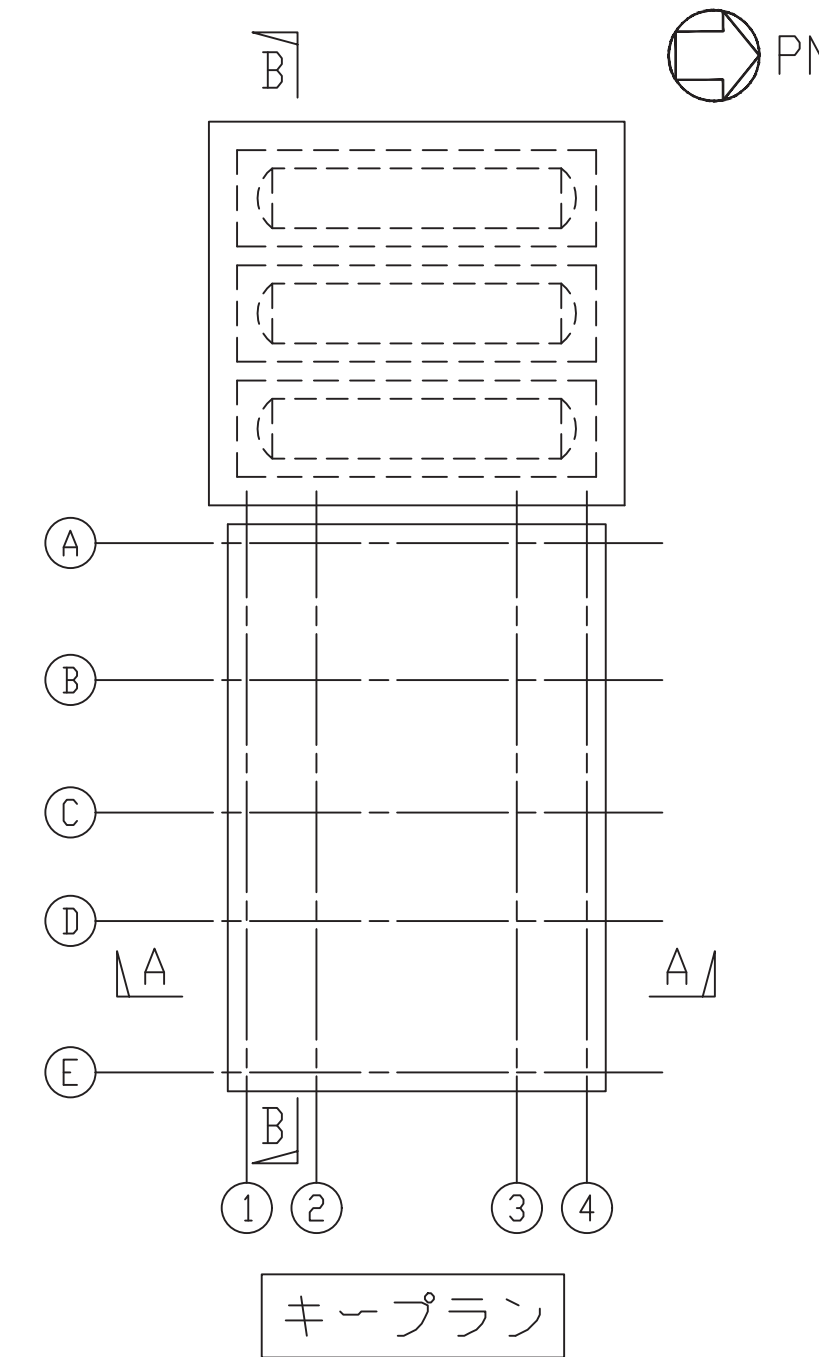
工事計画認可申請	第9-5-1-3-3図
女川原子力発電所	第2号機
名称	補機駆動用燃料設備 機器の配置を明示した図面（その3）
東北電力株式会社	





緊急用電気品建屋

A-A断面図



緊急用電気品建屋

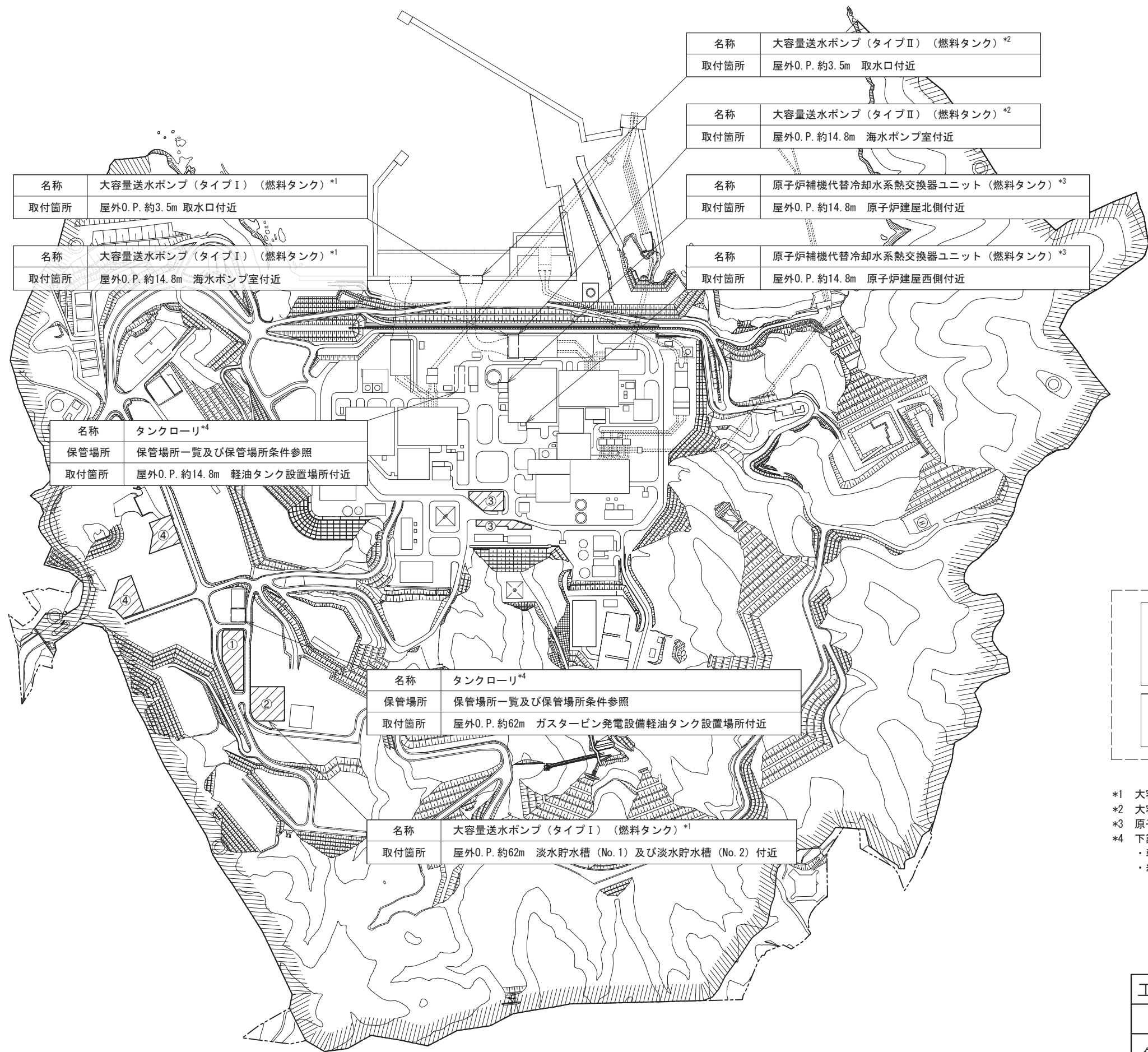
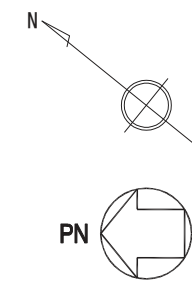
地下軽油タンクピット

B-B断面図

注：寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-5-1-3-4図
女川原子力発電所	第2号機
名	補機駆動用燃料設備
称	機器の配置を明示した図面(その4)
東北電力株式会社	





名称	大容量送水ポンプ (タイプ I) (燃料タンク) *1
取付箇所	屋外0. P. 約3. 5m 取水口付近

名称	大容量送水ポンプ (タイプ I) (燃料タンク) *1
取付箇所	屋外0. P. 約14. 8m 海水ポンプ室付近

名称	大容量送水ポンプ (タイプ II) (燃料タンク) *2
取付箇所	屋外0. P. 約3. 5m 取水口付近

名称	大容量送水ポンプ (タイプ II) (燃料タンク) *2
取付箇所	屋外0. P. 約14. 8m 海水ポンプ室付近

名称	原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット (燃料タンク) *3
取付箇所	屋外0. P. 約14. 8m 原子炉建屋北側付近

名称	原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニット (燃料タンク) *3
取付箇所	屋外0. P. 約14. 8m 原子炉建屋西側付近

名称	タンクローリ*4
保管場所	保管場所一覧及び保管場所条件参照
取付箇所	屋外0. P. 約14. 8m 軽油タンク設置場所付近

名称	タンクローリ*4
保管場所	保管場所一覧及び保管場所条件参照
取付箇所	屋外0. P. 約62m ガスタービン発電設備軽油タンク設置場所付近

名称	大容量送水ポンプ (タイプ I) (燃料タンク) *1
取付箇所	屋外0. P. 約62m 淡水貯水槽 (No. 1) 及び淡水貯水槽 (No. 2) 付近

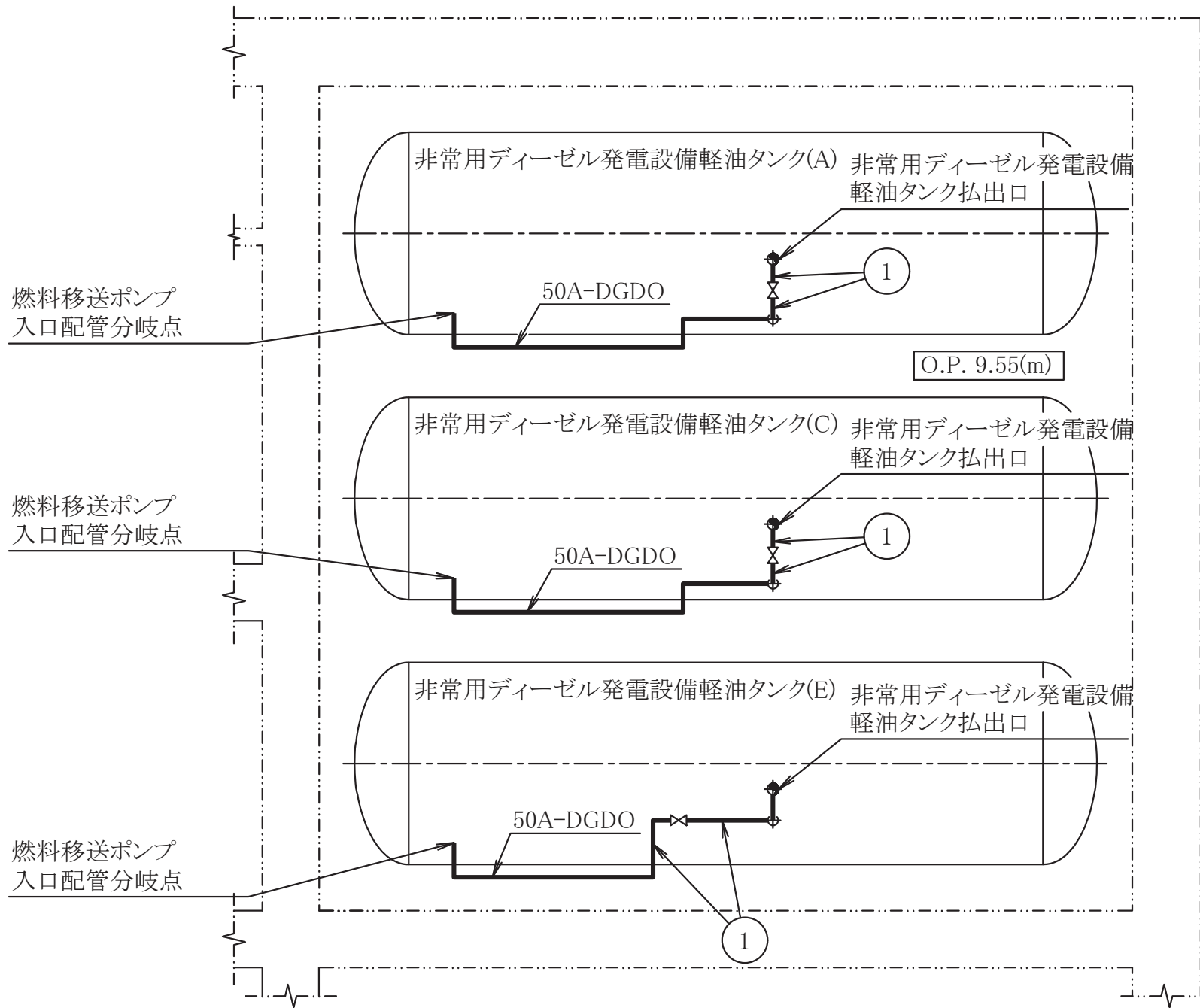
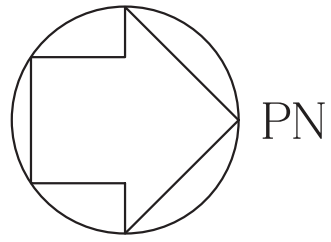
保管場所一覧	
①第1保管エリア	屋外0. P. 約62m
②第2保管エリア	屋外0. P. 約62m
③第3保管エリア	屋外0. P. 約14. 8m
④第4保管エリア	屋外0. P. 約62m

保管場所条件 (タンクローリ)	
②, ③及び④にそれぞれ1個, 合計3個保管する。	

- \*1 大容量送水ポンプ (タイプ I) の付属設備である。
- \*2 大容量送水ポンプ (タイプ II) の付属設備である。
- \*3 原子炉補機代替冷却水系熱交換器ユニットの付属設備である。
- \*4 下記設備は, タンクローリと同一箇所に保管, 取付。  
 ・軽油払出用ホース (外径63mm : 2m)  
 ・給油用ホース (Φ25 : 50m)

: 保管場所  
 : 取付箇所

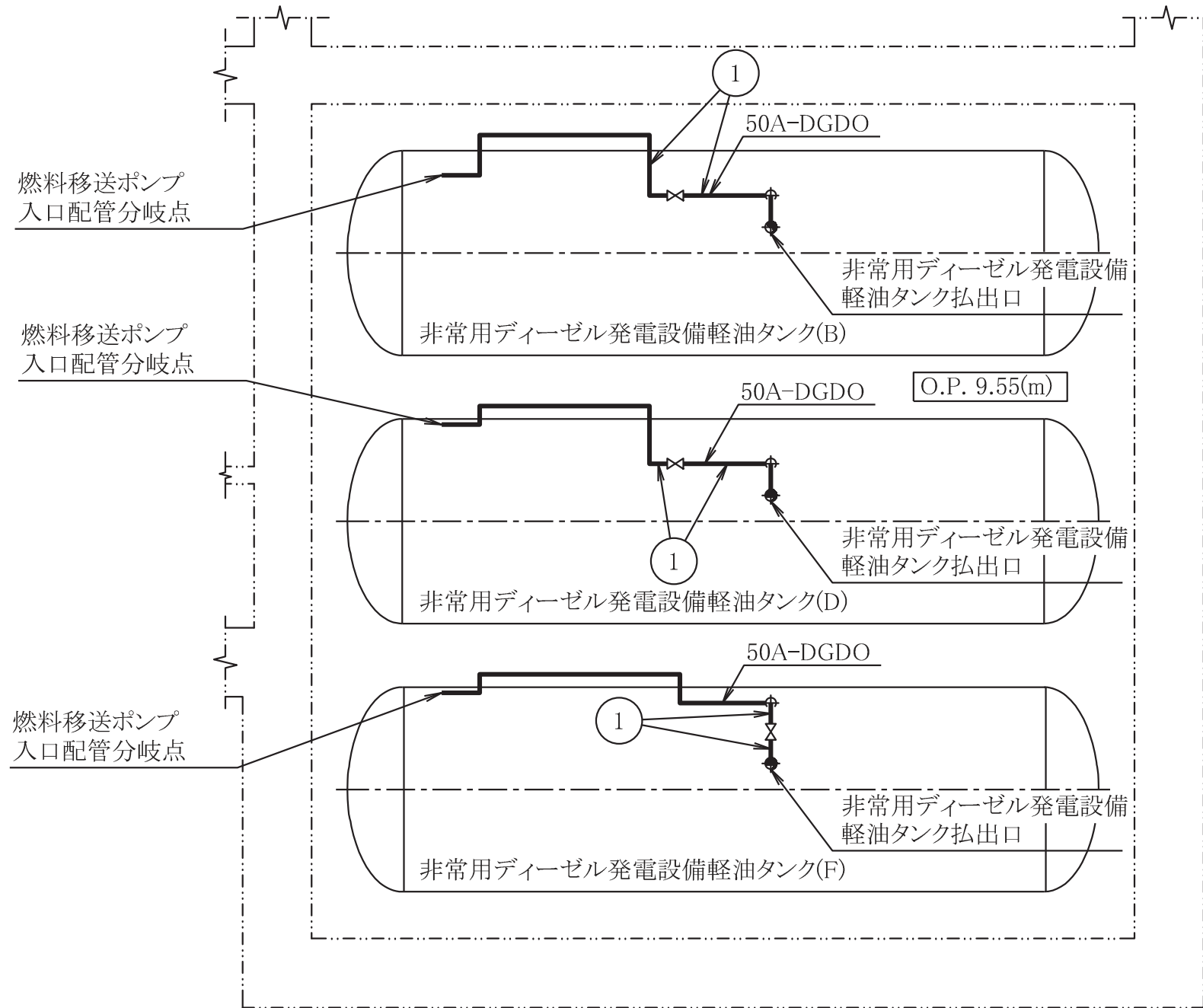
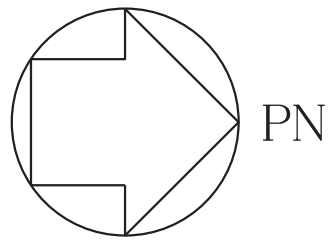
工事計画認可申請	第9-5-1-3-5図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	補機駆動用燃料設備 機器の配置を明示した図面 (その5)
東北電力株式会社	



注1:燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク  
払出口は非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備,  
可搬型代替交流電源設備,可搬型代替直流電源設備,可搬型窒素ガス供給  
装置発電設備)と兼用。

注2:寸法はmを示す。

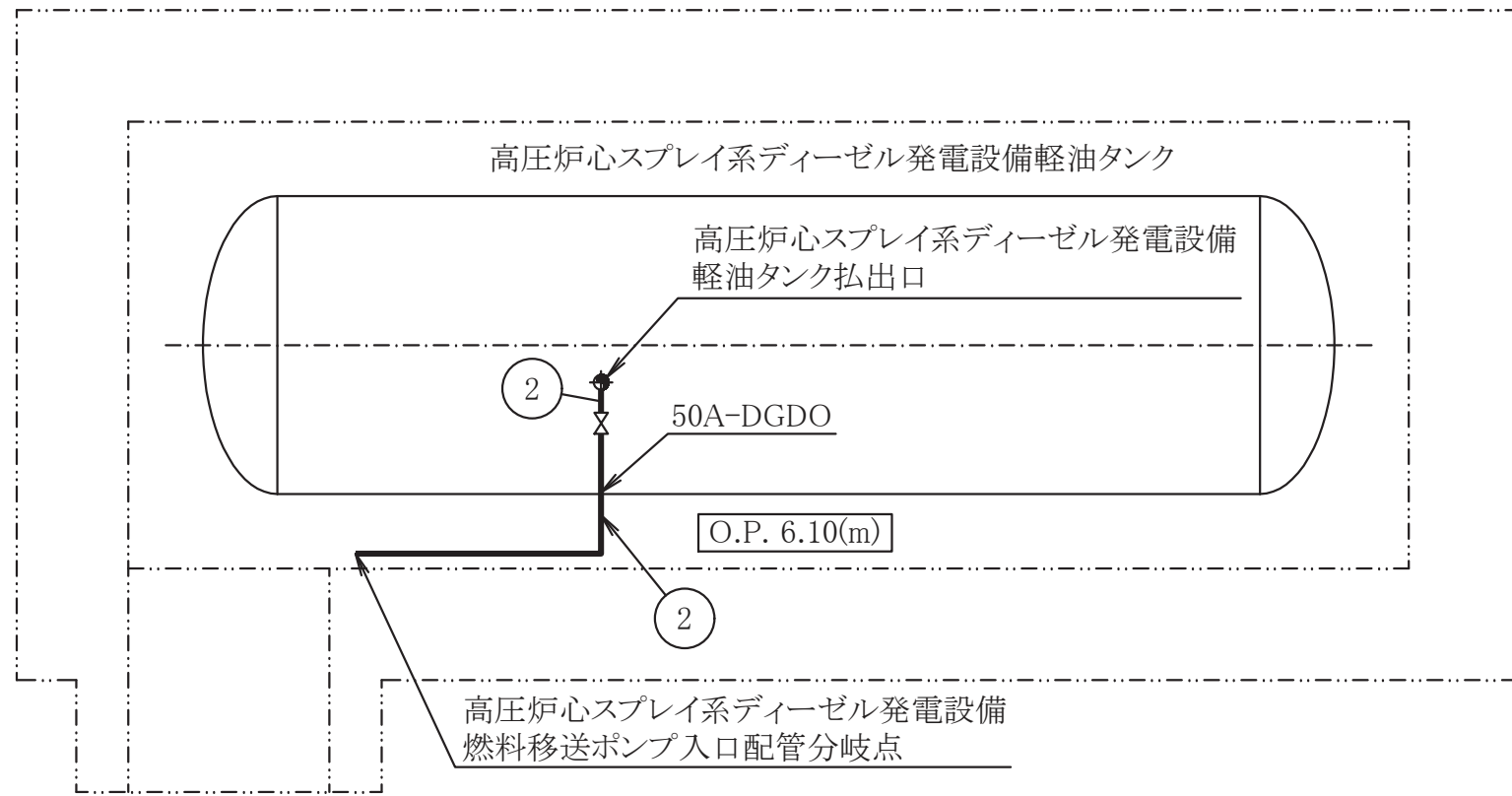
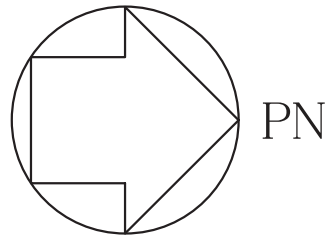
工事計画認可申請	第9-5-1-4-1図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	補機駆動用燃料設備 主配管の配置を明示した図面(その1)
東北電力株式会社	
DGDO	0507



注1:燃料移送ポンプ入口配管分岐点～非常用ディーゼル発電設備軽油タンク  
払出口は非常用電源設備の非常用発電装置(ガスタービン発電設備,  
可搬型代替交流電源設備,可搬型代替直流電源設備,可搬型窒素ガス供給  
装置発電設備)と兼用。

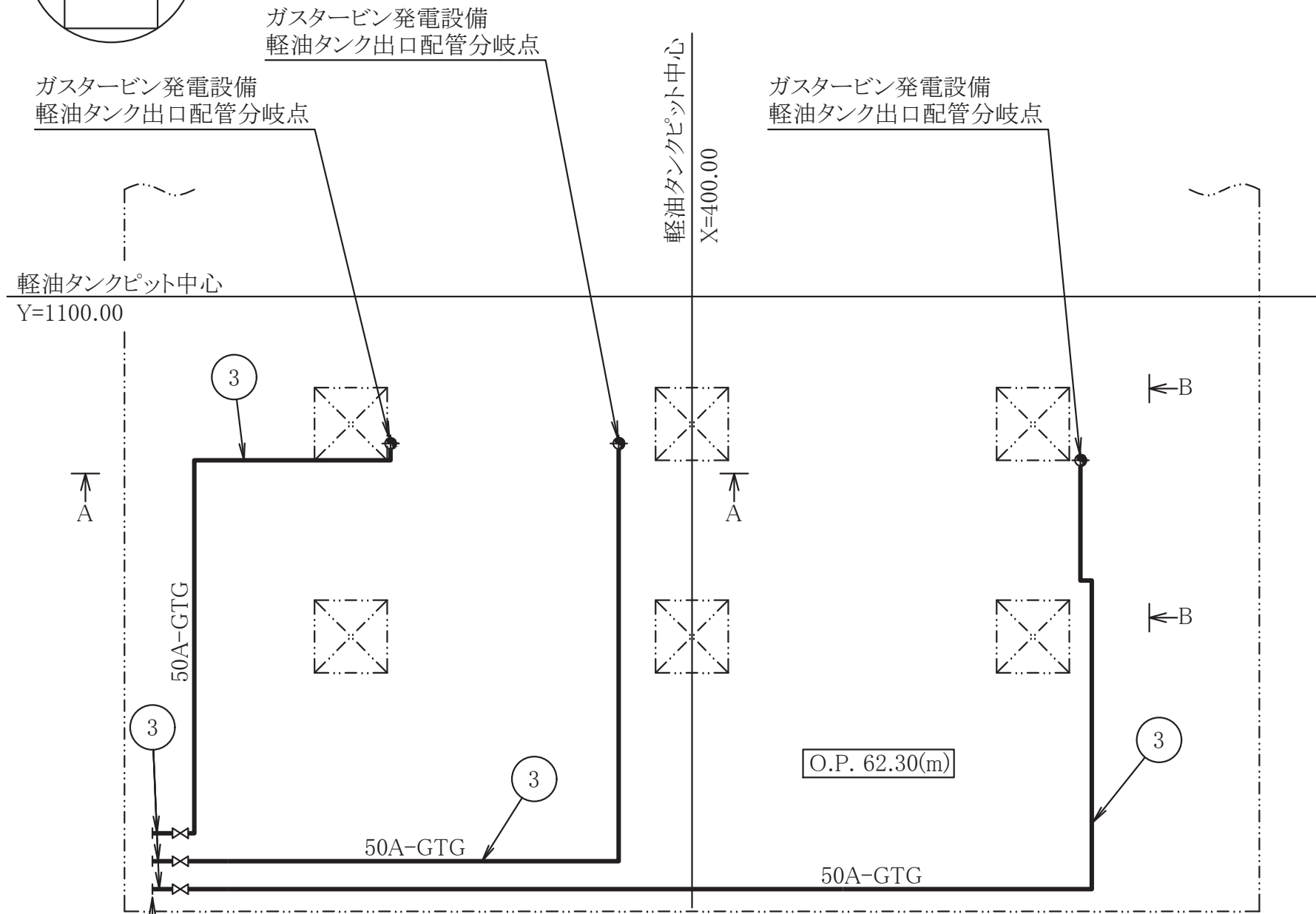
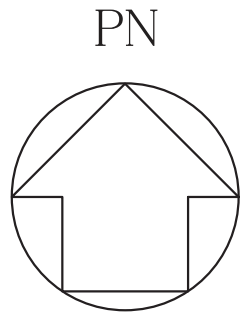
注2:寸法はmを示す。

工事計画認可申請	第9-5-1-4-2図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	補機駆動用燃料設備 主配管の配置を明示した図面(その2)
東北電力株式会社	
DGDO	0511



注1: 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点～  
 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口は非常用電源設備の  
 非常用発電装置(ガスタービン発電設備, 可搬型代替交流電源設備,  
 可搬型代替直流電源設備, 可搬型窒素ガス供給装置発電設備)と兼用。  
 注2: 寸法はmを示す。

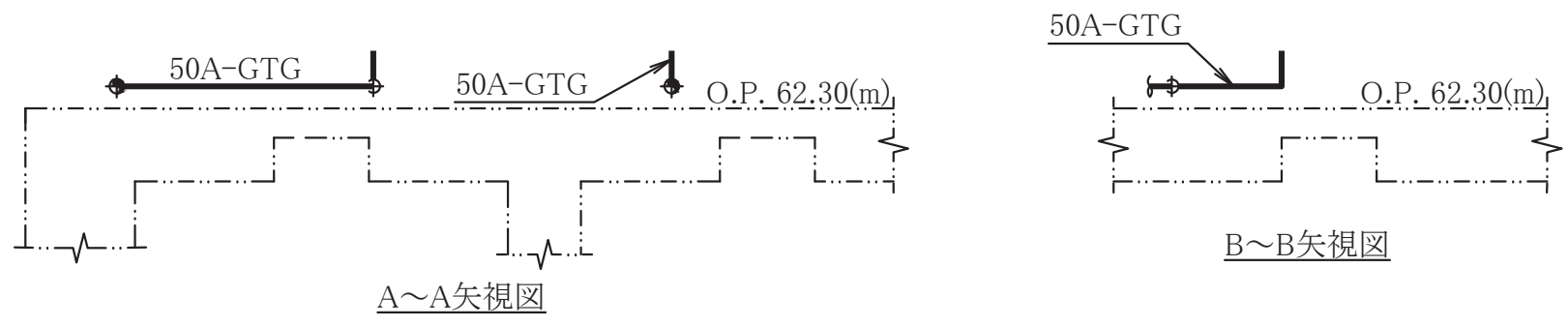
工事計画認可申請	第9-5-1-4-3図
女川原子力発電所 第2号機	
名称	補機駆動用燃料設備 主配管の配置を明示した図面(その3)
東北電力株式会社	
DGDO	0507



No.	名称	部品	外径*	厚さ*	材質
①	燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 非常用ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	管	60.5	5.5	STPT410
②	高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ入口配管分岐点 ～ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンク払出口	管	60.5	5.5	STPT410
③	ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点 ～ ガスタービン発電設備軽油タンク払出口	管	60.5	5.5	STS410

\*外径及び厚さは公称値(mm)を示す。

注1: ガスタービン発電設備軽油タンク出口配管分岐点～ガスタービン発電設備軽油タンク払出口は非常用電源設備の非常用発電装置(可搬型代替交流電源設備, 可搬型代替直流電源設備, 可搬型窒素ガス供給装置発電設備)と兼用。  
注2: 寸法はmを示す。



工事計画認可申請	第9-5-1-4-4図
女川原子力発電所	第2号機
名称	補機駆動用燃料設備 主配管の配置を明示した図面(その4)
東北電力株式会社	
GTG	0507

第 9-5-1-4-1~4 図 補機駆動用燃料設備 主配管の配置を明示した図面(その 1~4)別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管NO. 1, 2\*

主 要 寸 法 (mm)		許 容 範 囲	根 拠
外 径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 6 による材料公差
厚 さ	5.5	±12.5%	同上

管NO. 3\*

主 要 寸 法 (mm)		許 容 範 囲	根 拠
外 径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 5 による材料公差
厚 さ	5.5	±12.5%	同上

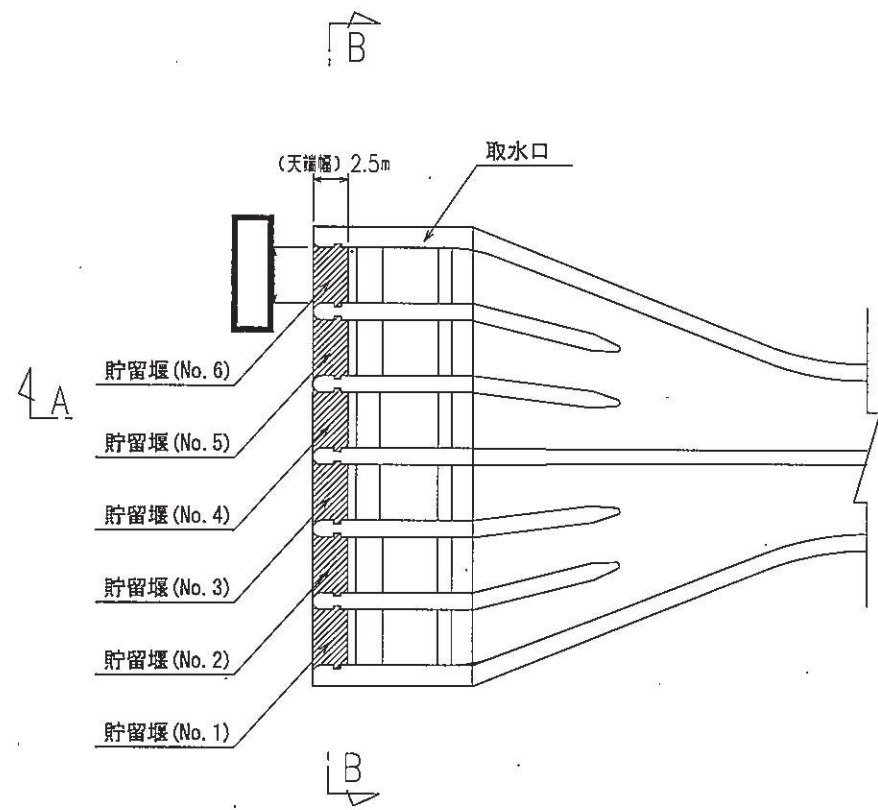
注：主要寸法は、工事計画記載の公称値。

注記\*：主配管の配置を明示した図面の管NO.を示す。

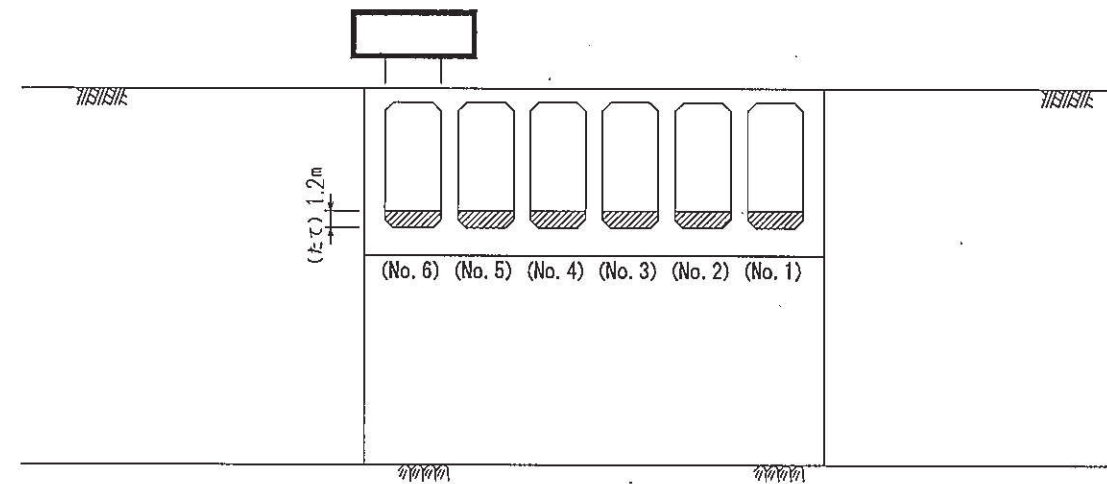
## 9.6 非常用取水設備

## 9.6.1 取水設備

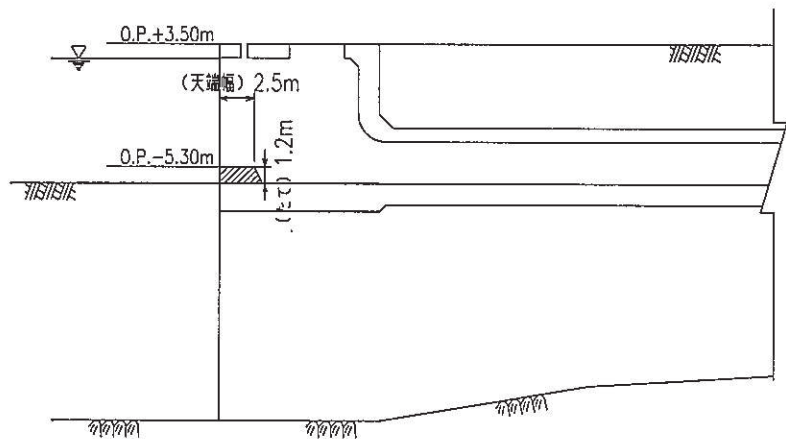




平面図

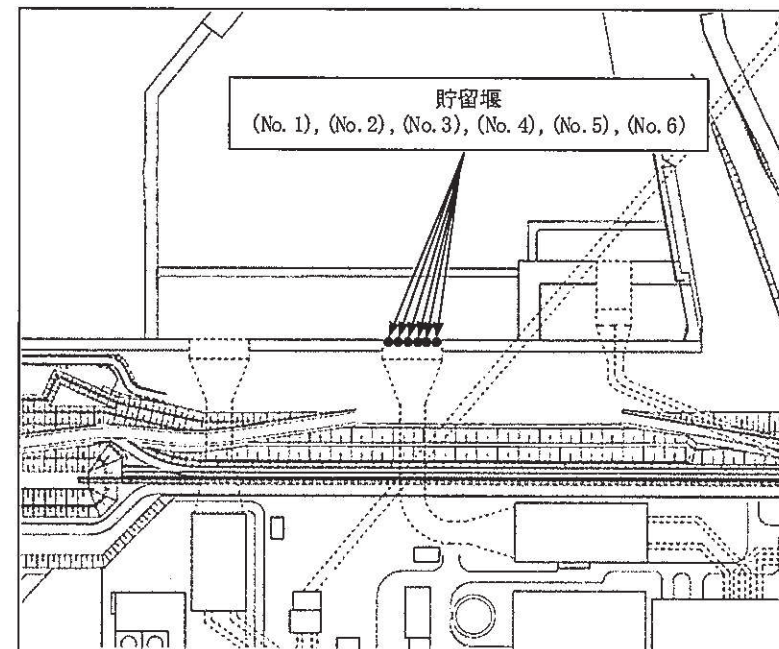


B-B 断面図



A-A 断面

KEY-PLAN



枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。

\*: 特記なき寸法は公称値を示す。

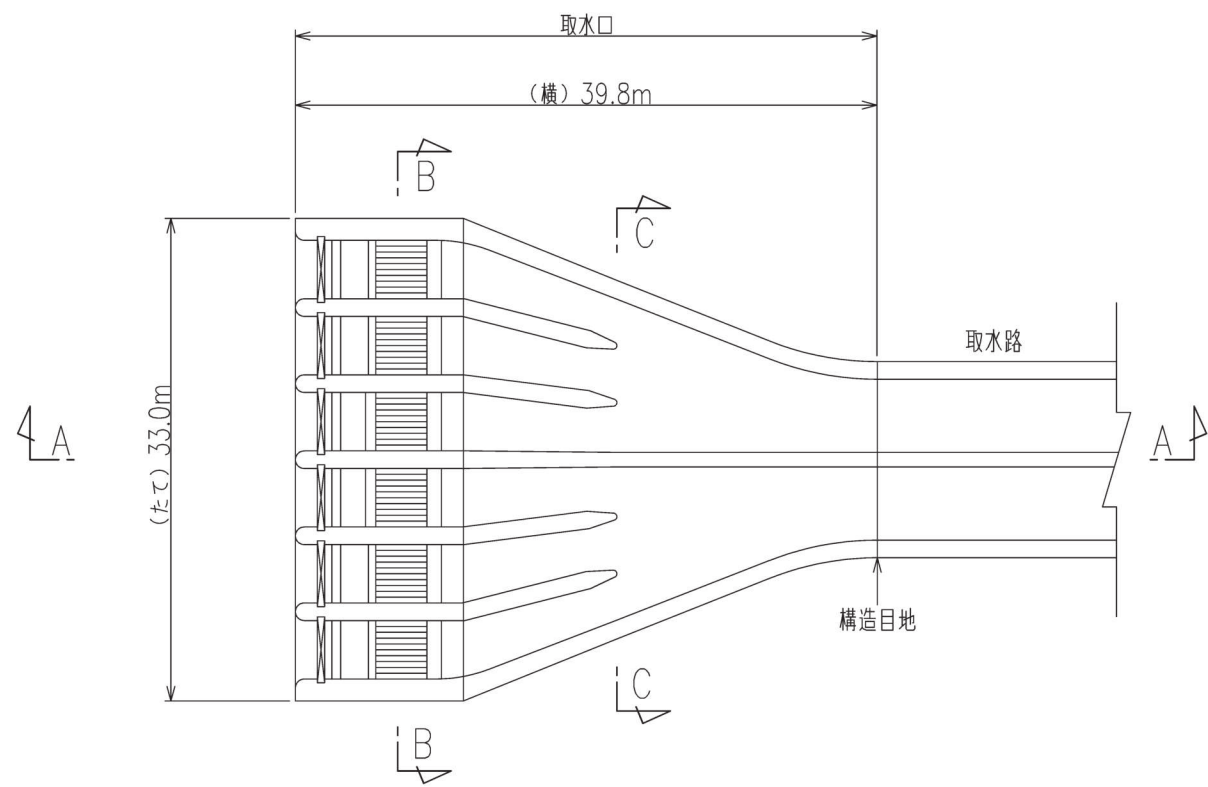
工事計画認可申請	第 9-6-1-1-1 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	貯留堰(No.1),(No.2),(No.3), (No.4),(No.5),(No.6) 構造図
東北電力株式会社	

第 9-6-1-1-1 図 貯留堰 (No. 1), (No. 2), (No. 3), (No. 4), (No. 5), (No. 6) 構造図 別紙

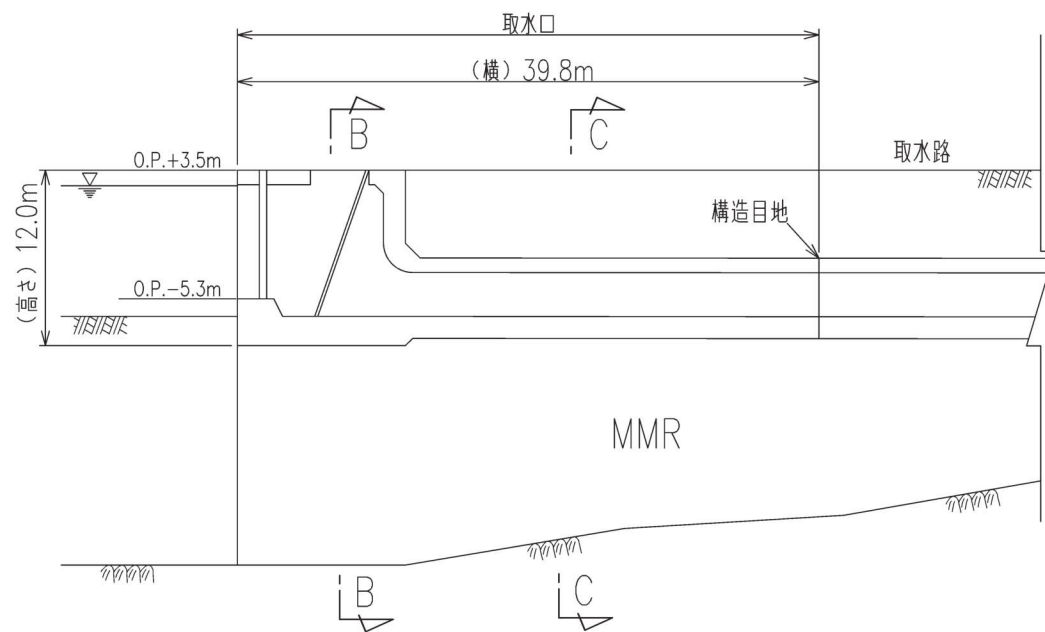
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
天端高さ	0. P. -5. 3m	±30mm	土木工事共通仕様書による管理基準
天端幅	2. 5m	L < 20m - 50mm L ≥ 20m - 100mm	同上
たて	1. 2m	±30mm	同上
横		- 30mm	同上

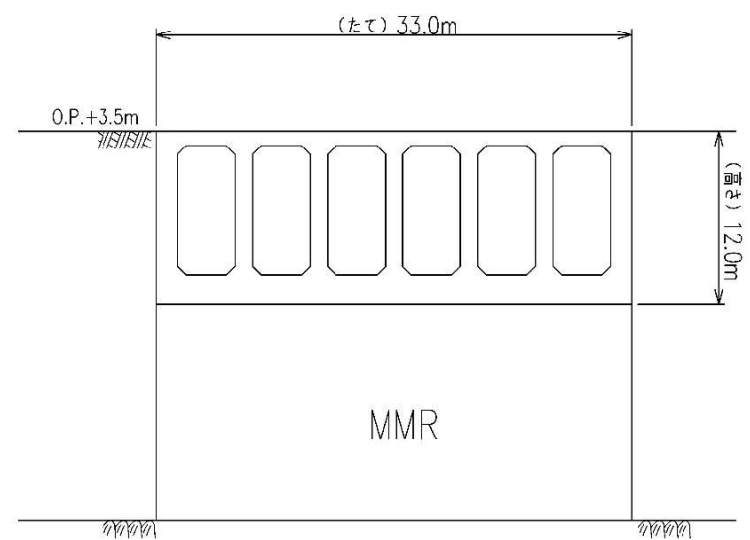
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



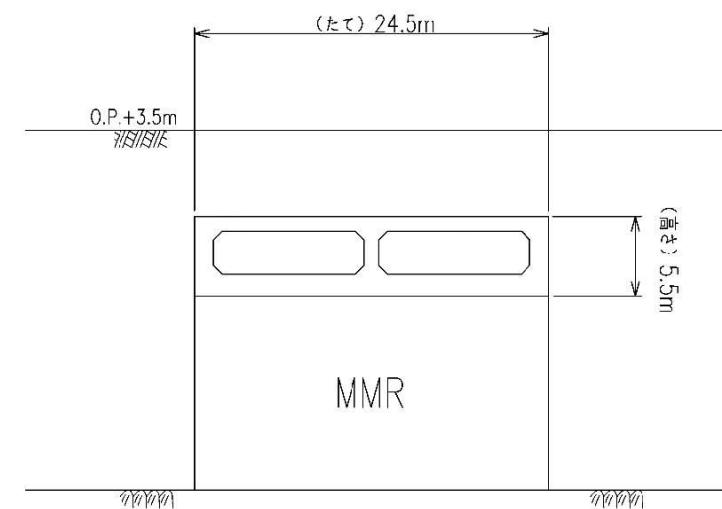
平面図



A-A 断面



B-B 断面図



C-C 断面図

注1 特記なき寸法は公称値を示す。

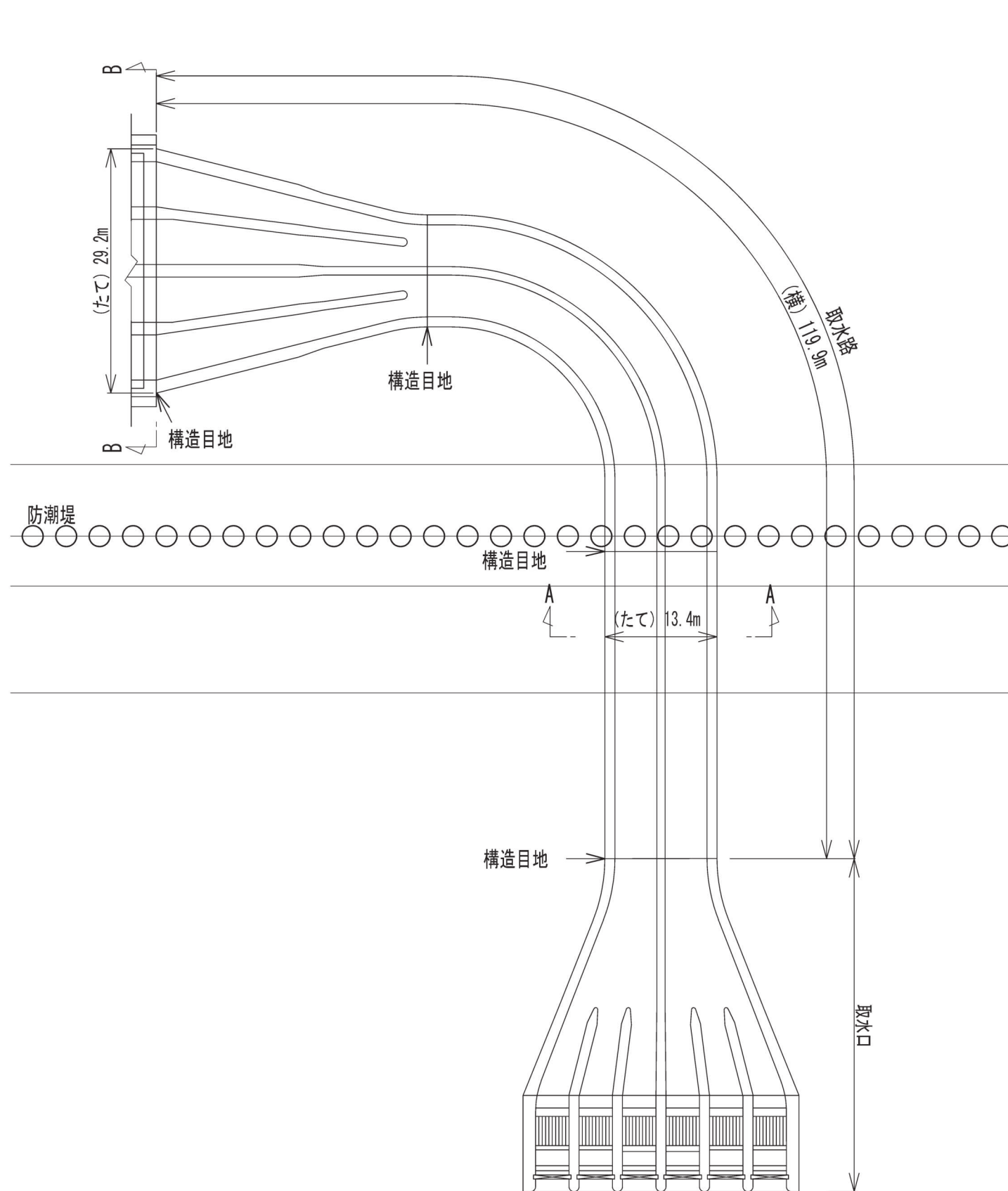
工事計画認可申請	第 9-6-1-1-2 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	取水口構造図
東北電力株式会社	

第 9-6-1-1-2 図 取水口構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

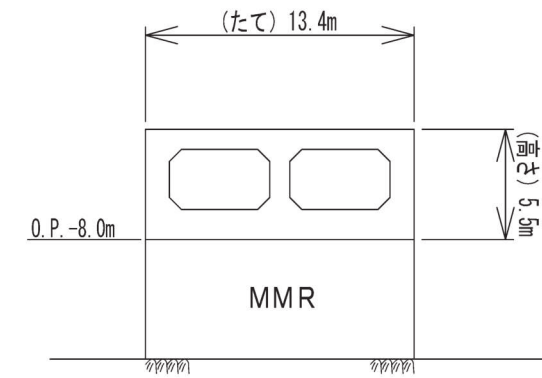
主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	33.0m	±30mm	土木工事共通仕様書による管理基準
横	39.8m	+規定しない -100mm	同上
高さ	12.0m	±30mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



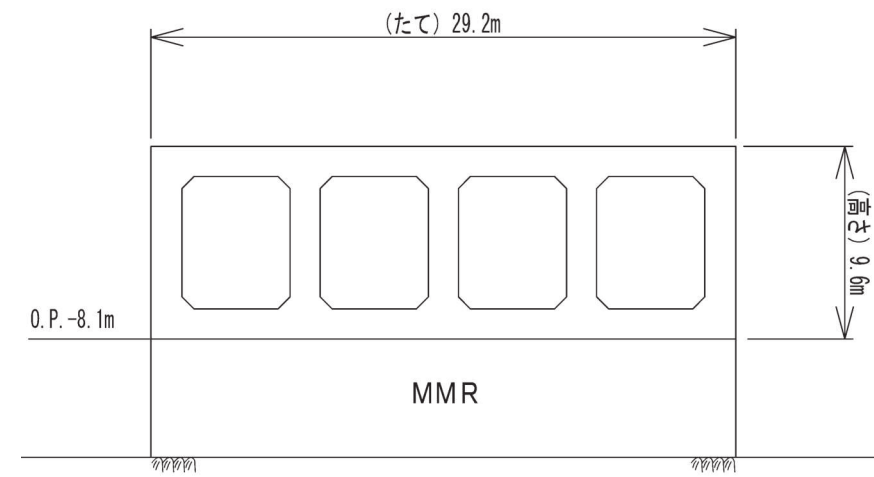
平面図

O.P. +14.8m



A-A 断面

O.P. +14.8m



B-B 断面図

注1 特記なき寸法は公称値を示す。

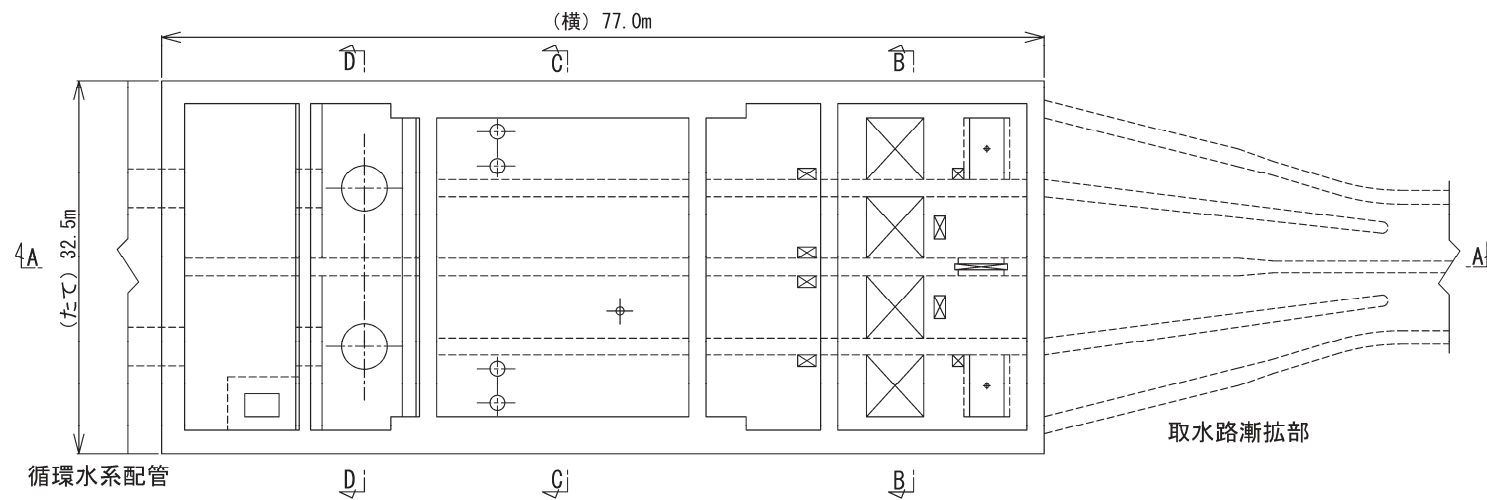
工事計画認可申請	第 9-6-1-1-3 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	取水路構造図
東北電力株式会社	

第 9-6-1-1-3 図 取水路構造図 別紙

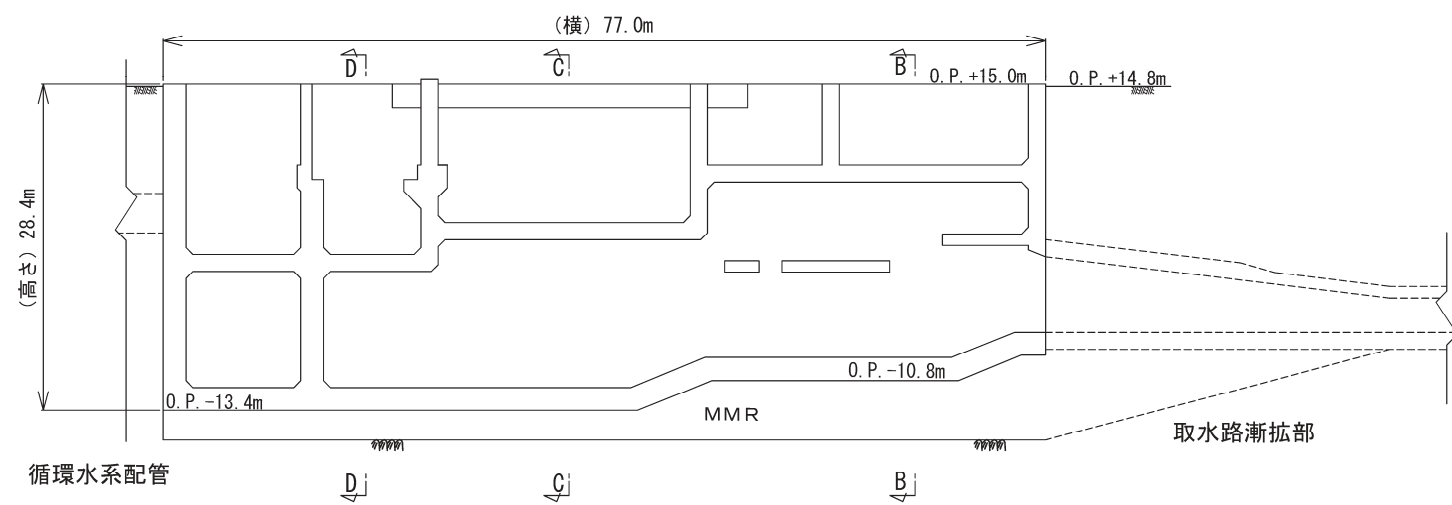
工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	13.4m	±30mm	土木工事共通仕様書による管理基準
横	119.9m	+規定しない -100mm	同上
高さ	5.5m	±30mm	同上

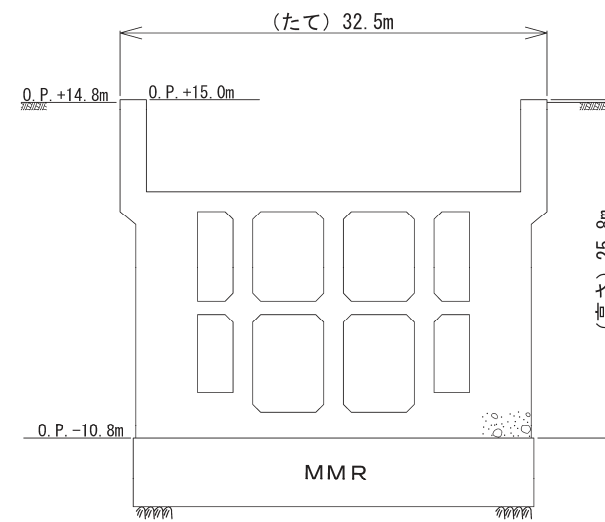
注：主要寸法は，工事計画記載の公称値を示す。



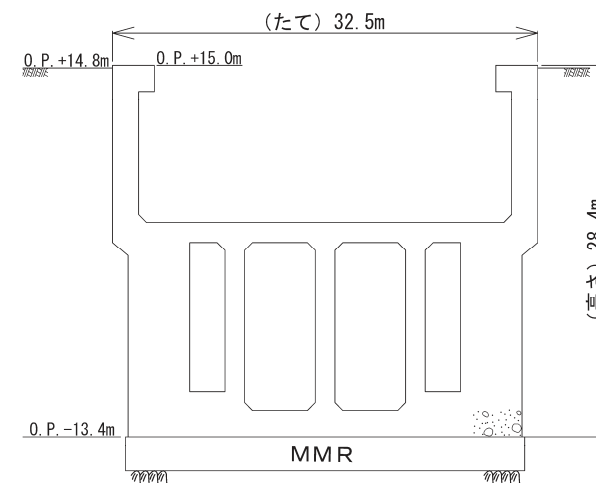
平面図



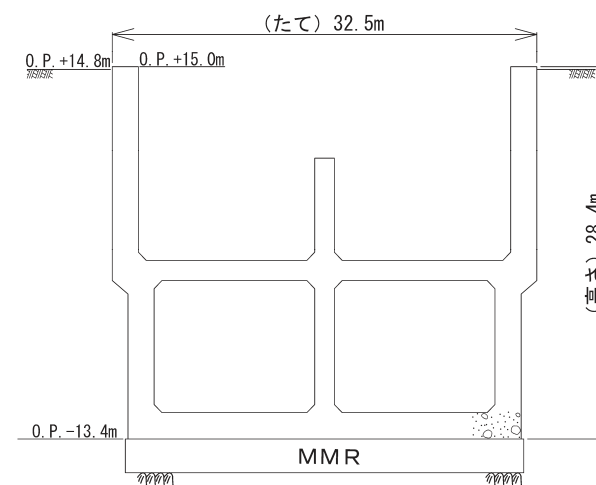
A-A 断面



B-B 断面図



C-C 断面図



D-D 断面図

注1 特記なき寸法は公称値を示す。

工事計画認可申請	第 9-6-1-1-4 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	海水ポンプ室構造図
東北電力株式会社	

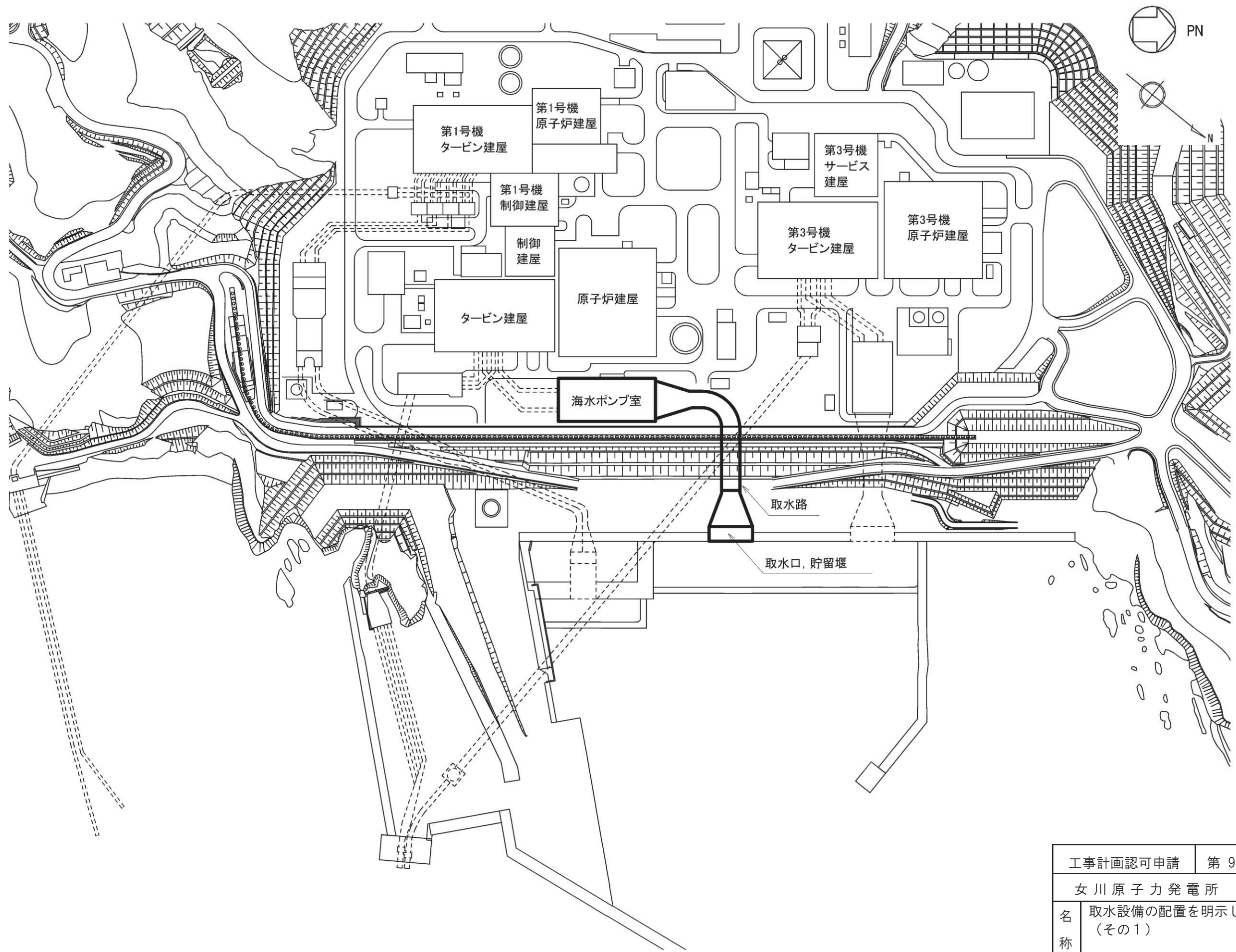
第9-6-1-1-4 図 海水ポンプ室構造図 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

主要寸法		許容範囲	根 拠
たて	32.5m	+規定しない -30mm	土木工事共通仕様書による管理基準
横	77.0m	+規定しない -50mm	同上
高さ	28.4m	±30mm	同上

注：主要寸法は、工事計画記載の公称値を示す。

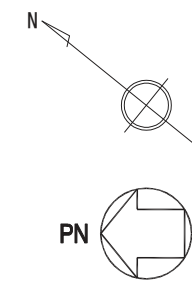




工事計画認可申請	第 9-6-1-2-1 図
女川原子力発電所 第 2 号機	
名称	取水設備の配置を明示した図面 (その1)
東北電力株式会社	

## 9.7 緊急時対策所





設置箇所  
緊急時対策所 (屋内0. P. 51. 5m)

発電所構内

工事計画認可申請 第9-7-1-1図	
女川原子力発電所 第2号機	
名称	その他発電用原子炉の付属施設 緊急時対策所の設置場所を明示した図面 (緊急時対策建屋)
東北電力株式会社	